

# 橋本市民病院

2020年度



病 院

年 報

HASHIMOTO MUNICIPAL HOSPITAL  
HOSPITAL ANNUAL REPORT



# 「2020年度 病院年報巻頭言」

院長 駿田 直俊



2020年度の病院年報が完成しました。2020年は言わずもがなですが、新型コロナウイルスによる大混乱の中で経過しました。年度始まり4月の第1波に始まり、夏の第2波、正月明けの第3波、そして2021年度の第4、5波とつながり、2021年10月現在では冬には来るであろう第6波の準備も必要な状況です。

当院における新型コロナ対応は、感染者の入院診療だけでなく、疑い症例や一般肺炎患者への入院対応、発熱など感染を疑う患者の外来対応、保健所からの濃厚接触者のPCR検査依頼への対応、ワクチン接種計画や実施、院内感染ニアミス対応など、日々刻々と変わる多様な対応が必要でした。そのような厳しい状況の中、感染管理認定看護師および総合内科医師を中心とした院内感染対策チームや関連スタッフによる献身的かつ適切・迅速な働きにより、そして全職員における院内感染対策の実施はもちろん家庭や地域の日常生活の中でのしっかりと自己管理により、病院運営に大きな支障なく1年が経過できたことに感謝申し上げる次第です。

新型コロナ患者対応による一般入院患者病床数制限に伴う検査や待機手術患者の調整を依頼せざるをえない時期があったこと、また一般患者の受診控えもあり、入院・外来患者数および健診患者が前年度より減少がみられています。しかし、「一般診療および救急は止めずに」という病院方針に対し、各科医師や外来病棟スタッフやコメディカルスタッフのご理解のもと、特に年度後半については前年度並みの診療実績となっており、これについても全職員に感謝するところです。

コロナ禍の中、地域医療の本来のあり方が議論されてきています。2次医療圏だけではなく県や県を超えての広域医療圏の中での地域医療のあり方、役割分担の中での医療連携の再構築の整理がされるものと思われます。その中で橋本市民病院が市民病院という役割だけではなく、この地域にある基幹病院としてどのような貢献ができるかを皆さまとともに考えていければと思います。

# 目次

## 巻頭言

## ごあいさつ

## 目次

### I 病院の概況

病院の理念 基本方針	1
患者の権利と義務	1
病院の沿革	2
病院の概要	4
病院組織図	8
職員数推移	9
施設基準一覧	10
経営状況	12

### II 医事統計

1日平均患者数（入院・外来）	14
新入院患者数・退院患者数	15
平均在院日数・病棟別稼働率	16
紹介率・逆紹介率	17
救急搬送患者数	18
橋本市消防本部・伊都消防搬送先状況	19
医業収益	20
診療科別単価	23
行為別収益	24

### III 診療情報（年次報告）

月別退院患者数	26
診療科別退院患者数	30
診療科別上位5疾患	34

### IV 診療科紹介

総合内科	40
消化器内科	42
代謝内科	43
呼吸器内科	44
小児科	46
産婦人科	47
外科	49
整形外科	52
脳神経外科、脳血管内治療センター	54
眼科	57
泌尿器科	58

麻醉科 .....	60
放射線科 .....	61
歯科口腔外科 .....	62
皮膚科 .....	64
病理診断科 .....	65
循環器内科 .....	66
救急科 .....	68
健診センター .....	69
<b>V 看護部紹介</b> .....	71
看護部 .....	72
外来 .....	80
3階西病棟 .....	81
3階東病棟 .....	82
4階西病棟 .....	83
4階東病棟 .....	84
5階西病棟 .....	85
5階東病棟 .....	86
H C U病棟 .....	87
中央手術室 / 中央材料室 .....	88
<b>VI 診療技術部紹介</b> .....	89
薬剤部 .....	90
臨床検査科 .....	92
放射線科 .....	94
臨床工学科 .....	97
リハビリテーション科 .....	99
栄養管理科 .....	103
歯科技工室 .....	106
地域医療部 .....	107
医療安全管理部 .....	116
<b>VII 事務局紹介</b> .....	117
総務課 .....	118
医事課 .....	119
診療情報課 .....	120
<b>VIII 委員会紹介</b> .....	121
委員会組織図 .....	122
薬事委員会 .....	123
診療材料検討委員会 .....	123
システム委員会 .....	124
救急医療対策委員会 .....	124
クリニカル・パス推進委員会 .....	125
診療管理 (QC) 委員会 .....	125

健診センター運営委員会	126
中央手術室運営委員会	126
内視鏡センター運営委員会	127
病床運営管理委員会	127
放射線運営委員会	128
臨床検査運営委員会	129
輸血管理委員会	130
栄養管理委員会	131
NST ワーキング	132
嚙下ワーキング	132
糖尿病ワーキング	133
がん診療対策委員会	135
緩和ケアワーキング	135
化学療法ワーキング	136
キャンサーボードワーキング	136
医療機器選定・購入委員会	137
診療情報管理委員会	137
電子カルテ運営委員会	138
院内感染対策委員会	139
AST	140
ICT	141
ICT ワーキング	142
褥瘡対策委員会	143
医療安全管理対策委員会	144
医療ガス安全管理委員会	144
DMAT 部会	145
防火委員会	145
教育・研修・年報作成委員会	146
まごころ委員会	146
病院広報委員会	147
図書運営委員会	148
職員安全衛生管理委員会	149
福利厚生委員会	150
働き方改革推進委員会	150
医療連携運営委員会	151
倫理・治験審査委員会	152
臓器提供ワーキング	153
臨床研修管理委員会	154
専門研修管理委員会	156

<b>IX 連携登録医名簿</b>	<b>157</b>
-------------------	------------

# I 病院の概況



## 理 念

1. 医療を介して地域の発展に尽くす
2. こころの通う医療で地域住民の健康の保持・増進に尽くす
3. 中核病院としての機能の向上に尽くす

## 基本方針

1. 患者の権利を尊重し、理解と納得に基づいた信頼される医療を目指します
2. 急性期医療を中心に、安全・良質で適切な医療を提供します
3. 病病連携、病診連携に努め、地域完結型医療を推進します
4. 医学の研鑽に励み、地域での医療の進歩と後進の育成に寄与します
5. 行政の医療、保健、福祉施策に積極的に参画します
6. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

## 患者の権利

1. 人格を尊重される権利
2. 質の良い医療を平等に受ける権利
3. 病気について納得できるまで説明を受ける権利
4. 自分の病気に対する治療・検査等を自分で選択し、自分で決定する権利
5. 自分の受けている医療に対する情報を知る権利
6. 医療上生じたプライバシーを保護される権利

## 患者の義務

1. 診療にあたって正しい情報を提供する義務
2. 医療へ積極的に参加する義務
3. 規則を遵守して他の患者に対して迷惑をかけない義務

## 病院の沿革

1947年	伊都郡橋本町大字妻に1町6ヶ村組合立「国保橋本病院」開設
1952年	全館焼失
1953年	橋本市東家に移転
1954年9月	橋本町外七ヶ町村組合立国保病院 (内科、産婦人科、小児科、放射線科)
1957年	結核診療所(50床)開設、病床数163床 (内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科)
1963年11月	新築第一期工事完成 「国保橋本市民病院」(総合病院)として事業開始 (内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科、 整形外科、眼科、神経精神科)
1964年11月	新築第二期工事完成 病床数323床(一般130、結核70、精神100、伝染23) 付設看護婦養成所開校(1991年3月閉所) 救急告示病院の指定
1965年	地方公営企業法適用(一部適用)
1970年5月	有志で託児を開始(市役所別館)
1991年	医療事務業務の委託開始
1992年	伝染病床、精神病床を閉鎖し、一般病床255床となる
1993年	脳神経外科、循環器科開設
1993年10月	病院託児所「ひまわり園」を開設
1994年	訪問看護ステーション併設、橋本市介護支援センター併設、 健診センター(人間ドック)開設
1995年	看護基準2.5対1(13対1)の届出
1996年	泌尿器科開設、眼科の常勤化
1997年	麻酔科開設 地域災害拠点病院に指定
1999年	物品管理システムの導入(3月)、給食業務の全面委託(4月)
2000年	(橋本市) 歯科保健センター開設
2001年	院外処方完全実施(11月)、ナースキャップの廃止(11月)
2003年4月	地域医療連携室開設 院内託児所で給食を開始(病院給食委託業者に依頼)
2003年11月	臨床研修病院(管理型)に指定
2004年4月	地方公営企業法全部適用(市長が管理者を兼務)
2004年10月	放射線科の常勤医化
2004年11月	橋本市小峰台に許可病床数300床(稼働250床)で新築移転(11月) 病院名を「橋本市民病院」に改名 訪問看護ステーション・健診センター・歯科保健センターは併設継続、橋本市介護支 援センターは併設せず、東家地区で継続 院内託児所「ひまわり園」リニューアル
2005年1月	院内託児所において24時間保育を開始
2005年10月	病院事業管理者を設置
2006年3月	DPC(診断群分類包括評価)対象病院の許可(厚生労働省)
2006年4月	心臓血管外科、呼吸器科(4月)、循環器センターの開設(4月) 看護基準10対1看護の届出 女性専門外来、女性泌尿器外来、男性更年期外来開設

2006年6月	乳腺・呼吸器外科開設
2006年7月	DPCによる包括診療開始 和歌山県立医科大学第二病理教室より病理医派遣 (毎週水曜日：病理診断開始)
2006年9月	皮膚科外来診療科開始
2006年11月	日本医療機能評価機構の認定病院となる
2007年1月	がん診療連携拠点病院に指定
2007年3月	地域包括医療・ケア認定施設に認定
2007年7月	5階東病棟30床稼働（うち亜急性期病床20床）
2008年4月	5階東病棟20床稼働（300床フルオープン）
2008年5月	急性期病床288床、亜急性期病床12床に変更
2008年8月	病理診断科開設（常勤病理医着任）
2009年4月	皮膚科常勤化、耳鼻咽喉科の非常勤体制に変更
2009年6月	臨床研修病院（基幹型）の返上 和歌山県立医科大学の協力型として継続
2009年8月	呼吸器内科常勤医2名退職し、非常勤体制に変更
2009年9月	和歌山県立医科大学より内科地域枠常勤医師の派遣（2010.3月まで）
2009年10月	眼科常勤医師2名体制
2010年1月	5階東病棟閉鎖（稼働病床数250床）、亜急性期病床の廃止 呼吸器内科常勤化（近畿大学医学部より常勤医赴任）
2010年2月	和歌山DMAT指定病院に指定
2011年4月	腎臓内科の開設 5階東病棟の再開、3階東病棟を産婦人科病棟に変更し46床から20床に減床 (稼働病床数274床：うち亜急性期病床8床) (医療安全管理部、医療安全管理室の開設)
2011年7月	病院敷地内禁煙の実施 禁煙外来の実施
2011年9月	基幹型臨床研修病院の指定
2012年1月	日本医療機能評価機構認定更新 Ver. 6 (認定期間2011.11.20～2016.11.19)
2013年2月	医療情報システムの更新
2013年7月	医療安全管理部、医療安全管理室と独立して医療安全管理部、感染管理室を開設
2013年10月	診療技術部 超音波検査室を開設 HCU6床開設、地域包括ケア病棟開設 (稼働病床数280床：うちHCU6床、地域包括ケア病棟50床) 救急科の開設、診療情報部を開設
2014年9月	リハビリテーション科を東館に新設・移転
2015年4月	へき地医療拠点病院に指定 (稼働病床数300床：うちHCU6床、地域包括ケア病棟50床)
2016年4月	卒後臨床研修センター開設、総合内科の開設
2016年12月	内視鏡センター開設
2017年4月	腫瘍内科の開設
2017年8月	血液内科の開設
2018年4月	血管内治療センター開設、地域医療部に入退院支援室を開設
2019年3月	乳腺・呼吸器外科常勤医2名退職し、非常勤体制に変更
2020年1月	病院マイクロバスの運行停止
2020年4月	リウマチ・膠原病科の開設

# 病院の概要

施設名	橋本市民病院
開設者	橋本市長
管理者	橋本市病院事業管理者
所在地	和歌山県橋本市小峰台二丁目8番地の1
開設年月日	昭和38年11月18日
診療科	内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、呼吸器内科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、病理診断科、消化器内科、代謝内科、救急科、腫瘍内科、血液内科、リウマチ・膠原病科
橋本市人口	61,552人（2021年3月31日現在）
地方公営企業法適用	1965年4月1日
指定及び指定医療機関	保険医療機関、救急告示病院、労災保険指定病院、生活保護法指定医療機関 母体保護法医療機関、未熟児養育指定医療機関、原爆被害者一般疾病指定医療機関 妊婦一般健康診査取扱機関、国民健康保険療養取扱機関、結核予防指定医療機関 地域災害拠点病院、小児慢性特定疾患治療研究事業指定病院 特定疾患治療研究事業指定病院、指定自立支援医療機関、日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院、臨床研修病院、助産施設、公害医療機関 産科医療補償制度加入機関、地域包括医療・ケア認定施設、日本がん治療認定研修施設 和歌山 DMAT 指定病院、基幹型臨床研修病院、へき地医療拠点病院
学会認定施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本内科学会認定教育関連施設 日本高血圧学会専門医認定施設、日本消化器病学会専門医認定施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本整形外科学会専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設 日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本口腔外科学会専門医研修機関 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設 日本脳神経外科学会専門医プログラム研修施設、日本呼吸器学会認定施設 日本呼吸器外科学会認定修練施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設 日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医研修施設 日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医・専門医認定関連施設 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本病理学会研修登録施設 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本手外科学会基幹研修施設 日本脳卒中学会認定研修教育病院、マンモグラフィ検診施設、呼吸器外科学会関連施設 日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本麻酔科学会認定専門医研修施設 日本脈管学会認定研修関連施設

## 許可病床数

病棟	病床数
3階西病棟	54床
3階東病棟	40床
4階西病棟	50床
4階東病棟	50床
5階西病棟	50床
5階東病棟（地域包括ケア病棟）	50床
HCU病棟	6床
合計	300床

## 施設の概況

地域・地区	第一種中高層住居専用地区
防火地域	指定なし
法 22 条地域	指定あり
日影規制	4 時間 / 2.5 時間 測定面積 4 m
敷地面積	43,904.08m <sup>2</sup>

## 本館

建築面積		6,894.80m <sup>2</sup>
延床面積	6 階	378.18m <sup>2</sup>
	5 階	2,894.00m <sup>2</sup>
	4 階	2,894.00m <sup>2</sup>
	3 階	3,051.61m <sup>2</sup>
	2 階	2,931.13m <sup>2</sup>
	1 階	5,882.99m <sup>2</sup>
	地 階	3,975.95m <sup>2</sup>
	計	22,007.86m <sup>2</sup>
階数		地下 1 階 地上 6 階
構造		鉄筋コンクリート造 (免震構造)
高さ		最高高さ 22.98m 軒の高さ 29.50m
駐車台数	総数	674 台
	① 一般用(うち身体障害者用)	344 台 ( 15 台)
	② 職員用	330 台
部門別面積	(1) 病棟部門	8,659.59m <sup>2</sup>
	H C U	352.35m <sup>2</sup>
	(2) 外来部門	2,114.70m <sup>2</sup>
	一般外来部	1,923.75m <sup>2</sup>
	救急部	190.95m <sup>2</sup>
	(3) 診療部門	3,389.10m <sup>2</sup>
	検査部	789.96m <sup>2</sup>
	放射線部	1,224.18m <sup>2</sup>
	手術部	813.57m <sup>2</sup>
	分娩部	180.02m <sup>2</sup>
	特殊診療部	29.02m <sup>2</sup>
	(4) 供給部門	2,702.24m <sup>2</sup>
	薬剤部	206.40m <sup>2</sup>
	材料滅菌室	211.89m <sup>2</sup>
	給食室	389.78m <sup>2</sup>
	洗濯室	25.04m <sup>2</sup>
保管搬送室	313.95m <sup>2</sup>	

部門別面積	機械室	1,555.18㎡
	(5) 管理部門	3,061.91㎡
	運営関係	1,929.21㎡
	講堂	318.81㎡
	厚生関係	813.89㎡
	(6) その他	2,080.32㎡
	健診センター	87.66㎡
	総合待合	495.37㎡
	地域医療・健康情報プラザ	43.60㎡
	地域医療部	192.69㎡
	その他	1,261.00㎡
合計	22,007.86㎡	

## 東館

建築面積		754.74㎡
延床面積	2 階	676.62㎡
	1 階	725.31㎡
	計	1,401.93㎡
階数		地上 2 階
構造		鉄筋造（耐震構造）
高さ		最高高さ 9.93m 軒の高さ 9.28m
部門別面積	(3) 診療部門	520.01㎡
	リハビリテーション部	520.01㎡
	(5) 管理部門	705.80㎡
	運営関係	705.80㎡
	(6) その他	176.12㎡
	その他	176.12㎡
合計		1,401.93㎡

## 付帯設備概要 本館

(1) 電気設備	受電方式／常用・予備2回線受電方式 変圧器容量／4.825 KVA 予備電源／ガスタービン発電機、無停電電源装置 電池式(MSE型)
(2) 空調設備	空調方式／単一ダクト、VAV、外気処理空調機+ ファンコイルユニット 空冷ヒートポンプ パッケージエアコン 熱源／排熱投入型冷温水発生器×2台 ブラインチラー コージェネレーション発電機185KW×2
(3) 衛生設備	給水／加圧給水ポンプ方式 給湯／中央方式 排水／汚水、雑排水分流方式
(4) 防災設備	消火／スプリンクラー設備 連結送水管設備 固定式泡消火設備 ハロン消火設備
(5) 昇降機	一般乗車4基、寝台用2基(自家発管制運転) 人荷用4基(内1基自家発管制運転) 小荷物用1基

## 東館

(1) 電気設備	予備電源／エンジン発電機、無停電電源装置
(2) 空調設備	空調方式／空冷ヒートポンプ パッケージエアコン
(3) 衛生設備	給水／加圧給水ポンプ方式 給湯／中央方式 排水／汚水、雑排水分流方式
(4) 防災設備	消火／スプリンクラー設備
(5) 昇降機	寝台用1基



## 職員数推移

(単位：人)

病 院		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
診療部	医師	47	41	49	44	48	46	48	47
	歯科医師	1	1	2	1	2	1	2	1
小 計		48	42	51	45	50	47	50	48
看護部	看護師	170	30	169	33	167	31	160	32
	助産師	10	2	12	2	11	3	11	3
	准看護師	2	8	2	6	1	5	1	5
	看護助手等	0	40	0	39	0	40	0	55
小 計		182	80	183	80	179	79	172	95
診療技術部	薬剤師	12	0	10	2	10	1	10	1
	放射線技師	10	1	10	1	10	1	10	1
	臨床検査技師	12	3	11	4	10	3	12	2
	超音波検査士	1	0	1	0	1	0	1	0
	理学療法士	23	0	23	0	23	0	22	0
	作業療法士	4	0	4	0	4	0	3	0
	言語聴覚士	3	0	3	0	4	0	3	0
	臨床工学技士	6	0	6	0	7	0	7	0
	管理栄養士	3	1	3	0	3	0	3	0
	歯科技工士	1	0	1	0	1	0	1	0
	歯科衛生士	0	3	0	2	0	4	0	2
	その他技師	0	3	0	3	0	3	0	4
	小 計		75	11	72	12	73	12	72
事務局	事務職員	19	27	21	31	21	31	22	32
	社会福祉士	5	0	5	0	4	0	4	0
	その他職員	0	11	0	10	0	12	0	12
小 計		24	38	26	41	25	43	26	44
合 計		329	171	332	178	327	181	320	197
訪問看護ステーション		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
訪問看護ステーション	看護師	-	-	-	-	-	-	0	7
	事務職員	-	-	-	-	-	-	0	4
合 計		-	-	-	-	-	-	0	11
病院事業合計		329	171	332	178	327	181	320	208

※ 2020年度に訪問看護ステーションを統合

※各年度3月31日時点の実人数

## 届出施設基準等一覧

2021年3月31日現在

基本診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
地域歯科支援病院歯科初診料		平成31年4月1日	(病初診) 第14号	
歯科外来診療環境体制加算2		平成30年4月1日	(外来環2) 第21号	
歯科診療特別対応連携加算		平成30年4月1日	(歯特連) 第7号	
オンライン診療料		平成30年4月1日	(オン診) 第3号	
一般病棟入院基本料	急性期一般4	平成30年5月1日	(一般入院) 第948号	
救急医療管理加算		令和2年4月1日	(救急医療) 第30号	
超急性期脳卒中加算		平成20年4月1日	(超急性期) 第5号	
診療録管理体制加算1		平成26年5月1日	(診療録1) 第9号	
医師事務作業補助体制加算1	50対1	平成26年4月1日	(事補1) 第4号	
急性期看護補助体制加算	50対1	平成28年10月1日	(急性看護) 第144号	
療養環境加算		平成26年7月1日	(療) 第457号	
栄養サポートチーム加算		平成29年11月1日	(栄養チ) 第25号	
医療安全対策加算1		平成30年4月1日	(医療安全1) 第67号	
医療安全対策地域連携加算1				
感染防止対策加算1				
感染防止対策地域連携加算		平成30年4月1日	(感染防止1) 第37号	
抗菌薬適正使用支援加算				
患者サポート体制充実加算		平成25年3月1日	(患サポ) 第38号	
ハイリスク妊娠管理加算		平成21年4月1日	(ハイ妊娠) 第35号	
ハイリスク分娩管理加算		平成22年5月1日	(ハイ分娩) 第19号	
呼吸ケアチーム加算		平成29年6月1日	(呼吸チ) 第6号	
後発医薬品使用体制加算1		平成30年4月1日	(後発使1) 第8号	
データ提出加算	2イ(200床以上の病院)	平成26年10月1日	(データ提) 第46号	
入退院支援加算1		令和2年4月1日	(入退支) 第156号	
入院時支援加算				
総合評価加算				
地域連携診療計画加算				
せん妄ハイリスクケア加算		令和2年4月1日	(せん妄ケア) 第15号	
地域医療体制確保加算		令和2年4月1日	(地医確保) 第5号	
ハイケアユニット入院医療管理料1		平成26年5月1日	(ハイケア1) 第1号	
小児入院医療管理料4		平成27年8月1日	(小入4) 第411号	
地域包括ケア病棟入院料2		平成26年11月1日	(地包ケア2) 第96号	
補助者配置加算				
※入院時食事療養費1		平成18年3月1日	(食) 第453号	

特掲診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
歯科疾患管理料の「注11」に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料		平成28年4月1日	(医管) 第55号	
糖尿病合併症管理料		平成20年4月1日	(糖管) 第4号	
がん性疼痛緩和指導管理料		平成22年4月1日	(がん疼) 第21号	
がん患者指導管理料イ		平成23年5月1日	(がん指イ) 第10号	
がん患者指導管理料ロ		平成26年4月1日	(がん指ロ) 第2号	
がん患者指導管理料ハ		平成26年4月1日	(がん指ハ) 第2号	
糖尿病透析予防指導管理料		平成25年7月1日	(糖防管) 第17号	
乳腺炎重症化予防ケア・指導料		平成30年4月1日	(乳腺ケア) 第3号	
婦人科特定疾患治療管理料		令和2年4月1日	(婦特管) 第81号	
小児科外来診療料		令和2年4月1日	(小外診) 第76号	
地域連携夜間・休日診療料		平成22年4月1日	(夜) 第2号	
院内トリアージ実施料		平成30年4月1日	(トリ) 第16号	
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算		令和2年4月1日	(救搬看護) 第31号	
ニコチン依存症管理料		平成29年7月1日	(ニコ) 第313号	
がん治療連携計画策定料		平成29年12月1日	(がん計) 第188号	
肝炎インターフェロン治療計画料		平成22年4月1日	(肝炎) 第1号	
薬剤管理指導料		平成22年9月1日	(薬) 第435号	
地域連携診療計画管理加算		平成28年4月1日	(地連計) 第1号	
医療機器安全管理料1		平成20年4月1日	(機安1) 第19号	
在宅療養後方支援病院		平成26年4月1日	(在後病) 第1号	

特掲診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
在宅酸素療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算		平成30年4月1日	(遠隔酸素) 第1号	
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算		平成30年4月1日	(遠隔持続陽) 第11号	
精密触覚機能検査		令和1年11月1日	(精密触覚) 第2号	
先天性代謝異常検査		令和2年4月1日	(先代異) 第1号	
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)		平成26年4月1日	(HPV) 第58号	
検体検査管理加算(Ⅰ)		平成20年4月1日	(検Ⅰ) 第468号	
検体検査管理加算(Ⅱ)		平成20年4月1日	(検Ⅱ) 第15号	
ヘッドアップテイルト試験		平成28年1月1日	(ヘッド) 第10号	
コンタクトレンズ検査料1		平成29年4月1日	(コン1) 第391号	
小児食物アレルギー負荷検査		平成18年4月1日	(小検) 第3号	
画像診断管理加算		令和2年4月1日	(画1) 第436号	
画像診断管理加算		令和2年7月1日	(画2) 第411号	
CT撮影及びMRI撮影	64列以上のマルチスライスCT MRI(1.5テスラ以上)	令和2年7月1日	(C・M) 第404号	
冠動脈CT撮影		平成24年4月1日	(C・M) 第275号	
冠動脈CT撮影		令和2年7月1日	(冠動C) 第13号	
心臓MRI加算		令和2年7月1日	(心臓M) 第14号	
抗悪性腫瘍剤処方管理加算		平成22年4月1日	(抗悪処方) 第11号	
外来化学療法加算1		平成29年1月1日	(外化1) 第450号	
連携充実加算		令和2年10月1日	(外化連) 第9号	
無菌製剤処理料		平成20年4月1日	(菌) 第420号	
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)		平成28年4月1日	(心Ⅰ) 第13号	
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)		平成29年1月1日	(脳Ⅰ) 第108号	
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)		平成22年4月1日	(運Ⅰ) 第114号	
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)		平成18年4月1日	(呼Ⅰ) 第88号	
がん患者リハビリテーション料		平成23年5月1日	(がんリハ) 第18号	
集団コミュニケーション療法料		平成20年4月1日	(集コ) 第17号	
歯科口腔リハビリテーション料2		平成26年4月1日	(歯リハ2) 第3号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1		平成27年2月1日	(医処休) 第2号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1		平成27年2月1日	(医処休) 第2号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1		平成27年2月1日	(医処休) 第2号	
口腔粘膜処置		平成30年4月1日	(口腔粘膜) 第69号	
レーザー機器加算		平成30年4月1日	(手光機) 第65号	
歯科技工加算		平成22年4月1日	(歯技工) 第85号	
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	過活動膀胱に係るもの	平成29年11月15日	(仙神交便) 第2号	
乳がんセンチネルリンパ節加算1	併用法	令和1年9月1日	(乳セⅠ) 第12号	
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂) 腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膈腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)		平成30年4月1日	(穿瘻閉) 第5号	
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)		令和2年4月1日	(経特) 第420号	
経皮的中隔心筋焼灼術		令和2年2月1日	(経中) 第9号	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術		平成18年3月1日	(ペ) 第412号	
大動脈バルーンパンピング法(ⅠABP法)		平成18年3月1日	(大) 第407号	
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術		平成25年4月1日	(早大腸) 第7号	
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術		平成18年3月1日	(腎) 第406号	
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍摘出術		平成29年1月1日	(腹前) 第6号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1		平成27年2月1日	(医手休) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1		平成27年2月1日	(医手休) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1		平成27年2月1日	(医手休) 第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術		平成26年4月1日	(胃瘻造) 第14号	※胃瘻造設術
輸血管理料Ⅱ		平成24年9月1日	(輸血Ⅱ) 第25号	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算		平成24年10月1日	(造設前) 第9号	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算		平成26年4月1日	(胃瘻造嚥) 第6号	
広範囲顎骨支持型送致埋入手術		令和1年10月1日	(人工歯根) 第4号	
麻酔管理料(Ⅰ)		平成18年3月1日	(麻管Ⅰ) 第412号	
保険医療機関間の連携による病理診断		令和1年5月1日	(連携診) 第7号	
病理診断管理加算1		平成24年4月1日	(病理診1) 第3号	
悪性腫瘍病理組織標本加算		平成30年4月1日	(悪病組) 第4号	
口腔病理診断管理加算1		平成26年4月1日	(口病診1) 第1号	
クラウン・ブリッジ維持管理料		平成18年3月1日	(補管) 第727号	
※酸素の届出		令和2年4月1日	(酸素) 第7335号	

## 経営状況

(単位：千円)

科目	年度	2004年度 (平成16年度) (移転開設年度)	2009年度 (平成21年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度) 予算額
病院事業収益①		3,429,768	6,227,460	7,006,482	7,409,804	7,367,059	7,612,252	7,780,613	7,394,520	7,907,830	7,311,169
医業収益		3,128,080	5,478,757	6,227,436	6,623,296	6,590,838	6,805,643	7,000,592	6,601,594	6,395,859	6,483,632
入院収益		2,070,774	3,615,003	4,294,039	4,587,464	4,575,553	4,737,257	4,886,803	4,585,608	4,554,455	4,555,200
外来収益		840,087	1,392,571	1,563,996	1,671,288	1,676,299	1,737,326	1,782,960	1,694,017	1,549,597	1,616,076
その他医業収益		217,219	471,183	369,401	364,544	338,986	331,060	330,829	321,969	291,807	312,356
医業外収益		300,191	472,198	775,011	786,443	776,164	805,704	746,519	751,276	1,269,438	577,641
訪問看護収益		-	-	-	-	-	-	-	-	70,237	69,461
特別利益		1,497	276,505	4,035	65	57	905	33,502	41,650	172,296	180,435
病院事業費用②		4,972,217	6,533,493	6,888,215	7,312,963	7,506,585	7,600,554	7,764,277	7,662,237	7,553,727	7,397,484
医業費用		3,784,633	6,136,873	6,302,983	6,865,220	7,075,737	7,183,635	7,333,838	7,238,511	6,928,484	7,076,852
給与費		2,269,406	2,894,863	3,254,903	3,587,627	3,780,798	3,837,742	3,969,878	4,041,264	3,878,200	3,922,123
材料費		838,491	1,340,444	1,392,014	1,357,889	1,301,673	1,362,822	1,491,093	1,376,567	1,238,827	1,394,683
経費		619,620	909,645	1,036,176	1,297,699	1,357,291	1,316,145	1,269,849	1,238,850	1,252,487	1,418,329
減価償却費		50,127	983,281	607,284	605,920	618,468	649,261	588,208	564,904	545,592	322,657
その他医業費用		6,989	8,640	12,606	16,103	17,507	17,665	14,810	16,926	13,378	19,060
医業外費用		247,814	386,135	411,728	437,734	425,876	409,503	408,511	414,416	428,459	242,229
訪問看護費用		-	-	-	-	-	-	-	-	65,682	74,803
特別損失		939,770	10,485	173,504	10,009	4,972	7,416	21,928	9,310	131,102	3,600
差引①－②		△1,542,449	△306,033	118,267	96,841	△139,526	11,698	16,336	△267,717	354,103	△86,315
資本的収入③		6,989,142	570,255	68,900	276,243	259,900	116,827	409,495	396,757	491,906	1,029,574
資本的支出④		7,012,542	1,172,169	714,583	939,467	966,828	802,948	711,272	717,858	831,676	1,337,812
差引③－④		△23,400	△601,914	△645,683	△663,224	△706,928	△686,121	△301,777	△321,101	△339,770	△308,238

備考：病院事業収益・費用は税抜き額、資本的収入・支出は税込み額

# II 医事統計



- ① 1日平均患者数（入院・外来）
- ② 新入院患者数・退院患者数
- ③ 平均在院日数・病棟稼働率
- ④ 紹介率・逆紹介率
- ⑤ 救急搬送患者数
- ⑥ 橋本市消防本部・伊都消防搬送先状況
- ⑦ 医業収益
- ⑧ 診療科別単価
- ⑨ 行為別収益

① 1日平均患者数 (入院・外来)

● 1日平均患者数 (入院)

24時患者基準

(単位：人)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	34.8	29.4	32.8	35.1	34.7	29.8	26.3	30.2	29.4	31.2	29.8	38.2	39.4	35.4	37.8	41.5	41.9	34.2			
消内	13.8	13.3	10.7	13.9	9.7	12.6	11.9	14.2	12.5	12.1	14.1	13.8	13.1	12.3	8.6	12.1	12.1	12.4			
代内	0.1	5.0	8.1	4.0	2.4	1.6	3.4	2.9	1.3	3.0	2.3	2.8	4.4	4.1	3.7	2.6	2.0	2.8			
呼内	6.2	7.9	8.9	8.1	6.0	4.7	3.8	2.8	2.9	5.5	6.5	6.2	6.2	6.0	6.2	6.6	5.7	5.3			
循内	45.6	47.6	46.1	46.6	46.4	48.8	48.3	44.6	30.0	31.6	27.5	33.2	29.5	33.1	37.5	41.4	39.3	37.0			
外科	38.7	34.7	34.8	33.7	33.1	31.8	35.2	38.4	51.7	56.1	52.4	42.5	46.1	52.1	58.7	48.8	44.3	46.5			
整形	43.8	44.4	57.8	54.8	44.1	46.2	34.4	40.7	42.2	45.3	44.0	47.7	52.5	54.5	58.1	48.1	49.9	47.0			
脳外	25.7	23.4	27.3	21.4	20.3	12.2	15.8	14.0	15.7	17.2	18.7	19.3	17.3	19.7	22.3	20.1	20.5	17.7			
乳腺	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
心外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
泌尿	9.1	9.3	7.5	9.8	7.6	6.8	5.6	12.8	6.5	7.9	7.6	7.1	7.0	6.6	7.2	8.1	9.5	7.7			
皮膚	0.2	0.6	0.1	0.7	0.0	0.8	1.0	0.9	0.0	0.6	1.0	0.9	0.0	1.8	2.2	1.0	0.9	0.9			
眼科	3.2	3.2	3.3	2.8	3.9	3.1	1.1	3.6	3.0	3.3	2.3	3.9	2.2	3.1	3.0	2.0	3.9	2.9			
放射	0.1	0.4	0.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1			
耳鼻	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
小児	3.5	3.2	2.3	2.3	1.6	2.0	0.8	1.8	2.6	3.1	1.4	3.2	1.8	1.0	2.5	2.8	3.5	2.2			
産婦	22.4	20.7	23.9	23.8	19.8	18.7	16.0	20.2	21.0	25.6	27.1	26.8	26.1	20.2	8.6	21.5	25.2	21.4			
救急	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0			
歯科	3.0	1.8	2.3	2.4	2.1	3.1	2.5	4.0	4.3	3.9	2.6	3.7	3.3	2.7	3.2	3.8	4.3	3.4			
リハ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
リ膠	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
合計	259.9	245.0	266.1	260.3	232.9	222.5	206.3	231.0	223.2	246.4	237.3	250.7	249.1	252.5	259.8	260.3	263.1	241.8			
退院含	276.9	261.2	281.5	276.6	247.8	237.6	217.4	245.4	238.5	261.6	251.8	266.1	262.8	268.9	273.3	275.8	280.1	256.5			

● 1日平均患者数 (外来)

(単位：人)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	35.9	31.9	38.8	31.6	26.2	29.6	22.4	20.3	30.7	31.6	31.1	28.3	33.8	31.3	29.4	29.1	26.6	28.6			
消内	23.1	25.0	24.3	24.4	21.5	20.1	17.8	21.2	24.8	21.6	26.1	21.4	23.6	23.6	25.1	24.8	22.5	22.7			
代内	23.2	28.5	32.8	30.7	26.7	27.7	29.6	25.9	29.0	28.0	27.8	29.6	27.5	31.0	34.2	27.9	29.1	28.9			
呼内	26.8	25.5	26.3	26.4	23.7	22.2	24.8	22.2	24.7	24.3	26.8	24.0	26.9	26.5	27.5	27.5	24.2	25.0			
循内	50.7	50.5	53.7	50.0	45.3	45.9	44.1	43.2	47.3	44.3	44.4	45.5	45.4	42.5	45.5	44.3	43.4	44.6			
外科	30.4	31.4	34.3	30.6	29.4	24.8	26.4	26.3	32.8	27.9	29.1	29.5	26.9	28.5	28.9	30.8	27.5	28.3			
整形	77.2	80.4	86.5	82.9	77.8	65.7	63.6	61.4	73.9	74.2	74.8	68.5	77.0	75.5	76.8	73.4	74.0	71.5			
脳外	39.3	38.2	39.6	37.3	36.2	34.4	31.3	34.0	36.4	36.8	36.8	36.8	38.2	37.3	36.8	38.9	35.8	36.1			
乳腺	11.6	5.7	4.3	4.8	4.8	4.4	4.5	5.4	4.0	3.9	6.0	5.1	4.8	6.1	3.9	4.1	5.9	4.9			
心外	3.0	2.8	3.1	2.7	3.0	2.2	2.1	2.2	2.9	2.3	3.7	2.5	2.8	2.7	3.0	2.4	2.8	2.6			
泌尿	61.3	61.9	68.8	55.2	60.5	52.2	56.4	56.2	54.6	55.8	57.3	54.8	56.6	56.7	63.5	59.3	57.9	56.7			
皮膚	24.8	24.0	24.1	21.4	19.4	17.7	19.2	19.7	21.8	23.2	23.0	18.8	21.4	19.8	20.1	20.6	19.7	20.4			
眼科	45.2	45.2	46.3	41.6	42.4	41.9	32.6	42.2	32.8	37.5	37.6	37.5	35.2	38.3	39.2	34.7	37.3	37.3			
放射	9.6	8.4	5.6	7.6	11.5	10.8	7.9	11.8	10.1	7.7	7.5	8.4	8.8	14.1	10.7	11.6	12.3	10.2			
耳鼻	21.5	19.9	19.3	18.4	17.9	16.2	13.1	16.8	17.9	16.6	18.4	19.3	18.7	14.9	16.5	16.4	15.7	16.8			
麻酔	0.4	1.5	1.4	1.4	1.3	1.4	1.8	1.2	2.1	1.8	1.5	1.6	1.2	1.5	1.6	2.1	1.6	1.6			
小児	37.5	33.6	37.3	29.7	20.0	17.0	11.2	15.4	20.0	21.0	19.3	21.2	22.9	19.7	16.1	18.6	20.1	18.6			
産婦	34.6	36.3	38.3	36.6	32.3	27.9	30.2	28.2	32.8	27.6	32.2	31.7	30.6	32.5	31.1	35.0	33.0	31.0			
救急	6.9	8.3	11.1	7.6	6.4	3.8	4.8	5.5	7.3	6.5	4.3	5.5	5.9	5.0	4.7	4.7	5.2	5.3			
歯科	22.3	24.0	22.7	21.2	21.4	20.2	18.9	18.0	24.0	21.2	22.6	22.0	24.4	21.9	23.3	24.4	23.0	22.0			
リハ	0.0	0.1	0.4	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1			
リ膠	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.7	2.3	2.4	2.3	2.6	2.4	3.1	2.7	3.3	3.7	4.0	2.5			
合計	585.5	583.2	618.5	562.1	527.7	486.7	464.4	479.5	532.3	515.7	532.4	514.5	535.9	531.8	541.2	534.2	520.8	515.6			

## ● 全入院患者数

(単位：人)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	54.8	48.3	64	49	43	49	37	39	64	69	46	57	51	43	49	63	58	52.1			
消内	49.8	44.8	40	50	47	23	33	35	53	41	38	48	42	58	40	42	47	41.7			
代内	0.3	11.8	12	9	6	3	12	12	10	13	7	10	15	11	11	8	7	9.9			
呼内	11.2	12.4	16	6	12	11	9	11	11	17	10	13	11	16	16	15	9	12.4			
循内	66.6	64.2	67	52	76	60	51	46	52	38	31	58	47	42	54	55	44	48.2			
外科	64.9	63.0	49	49	68	49	47	58	60	62	75	56	64	56	58	54	67	58.8			
整形	58.8	57.0	72	45	52	50	45	52	76	67	47	64	60	78	58	58	71	60.5			
脳外	40.1	36.2	34	31	31	21	35	32	33	31	36	30	26	36	34	26	32	31.0			
乳腺	17.3	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
心外	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	42.2	39.5	33	37	39	40	37	49	51	38	34	37	44	34	43	38	67	42.7			
皮膚	0.4	0.5	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0.4			
眼科	31.9	34.0	35	27	39	37	10	32	29	47	30	37	31	29	35	24	45	32.2			
放射	0.2	0.3	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.2			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	25.7	23.8	16	11	12	12	8	11	21	16	10	14	9	7	10	8	14	11.7			
産婦	43.8	45.3	53	42	44	38	37	32	35	51	33	34	30	36	29	46	52	37.8			
救急	2.2	4.9	9	1	4	0	5	3	0	0	1	4	1	1	3	0	0	1.5			
歯科	8.1	7.1	9	10	6	13	4	12	8	12	12	11	9	6	16	8	14	10.4			
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リ膠	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
合計	518.2	493.0	511	421	479	408	370	424	503	503	411	473	440	455	457	445	527	451.3			

## ● 全退院患者数

(単位：人)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	54.5	49.3	68	57	55	53	31	40	61	58	46	45	51	53	50	55	52	49.6			
消内	49.8	43.8	32	50	36	33	32	38	47	41	38	47	46	63	27	44	54	42.5			
代内	0.3	9.3	10	11	4	4	8	7	3	9	5	11	10	10	7	6	4	7.0			
呼内	13.3	14.2	13	16	12	16	10	10	14	14	14	14	14	17	14	18	11	13.8			
循内	73.3	70.2	67	66	71	68	54	58	52	40	28	52	42	48	39	46	55	48.5			
外科	72.5	70.3	60	62	68	57	53	68	75	76	90	86	68	81	77	82	81	74.5			
整形	35.5	36.9	40	28	37	42	23	33	35	43	42	39	27	51	34	33	49	37.6			
脳外	38.0	36.0	36	36	28	30	31	35	28	34	31	29	26	35	36	28	32	31.3			
乳腺	19.5	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
心外	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	41.8	40.5	27	35	44	38	44	47	55	39	37	33	41	40	42	39	59	42.8			
皮膚	0.3	0.8	0	2	0	0	0	1	0	2	0	1	0	1	0	1	1	0.6			
眼科	31.9	33.9	35	27	38	37	10	32	29	41	26	46	25	35	35	24	39	31.6			
放射	0.2	0.3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.3			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	28.5	26.0	18	15	13	14	7	11	23	18	14	13	12	8	11	13	16	13.3			
産婦	51.0	51.8	57	54	50	48	36	41	40	47	53	46	41	56	29	40	64	45.1			
救急	0.8	2.3	4.0	1.0	0.0	0	4	1	0	0	1	2	1	1	3	0	0	1.1			
歯科	7.7	7.5	8	11	6	12	3	10	11	11	11	13	7	10	14	7	12	10.1			
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リ膠	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
合計	518.7	492.9	475	471	462	454	346	432	473	473	436	477	412	509	418	436	529	449.6			

③ 平均在院日数・病棟別稼働率

● 実際の平均在院日数 (単純計算)

(単位：日)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	19.4	18.4	15.4	19.2	21.9	17.5	24.0	23.0	14.6	15.2	19.4	23.2	23.2	22.9	23.7	19.7	23.6	20.5			
消内	8.5	9.1	9.3	8.0	7.3	13.5	11.4	11.6	7.8	9.1	11.1	9.0	9.0	6.3	7.9	7.9	7.4	9.0			
代内	6.6	14.5	22.7	11.5	15.0	13.7	10.4	9.2	6.3	8.5	11.5	8.4	10.5	12.1	12.9	10.3	11.5	10.2			
呼内	15.5	18.1	19.0	21.4	15.6	10.4	12.5	8.1	7.2	11.0	16.3	14.2	14.9	11.3	12.9	11.2	17.6	12.2			
循内	19.9	21.6	21.3	22.9	19.6	22.9	28.5	25.7	17.9	25.2	28.0	18.7	19.9	22.8	25.0	23.0	24.6	23.3			
外科	17.1	15.9	19.8	17.6	15.1	18.0	21.8	18.3	23.8	25.2	19.0	18.6	21.0	23.6	27.0	20.1	18.6	21.2			
整形	28.2	28.9	32.0	43.6	30.7	30.2	31.3	28.7	23.5	25.5	29.6	28.7	36.2	26.2	39.1	29.6	25.8	29.1			
脳外	20.0	19.8	24.2	18.6	21.4	14.3	14.8	12.5	16.0	16.4	16.8	20.3	20.0	17.2	19.8	20.8	19.9	17.3			
乳腺	16.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
心外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
泌尿	6.6	7.1	7.8	7.9	5.7	5.2	4.3	8.0	3.8	6.3	6.4	6.3	4.9	5.5	5.2	5.9	4.7	5.5			
皮膚	20.0	28.1	6.0	14.0	-	46.0	-	56.0	-	13.3	-	58.0	-	37.3	138.0	58.0	58.0	57.5			
眼科	3.1	2.9	2.9	3.0	3.2	2.5	3.5	3.3	3.2	2.3	2.5	2.9	2.4	3.0	2.7	2.4	2.9	2.8			
放射	20.0	40.6	2.0	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	2.0	-	-	-	-	19.2			
耳鼻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
麻酔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
小児	3.9	3.9	4.2	5.1	4.1	4.5	3.5	4.9	3.7	5.6	3.5	7.3	5.1	4.0	7.3	7.4	7.3	5.4			
産婦	14.3	13.0	13.5	14.4	13.1	13.0	13.6	16.6	17.3	16.2	18.9	20.8	22.1	13.6	9.2	14.0	13.5	15.7			
救急	1.3	1.9	1.4	1.3	1.0	-	1.1	0.5	-	-	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	-	-	1.2			
歯科	11.6	7.7	8.2	6.7	10.8	7.4	21.7	10.8	13.9	10.6	6.9	9.7	12.5	10.4	6.6	14.0	10.2	10.2			
リハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
リウマチ膠原病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計	15.2	15.2	16.7	16.9	15.3	15.5	17.9	16.2	14.2	15.7	16.8	16.4	17.5	16.2	18.4	16.5	15.4	16.3			

● 施設基準上の平均在院日数

(単位：日)

	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
単月	14.0	14.7	16.2	16.1	14.3	14.2	15.1	14.3	12.9	15.3	15.9	15.6	17.4	15.7	17.4	15.5	15.4	15.4			
直近3か月			15.7	15.8	15.5	15.2	15.0	14.5	14.0	14.2	14.7	15.6	16.3	16.2	16.8	16.2	16.1				

※ 健康保険適用のみ 通知別表 2 に該当する患者を除く

● 稼働率

(単位：%)

診療科	病棟数	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
3階西	54	84.4	75.8	82.3	80.8	70.7	76.0	79.6	71.7	66.4	81.5	75.7	80.2	82.7	85.6	85.5	86.4	87.7	79.9			
3階東	40	74.9	68.1	72.2	77.8	63.1	68.2	56.3	75.0	65.2	72.2	74.6	79.9	73.5	74.2	75.6	76.3	83.1	72.8			
4階西	50	87.4	82.2	90.0	85.2	80.8	81.1	86.8	85.3	81.5	89.5	88.3	91.4	87.6	93.1	97.9	93.1	96.3	89.4			
4階東	50	86.5	79.9	95.2	91.2	75.7	80.6	71.5	79.3	81.2	86.3	79.9	86.1	91.3	93.7	94.6	95.4	95.4	86.2			
5階西	50	85.8	82.2	90.5	86.0	73.9	39.7	15.4	51.1	50.1	62.6	57.4	62.8	62.5	56.4	64.5	68.1	63.1	54.4			
5階東	50	99.6	99.9	99.9	99.9	99.9	99.6	99.7	100.0	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0	99.7	99.5	99.8	99.8	99.8			
HCU	6	78.2	79.1	83.3	73.6	70.4	61.7	67.7	73.9	81.7	72.0	63.3	88.7	72.2	86.0	85.5	82.1	85.5	76.8			
全体	300	86.6	81.7	88.7	86.8	77.6	74.2	68.8	77.0	74.4	82.1	79.1	83.6	83.0	84.2	86.6	86.8	87.7	80.6			

## ● 紹介率

(単位：%)

項目	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	1,394	1,296	1,117	1,016	1,045	918	724	1,132	1,211	1,072	1,157	1,310	1,304	1,084	1,007	974	1,256	1,095.8			
紹介	353	376	346	320	345	287	235	352	420	338	396	451	368	345	333	335	468	360.7			
紹介率	25.3	29.0	31.0	31.5	33.0	31.3	32.5	31.1	34.7	31.5	34.2	34.4	28.2	31.8	33.1	34.4	37.3	32.9			

## ● 逆紹介率

(単位：%)

項目	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	1,394	1,296	1,117	1,016	1,045	918	724	1,132	1,211	1,072	1,157	1,310	1,304	1,084	1,007	974	1,256	1,095.8			
提供書	641	610	579	551	587	527	419	600	601	535	548	580	576	527	470	528	659	547.5			
逆紹介率	46.0	47.1	51.8	54.2	56.2	57.4	57.9	53.0	49.6	49.9	47.4	44.3	44.2	48.6	46.7	54.2	52.5	50.0			

## ● 初診算定患者数（救急、時間外を除く）

(単位：人)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	152	140	127	116	121	199	86	106	155	176	149	177	235	233	155	125	139	161.3			
消内	27	26	22	21	17	13	13	27	39	28	32	28	28	29	30	25	31	26.9			
代内	3	8	5	3	9	4	6	8	10	7	7	5	11	8	5	6	10	7.3			
呼内	12	10	7	13	5	5	3	22	21	12	16	20	20	21	13	20	23	16.3			
循内	58	54	54	48	55	32	41	56	40	44	49	58	54	49	41	38	59	46.8			
外科	33	34	32	19	38	21	17	33	42	24	38	36	30	33	25	31	29	29.9			
整形	147	131	106	80	83	68	83	127	148	117	127	128	134	95	98	105	136	113.8			
脳外	62	52	53	52	57	36	45	44	53	37	65	64	71	43	60	59	64	53.4			
乳腺	21	9	6	2	7	6	4	9	5	6	10	9	9	8	3	3	10	6.8			
心外	5	5	6	2	2	1	2	4	3	6	10	3	3	2	7	1	8	4.2			
泌尿	54	53	58	51	55	31	33	51	55	53	54	54	52	55	54	50	69	50.9			
皮膚	66	70	50	49	56	40	47	74	51	75	76	52	51	43	60	38	59	55.5			
眼科	74	70	75	58	48	41	35	79	25	30	29	45	40	24	36	17	49	37.5			
放射	47	52	41	35	50	36	20	44	69	44	54	72	48	39	38	57	54	47.9			
耳鼻	43	39	27	30	30	31	23	32	29	26	37	43	20	23	31	33	29	29.8			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	376	306	255	246	219	182	105	214	239	213	192	261	305	199	161	161	232	205.3			
産婦	74	76	62	69	49	52	58	63	68	43	74	94	60	64	65	72	83	66.3			
救急	45	48	36	39	33	20	21	32	39	33	30	45	33	25	24	27	47	31.3			
歯科	97	113	94	83	111	95	72	101	113	92	106	112	97	88	98	100	120	99.5			
リハ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リ膠	0	0	0	0	0	5	10	6	7	6	2	4	3	3	3	6	5	5.0			
合計	1,394	1,296	1,117	1,016	1,045	918	724	1,132	1,211	1,072	1,157	1,310	1,304	1,084	1,007	974	1,256	1,095.8			

## ● 紹介患者

(単位：人)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	23	18	11	22	16	39	21	20	35	32	30	25	29	26	13	14	19	25.3			
消内	22	18	16	15	12	10	10	19	26	22	21	21	15	21	19	12	21	18.1			
代内	2	7	4	2	5	3	5	7	6	5	5	4	8	7	4	5	10	5.8			
呼内	8	7	4	10	4	3	2	5	12	5	8	17	11	15	7	7	11	8.6			
循内	39	30	37	32	32	14	24	37	23	28	22	36	34	33	29	22	33	27.9			
外科	27	25	24	15	29	16	10	21	26	17	29	26	21	26	20	24	25	21.8			
整形	44	38	38	24	20	20	26	36	43	35	40	38	37	37	30	35	44	35.1			
脳外	24	17	24	18	17	12	9	16	21	11	19	23	26	16	18	21	26	18.2			
乳腺	6	1	0	1	2	1	3	2	2	2	2	2	1	3	1	2	3	2.0			
心外	4	4	5	2	1	1	2	3	3	5	8	2	2	2	7	1	7	3.6			
泌尿	25	26	31	27	29	13	10	20	30	24	24	33	25	26	27	23	32	23.9			
皮膚	6	8	6	6	6	6	5	6	5	8	7	3	5	6	6	5	11	6.1			
眼科	27	26	28	20	23	16	7	28	14	19	26	38	26	17	30	15	44	23.3			
放射	42	47	34	31	48	30	17	40	60	35	43	61	38	35	34	52	50	41.3			
耳鼻	8	10	5	9	8	12	6	8	5	5	8	16	5	4	6	5	5	7.1			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	14	12	5	8	13	12	10	8	13	12	17	6	8	9	7	7	13	10.2			
産婦	22	21	17	19	19	16	20	14	17	14	19	30	20	10	14	22	28	18.7			
救急	6	8	7	9	6	5	7	4	6	4	5	10	6	3	6	5	10	5.9			
歯科	39	56	49	50	55	53	32	54	66	49	61	56	48	46	52	52	71	53.3			
リハ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リ膠	0	0	0	0	0	5	9	4	7	6	2	4	3	3	3	6	5	4.8			
合計	388	376	346	320	345	287	235	352	420	338	396	451	368	345	333	335	468	360.7			

## ⑤ 救急搬送患者数

### ● 救急車受入件数

(単位：件)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	38.9	29.3	49	20	28	42	37	29	47	65	40	41	36	32	44	36	51	41.7			
消内	13.0	14.0	14	14	16	7	16	12	9	11	12	10	10	13	16	10	8	11.2			
代内	0.0	6.3	11	7	3	3	5	5	6	9	6	8	10	11	9	2	3	6.4			
呼内	1.0	1.5	2	0	2	0	0	0	1	1	2	3	2	7	1	0	2	1.6			
循内	31.1	30.8	27	18	35	24	34	20	23	18	14	19	18	16	21	16	25	20.7			
外科	15.2	10.3	12	9	15	10	13	8	11	14	10	12	17	13	17	13	12	12.5			
整形	28.3	27.0	35	25	31	20	22	25	35	28	15	27	25	32	34	36	29	27.3			
脳外	26.3	22.4	22	21	22	9	22	19	22	26	25	19	25	19	24	21	25	21.3			
乳腺	3.3	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
心外	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	5.9	5.8	3	4	5	5	4	5	6	5	1	6	6	1	3	5	15	5.2			
皮膚	0.2	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
眼科	0.1	0.0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1			
放射	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
耳鼻	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	8.1	6.7	8	4	4	6	3	4	5	7	8	8	5	9	6	5	3	5.8			
産婦	1.7	0.8	1	1	1	2	0	0	2	4	1	0	4	0	2	1	2	1.5			
救急	33.3	35.2	44	29	33	27	23	18	29	38	21	35	27	29	29	23	26	27.1			
歯科	0.2	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.1			
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リ膠	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
合計	206.6	190.3	228	152	195	156	179	145	196	226	155	188	186	182	206	168	201	182.3			

### ● 救急別受入件数

(単位：件)

搬送元	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
橋本	120.4	113.9	127	91	115	94	116	95	129	132	90	123	107	98	126	99	126	111.3			
伊都	51.0	45.2	59	42	49	31	48	26	39	54	35	42	46	43	47	41	42	41.2			
高野	9.9	6.3	6	2	6	5	4	10	6	14	13	6	3	5	10	5	1	6.8			
那賀	1.5	1.3	1	2	3	0	1	1	2	2	1	1	7	1	1	1	0	1.5			
医大	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0.2			
近大	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
長野	0.2	0.4	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0.5			
堺	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
五条	16.8	18.0	31	6	14	18	3	11	13	16	15	15	17	29	12	19	25	16.1			
野迫川	0.8	0.8	1	2	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.5			
その他	4.8	2.5	3	5	4	6	3	1	5	5	0	0	6	4	10	2	2	3.7			
Dヘリ	1.2	1.9	0	2	3	2	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	1	0.7			
合計	206.6	190.3	228	152	195	156	179	145	196	226	155	188	186	182	206	168	201	182.3			

### ● 橋本市消防収容率

(単位：%)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
発生件数	189.5	181.3	196	143	177	151	172	157	207	209	159	182	169	148	195	164	190	175.3			
収容件数	120.4	113.9	127	91	115	94	116	95	129	132	90	123	107	98	126	99	126	111.3			
収容率	63.5	62.8	64.8	63.6	65.0	62.3	67.4	60.5	62.3	63.2	56.6	67.6	63.3	66.2	64.6	60.4	66.3	63.5			

### ● 伊都消防収容率

(単位：%)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
発生件数	152.9	145.9	166	117	115	102	125	107	126	162	105	140	124	144	130	127	128	126.7			
収容件数	51.0	45.2	59	42	49	31	48	26	39	54	35	42	46	43	47	41	42	41.2			
収容率	33.4	31.0	35.5	35.9	42.6	30.4	38.4	24.3	31.0	33.3	33.3	30.0	37.1	29.9	36.2	32.3	32.8	32.5			

## ● 橋本市消防本部搬送先状況

(単位: 件)

搬送先	2019年度 平均	2020年			2020年									2021年			2020年度 平均
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
橋本市民病院	113.9	127	91	115	94	116	95	129	132	90	123	107	98	126	99	126	111.3
紀和病院	24.3	29	21	27	20	22	24	33	36	26	25	19	18	33	33	33	26.8
山本病院	10.9	9	4	9	3	8	15	13	15	22	9	10	10	17	13	5	11.7
紀北分院	6.8	6	11	5	9	1	3	3	4	3	2	4	0	0	1	3	2.8
和歌山医大	4.4	6	4	7	6	4	6	6	2	4	4	8	5	7	4	4	5.0
日赤和歌山	2.2	1	4	1	2	3	1	2	2	2	5	2	1	2	3	5	2.5
和歌山県他	6.7	7	2	6	4	6	3	6	8	2	4	2	5	1	4	2	3.9
近大病院	7.3	5	3	5	6	7	8	10	3	7	8	10	7	5	5	6	6.8
大阪府他	3.8	4	0	2	6	4	0	5	6	2	2	6	3	1	1	4	3.3
奈良県	1.2	2	3	0	1	1	2	0	1	1	0	1	1	3	1	2	1.2
合計	181.3	196	143	177	151	172	157	207	209	159	182	169	148	195	164	190	175.3

## ● 橋本消防本部搬送先状況

(単位: 件)

診療科・区分	2019年度 平均	2020年			2020年									2021年			2020年度 平均	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	発生	63.3	78	56	50	58	60	68	88	106	85	68	65	54	87	63	81	73.6
	収容	27.8	35	22	26	31	33	34	40	55	41	34	31	32	44	27	46	37.3
外科	発生	9.6	8	6	9	7	11	6	11	12	8	10	8	9	16	13	7	9.8
	収容	4.1	5	2	6	5	8	2	6	10	5	7	7	5	11	7	5	6.5
小児	発生	7.0	7	3	4	6	4	3	4	5	7	6	6	4	3	4	4	4.7
	収容	5.1	3	3	3	6	2	2	2	4	4	6	5	4	3	4	3	3.8
産婦	発生	2.1	1	1	0	2	1	5	2	4	2	2	4	1	3	3	2	2.6
	収容	0.3	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2	0	2	1	1	0.8
眼科	発生	0.4	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.1
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
整形	発生	18.3	21	9	18	15	21	16	22	15	14	17	11	15	14	19	26	17.1
	収容	8.3	11	3	8	5	9	9	14	8	6	8	5	9	9	12	11	8.8
耳鼻	発生	0.7	2	0	1	0	1	0	2	0	1	2	3	0	0	0	1	0.8
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外	発生	8.8	8	6	12	7	11	8	11	8	13	4	14	5	6	10	4	8.4
	収容	4.8	5	4	5	3	7	3	6	2	8	2	12	1	4	8	2	4.8
泌尿	発生	4.1	4	3	4	4	6	3	4	5	1	6	3	1	3	6	7	4.1
	収容	3.7	4	3	4	2	5	3	4	5	1	6	3	0	3	5	7	3.7
循内	発生	17.0	9	11	23	15	19	13	10	9	7	8	10	11	16	13	10	11.8
	収容	14.1	7	10	19	11	19	10	8	7	5	4	4	5	12	7	8	8.3
心外	発生	1.3	0	0	3	3	0	1	3	1	1	2	4	0	2	0	4	1.8
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急	発生	48.2	57	47	48	34	38	34	51	43	21	59	45	48	44	32	48	41.4
	収容	45.3	56	44	44	30	33	31	49	40	20	56	38	42	38	28	43	37.3
他	発生	1.0	0	1	4	0	0	0	1	2	0	1	1	3	2	0	0.9	
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
合計	発生	181.6	196	143	177	151	172	157	209	210	161	185	174	149	197	165	194	177.0
	収容	113.5	127	91	115	94	116	95	129	132	90	123	107	98	126	99	126	111.3

## ● 伊都消防本部搬送先状況

(単位: 件)

搬送先	2019年度 平均	2020年			2020年									2021年			2020年度 平均
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
橋本市民病院	45.2	59	42	49	31	48	26	39	54	35	42	46	43	47	41	42	41.2
紀和病院	32.3	33	21	18	22	36	24	27	34	25	37	30	49	42	38	34	33.2
山本病院	8.7	10	5	6	7	15	6	8	17	4	10	12	14	13	11	7	10.3
紀北分院	36.3	39	27	26	24	8	36	23	23	21	25	11	0	0	2	13	15.5
和歌山医大	2.8	4	4	4	4	4	4	2	4	1	2	2	2	3	3	4	2.9
日赤和歌山	1.4	3	0	0	1	0	0	3	4	0	2	4	3	4	4	1	2.2
和歌山県他	17.7	16	16	11	12	11	9	21	23	19	19	18	29	21	27	25	19.5
近大病院	1.0	1	1	1	1	1	1	2	1	0	1	1	1	0	1	0	0.8
大阪府他	0.3	1	1	0	0	2	1	0	2	0	1	0	3	0	0	2	0.9
奈良県	0.3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0.2
合計	145.9	166	117	115	102	125	107	126	162	105	140	124	144	130	127	128	126.7

⑦ 医業収益

● 科別収益（入院＋外来）

※室料・文書等自費を含む

（単位：千円）

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	49,872	42,850	50,365	45,797	47,531	43,306	37,990	43,025	49,520	48,341	42,142	57,650	54,704	51,873	53,389	53,737	58,540	49,518			
消内	32,044	29,583	24,394	26,776	22,163	23,415	24,159	29,315	30,058	31,718	31,530	26,229	26,417	26,648	19,849	26,509	28,527	27,031			
代内	6,770	13,575	17,332	12,811	10,721	10,329	11,697	12,347	10,784	12,700	10,964	13,146	13,516	14,794	14,200	10,417	12,252	12,262			
呼内	21,105	20,284	20,702	20,324	17,192	16,155	13,174	16,054	15,039	19,967	21,248	23,481	20,302	23,865	19,610	21,377	21,194	19,289			
循内	92,679	96,737	87,076	89,090	101,967	96,678	78,892	79,137	72,345	65,386	60,248	81,359	60,283	69,924	78,328	74,529	74,011	74,260			
外科	84,946	76,874	74,960	64,030	72,302	67,994	79,785	82,424	105,542	102,820	96,935	87,179	82,357	100,833	91,100	80,004	96,432	89,451			
整形	76,211	77,114	96,713	80,411	79,545	72,857	57,336	67,989	78,936	83,600	75,348	88,614	79,876	97,814	92,330	76,593	92,191	80,290			
脳外	53,444	50,555	57,749	48,884	50,064	32,284	38,100	40,418	44,416	40,561	48,289	52,034	38,061	38,870	44,523	46,649	44,344	42,379			
乳腺	24,949	4,450	4,167	3,236	2,996	3,697	2,677	4,836	2,752	3,422	4,244	3,713	2,770	3,209	2,854	1,793	4,250	3,351			
心外	553	641	480	589	814	520	391	456	744	633	954	677	760	953	919	721	1,128	738			
泌尿	38,334	40,424	39,654	35,030	37,986	41,801	31,823	43,071	34,859	36,074	36,320	36,571	34,130	33,586	37,830	37,072	44,963	37,342			
皮膚	2,161	2,195	1,858	2,018	1,160	1,810	2,032	2,197	1,423	2,384	2,560	2,128	1,401	3,085	3,340	2,075	2,484	2,243			
眼科	15,446	15,620	15,762	12,721	18,231	15,431	6,868	17,173	14,019	16,370	12,596	17,875	12,044	14,594	14,522	10,114	18,661	14,189			
放射	4,578	4,184	3,721	5,055	6,079	5,336	3,122	4,744	4,718	3,637	3,663	5,425	3,318	4,684	3,574	3,714	4,873	4,234			
耳鼻	2,114	1,860	1,722	1,508	1,731	1,511	1,154	1,768	1,757	1,606	1,810	2,165	1,710	1,337	1,586	1,547	1,699	1,637			
麻酔	5	16	15	11	11	21	17	11	10	11	6	15	5	9	5	13	5	11			
小児	17,001	14,214	13,304	8,050	9,744	5,909	6,601	5,364	11,595	8,839	9,245	8,647	10,190	8,608	8,192	11,022	10,328	8,712			
産婦	39,191	40,017	44,018	41,192	38,756	36,118	31,194	39,496	38,268	43,992	41,920	48,247	41,406	37,370	22,040	37,110	50,564	38,977			
救急	1,822	2,809	3,606	2,176	2,013	1,152	1,840	1,562	2,396	1,929	1,531	2,270	1,878	1,717	2,065	1,460	1,754	1,796			
歯科	8,163	6,698	7,096	6,486	6,399	8,833	6,580	9,041	9,650	10,044	7,907	13,066	8,835	8,426	9,578	9,239	11,273	9,373			
リハ	-	12	31	21	36	25	11	5	28	1	1	8	16	15	8	11	21	13			
リ膠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	571,390	540,699	564,695	506,196	527,406	485,330	435,860	501,046	529,424	534,406	510,099	571,261	494,768	542,965	520,726	506,349	580,379	517,718			

## ● 科別収益（入院）

※室料・文書等自費を含む

（単位：千円）

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	41,261	35,784	42,049	39,746	41,133	36,619	32,707	37,230	41,862	40,764	35,110	49,697	47,496	43,824	47,108	47,190	51,695	42,609			
消内	22,607	19,925	15,785	19,685	14,866	17,204	18,764	21,475	19,590	20,045	20,205	20,060	19,984	20,413	11,970	16,719	19,079	18,792			
代内	74	5,585	8,495	4,965	2,764	1,750	4,109	3,754	1,707	4,177	2,712	3,406	5,544	5,545	4,884	3,040	2,612	3,603			
呼内	7,342	9,436	11,444	9,808	7,480	5,534	5,114	3,995	4,403	7,750	8,464	9,020	7,622	9,607	8,202	7,750	7,599	7,088			
循内	79,610	83,949	74,082	77,715	89,528	85,812	69,153	67,604	60,840	56,084	48,849	69,516	50,237	59,377	66,815	63,637	61,005	63,244			
外科	68,017	59,500	55,045	47,870	55,018	53,854	63,625	64,402	85,676	88,224	81,575	68,467	67,667	86,263	76,294	64,728	79,347	73,344			
整形	66,125	66,988	86,520	71,794	69,524	64,994	50,206	59,259	68,604	74,449	65,671	79,443	70,485	88,983	83,176	67,966	81,302	71,211			
脳外	46,823	44,101	51,618	42,401	43,221	26,647	33,471	34,269	38,811	34,851	42,550	45,915	32,397	33,245	39,268	40,478	38,108	36,667			
乳腺	15,935	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
心外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
泌尿	17,938	18,523	15,454	17,317	15,415	19,259	13,213	22,116	15,741	16,340	16,770	16,867	16,273	14,032	18,268	18,187	23,265	17,528			
皮膚	264	591	114	881	0	719	942	885	0	892	864	921	27	1,948	2,036	924	978	928			
眼科	10,368	10,577	10,944	8,426	13,313	10,616	3,744	11,704	10,077	12,255	8,356	13,051	8,028	10,281	10,374	6,704	13,810	9,917			
放射	147	423	83	1,024	893	824	0	0	0	0	38	1,192	53	0	0	0	0	176			
耳鼻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
小児	6,257	5,793	3,951	3,655	3,034	3,222	1,805	2,774	5,117	5,501	2,710	4,841	3,038	1,722	4,893	4,093	5,603	3,777			
産婦	32,968	32,677	36,413	33,583	32,141	28,837	25,576	32,794	31,161	38,109	35,378	40,438	34,639	29,432	14,719	30,115	42,406	31,967			
救急	129	462	660	132	75	0	465	72	0	0	69	338	69	83	251	0	0	112			
歯科	4,560	3,123	3,271	3,638	3,045	5,074	3,422	5,581	5,174	6,301	3,844	8,734	4,728	4,835	5,532	5,212	6,963	5,450			
リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
リ膠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	420,425	397,438	415,930	382,639	391,452	360,967	326,316	367,913	388,764	405,742	373,167	431,908	368,286	409,590	393,790	376,741	433,772	386,413			

⑦ 医業収益

● 科別収益 (外来)

※室料・文書等自費を含む

(単位：千円)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	8,611	7,067	8,316	6,051	6,397	6,686	5,282	5,795	7,657	7,577	7,032	7,953	7,209	8,049	6,281	6,547	6,845	6,910			
消内	9,437	9,658	8,609	7,091	7,297	6,210	5,394	7,841	10,468	11,672	11,324	6,168	6,433	6,235	7,880	9,791	9,448	8,239			
代内	6,696	7,990	8,836	7,846	7,957	8,579	7,588	8,593	9,077	8,523	8,252	9,740	7,972	9,249	9,316	7,377	9,640	8,659			
呼内	13,763	10,847	9,259	10,516	9,712	10,621	8,060	12,059	10,635	12,217	12,784	14,460	12,680	14,257	11,409	13,626	13,595	12,200			
循内	13,069	12,787	12,993	11,375	12,439	10,866	9,739	11,533	11,505	9,303	11,399	11,843	10,046	10,547	11,512	10,893	13,006	11,016			
外科	16,929	17,374	19,915	16,160	17,284	14,140	16,161	18,022	19,866	14,596	15,360	18,712	14,690	14,570	14,806	15,277	17,085	16,107			
整形	10,085	10,126	10,194	8,617	10,021	7,863	7,131	8,730	10,332	9,151	9,677	9,171	9,391	8,831	9,153	8,627	10,889	9,079			
脳外	6,621	6,454	6,131	6,484	6,843	5,638	4,629	6,150	5,606	5,710	5,739	6,118	5,664	5,625	5,256	6,172	6,236	5,712			
乳腺	9,014	4,450	4,167	3,236	2,996	3,697	2,677	4,836	2,752	3,422	4,244	3,713	2,770	3,209	2,854	1,793	4,250	3,351			
心外	553	641	480	589	814	520	391	456	744	633	954	677	760	953	919	721	1,128	738			
泌尿	20,396	21,901	24,200	17,714	22,570	22,542	18,610	20,955	19,118	19,734	19,550	19,704	17,856	19,555	19,561	18,885	21,698	19,814			
皮膚	1,897	1,603	1,744	1,137	1,160	1,091	1,090	1,312	1,423	1,492	1,696	1,206	1,374	1,137	1,304	1,151	1,506	1,315			
眼科	5,078	5,043	4,818	4,295	4,917	4,815	3,124	5,468	3,942	4,115	4,240	4,824	4,016	4,313	4,149	3,411	4,851	4,272			
放射	4,431	3,761	3,638	4,031	5,186	4,512	3,122	4,744	4,718	3,637	3,625	4,233	3,265	4,684	3,574	3,714	4,873	4,058			
耳鼻	2,114	1,860	1,722	1,508	1,731	1,511	1,154	1,768	1,757	1,606	1,810	2,165	1,710	1,337	1,586	1,547	1,699	1,637			
麻酔	5	16	15	11	11	21	17	11	10	11	6	15	5	9	5	13	5	11			
小児	10,745	8,421	9,352	4,395	6,710	2,687	4,796	2,590	6,477	3,337	6,535	3,806	7,152	6,887	3,299	6,929	4,725	4,935			
産婦	6,223	7,339	7,605	7,609	6,616	7,281	5,618	6,702	7,107	5,883	6,542	7,809	6,767	7,937	7,321	6,995	8,158	7,010			
救急	1,693	2,347	2,946	2,045	1,938	1,152	1,375	1,489	2,396	1,929	1,462	1,932	1,808	1,634	1,814	1,460	1,754	1,684			
歯科	3,604	3,575	3,825	2,848	3,354	3,759	3,158	3,460	4,476	3,743	4,063	4,332	4,107	3,591	4,046	4,026	4,309	3,923			
リハ	0	12	31	21	36	25	11	5	28	1	1	8	16	15	8	11	21	13			
リ膠	0	0	0	0	0	145	417	613	567	371	638	762	791	752	883	642	886	2			
合計	150,964	143,261	148,766	123,556	135,954	124,363	109,544	133,133	140,660	128,664	136,932	139,354	126,482	133,376	126,936	129,608	146,607	131,305			
診療日数	20.3	20.0	19	18	21	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	20.3			

## ● 診療単価 (入院)

24 時患者基準

(単位: 円)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	37,957	39,129	40,480	38,417	37,557	40,372	39,712	40,544	45,268	41,290	38,676	41,503	39,982	39,748	39,903	40,309	39,291	40,502			
消内	52,182	47,893	45,978	47,173	47,635	45,272	50,216	49,151	48,862	51,954	46,579	46,088	49,927	52,421	44,441	48,054	49,306	48,590			
代内	38,827	35,689	33,957	41,161	36,852	36,454	39,031	41,660	40,830	44,550	39,282	37,816	41,853	42,711	41,297	41,037	41,067	40,932			
呼内	37,606	37,875	40,509	40,184	38,735	38,874	40,096	43,814	45,468	45,331	42,066	44,734	38,166	50,263	41,849	41,057	42,039	42,805			
循内	56,240	56,687	50,605	56,677	61,262	57,541	44,899	49,660	64,367	56,276	58,373	66,593	55,610	57,023	56,316	54,176	48,851	55,136			
外科	56,251	54,603	49,516	47,613	52,318	55,300	57,094	54,236	51,638	49,241	50,483	50,806	47,709	52,254	40,886	45,993	56,413	50,471			
整形	48,420	48,339	47,175	44,170	50,424	45,854	45,137	47,236	51,407	52,108	48,752	52,674	44,169	51,680	45,457	49,418	51,667	48,838			
脳外	59,015	60,541	59,426	66,813	67,299	72,377	67,857	80,125	78,408	64,716	74,330	75,422	61,288	53,681	56,027	71,568	59,064	67,029			
乳腺	52,119	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
心外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
泌尿	62,743	62,861	64,442	59,112	61,929	91,898	74,162	56,220	76,052	65,872	72,626	75,798	76,138	66,261	79,892	77,385	77,278	73,030			
皮膚	35,494	32,903	37,873	41,712	-	31,213	30,376	31,599	-	44,582	28,805	31,776	27,198	31,576	27,350	31,487	33,720	31,291			
眼科	105,004	107,282	106,918	104,409	106,422	112,104	105,390	106,487	106,046	119,901	117,259	104,768	118,790	107,074	110,597	116,837	111,075	110,987			
放射	43,263	35,763	83,090	35,299	28,812	54,918	-	-	-	-	38,250	38,444	52,370	-	-	-	-	43,878			
耳鼻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
麻酔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
小児	57,811	57,905	55,504	53,484	57,980	53,867	69,001	50,090	60,694	56,478	62,216	47,884	55,284	56,708	62,304	51,645	49,844	55,055			
産婦	43,900	47,085	44,173	44,000	48,525	44,757	45,784	47,542	43,796	42,472	40,481	44,306	40,484	43,380	47,154	45,491	49,319	44,289			
救急	63,382	64,008	70,952	65,855	37,255	-	89,066	63,660	-	-	60,100	52,860	60,460	70,510	73,673	-	-	68,791			
歯科	48,412	53,331	44,244	48,138	44,412	50,857	42,086	43,400	37,899	50,576	45,700	73,655	44,697	54,028	52,394	47,690	51,152	49,618			
リハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
リ膠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計	51,606	51,621	48,869	49,201	52,912	52,593	49,460	51,320	54,602	51,591	51,053	54,216	48,078	51,131	47,771	50,439	51,747	51,147			
退院含	49,118	51,429	46,208	46,311	49,729	49,243	46,921	48,309	51,109	48,583	48,107	51,081	45,566	48,010	45,414	47,591	48,594	49,243			

## ● 診療単価 (外来)

(単位: 円)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	11,370	10,703	11,066	10,318	11,244	10,568	12,948	12,735	11,672	11,745	11,009	11,785	9,926	11,774	11,060	12,269	11,032	11,460			
消内	19,877	19,144	18,484	16,023	15,993	14,569	16,724	16,756	19,935	26,886	21,535	12,934	14,188	13,046	16,412	21,837	18,069	17,785			
代内	14,157	13,972	14,163	14,175	14,197	14,746	14,220	15,057	14,889	15,166	14,851	14,877	15,159	14,851	14,339	14,686	14,360	14,759			
呼内	25,186	21,237	18,487	22,097	19,473	22,704	18,036	24,700	20,473	25,127	23,880	27,315	24,692	26,895	21,843	27,508	24,396	24,032			
循内	12,460	12,457	12,555	12,470	12,892	11,014	12,068	11,926	11,413	10,332	12,661	11,622	11,422	12,227	13,150	13,493	12,780	11,985			
外科	27,164	27,494	30,389	29,198	27,818	26,949	33,860	30,873	28,641	25,886	26,098	28,532	28,488	25,398	26,647	27,321	26,655	27,883			
整形	5,939	5,791	5,745	5,305	5,708	5,006	5,614	5,876	6,214	5,753	5,973	5,529	5,861	5,314	5,766	5,986	5,794	5,729			
脳外	7,944	8,155	7,893	9,275	8,680	7,502	7,860	7,975	7,086	7,475	7,529	7,314	7,565	7,260	7,279	8,523	7,305	7,542			
乳腺	37,878	39,136	50,699	36,905	29,569	40,057	33,037	40,616	32,355	43,797	35,626	32,766	29,968	26,182	38,483	24,218	31,358	33,891			
心外	9,123	11,479	7,994	12,015	12,901	11,064	10,560	9,291	12,397	13,734	13,061	12,514	14,332	17,988	16,039	16,376	17,611	13,886			
泌尿	16,269	17,601	18,441	17,759	17,677	20,482	18,231	16,873	16,567	17,636	16,996	16,264	16,519	17,174	16,134	17,606	16,223	17,180			
皮膚	3,691	3,262	3,740	2,894	2,764	2,874	3,103	2,932	3,028	3,109	3,602	2,827	3,301	2,838	3,337	3,045	3,241	3,109			
眼科	5,426	5,492	5,390	5,618	5,443	5,412	5,261	5,799	5,663	5,443	5,535	5,733	5,921	5,566	5,540	5,388	5,574	5,578			
放射	22,704	22,280	34,074	29,238	21,483	19,743	21,788	18,258	22,140	23,587	24,301	22,882	19,551	16,481	17,477	17,837	16,972	19,609			
耳鼻	4,752	4,586	4,586	4,434	4,534	4,316	4,827	4,714	4,626	4,797	4,853	5,011	4,636	4,365	5,006	5,117	4,530	4,732			
麻酔	550	497	539	441	391	726	524	408	214	317	204	419	232	306	167	348	140	329			
小児	13,660	12,031	12,853	7,832	15,392	6,886	22,815	6,990	14,707	7,487	16,292	7,121	14,620	16,714	10,022	20,151	10,019	12,329			
産婦	7,158	8,456	8,653	9,922	8,099	10,455	8,534	9,427	8,618	9,029	8,536	9,683	10,065	10,696	10,375	9,273	8,973	9,461			
救急	11,675	13,723	13,690	14,743	14,281	14,216	15,582	11,724	15,240	14,373	15,943	15,837	15,750	16,223	19,864	16,526	14,051	15,302			
歯科	7,851	7,340	8,823	7,319	7,335	8,755	9,115	8,629	8,759	8,780	8,909	8,858	8,773	8,094	9,059	9,037	8,075	8,722			
リハ	-	3,740	3,434	5,148	2,490	4,916	2,805	1,084	9,497	1,470	740	4,240	5,240	3,240	8,240	5,740	4,140	4,153			
リ膠	-	-	-	-	-	14,476	13,438	11,917	11,127	8,239	12,261	14,302	13,525	14,145	14,200	9,728	12,299	12,326			
全体	12,362	11,971	12,366	11,905	11,976	11,830	12,774	12,337	12,285	12,204	12,554	11,946	11,996	12,187	12,047	13,161	11,912	12,251			

⑨ 行為別収益

● 行為別収益（入院）

(単位：千円)

項目	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	564	530	588	433	451	406	503	384	567	535	414	463	472	475	514	481	523	478			
指導	2,210	1,633	1,836	1,707	1,905	1,518	1,818	2,160	1,990	1,917	2,022	2,192	1,631	2,616	2,794	2,622	2,865	2,179			
在宅	701	706	854	524	329	671	614	739	417	485	554	688	521	737	412	608	664	592			
投薬	2,215	2,064	1,865	1,567	1,623	1,704	1,475	2,047	1,513	1,548	1,569	1,709	1,291	2,273	1,727	1,622	1,865	1,695			
注射	1,177	1,272	799	322	966	443	791	1,344	372	446	904	1,385	666	800	1,421	756	1,593	910			
処置	1,210	911	1,400	575	701	722	1,045	965	785	635	643	750	422	484	1,040	741	861	758			
手術	111,574	103,073	96,698	92,848	108,190	99,918	68,618	89,240	106,549	105,129	97,180	121,321	81,915	99,509	80,452	93,037	113,517	96,365			
検査	4,276	3,805	4,069	3,280	3,334	3,275	2,408	3,694	3,977	3,769	2,655	3,201	3,050	3,370	3,547	3,302	3,899	3,346			
画像	998	910	841	746	445	630	1,092	1,072	1,293	1,220	1,213	1,339	1,193	1,152	1,189	1,069	1,040	1,125			
他	18,205	17,633	18,843	16,989	18,129	15,088	14,892	17,017	15,951	17,605	16,241	18,191	16,273	17,813	16,803	14,793	17,382	16,504			
入院	75,054	74,214	77,944	70,343	70,144	68,759	70,676	74,868	73,756	74,558	69,295	78,200	72,503	76,623	83,262	71,884	77,071	74,288			
DPC	175,515	165,721	182,851	168,082	162,404	145,515	140,574	149,587	158,251	172,470	158,005	178,018	165,723	180,100	176,667	163,255	185,923	164,507			
食事	14,198	13,337	14,579	14,000	13,350	12,408	11,741	12,581	12,372	13,735	12,754	13,906	13,625	14,307	14,873	13,380	14,791	13,373			
計	407,896	385,810	403,166	371,415	381,970	351,056	316,247	355,697	377,794	394,054	363,448	421,363	359,284	400,257	384,701	367,548	421,993	376,120			
室料	10,071	9,087	9,516	8,798	7,796	6,716	7,284	8,520	8,777	8,105	7,444	7,400	6,410	7,022	6,647	6,493	8,247	7,422			
文書	150	135	172	119	120	125	122	125	99	128	139	168	102	110	130	99	142	124			
産科	1,824	1,809	2,283	1,752	1,038	2,500	2,035	2,801	1,434	2,633	1,516	2,228	1,669	1,579	1,623	1,950	2,698	2,055			
他	485	598	793	556	527	570	627	770	660	823	621	748	821	622	691	651	692	691			
計	12,530	11,628	12,764	11,224	9,481	9,911	10,068	12,215	10,970	11,688	9,719	10,545	9,002	9,333	9,090	9,193	11,779	10,293			
入院計	420,425	397,438	415,930	382,639	391,452	360,967	326,316	367,913	388,764	405,742	373,167	431,908	368,286	409,590	393,790	376,741	433,772	386,413			

● 行為別収益（外来）

(単位：千円)

診療科	2018年度 平均	2019年度 平均	2020年			2020年												2021年			2020年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	4,881	4,611	5,098	3,676	3,369	2,998	2,379	3,432	3,898	3,478	3,583	3,685	3,575	3,296	3,184	2,962	3,588	3,338			
再診	6,974	6,912	7,013	6,128	6,821	6,143	5,155	6,219	6,611	6,199	6,359	6,709	6,121	6,482	6,151	5,819	7,140	6,259			
指導	5,320	5,503	5,984	4,303	4,304	5,341	4,293	4,990	5,721	5,511	5,324	5,752	5,385	5,667	5,336	4,910	5,915	5,345			
在宅	12,299	11,588	11,736	8,335	11,417	8,447	10,644	8,192	11,378	8,297	11,213	9,170	11,836	12,704	9,241	11,999	8,746	10,156			
投薬	959	2,448	782	583	480	483	327	501	2,234	5,192	3,630	604	266	228	1,719	2,378	281	1,487			
注射	30,667	31,856	35,248	29,141	31,258	32,432	27,204	32,111	28,057	27,233	28,265	31,321	25,712	28,254	25,298	29,678	33,484	29,087			
処置	1,563	1,411	1,304	1,128	1,546	1,148	1,005	1,118	1,361	1,460	1,227	1,301	1,009	1,049	1,113	1,184	1,349	1,194			
手術	3,447	3,232	3,483	2,696	3,816	2,464	3,029	3,075	3,490	2,500	2,562	2,642	3,057	2,553	2,559	2,781	3,628	2,862			
検査	40,983	38,882	40,207	34,647	35,567	31,947	27,993	36,934	38,382	34,050	37,524	39,847	33,835	35,460	36,427	33,661	40,246	35,526			
画像	25,555	24,272	25,225	20,956	23,917	20,355	17,363	24,347	27,204	23,737	25,786	25,405	23,552	24,747	24,625	23,628	28,526	24,106			
他	9,725	8,902	9,229	8,860	10,221	9,159	7,397	9,226	8,999	8,214	8,187	8,780	7,794	9,167	8,217	7,559	9,791	8,541			
計	142,374	139,617	145,311	120,453	132,715	120,917	106,790	130,146	137,336	125,871	133,660	135,216	122,143	129,609	123,871	126,558	142,695	127,901			
文書	2,001	1,686	1,508	1,601	1,602	1,850	1,354	1,469	1,515	1,317	1,656	1,660	1,522	1,550	1,452	1,539	2,179	1,589			
他	2,167	1,958	1,947	1,502	1,636	1,596	1,400	1,518	1,809	1,476	1,616	2,477	2,817	2,217	1,612	1,511	1,732	1,815			
計	4,168	3,644	3,455	3,104	3,239	3,447	2,754	2,987	3,324	2,793	3,272	4,137	4,339	3,767	3,064	3,050	3,911	3,404			
外来計	146,541	143,261	148,766	123,556	135,954	124,363	109,544	133,133	140,660	128,664	136,932	139,354	126,482	133,376	126,936	129,608	146,607	131,305			

# Ⅲ 診療情報



## Ⅲ 診療情報（年次報告）

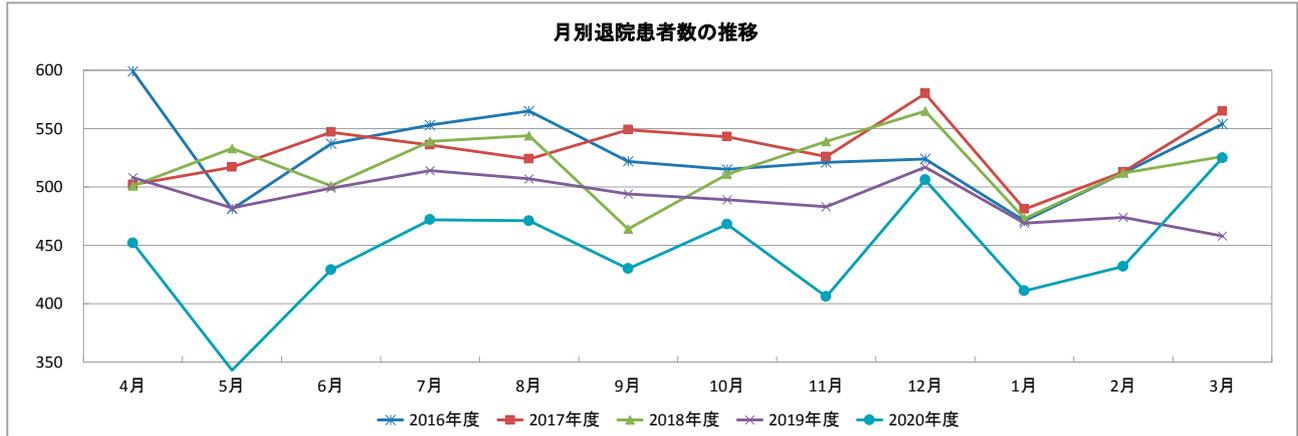
### 【分類及び集計方法】

- ① この病歴年報は 2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日までの間に退院した患者 5,345 名を対象として作成した
- ② 疾病分類は世界保健機関（WHO）により定められた「疾病および関連保健問題の国際統計分類第 10 回改正」に基づいて作成された厚生労働省大臣官房統計調査部編第 10 回改正「疾病・傷病および死因統計分類提要」ICD-10（2013 年度版）準拠
- ③ 退院患者情報はすべて、橋本市民病院 退院サマリシステム「Medi-Bank」より抽出した。
- ④ 同一患者がこの期間に数回退院した場合、各退院時の退院サマリからそれぞれ情報を抽出した。
- ⑤ 地域包括ケア病棟の患者については、主治医の診療科を主科として抽出した。

①月別退院患者数 (2020年度)

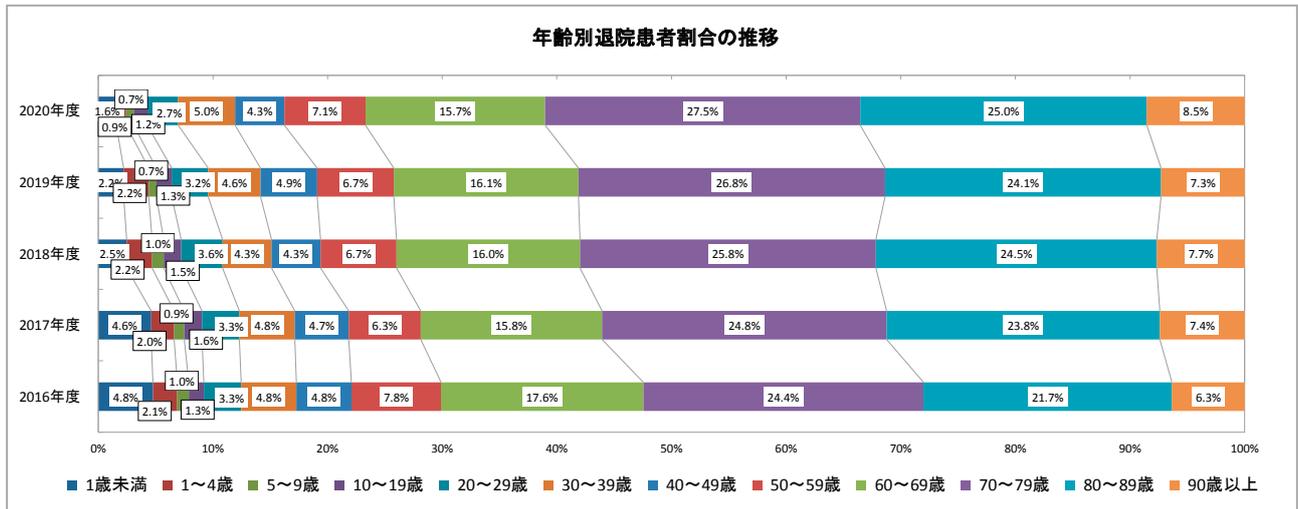
①- I : 性別 (月別)

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
男	236	169	227	240	232	207	233	212	256	221	239	269	2,741	-288	3,029	3,249	3,304	3,375
女	216	174	202	232	239	223	235	194	250	190	193	256	2,604	-261	2,865	2,959	3,079	2,979
合計	452	343	429	472	471	430	468	406	506	411	432	525	5,345	-863	6,208	6,383	6,354	6,500
前年度差異	-56	-139	-70	-42	-36	-64	-21	-77	-11	-58	-42	67	-549					
2019年度	508	482	499	514	507	494	489	483	517	469	474	458	5,894					
2018年度	501	533	501	539	544	464	511	539	565	473	512	526	6,208					
2017年度	502	517	547	536	524	549	543	526	580	481	513	565	6,383					
2016年度	599	481	537	553	565	522	515	521	524	471	512	554	6,354					



①- II : 年齢別

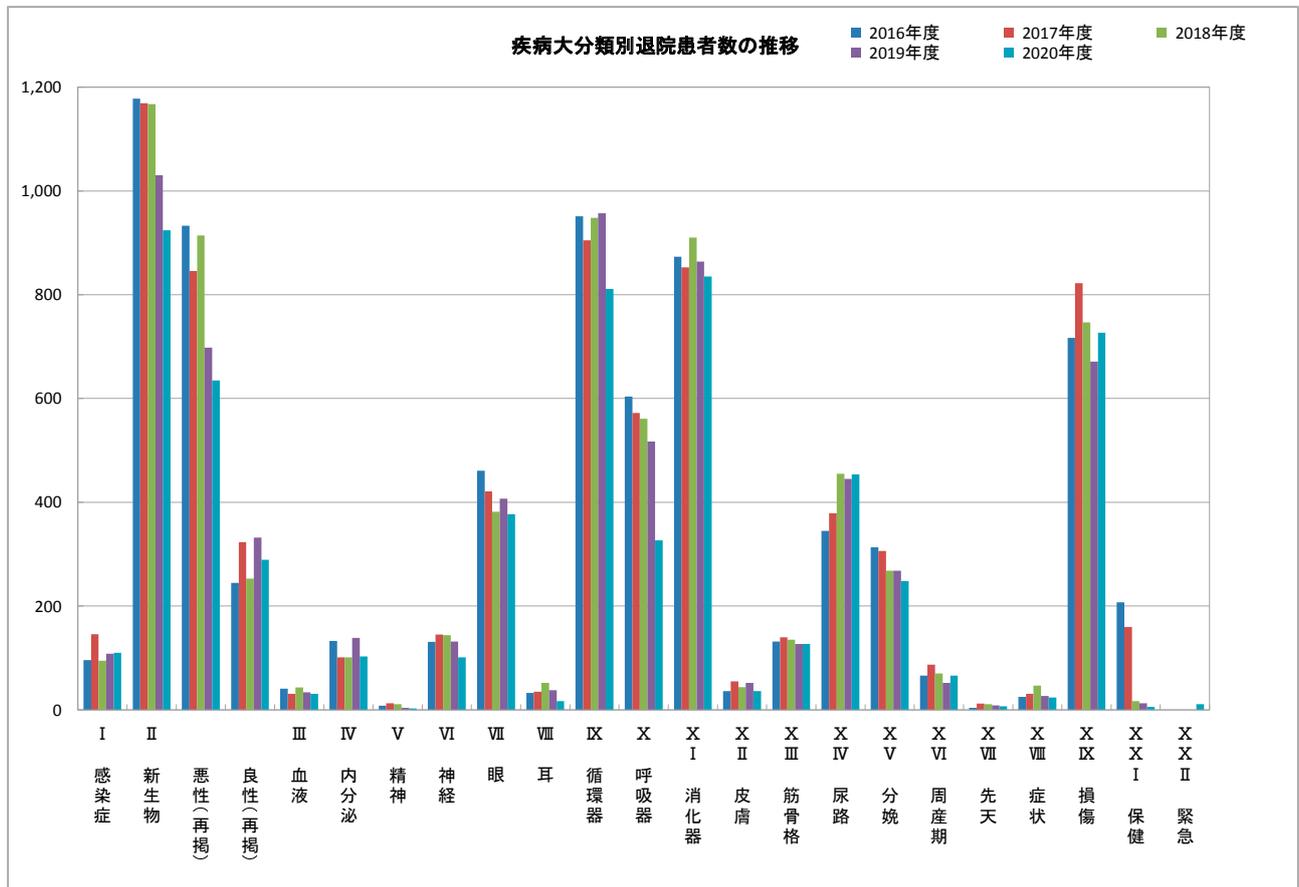
性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
1歳未満	7	1	9	10	13	5	4	5	5	5	8	12	84	-47	131	153	294	303
1～4歳	5	3	2	8	0	5	7	2	3	5	2	4	46	-82	128	138	128	135
5～9歳	3	3	0	3	5	4	3	3	5	2	3	1	35	-5	40	64	56	64
10～19歳	5	3	2	7	8	5	6	10	5	2	4	7	64	-15	79	94	100	83
20～29歳	12	13	14	16	11	17	10	7	11	8	13	12	144	-43	187	224	208	207
30～39歳	31	14	23	23	32	20	20	19	22	17	20	24	265	-5	270	265	308	306
40～49歳	16	15	20	20	22	16	24	8	30	15	23	21	230	-61	291	265	301	305
50～59歳	36	31	28	26	35	27	34	34	41	25	30	31	378	-16	394	413	400	497
60～69歳	65	51	64	82	72	76	68	75	74	65	67	79	838	-111	949	993	1,010	1,121
70～79歳	107	91	110	124	144	118	134	106	134	114	128	159	1,469	-108	1,577	1,602	1,585	1,553
80～89歳	119	81	123	121	99	105	118	97	130	119	104	120	1,336	-82	1,418	1,522	1,521	1,377
90歳以上	46	37	34	32	30	32	40	40	46	34	30	55	456	26	430	475	472	403
合計	452	343	429	472	471	430	468	406	506	411	432	525	5,345	-549	5,894	6,208	6,383	6,354



①月別退院患者数 (2020年度)

①-Ⅲ：疾病大分類

疾病大分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
感染症および寄生虫症	11	10	9	11	14	11	11	7	9	5	6	6	110	2	108	95	146	96
新生物	51	61	79	93	80	72	77	81	80	69	82	99	924	-106	1,030	1,167	1,169	1,178
悪性(再掲)	37	44	61	64	61	45	45	58	50	48	60	62	635	-63	698	914	846	933
良性(再掲)	14	17	18	29	19	27	32	23	30	21	22	37	289	-43	332	253	323	245
血液・造血器疾患、免疫機構の障害	4	0	4	2	2	0	5	5	3	1	2	3	31	-3	34	43	31	41
内分泌、栄養および代謝疾患	9	8	7	11	14	9	7	8	9	4	10	7	103	-36	139	101	101	133
精神および行動の障害	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	-1	4	11	13	8
神経系の疾患	6	6	7	10	11	15	6	5	8	8	10	9	101	-31	132	144	145	131
眼および付属器の疾患	37	10	32	29	41	25	46	25	35	35	24	38	377	-30	407	382	421	461
耳および乳突突起の疾患	2	2	0	3	0	1	4	1	1	0	2	1	17	-21	38	52	35	33
循環器系の疾患	82	62	78	67	60	49	76	58	75	63	65	76	811	-146	957	948	905	951
呼吸器系の疾患	40	23	20	32	18	18	24	24	29	37	29	33	327	-190	517	561	572	604
消化器系の疾患	63	44	62	72	67	81	79	75	100	56	60	76	835	-29	864	910	853	873
皮膚および皮下組織の疾患	3	0	4	6	0	3	3	4	4	1	1	7	36	-16	52	44	55	36
筋骨格系および結合組織の疾患	8	8	11	9	13	13	16	11	8	11	11	8	127	0	127	135	140	132
泌尿器系の疾患	38	33	35	48	45	29	30	29	43	33	38	53	454	9	445	455	379	345
妊娠・分娩・産じよく	23	18	24	20	23	27	21	14	15	14	25	24	248	-20	268	268	306	313
周産期に発生した病態	6	0	8	7	10	4	4	3	4	3	7	10	66	14	52	70	87	66
先天奇形・変形・染色体異常	0	2	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	7	-2	9	11	12	4
症状・徴候、他に分類されないもの	2	2	1	1	3	5	2	1	1	2	2	2	24	-3	27	47	31	25
損傷・中毒・外因の影響	65	47	48	51	69	68	55	53	76	68	54	73	727	56	671	747	822	717
保健サービスの利用	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	6	-7	13	17	160	207
原因不明の新たな疾患	1	6	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	11		0	0	0	0
合計	452	343	429	472	471	430	468	406	506	411	432	525	5,345	-549	5,894	6,208	6,383	6,354

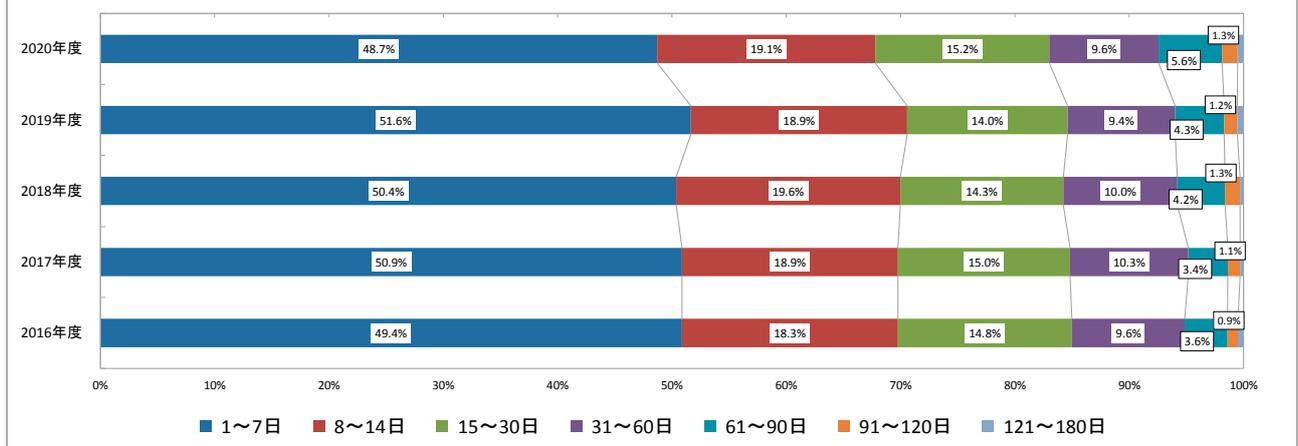


①月別退院患者数 (2020年度)

①-Ⅳ：在院期間別

在院期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
1～7日	215	145	201	249	245	203	234	201	240	202	211	257	2,603	-440	3,043	3,126	3,246	3,290
8～14日	90	76	80	98	95	88	88	64	85	63	81	111	1,019	-95	1,114	1,217	1,205	1,193
15～30日	68	59	84	64	63	64	69	66	86	63	66	61	813	-13	826	885	960	939
31～60日	43	34	32	28	38	45	37	40	56	56	41	61	511	-43	554	619	660	609
61～90日	26	20	24	28	23	26	27	22	30	19	28	24	297	44	253	260	220	230
91～120日	7	8	5	4	3	3	11	9	5	6	5	6	72	4	68	81	69	57
121～180日	3	1	2	1	3	1	2	4	4	2	0	5	28	-4	32	19	19	30
181日以上	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	-2	4	1	4	6
合計	452	343	429	472	471	430	468	406	506	411	432	525	5,345	-549	5,894	6,208	6,383	6,354

在院期間別退院患者割合の推移

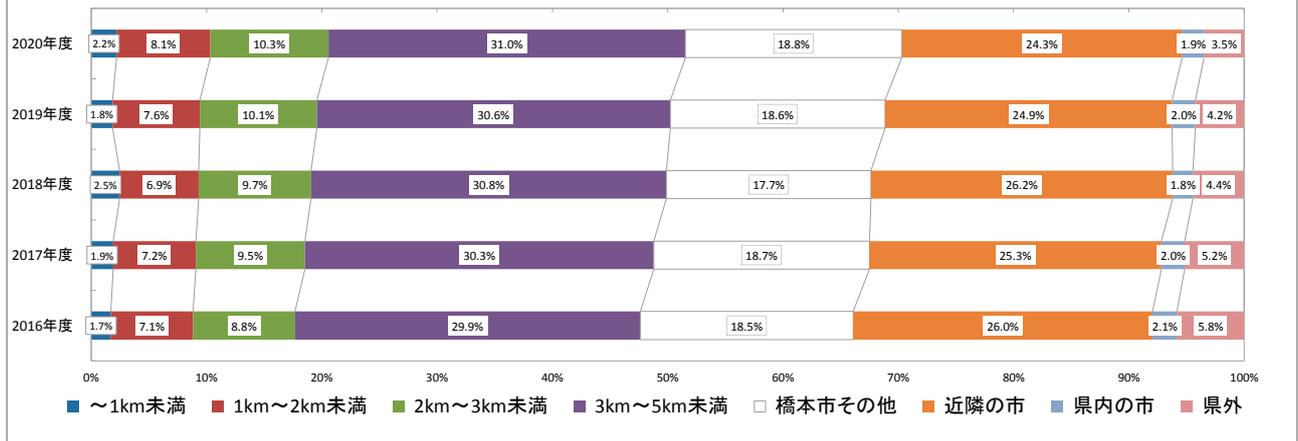


①-Ⅴ：地区別

地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
～1km未満	8	2	11	15	12	10	11	11	11	8	7	12	118	9	109	153	121	108
1km～2km未満	28	24	30	36	37	33	39	42	37	42	40	46	434	-13	447	426	458	453
2km～3km未満	51	42	41	41	47	42	50	40	55	41	44	54	548	-49	597	604	604	562
3km～5km未満	146	94	131	163	157	120	140	130	148	138	132	156	1,655	-151	1,806	1,914	1,932	1,903
橋本市その他	85	60	92	79	91	96	83	63	97	67	82	108	1,003	-95	1,098	1,101	1,193	1,173
近隣の市※	105	102	107	114	95	112	119	96	128	93	111	117	1,299	-167	1,466	1,624	1,617	1,650
県内の市	11	6	2	9	10	4	14	8	14	8	7	9	102	-17	119	110	128	134
県外	18	13	15	15	22	13	12	16	16	14	9	23	186	-64	250	275	330	371
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	2	1	0	0
合計	452	343	429	472	471	430	468	406	506	411	432	525	5,345	-549	5,894	6,208	6,383	6,354

※近隣の市・・・九度山町、かつらぎ町、高野町、五條市、河内長野市

地区別退院患者割合の推移

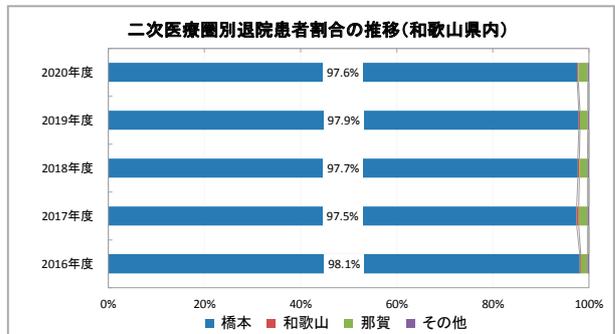
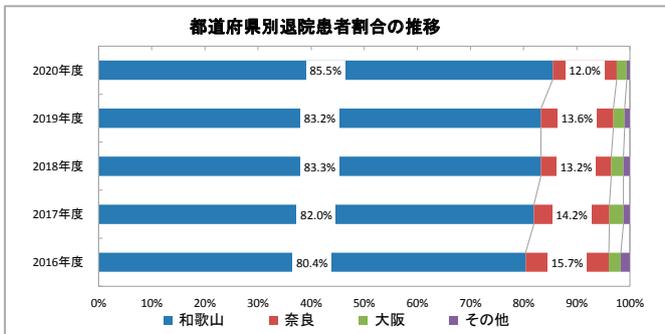


①月別退院患者数 (2020年度)

① - VI : 二次医療圏別

都道府県	二次医療圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
北海道	札幌			1										1	1				
福島	いわき				1									1	1				
埼玉	西部第一		1											1	1				
千葉	東葛北部								3					3	3				
東京	区南部											2		2	0	2			
	区西部							1						1	1				
愛知	名古屋	1		1										2	0	2	1	2	10
	西三河北部	1	1											2	2				
	西三河南部						2							2	2				
三重	北勢	1												1	-1	2	1		
	東紀州			1										1	1				
京都	京都・乙訓				1									1	-4	5	6	1	2
	相楽								1					1	1				
大阪	豊能		1				1							2	-2	4	5	4	5
	三島							2			1			3	0	3	7	2	4
	北河内					1				2	2			5	-1	6	5	6	3
	中河内	1	1		2	4		1			1			10	6	4	3	7	18
	南河内	4	3	4	2	3	4	2	2	1	3		5	33	-7	40	48	53	53
	堺市	2				2	1		2	2	1	1	3	14	-9	23	22	41	18
	泉州	3	4		3	1	2		1	3	2	2		21	-12	33	24	26	10
	大阪市			3		4	2		1		1	1	2	14	0	14	26	30	33
兵庫	神戸										1			1	-1	2	4	1	3
	阪神南	1									1			2	2				
	東播磨		1											1	-1	2	1	2	5
奈良	北和			2									1	3	-2	5	2	11	4
	中和		1	1	2	2	3	4	1	3		1	5	23	-4	27	29	55	63
	南和	61	40	44	56	60	47	50	50	50	51	41	68	618	-154	772	791	841	929
和歌山	和歌山	4	1		3	2	1	7		2	1			21	9	12	14	16	21
	那賀	6	3	1	5	7	3	6	8	9	5	5	8	66	-30	96	81	88	94
	橋本	367	284	369	394	381	365	395	334	429	345	378	432	4,473	-313	4,786	5,061	5,111	4,976
	有田		2	1								1		4	0	4	4	4	7
	御坊					1							2	3	-2	5	6	2	3
	田辺				1									1	-1	2			
広島	広島							2					1	3	2	1	2		
徳島	東部I			1	2									3	2	1			
香川	中讃								1	1				2	2				
その他																41	65	80	93
合計		452	343	428	472	471	430	468	406	506	411	432	525	5,345	-549	5,894	6,208	6,383	6,354

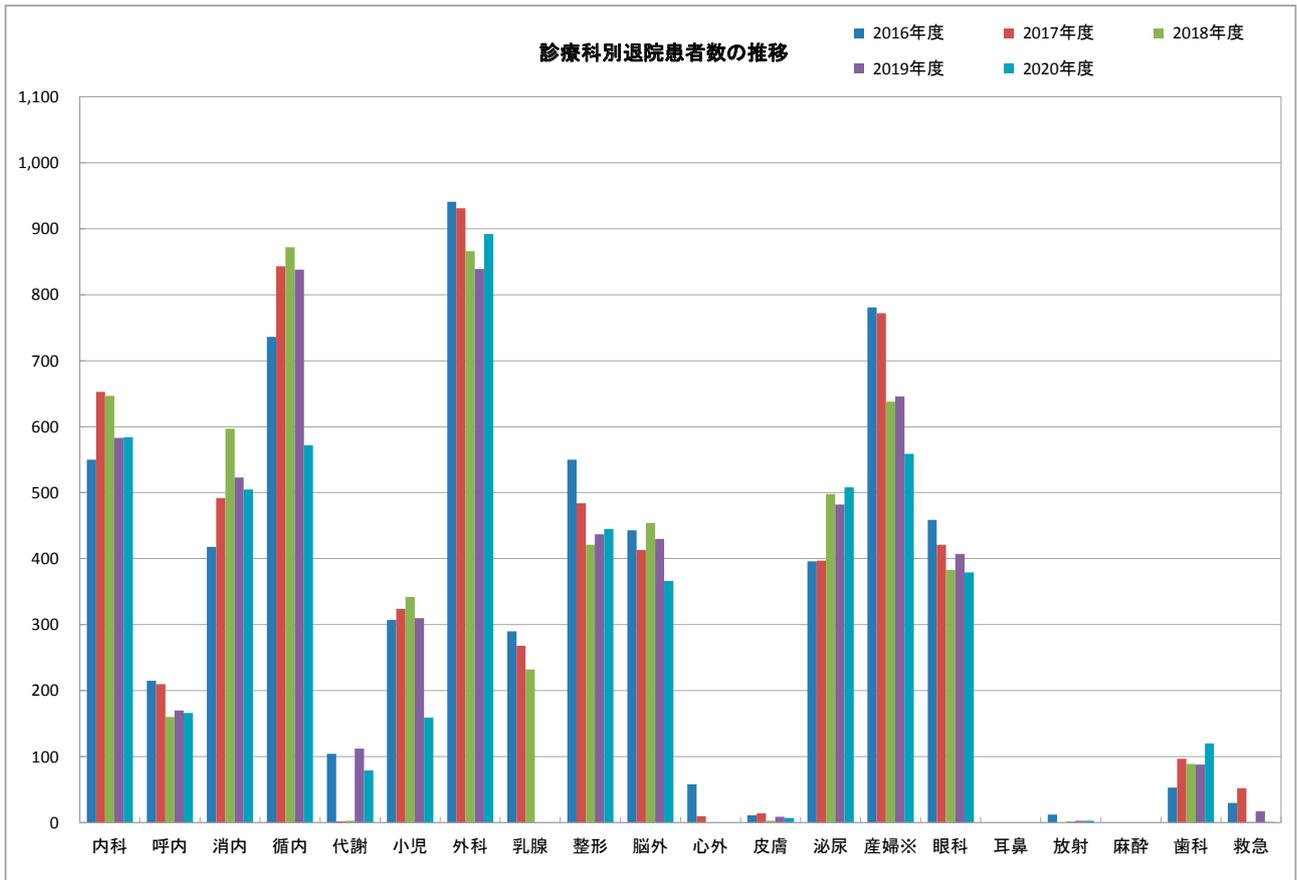
\*外国 / その他は前年度以前に退院した二次医療圏で2020年度退院のないもの



## ②診療科別退院患者数 (2020年度)

### ②- I : 性別 (診療科別)

性別	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
男	282	51	209	245	33	72	387		231	163		5	92	545	237		2		50		2,604
女	302	115	296	327	46	87	505		214	203		2	416	14	142		1		70	1	2,741
合計	584	166	505	572	79	159	892	0	445	366	0	7	508	559	379		3		120	1	5,345
前年度差異	1	-4	-18	-266	-33	-151	53	0	8	-64	0	-2	26	-87	-28		0		32	-16	-549
2019年度	583	170	523	838	112	310	839	0	437	430	0	9	482	646	407		3		88	17	5,894
2018年度	647	160	597	872	3	342	866	232	421	454	0	3	498	638	383		2		89	1	6,208
2017年度	653	210	492	843	2	324	931	268	484	413	10	14	397	772	421		0		97	52	6,383
2016年度	550	215	418	736	104	307	941	290	550	443	58	11	396	781	459		12		53	30	6,354



### ②- II : 年齢別

年齢	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
1歳未満						83	1														84
1～4歳						45													1		46
5～9歳						17			6	1									11		35
10～19歳	5		2		1	14	6		17	3			3	6					7		64
20～29歳	6	1	6	2			7		14	4				96					8		144
30～39歳	11	1	8	3	5		16		25			1	6	176					13		265
40～49歳	15	10	18	13	6		32		32	14		1	17	63	1				8		230
50～59歳	15	17	58	33	13		79		54	22		1	37	30	8				11		378
60～69歳	72	27	97	80	14		158		95	64		1	110	47	60				13		838
70～79歳	128	47	157	139	19		302		88	112		1	205	55	186		2		28		1,469
80～89歳	197	56	120	215	15		228		91	110		2	114	60	114		1		12	1	1,336
90歳以上	135	7	39	87	6		63		23	36			16	26	10				8		456
合計	584	166	505	572	79	159	892		445	366		7	508	559	379		3		120	1	5,345

②診療科別退院患者数（2020年度）

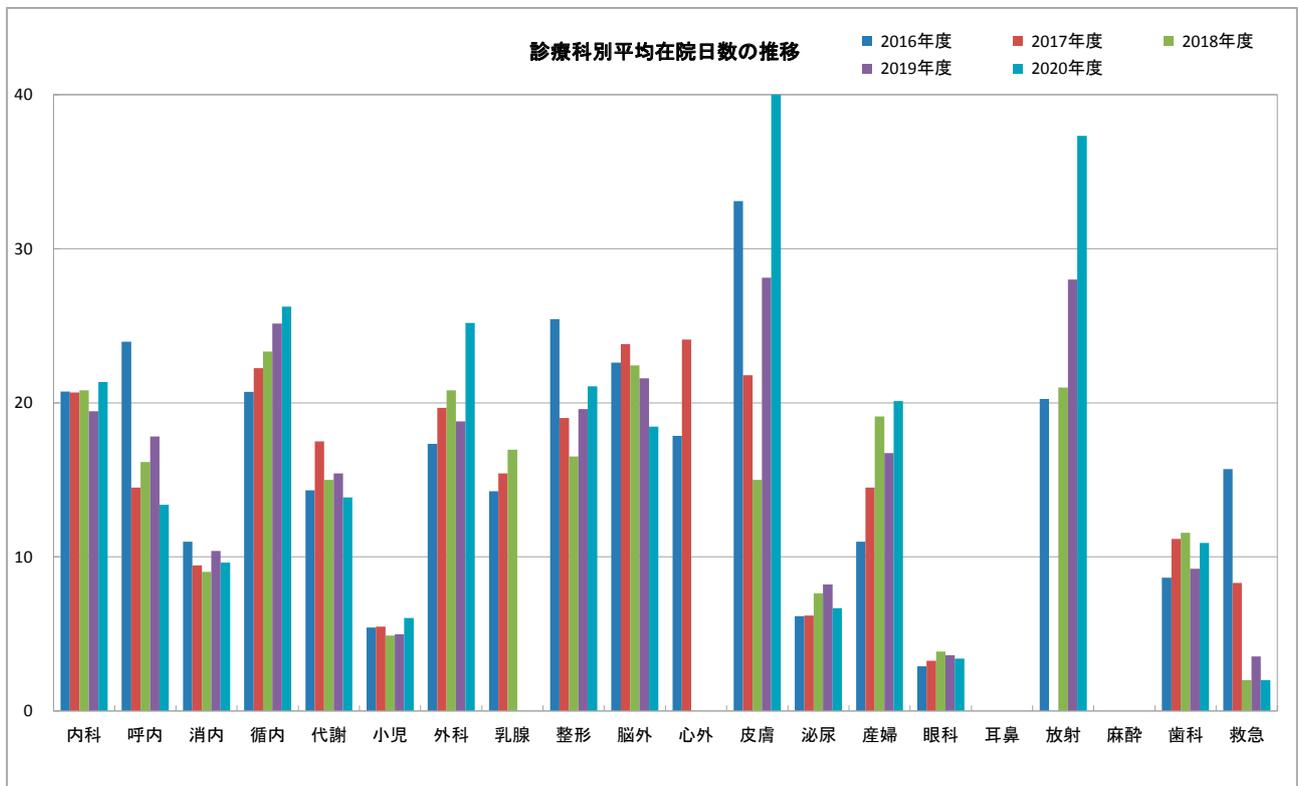
②-Ⅲ：疾病大分類																					
疾病大分類	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
感染症および寄生虫症	44	5	23	5	3	14	10		2					3					1		110
新生物	31	32	234	1	1		218		7	11			258	93			3		35		924
悪性（再掲）	29	31	63				203			4			251	44			3		7		635
良性（再掲）	2	1	171	1	1		15		7	7			7	49					28		289
血液・造血器疾患、 免疫機構の障害	17		2	4	1	2	5														31
内分泌、栄養および 代謝疾患	38	2	2	5	54	1				1											103
精神および行動の障害					1	1	1														3
神経系の疾患	14	30	2	3	2	3	1		23	22				1							101
眼および付属器の疾患															377						377
耳および 乳様突起の疾患	5	6	1	2						3											17
循環器系の疾患	27	1	13	485	1		14		6	262			1	1							811
呼吸器系の疾患	168	77	6	15	2	40	13		1	1			1	2					1		327
消化器系の疾患	102		209	1	3	5	445		1				3	2					64		835
皮膚および 皮下組織の疾患	11					1	4		13			3							4		36
筋骨格系および 結合組織の疾患	17			2	2	10	27		53	1			1	14							127
尿路性器系の疾患	76		4	12	9	6	2					1	242	102							454
妊娠・分娩・産じょく														248							248
周産期に発生した病態						66															66
先天奇形・変形・ 染色体異常			3							2				1					1		7
症状・徴候、 他に分類されないもの	6	9		1		6			1										1		24
損傷・中毒・外因の影響	16	4	6	35		4	148		338	63		3	2	92	2				13	1	727
保健サービスの利用	1			1			4														6
原因不明の新たな疾患	11																				11
合計	584	166	505	572	79	159	892		445	366		7	508	559	379		3		120	1	5,345

## ②診療科別退院患者数（2020年度）

### ②-Ⅳ：在院期間別

在院期間	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
1～7日	174	92	301	184	21	114	344		211	98		1	357	270	378				57	1	2,603
8～14日	132	27	125	69	39	41	141		55	97			111	138	1				43		1,019
15～30日	156	28	50	148	13	4	151		78	100		3	32	36			1		13		813
31～60日	77	11	20	92	5		132		61	61			6	42			1		3		511
61～90日	28	6	7	58	1		96		23	9		2	2	60			1		4		297
91～120日	13	2	1	15			20		10	1		1		9							72
121～180日	4		1	6			8		5					4							28
181日以上									2												2
合計	584	166	505	572	79	159	892	0	445	366	0	7	508	559	379	-	3	-	120	1	5,345
平均在院日数※	21.3	13.4	9.6	26.2	13.9	6.0	25.2		21.1	18.5		44.3	6.7	20.1	3.4		37.3		10.9	2.0	17.4
前年度差異	1.9	-4.4	-0.7	1.1	-1.5	1.1	6.4		1.5	-3.1		16.2	-1.5	3.4	-0.2				1.7		1.2
2019年度	19.5	17.8	10.4	25.2	15.4	5.0	18.8		19.6	21.6		28.1	8.2	16.7	3.6		28.0		9.2	3.5	16.2
2018年度	20.8	16.2	9.0	23.3	15.0	4.9	20.8	17.0	16.5	22.4		15.0	7.6	19.1	3.9		21.0		11.6	2.0	16.3
2017年度	20.7	14.5	9.5	22.3	17.5	5.5	19.7	15.4	19.0	23.8	24.1	21.8	6.2	14.5	3.3				11.2	8.3	15.7
2016年度	20.7	24.0	11.0	20.7	14.3	5.4	17.3	14.3	25.4	22.6	17.9	33.1	6.2	11.0	2.9		20.3		8.6	15.7	15.6

※小数点第2位を四捨五入



### ②-Ⅴ：地区別

地区	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計	
～1km未満	35	4	7	6	4	3	11		15	11			5	8	6				3		118	
1km～2km未満	61	10	63	56	5	9	56		30	23			47	29	37				8		434	
2km～3km未満	67	29	58	32	9	22	95		45	36			46	53	46				10		548	
3km～5km未満	182	53	161	171	24	54	291		133	115		2	149	168	122		1		29		1,655	
橋本市その他	93	34	113	123	16	24	171		76	86		1	91	99	47		1		27	1	1,003	
近隣の市※	132	35	82	165	20	27	246		107	84		4	141	118	110		1		27		1,299	
県内の市	4		8	7		1	12		24	5			13	16	2				10		102	
県外	10	1	13	12	1	19	10		15	6			16	68	9				6		186	
住所不明等																						
合計	584	166	505	572	79	159	892		445	366		7	508	559	379		3		120	1	5,345	

※近隣の市・・・九度山町、かつらぎ町、高野町、五條市、河内長野市

②診療科別退院患者数 (2020年度)

② - VI : 二次医療圏別

都道府県	二次医療圏	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計	
北海道	札幌														1							1	
茨城	つくば														1								1
埼玉	西部第一														1								1
千葉	東葛北部						1								2								3
東京	区南部						1								1								2
	区西部																				1		1
愛知	名古屋														2								2
	西三河北部														2								2
	西三河南部						1								1								2
三重	北勢				1																		1
	東紀州														1								1
京都	京都・乙訓														1								1
	相楽														1								1
大阪	豊能	1													1								2
	三島														3								3
	北河内				1		2								2								5
	中河内							1		3					2	4							10
	南河内	2		2	2		2	1		3	3			8	8	1					1		33
	堺市	2		1	1		1	1				1			1	6							14
	泉州		1		1		1	3		2					7	3					3		21
	大阪市	1						5	1			1				5	1						14
兵庫	神戸														1								1
	阪神南				1										1								2
	東播磨							1															1
奈良	北和				1		1								1								3
	中和	2		3	2		1			1				2	11						1		23
	南和	60	18	50	73	9	12	76		32	34			35	84	122			1		12		618
和歌山	和歌山			2	1			1		8	2			2	5								21
	那賀	3		5	5		1	8		14	3			8	10	1					8		66
	橋本	513	147	440	482	70	128	799		381	321		7	441	396	253			2		92	1	4,473
	有田				1										1						2		4
	御坊									1						1	1						3
	田辺														1								
新宮							1				1				1								3
広島	広島						1								2								3
徳島	東部 I			2																			2
香川	中讃	584	166	505	572	79	159	892	-	445	366	-	7	508	559	379	-	3	-	120	1	5,345	
合計		583	170	523	838	112	310	839	-	437	430	-	9	482	646	407	-	3	-	88	17	5,894	

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2020年度			2019年度			2018年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
内科	1位	固形物および液状物による肺臓炎	71	27.0	腸のその他の疾患	69	2.0	固形物および液状物による肺臓炎	64	29.9
	2位	尿路系のその他の障害	47	21.1	固形物および液状物による肺臓炎	67	27.5	肺炎, 病原体不詳	58	16.3
	3位	肺炎, 病原体不詳	40	19.6	肺炎, 病原体不詳	44	17.3	尿路系のその他の障害	38	26.7
	4位	腸のその他の疾患	39	2.4	尿路系のその他の障害	37	29.6	腸のその他の疾患	33	2.3
	5位	細菌性肺炎, 他に分類されないもの	26	22.8	胆石症	14	9.2	前庭機能障害	17	15.8
呼吸器内科	1位	気管支および肺の悪性新生物	28	7.1	肺炎, 病原体不詳	32	23.0	睡眠障害	40	2.0
	2位	睡眠障害	26	2.0	睡眠障害	30	2.0	肺炎, 病原体不詳	30	25.9
	3位	肺炎, 病原体不詳	19	32.2	気管支および肺の悪性新生物	18	3.5	その他の間質性肺疾患	18	27.2
	4位	その他の間質性肺疾患	12	14.9	その他の非結核性抗酸菌による感染症	17	7.5	その他の非結核性抗酸菌による感染症	15	3.7
	5位	肺気腫	8	9.8	固形物および液状物による肺臓炎	15	41.5	気管支および肺の悪性新生物	13	14.8
循環器内科	1位	心不全	174	37.6	狭心症	236	5.7	狭心症	249	6.8
	2位	狭心症	122	6.5	心不全	139	37.0	心不全	140	35.8
	3位	急性心筋梗塞	54	22.4	急性心筋梗塞	63	22.3	急性心筋梗塞	55	19.5
	4位	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	43	16.8	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	36	14.9	大腿骨骨折	45	59.8
	5位	慢性虚血性心疾患	20	12.9	大腿骨骨折	30	71.5	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	35	9.8
代謝内科	1位	インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>	37	13.6	インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>	56	15.6	インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>	3	15.0
	2位	下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害	5	3.4	インスリン依存性糖尿病<IDDM>	6	22.2			
	3位	尿路系のその他の障害	5	14.6	前庭機能障害	4	2.0			
	4位	インスリン依存性糖尿病<IDDM>	4	10.0	その他の膵内分泌障害	3	9.0			
	5位	その他の体液, 電解質および酸塩基平衡障害	2	4.0	その他の体液, 電解質および酸塩基平衡障害	3	11.7			

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2020年度			2019年度			2018年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
小児科	1位	肺炎, 病原体不詳	24	3.4	肺炎, 病原体不詳	85	4.4	肺炎, 病原体不詳	83	4.2
	2位	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	17	9.2	急性気管支炎	34	3.9	急性気管支炎	38	4.1
	3位	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	12	8.5	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	26	4.3	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	28	4.1
	4位	新生児の呼吸窮乏<促>迫	11	7.5	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	15	9.8	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	20	8.6
	5位	胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	10	6.7	感染症と推定される下痢および胃腸炎	14	3.6	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	17	6.9
外科	1位	腸のその他の疾患	88	5.6	そけい<崁径>ヘルニア	85	5.6	胆石症	73	14.1
	2位	そけい<崁径>ヘルニア	78	5.6	胃の悪性新生物	77	26.8	腸のその他の疾患	71	6.5
	3位	胆石症	74	13.2	胆石症	72	10.7	麻痺性イレウスおよび腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	68	13.3
	4位	大腿骨骨折	54	72.3	結腸の悪性新生物	65	21.6	そけい<崁径>ヘルニア	59	5.8
	5位	結腸の悪性新生物	51	20.9	腸のその他の疾患	62	4.2	結腸の悪性新生物	59	22.9
乳腺呼吸器外科	1位						気管支および肺の悪性新生物	121	14.9	
	2位						乳房の悪性新生物	23	12.9	
	3位						気胸	20	21.3	
	4位						呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	19	21.7	
	5位						その他の部位の続発性悪性新生物	8	18.1	
整形外科	1位	前腕の骨折	61	11.0	前腕の骨折	58	8.6	前腕の骨折	69	9.1
	2位	下腿の骨折, 足首を含む	56	16.6	大腿骨骨折	46	42.0	大腿骨骨折	42	43.8
	3位	大腿骨骨折	47	46.6	下腿の骨折, 足首を含む	44	30.4	肩および上腕の骨折	37	8.7
	4位	肩および上腕の骨折	44	13.5	手首および手の骨折	31	11.5	下腿の骨折, 足首を含む	36	9.6
	5位	手首および手の骨折	25	7.0	上肢の単ニューロパチ<シ>一	28	3.0	手首および手の骨折	28	6.5

### ③診療科上位5疾患

診療科	順位	2020年度			2019年度			2018年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
脳神経外科	1位	脳梗塞	157	20.0	脳梗塞	162	24.2	脳梗塞	154	23.7
	2位	頭蓋内損傷	59	11.9	頭蓋内損傷	60	25.2	頭蓋内損傷	66	36.6
	3位	脳内出血	48	26.7	脳内出血	58	29.9	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	44	4.2
	4位	その他の脳血管疾患	19	8.6	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	33	7.8	脳内出血	41	37.2
	5位	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	14	12.8	てんかん	27	16.8	その他の脳血管疾患	36	4.4
心臓血管外科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
泌尿器科	1位	前立腺の悪性新生物	172	3.9	前立腺の悪性新生物	142	4.1	前立腺の悪性新生物	139	3.1
	2位	腎結石および尿管結石	94	5.4	膀胱の悪性新生物	77	12.0	前立腺肥大(症)	84	7.4
	3位	前立腺肥大(症)	54	6.9	腎結石および尿管結石	73	6.2	腎結石および尿管結石	75	5.8
	4位	膀胱の悪性新生物	52	10.6	前立腺肥大(症)	63	6.7	膀胱の悪性新生物	68	10.2
	5位	その他の膀胱障害	19	3.3	急性尿細管間質性腎炎	15	11.4	急性尿細管間質性腎炎	18	13.3
皮膚科	1位	熱傷および腐食、部位不明	2	49.5	蜂巣炎<蜂窩織炎>	2	9.0	帯状疱疹〔帯状ヘルペス〕	1	8.0
	2位						多形紅斑	1	12.0	
	3位						熱傷および腐食、部位不明	1	25.0	
	4位									
	5位									

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2020年度			2019年度			2018年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
産婦人科	1位	単胎自然分娩	100	6.6	単胎自然分娩	140	7.5	単胎自然分娩	135	6.9
	2位	大腿骨骨折	33	76.7	子宮平滑筋腫	39	9.1	大腿骨骨折	47	65.1
	3位	女性性器のポリープ	32	1.1	女性性器脱	38	11.8	子宮平滑筋腫	40	8.5
	4位	早産	25	20.1	女性性器のポリープ	36	1.3	偽陣痛	26	21.2
	5位	腰椎および骨盤の骨折	24	64.7	大腿骨骨折	31	64.8	女性性器のポリープ	22	1.2
眼科	1位	老人性白内障	373	3.4	老人性白内障	406	3.6	老人性白内障	377	3.9
	2位	その他の体内プロステシス、挿入物および移植片の合併症	2	1.0				その他の白内障	2	1.0
	3位	水晶体のその他の障害	2	3.0				水晶体のその他の障害	2	3.5
	4位									
	5位									
耳鼻咽喉科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
放射線科	1位				乳房の悪性新生物	2	34.5			
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2020年度			2019年度			2018年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
麻酔科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
歯科・口腔外科	1位	埋伏歯	22	4.3	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	18	8.2	歯髄および根尖歯周組織の疾患	15	7.9
	2位	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	22	7.6	歯髄および根尖歯周組織の疾患	12	6.2	顎骨のその他の疾患	15	14.4
	3位	歯髄および根尖歯周組織の疾患	18	7.1	顎骨のその他の疾患	8	9.1	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	10	9.9
	4位	頭蓋骨および顔面骨の骨折	11	27.0	頭蓋骨および顔面骨の骨折	7	10.3	頭蓋骨および顔面骨の骨折	9	12.6
	5位	歯肉炎および歯周疾患	8	5.6	歯肉炎および歯周疾患	6	6.2	歯の発育および萌出の障害	7	3.3
消化器内科	1位	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	164	2.7	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	169	3.4	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	105	2.9
	2位	腸の憩室性疾患	26	7.4	腸の憩室性疾患	35	9.3	腸のその他の疾患	99	3.0
	3位	胆石症	25	12.8	腸のその他の疾患	27	3.1	胃の悪性新生物	58	9.6
	4位	消化器系のその他の疾患	22	7.1	胆石症	27	14.6	胆石症	21	12.6
	5位	腸の血行障害	21	10.1	胃の悪性新生物	20	19.9	腸の憩室性疾患	20	7.7
救急科	1位	下腿の血管損傷	1	2.0	その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	4	5.8	気道からの出血	1	2.0
	2位				利尿薬、その他および詳細不明の薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	3	1.3			
	3位				有毒動物との接触による毒作用	2	5.5			
	4位									
	5位									

# IV 診療科紹介



## IV 診療科紹介

総合内科

消化器内科

代謝内科

呼吸器内科

小児科

産婦人科

外科

整形外科

脳神経外科

眼科

泌尿器科

麻酔科

放射線科

歯科口腔外科

皮膚科

病理診断科

循環器内科

救急科

健診センター

# 総合内科

## 【概要】

当院の総合内科の特徴は、①どこに受診したらよいかわからない方の窓口の役目をする外来、②様々な問題を抱え、一つの科のみでは対応が難しい方（特に高齢者）の入院、③院内でのチーム医療への積極的な参加、この3つが挙げられます。①については、発熱や倦怠感といったどこを受診したらよいかわからない方の外来診療を行い、そのまま検査や治療を行ったり、必要に応じて専門科へつなぐ役割を果たしています。②については、さまざまな問題を抱え入院となる方が多く、特に感染症や原因がはっきりしない症状に対する入院精査・治療を行っています。③に関しては、緩和ケアや感染管理といったチーム医療が必要とされ、内科医としてその中核的な役割を果たしております。2020年からは新型コロナウイルス感染症の対応も担っており、発熱患者の対応やワクチン接種業務を中心に活動しております。

## 【実績】

1日平均患者数

外来 28.6名

入院 34.2名

## 【取り組みと今後の展望】

上記に加え以下の内容にも取り組んでおります。

### ①ポリファーマシー（多剤内服）の方の薬剤調整

高齢化や医師の専門化に伴い、薬剤の処方数が増えていることが問題となっております。特に日本では医療機関へのアクセスがよいため、複数の医療機関を受診し、また高齢化も相まって、多剤内服されている方が増えています。近年、この多剤内服が問題視されており、当科と薬剤部と地域包括ケア病棟が連携し、地域包括ケア病棟に入院される方の薬剤調整をしております。

### ②高齢者食思不振

認知症や高齢者の方では、原因がよくわからない食欲不振が多くみられます。臓器の疾患だけではなく、食事内容や口腔ケアの問題など、病気以外にも問題があり、言語聴覚士や管理栄養士と連携し対応に当たっています。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>そうがわ ひろみち</small> 寒川 浩道 補職名：医長 専門領域：総合診療 心血管カテーテル治療 構造的心疾患治療 消化器内視鏡治療 内科感染症	日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医、指導医 日本内科学会 / 認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会 / 心血管インターベンション治療認定医 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本循環器学会 / 循環器専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 臨床研修指導医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 BLS、ACLS プロバイザー IN.PACT DCB (薬剤溶性バルーン) 実施研修修了 日本脳卒中学会 / 脳梗塞 rt-PA 適正使用講習会修了
氏名： <small>ほりたに りょうすけ</small> 堀谷 亮介 補職名：医長 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 (同上) / JMECC インストラクター (同上) / ICLS ディレクター 日本感染症学会 / インフェクションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 臨床研修指導医 熱帯医学衛生学位 (DTMH) 熱帯医学専攻修士課程修了 (MTM)

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：橋本 忠幸 補職名：副医長 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医 日本救急医学会 / 救急専門医 臨床研修指導医 Master of Public Health (公衆衛生修士号) AHA ACLS Experienced プロバイザー
氏名：青木 達也 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医
氏名：平山 陽士 専門領域：総合内科 消化器内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 ICLS、JMECC インストラクター
氏名：山田 方里央 専門領域：総合内科 (2020年9月まで)	
氏名：松山 依子 専門領域：総合内科 血液内科 (2020年9月まで) (2021年1月から)	
氏名：千田 修平 専門領域：総合内科 (2021年1月から)	
氏名：野田 幸治 専門領域：総合内科 (2021年1月から)	
氏名：岡部 友香 専門領域：総合内科 (2020年7月から)	

## 業績 発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2020年8月	AMEE2020	Digital devices can engage residents into longitudinal Residents-as-Teachers fellowship	橋本 忠幸		WEB
2	2020年8月	第52回日本医学教育学会大会	Mixed-method analysis of post graduated curriculum with ICT based education	橋本 忠幸		WEB
3	2020年10月	第82回日本血液学会学術集会	Clinical features of pulmonary MALT lymphoma: Real-world, single-center retrospective analysis	松山 依子		WEB

## 講演

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2020年5月	HANDS 北信越	オンライン仕事術	橋本 忠幸	WEB
2	2020年6月	日本医学教育学会サイバーシンポジウム	ミニマルな ICT 医学教育	橋本 忠幸	WEB
3	2020年9月	ANTAA	RaTs とは	橋本 忠幸	WEB
4	2020年10月	堺市立総合医療センター院外講師招聘セミナー	レクチャーのレクチャー	橋本 忠幸	堺市
5	2020年10月	適々斎塾 プライマリ・ケア 外来診断目利き術①	上腹部痛①、②	橋本 忠幸	WEB

## 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2020年6月	J-COSMO Vol.2 No.3	現場を変えろ！チーフレジデント養成講座 RaTs とは	橋本 忠幸	
2	2020年7月	医学教育 2020年51号 Vol3 (320-322)	COVID-19 パンデミック下における初期研修医教育	橋本 忠幸	
3	2020年10月	救急医学会 2020年31号 (461-465)	当院における invasive liver abscess syndrome 4例の視力についての検討	平山 陽士	
4	2020年11月	VideoGIE 5.12 (2020) : 625-627	Valsalva maneuver barrier mouthpiece during upper endoscopy	Hirayama, Yoji	

# 消化器内科

## 【概要】

消化器内科は、主に消化器病を中心とした一般内科で腹痛、嘔吐、下痢、血便といった消化管（食道、胃、小腸、大腸）の疾患と、胆石、肝炎、胆嚢炎や膵炎などの肝胆膵の疾患があります。これらの消化器内科疾患に対し薬剤による治療、内視鏡治療、エコー下透視下での治療を積極的に行っています。

日々の診療においては「患者さんの話をよく聞くこと」、「時間と経費を無駄にしない診療」、「患者さん一人一人の病状に合わせた治療」を心がけ、また、開業医の先生方、近隣の病院との連携、情報提供や紹介入院治療などを行っています。

## 【診療実績】

当院で完結することを目指して、積極的治療を行ってきました。

2020年の入院患者は500人で、平成26年から150人以上増加させてきました。

1日平均患者数

外来 22.7名

入院 12.4名

2020年度の内視鏡治療症例数

食道 ESD	5例
食道 EIS・EVL	12例
胃 ESD	20例
上部内視鏡的止血術	46例
小腸カプセル内視鏡	9例
大腸ポリペクトミー	304例
大腸 ESD	11例
下部内視鏡的止血術	47例

## 【取り組みや今後の展望、その他一言】

内視鏡治療の需要は年々高くなってきております。消化管癌については早期発見に力を入れ、積極的に拡大観察を施行しております。今後も当院で完結できるように、低い合併症率、高いクオリティを維持できるようにしたいと考えております。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：吉田 悟 補職名：医長 専門領域：消化器内科	医学博士（和歌山県立医科大学）
氏名：枝川 剛也 専門領域：消化器内科 (2020年9月まで)	日本内科学会 / 認定内科医
氏名：田村 崇祥 専門領域：消化器内科	

# 代謝内科

## 【概要】

内科（代謝・内分泌）は主として糖尿病・脂質異常症・肥満症・高血圧・メタボリックシンドローム等のいわゆる「生活習慣病」の診断・治療・管理をおこなっています。生活習慣病は動脈硬化の危険因子として、特に高齢者のQOLに大きな影響を及ぼすと考えられ、2007年以降、超高齢化社会に突入したわが国では生活習慣に早期から積極的に介入して個々の患者さんに良質な日常生活を送っていただくことが社会的にも最重要課題となってきました。これらの疾患を有する患者さんに対して長期間にわたる日常生活への介入、病態・病期に即した薬物治療の選択を行っていくためには、地域全体で医療連携を推進していく必要があります。当地域の基幹医療施設である当院においては総合病院の利点を生かして各専門科や各専門職（看護師・栄養士・薬剤師・検査技師・理学療法士等）との連携を図って、重症度や合併症の評価を行い、それに基づいた生活指導や治療介入を行います。

内分泌疾患領域では甲状腺疾患をはじめ、副腎疾患、下垂体疾患も当科で担っています。比較的特殊な検査を要するこれらの内分泌疾患の診断及び治療方針の決定を行います。

## 【診療実績】

1日平均患者数  
外来 28.9名  
入院 2.8名

## 【取り組みや今後の展望、その他一言】

2020年度における当科診療体制は常勤医が2名、近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科から週3回、外来診療を応援していただいています。令和2年4月～令和3年3月の当科受診患者は延べ7017名、そのうち初診患者数は162名でした。令和2年4月～令和3年3月に当科で担当した入院患者は119名でした。院内で「糖尿病教室」を医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士が2週で1サイクルの内容でそれぞれ開催しており、教育入院患者だけでなく、入院中の糖尿病患者はだれでも参加でき、糖尿病についての大まかな知識が得られるように構成されています。また、糖尿病療養指導士の育成にも積極的にすすめており、現在7名のCDEJと14名のWLCDEが現場で活躍しています。糖尿病療養支援外来（療養相談・フットケア・糖尿病腎症透析予防）を実施しています。‘糖尿病ワーキングチーム’は、毎月第3火曜日に集まって、糖尿病医療チーム内での意見交換や‘世界糖尿病デー’を記念して毎年11月に開催している「糖尿病とその予備軍を対象とした行事」の企画等をおこなっています。また毎年11月に和歌山県立橋本体育館で開催される‘すこやか橋本まなびの日’に‘糖尿病ワーキングチーム’で出展し、血糖・血圧測定と糖尿病クイズをおこなっていましたが、2020度はコロナ禍で開催が見送られました。その代わりとして、11月10日にFMはしもとに出演し糖尿病の予防の必要性・合併症などについて話をさせていただきました。今後も、行政などとも連携して、地域での健康教室などの催しにワーキングチームで参加していこうと考えています。

2016年度以降長らく糖代謝内科では常勤医不在でしたが、2019年度からは和歌山県立医大から常勤医2名による診療体制となりました。2年間常勤医師が不在ではありましたが、その間も糖尿病ワーキングチームは継続して活動しており、多職種での活動は実践するチーム医療の重要性を改めて実感するところとなりました。今後も診療および活動を通じて近隣地域の医療を提供できるよう努めて参ります。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：宮田 佳穂里 補職名：医長 専門領域：糖尿病	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本糖尿病学会 / 糖尿病専門医、研修指導医
氏名：中尾 友美 専門領域：代謝内科一般	日本内科学会 / 認定内科医

# 呼吸器内科

## 【概要】

診療スタッフは常勤医（日本呼吸器学会専門医、指導医）2人で、外来は近畿大学医学部附属病院 呼吸器・アレルギー内科、近畿大学医学部奈良病院呼吸器・アレルギー内科より 応援していただいています。日々の診療は和歌山県立医大附属病院から前期研修医の先生が来られ病棟診療を共に、実践しています。

施設は 日本アレルギー学会、日本呼吸器学会、日本内科学会の認定または 関連認定施設で、主として気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性呼吸不全、胸部異常陰影（肺腫瘍当）、呼吸器感染症、急性呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群等、一般呼吸疾患の診断、治療を行います。

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患の診断、加療を中心に、一般呼吸器疾患全般で、患者様の QOL（quality of life）の向上を目指したいと考えています。

## 【診療実績】

検査については 肺機能検査、気管支鏡検査（年間約 100 例）、睡眠時無呼吸検査等（年間約 70 例）施行しています。呼吸不全での在宅酸素療法の導入、非侵襲的人工呼吸管理（NIPPV）も症例により 導入しています。

1 日平均患者数  
 外来 25.0 名  
 入院 5.3 名

## 【取り組みや今後の展望、その他一言】

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患の診断、加療を中心に、一般呼吸器疾患全般で、患者様の QOL（quality of life）の向上を目指したいと考えています。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>するだ ただし</small> 駿田 直俊 補職名：病院長 専門領域：呼吸器内科 （2020年7月から）	日本内科学会 / 総合内科専門医 日本呼吸器学会 / 呼吸器専門医・指導医 日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医・指導医 日本結核病学会 / 結核・抗酸菌症認定医・指導医
氏名： <small>ふじた えつお</small> 藤田 悦生 補職名：副病院長 部長 専門領域：呼吸器内科 アレルギー疾患	日本内科学会 / 認定内科医 （同上） / 総合内科専門医 日本呼吸器学会 / 呼吸器専門医・指導医 日本アレルギー学会 / アレルギー専門医・指導医 日本気管食道科学会 / 気管食道科専門医（内科気道系） 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 日本呼吸器内視鏡学会 / 気管支鏡専門医・指導医 日本心療内科学会 / 登録医 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター（ICD 制度協議会）

## 業績

### 発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2020年4月	第999回日本糖尿病学会年次学術集会	当院における糖尿病足病変の臨床的検討	橋本 太郎	青木 達也、堀谷 亮介、河原 正明、駿田 直俊、廣 貴太郎、星屋 博信、山本 勝廣、嶋田 浩介、中村安寿左	和歌山市
2	2021年3月	第231回日本内科学会近畿地方会	Leg crank ergometryを導入した呼吸器疾患でのexercise toleranceの評価	藤田 悦生	Akio Tanaka, Hironobu Hoshiya, Hiroyuki Yamaoka, Kahori Miyata, Tatsuya Aoki, Kousuke Shimada, Kyuya Gose, Yuji Tohda, Katsuhiko Yamamoto	Web会議
3	2020年4月	日本呼吸器学会	The effects of CPAP therapy on Enpey indices and BMI in OSAS patients	Etsuo Fujita	Ryousuke Horitani, Tatsuya Aoki, Tadayuki Hashimoto, Kahoru Miyata, Tomomi Nakao, Mito Hayashi, Hironobu Hoshiya, Katsuhiko Yamamoto, Kyuya Gose, Yuji Tohda, Kousuke Shimada	名古屋
4	2020年9月	JSA/WAO Joint Congress	Exercise-induced bronchoconstriction (EIB) confirmed by arm ergometry exercise with exhaled gas analyses in respiratory diseases	Etsuo Fujita	青木 達也、堀谷 亮介、橋本 忠幸、岡部 友香、服部 舞子、星屋 博信、河原 正明、駿田 直俊、嶋田 浩介	Web会議

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
5	2020年10月	日本アレルギー学会近畿支部会(奈良)	Refractory asthmaでの benralizumabから dupilizumab施行例	藤田 悦生	田村 崇祥、枝川 剛也、吉田 悟、宮田佳穂里、中尾 友美、星屋 博信、吉川 和也、東田 有智、嶋田 浩介、山本 勝廣	奈良
6	2020年10月	第 57 回日本臨床生理学会総会	Arm ergometry で評価した呼吸器疾患での酸素療法施行例の評価	藤田 悦生	藤田 悦生、阪本 博貴、横山 陽香、橋本 忠幸、宮田佳穂里、星屋 博信、河原 正明、山本 勝廣、嶋田 浩介	東京
7	2020年 9月	第 229 回日本内科学会近畿地方会	呼吸器疾患での NO (一酸化窒素) 測定例の肺機能検査での比較	廣 實太郎	東田 有智、西上 英樹、高尾 美徳、山本 勝廣	Web 会議

## 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2020年 8月	日本臨床生理学会雑誌 第 50 巻 第 3号 別刷	The Effectiveness of Treadmill Exercise Tests to Determine an Adequate Supply of Oxygen in Patients with Respiratory Failure	Etsuo FUJITA	Hideki NISHIUE, Shigetoshi HIKIMOTO, Hironobu HOSHIYA, Miho TAKAO, Nobu FUKUMOTO, Takato SHIOSAKI, Ryouyuke HORITANI, Masatoshi SATO, Esuteru HIROKAWA, Shuhei SENDA, Koudai WATANABE, Toshiharu MAEKURA, Yoshifumi SAKATA, Kenichi FURUKAWA, Kousuke SHIMADA, Kyuya GOSE, Yuji TOHDA, Katsuhiko YAMAMOTO
2	2020年 9月	和歌山医学 第 71 巻 第 3号 別冊	An evaluation case of rehabilitation with arm ergometry in bronchial asthma with a history of multiple rib fractures	Takato SHIOSAKI	Etsuo FUJITA, Tatsuya AOKI, Mito HAYASHI, Naoya MINE, Miki YAMASHITA, Ryouhei YAMAKAWA, Masahiko KIOKA, Kahori MIYATA, Yoriko MATSUYAMA, Katsunobu KOBAYASHI, Hironobu HOSHIYA, Katsuhiko YAMAMOTO, Jyun OKAMOTO, Hiroo TAKIDANI, Yozo AOKI, Masaaki KAWAHARA, Tadatoshi SURUDA, Kyuya GOSE, Yuji TOHDA, Kousuke SHIMADA
3	2020年	職業・環境アレルギー誌 27 巻 2号	Egogram evaluation for the management of smoking cessation in respiratory diseases (Short Report)	西上 英樹	藤田 悦生、西岡 照平、千田 修平、田中 秀門、廣 實太郎、渡邊 航大、青木 達也、西村 日出子、星屋 博信、瀧谷 裕緒、青木 洋三、河原 正明、古川 健一、嶋田 浩介、御勢 久也、東田 有智、山本 勝廣
4	2021年 2月	Clinical Case Reports WILEY Volume9, issue4	A case of primary racemose hemangioma in which the disappearance of an endobronchial lesion was confirmed after bronchial artery embolization	Kazumi Kawabe	Seigo Sasaki, Yuichiro Azuma, Hideya Ono, Tadatoshi Suruda, Yoshiaki Minakata

# 小児科

## 【科の概要と取り組み】

小児科は、常勤医師が3名で月曜から金曜の午前診、午後診と月、木、土曜の時間外診療をしています。一般的な小児急性疾患から2次救急まで担当するとともに、小児心身症、アレルギー疾患などに漢方薬、小児鍼等も活用し、専門的かつ総合的な治療に力を入れています。小児循環器疾患には和歌山県立医科大学附属病院から派遣の非常勤医師が担当しています（週1回水曜午前診）。

今年度年間入院数は約140人で、その多くは肺炎、気管支炎、胃腸炎などの急性疾患及び気管支喘息、けいれんなどですが、川崎病、ネフローゼ症候群、化膿性髄膜炎も少数みられます。新生児（年間出生約200人）の対応、処置も行っています。

1日外来患者数は約19人で急性疾患のほか、気管支喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、てんかんなどの痙攣性疾患にも対応しています。院内出生児の1ヶ月健診、各種予防接種（アレルギーやけいれんのあるこどもにも対応）も行っています。

小児救急医療は近隣の南奈良総合医療センター、和歌山県立医科大学附属病院紀北分院、公立那賀病院と広域連携し、また地域の開業医院と平日ミニ輪番制で漏れのない対応を目指しています。

橋本市の4ヶ月健診（月1回）、1歳8ヵ月健診（年6回）や、あやの台チルドレンセンターとつくしんぼ園の内科健診（年2回）に出務しています。

## 【診療実績】

1日平均患者数  
外来 18.6名  
入院 2.2名

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>おおいし こう</small> 大石 興 補職名：副診療部長 部長 専門領域：感染症 免疫アレルギー疾患 心身症 漢方治療 小児鍼	日本小児科学会 / 小児科専門医
氏名： <small>むかいやま ひろのぶ</small> 向山 弘展 補職名：医長 専門領域：小児科 腎臓病	日本小児科学会 / 小児科専門医 日本小児腎臓病学会 / 代議員 臨床研修指導医 小児慢性特定疾病指定医 難病指定医
氏名： <small>たちばな しんや</small> 立花 伸也 専門領域：小児科 小児循環器 川崎病	

# 産婦人科

## 【科の概要と取り組み】

### (1) 婦人科の特徴

子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がんなどの悪性腫瘍は、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的な治療を行っています。子宮体がん、卵巣がんでは傍大動脈リンパ節郭清術を積極的に行い完全な腫瘍の摘出を目指しています。子宮頸がんは、子宮頸部円錐切除から広汎性子宮全摘術までガイドラインに従って手術を行っています。Ⅲb期以上の子宮頸がんは、化学療法同時併用放射線療法を行っています。子宮筋腫は、薬物療法にて月経困難症や月経過多症などの症状の軽減を図りますが、このような保存的な治療に効果がないときは手術を行います。手術には従来から行われてきた腔式手術や腹式手術だけでなく、内視鏡手術（腹腔鏡、子宮鏡）も行っています。特に子宮鏡下手術は、1～2日間の入院で済み、退院翌日より職場復帰が可能であるため適応のある子宮筋腫には積極的に行っています。良性卵巣腫瘍は、原則的に腹腔鏡下手術を行います。

子宮脱や膀胱瘤は、骨盤支持装置が障害され発生する疾患で排尿障害や排便障害、外陰部不快感などQOLが大きく損なわれる疾患です。当科では膀胱瘤、子宮下垂に対しては経膈メッシュ手術、子宮脱に対しては腔式子宮全摘術+膈断端仙骨子宮靱帯固定術、膈閉鎖術と病状に合わせて術式を選択しています。

### (2) 産科の特徴

当院では安全で快適な分娩を目指しています。妊娠、分娩、育児に対する不安をできるだけ小さくして安心して出産を迎えられるように助産師が指導させていただきます。どのようなお産をしたいか希望を伺い、妊婦自身が積極的に出産に臨めるようにしています。

最近では分娩台で仰向けになり分娩することは少なくなり、側臥位や四つん這いなど産婦が楽な姿勢での分娩（フリースタイル）を行い、満足度の高い分娩を目指しています。分娩後は、母児の早期接触を行い、その後の母児同室により自宅での哺育が順調に行えるように指導しています。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 31.0名

入院 21.4名

分娩数	173件
主要手術件数	224件
婦人科悪性腫瘍手術	25例
子宮悪性腫瘍手術	12例
卵巣悪性腫瘍手術	3例
子宮頸部円錐切除	11例
婦人科良性腫瘍手術	23例
子宮全摘術	17例
腹式	14例
腔式	3例
子宮筋腫核出術	1例
付属器切除術	5例
鏡視下手術	87例
腹腔鏡下手術	32例
LM	1例
LAVH	3例
子宮鏡下手術	44例
子宮鏡下子宮筋腫摘出術	7例
性器脱手術	20例
TVM	11例
帝王切開	38例
帝王切開率	22.0%

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>ふるかわ けんいち</small> 古川 健一 補職名：病院長代理 診療技術部長 部長 専門領域：生殖内分泌 不妊症 婦人科腫瘍学 周産期医学	日本産婦人科学会 / 産婦人科専門医、指導医 和歌山県立医科大学医学部 臨床教授 母体保護法指定医師 医学博士（和歌山県立医科大学）
氏名： <small>ほりうち ゆうこ</small> 堀内 優子 補職名：医長 専門領域：産婦人科全般	日本産婦人科学会 / 産婦人科専門医 医学博士（和歌山県立医科大学） 母体保護法指定医師
氏名： <small>しばた</small> 芝田 あゆみ 専門領域：産婦人科全般	

## 業績

### 発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2020年11月	和歌山市産婦人科医会講習会	2020年度近産婦医療安全部会報告	古川 健一		WEB

## 【概要】

### (1) はじめに

外科スタッフは6名（鳴田管理者を含む）で、全スタッフが和歌山県立医科大学第2外科学教室に所属しています。治療には外科専門医・指導医、消化器外科専門医・指導医が中心となり、主に消化器・一般外科手術の診療を担当しています。2020年度は454件の手術を実施しました（内訳は後述）。

手術内容は胃がん・大腸がんをはじめ、食道がん・肝がん・胆道がん・膵臓がんの全領域の消化器がん手術と、胆石・そけいヘルニア・痔疾患・皮下腫瘍などの良性疾患、虫垂炎・腸閉塞（イレウス）・穿孔性腹膜炎などの緊急手術を行っています。

消化器がん診療については、各々のがん治療ガイドラインに則り、標準治療を実施しています。早期胃がんと大腸がんでは腹腔鏡下手術を、食道がんでは胸腔鏡下手術を導入しています。これらの手術には、鮮明な4Kモニターの腹腔鏡装置と止血能力の高いヴェッセルシーリングシステムや超音波凝固切開装置を用いて、手術に臨んでいます。これにより、見た目の整容性だけでなく、詳細な外科解剖を得ることができ、開腹手術に勝るとも劣らない繊細な手術が可能となっています。歯科口腔外科医や理学療法士の協力のもと、周術期の口腔ケアやリハビリテーションを実施し、術後の肺炎防止や早期離床・早期社会復帰できるように対応しています。また、術後にも病理カンファレンスを実施し、手術した患者様の今後の治療法の検証を実施しています。

一方、消化器癌以外の手術においても、胆石やそけいヘルニア、食道裂孔ヘルニア、膿瘍形成を生じている虫垂炎でも腹腔鏡手術を導入し、早期退院・社会復帰に寄与しています。痔疾患についても、内痔核（いぼ痔）への通常の切除術だけでなく、硬化療法や痔瘻・裂孔手術および直腸脱手術（経肛門的、腹腔鏡下）も実施しています。急性虫垂炎や消化管穿孔の腹部救急手術も実施しています。

手術以外の治療としては、内視鏡治療やX線透視下の治療も担っています。内視鏡的治療としては、大腸ポリープに対する内視鏡的粘膜切除（EMR）、一部の早期胃がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、総胆管結石に対する内視鏡的乳頭切開（EST）による碎石術、食道静脈瘤に対する内視鏡的食道静脈瘤結紮術（EVL）、摂食障害者への内視鏡的胃瘻造設術（PEG）を行っています。X線透視下には、急性胆嚢炎に対する経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）や細菌性胆管炎に対する経皮経肝または内視鏡的胆道ドレナージ術（PTBD、ENBD）、腸閉塞に対するイレウス管留置術も実施しています。

消化器がんの抗がん化学療法やがんの極期の患者様に対する best supporting care についても、薬剤師や外来化学療法室の看護師、皮膚科医、緩和ケアチームや医療ソーシャルワーカー、訪問看護ステーションと連携をとって対応しています。

### (2) 診察内容

一般外科、消化器外科、腹部救急疾患に対応しています。

対象疾患：消化器がん（胃・大腸、食道、肝・胆・膵）、胆道良性疾患、各種ヘルニア（そけい、臍、腹壁、食道裂孔）、肛門疾患

### (3) 検査、処置、手術

検査：内視鏡（上部消化管、大腸、胆道）、消化管透視、腹部超音波、CT、MRIなど

処置：内視鏡的処置（EMR、ESD、消化管出血に対する止血、EVL、ESTほか）

胆道感染に対する経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）、経皮経肝胆管ドレナージ（PTBD）

イレウス管留置術

メタリックステントを用いた胆管・消化管狭窄治療

経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）

ジオンによる痔核の4段階硬化療法（ALTA）

手術日：月、水の全日、金の午後、月1回の木の全日

### (4) 主な医療機器

4K とハイビジョンの腹腔鏡装置、電子内視鏡装置、超音波画像診断装置ほか

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 28.3名

入院 46.5名

手術件数

全身麻酔 383件

脊椎硬膜外麻酔 23件

局所麻酔 48件

合計 459件

疾患別

疾患、術式別	件数（うち鏡視下手術）
食道がん	7（5）
胃がん	22（6）
結腸がん	39（28）
直腸がん	18（12）
肝切除	3
膵頭十二指腸切除	5
イレウス	16
胆石症	85（73）
そけい部ヘルニア	96（55）
痔核・痔瘻	17
食道裂孔ヘルニア	4（4）
直腸脱	4（2）
虫垂炎	41（16）
急性腹膜炎手術	11
その他	91

## 【取り組みや今後の展望】

- ① 患者主体の医療を心がける
- ② 医療過誤・事故を生じないように努め、安全な医療を提供する
- ③ 主要学会の指導医・専門医の取得、施設認定の維持
- ④ 救急医療、災害医療への地域拠点病院としての役割を果たす
- ⑤ がん診療連携拠点病院として、標準がん治療を地域住民に提供する
- ⑥ 学会・論文活動の継続

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：嶋田 浩介 <small>しまだ こうすけ</small> 補職名：病院管理者 専門領域：消化器外科 栄養 排便機能 災害医療	日本外科学会 / 外科専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医、指導医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本臨床栄養代謝学会 TNT 修了 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医 緩和ケア指導医 BLS、ACLS 修了 JPTEC 修了 JATEC 修了 DMAT
氏名：坂田 好史 <small>さかた よしみ</small> 補職名：筆頭部長 専門領域：消化器外科 化学療法 災害医療	日本外科学会 / 外科専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医、指導医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医、指導医 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医、指導医 臨床研修指導医 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医 DMAT、災害医療コーディネーター
氏名：前田 恒宏 <small>まえだ つねひろ</small> 補職名：部長 専門領域：消化器外科 栄養療法	日本外科学会 / 外科専門医 日本消化器外科学会 / 消化器外科認定医 日本消化器内視鏡学会 / 消化器内視鏡専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本臨床栄養代謝学会 / 認定医 PEG・在宅医療学会 / 専門胃瘻造設者 (同上) / 専門胃瘻管理者 (同上) / 認定胃瘻教育者 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医 臨床研修指導医 日本医師会認定産業医
氏名：中井 博章 <small>なかい ひろあき</small> 補職名：部長 専門領域：消化器外科	日本外科学会 / 外科専門医 医学博士
氏名：加藤 智也 <small>かとう ともや</small> 補職名：医長 専門領域：消化器外科	日本外科学会 / 外科専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本がん治療認定医機構 / がん治療認定医
氏名：佐藤 公俊 <small>さとう まさとし</small> 専門領域：消化器外科	
氏名：青木 洋三 <small>あおき ようぞう</small> 補職名：名誉院長 専門領域：消化器外科 外科栄養学 胆膵生理機能 健康管理学	日本外科学会 / 専門医、指導医、評議員 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、特別会員 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医、評議員 (同上) / インフェクションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 和歌山医学会 / 功労会員 日本人間ドック学会 / 人間ドック認定医 (同上) / 人間ドック健診専門医・指導医 (同上) / 人間ドック健診情報管理指導士 検診マンモグラフィ読影認定医 (日本乳がん検診精度管理中央機構) 日本医師会認定産業医 地域包括医療・ケア認定医 (全国国民健康保険診療施設協議会) 日本臨床外科学会 / 特別会員 日本外科代謝栄養学会 / 評議員 日本肝胆膵外科学会 / 評議員

# 整形外科

## 【概要】

地域中核病院としての機能を果たすべく、日々の診療を充実させていきたいと思っております。

整形外科診療体制は常勤医師5名で診療にあたります。施設として、当院は日本整形外科学会認定研修施設および日本手外科学会認定基幹研修施設に指定されております。

新型コロナウイルス感染拡大の中にあっても、四肢外傷で医療機関を受診される患者さんは後を絶ちません。整形外科疾患の治療に対する需要はこの状況下においてなお増加傾向にあります。

当院の入院症例の多くは大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折に代表される高齢者の四肢骨折で、早期のADL回復を目指し手術治療を行っています。

また特に緊急性の高い外傷（切断肢指、開放性骨折、広範皮膚欠損創など）に対しては、休日時間外も整形外科医師がオンコールで待機し診療にあたります。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 47.0名

入院 71.5名

2020年度全手術件数（2020.4.1～2021.3.31） 総症例 686

骨折	365件
大腿骨近位部	134件
人工骨頭	55件
観血的整復固定術	79件
大腿骨骨幹部	5件
大腿骨遠位	6件
膝蓋骨	5件
下腿	53件
近位	11件
骨幹部	1件
遠位	41件
足部	10件
足趾	2件
骨盤	2件
鎖骨	13件
上腕 近位	33件
近位	13件
骨幹部	15件
遠位	5件
前腕	62件
近位	9件
骨幹部	1件
遠位	52件
手部	7件
手指	33件
関節外科	39件
人工関節置換術	34件
股関節	19件
膝関節	15件
半月板手術	5件
手外科・足外科	138件
手根管症候群	38件
肘部管症候群	8件
腱鞘切開（ばね指）	44件
皮弁	1件
再接着、腱損傷、神経損傷、血管損傷、靭帯断裂など	18件
手関節形成術	3件
関節固定術	6件
顕微鏡下リンパ管細静脈吻合	1件

アキレス腱断裂	4件
外反母趾手術	2件
四肢、指切断	13件
脊椎	1件
胸椎	1件
骨軟部腫瘍	15件
軟部腫瘍	14件
骨腫瘍	1件
その他	127件
骨内異物除去術	89件
創傷処理	38件

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：林 未統 補職名：部長 専門領域：手外科 四肢外傷 マイクロサージャリー	日本整形外科学会 / 整形外科専門医 日本手外科学会 / 手外科専門医 中部日本整形外科災害外科学会 / 評議員 身体障害者福祉法第 15 条指定医師 (肢体) 医学博士
氏名：木岡 雅彦 補職名：医長 専門領域：整形外科一般 脊椎外科	日本整形外科学会 / 整形外科専門医 (同上) / 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 (同上) / 日本整形外科学会認定スポーツ医 身体障害者福祉法第 15 条指定医師 (肢体)
氏名：峰 巨 補職名：医長 専門領域：整形外科一般 関節外科 人工関節 (股・膝) 関節鏡 (膝)	日本専門医機構認定整形外科専門医 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本整形外科学会認定リウマチ医 日本整形外科学会認定リハビリテーション医 日本人工関節学会認定医 AOTrauma Member, AOTrauma Japan 上級会員 身体障害者福祉法第 15 条指定医師 (肢体)
氏名：山川 量平 補職名：副医長 専門領域：整形外科一般 (2020年6月まで)	
氏名：出口 剛士 専門領域：整形外科一般 (2020年7月から)	整形外科専門医
氏名：山下 実輝 専門領域：整形外科一般	

# 脳神経外科、脳血管内治療センター

## 【概要】

当科は一般外来および入院患者さんの診療に加え、伊都、橋本地域の頭部外傷、脳卒中に対応しております。2020年度 入院患者内脳卒中患者は6割近くに及び、年々増加しています。2018年4月脳血管内治療センターをオープンし、tPA、急性期血行再開術の恩恵をより多くの患者様にうけていただくよう、Code Stroke systemを整備し、救急隊からの連絡を直接聞き、早期に対応準備し、治療までのtimeを短縮し、超急性脳梗塞には経静脈的血栓溶解療法(tPA 9例)に加え、急性期血栓機械的血栓捕捉術14例と着実に症例数が伸びてきています。

またLEICA社の顕微鏡システムを導入し、術中蛍光色素による脳血管撮影が可能となり、脳腫瘍手術では、腫瘍と正常脳との境界を明らかにする、蛍光色素を用いた臨床研究も行っています。

当科では県下で3施設でしか行えない「画像支援ナビゲーション手術」を行っています。この手術で使用されるMedtronic社製のニューロナビゲーターStealth Stationは、自動車の道案内に用いられる「カーナビ」のようなものです。病変部と周辺組織の立体的位置を正確に表示してくれるため、手術の際にどこを切開しどのように進めば安全に病変部まで到達できるのか、といったことが一目瞭然です。その結果、神経や血管を傷つけることなく安全に病変部を取り除くことができるようになり脳腫瘍の治療で成果をあげています。さらに、重要脳神経や重要機能を司る脳(手足の動き、言語)近傍脳腫瘍摘出時には神経モニタリングを併用し画像支援ナビゲーションと共に病変部を切除する精度を高めるだけでなく安全性の向上に努めています

また和歌山県下では数少ない専門外来 2013年9月からは、「物忘れ外来」(担当:大饗医師)を開設しております。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 17.7名

入院 36.1名

手術実績 107例

脳血管障害	
開頭ネッククリッピング術	2例
開頭血腫除去術	6例
定位的血腫吸引除去術	1例
脳動静脈奇形摘出術	0例
バイパス術	0例
脳室ドレナージ術	4例
外減圧術	2例
脳腫瘍	
開頭脳腫瘍摘出術	6例
経蝶形骨洞下垂体腫瘍摘出術	2例
生検術	0例
神経血管減圧術	0例
外傷	
開頭血腫除去術	4例
頭蓋形成術	4例
慢性硬膜下血腫穿頭洗浄術	23例
水頭症	
脳室腹腔シャント術	3例
腰椎くも膜下腔腹腔シャント術	0例
その他	1例
血管内手術	
脳動脈瘤コイル塞栓術	10例
頸動脈ステント留置術	11例
鎖骨下動脈ステント留置術	1例
頭蓋内血管拡張術	5例
頭蓋外血管拡張術	2例
急性期血栓回収術	14例

AVF 塞栓術	2 例
脳腫瘍栄養血管塞栓術	2 例
慢性硬膜下血腫（動脈塞栓術）	2 例

### 【今後の課題】

新しい手術技術の導入を行い、新規患者の獲得  
地域社会への啓蒙活動の強化

### 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <sup>かきた こうじ</sup> 垣下 浩二 補職名：筆頭部長 専門領域：脳腫瘍 脳卒中の外科治療 神経機能の外科治療	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医、指導医 日本脳卒中学会 / 脳卒中専門医、指導医 日本定位・機能神経外科学会 / 機能的定位脳手術技術認定医 日本頭痛学会 / 認定頭痛専門医
氏名： <sup>おおい よしひろ</sup> 大饗 義仁 補職名：部長 専門領域：脳腫瘍の外科治療 認知症治療	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
氏名： <sup>よしむら りょう</sup> 吉村 良 補職名：部長 専門領域：脳卒中 脳血管内治療 災害医療	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医、指導医 日本脳神経血管内治療学会 / 日本脳神経血管内治療学会認定専門医 日本脳卒中学会 / 日本脳卒中学会認定専門医、指導医 日本災害医学会 / 社会医学系指導医（社会医学系専門医協会） 日本 DMAT 隊員（総括 DMAT） ISLS（脳卒中初期診療コース）コーディネーター JATEC（外傷初期診療コース）インストラクター 日本 DMAT インストラクター MCLS（多数傷病者初期診療コース）世話人 ADLS/BDLS（アメリカ災害医学コース）インストラクター

### 業績発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2020年8月	第45回 日本脳卒中学会学術集会	不安定プラークを有する頸部内頸動脈狭窄に対する当院のCAS治療の現状と対策	垣下 浩二	吉村 良、大饗 義仁	横浜市 (WEB 併催)
2	2020年8月	第45回 日本脳卒中学会学術集会	JOIN は血管内治療医を幸せにしたか	吉村 良	大饗 義仁、垣下 浩二、山本奈保美、 嶋田美由紀、池田 景子、西井 千裕、 宮田 政明、森本 勝士、小坂 将弘、 三木田正夫	横浜市 (WEB 併催)
3	2020年10月	第78回 日本脳神経外科学会総会	高リスク（不安定プラークを有する症候性頸部内頸動脈狭窄）症例に対するCASの安全性についての検討	垣下 浩二	吉村 良、大饗 義仁	岡山市 (WEB 併催)
4	2020年11月	WFNS Foundation ACNS Nepal and Vietnam Joint Seminar	Bailout techniques of coil embolization for cerebral aneurysms	Ryo Yoshimura		Hanoi, Vietnam (web lecture)
5	2020年11月	第36回 日本脳神経血管内治療学会	地方都市におけるCOVID-19警戒下のProtected Code Stroke	吉村 良	大饗 義仁、垣下 浩二、山本奈保美、 嶋田美由紀、池田 景子、西井 千裕、 森本 勝士、宮田 政明、小坂 将弘	京都市 (WEB 併催)
6	2021年3月	第46回 日本脳卒中学会学術集会	地方病院での機械的血栓回収術後の急性増悪例の検討	垣下 浩二	吉村 良、大饗 義仁	福岡市 (WEB 併催)

### 講演

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2020年2月	伊都薬剤師会研修会	脳梗塞マネジメント 2020	垣下 浩二	橋本市
2	2020年7月	EduCAS	頸動脈ステント術教育講演	吉村 良	WEB
3	2020年8月	大塚タケキャブセミナー	“with コロナ”時代における抗血小板療法について - 消化管出血を防ぐ重要性を考える -	吉村 良	WEB
4	2020年9月	エーザイ社内講演会	脳血管障害とてんかん	吉村 良	WEB
5	2020年10月	和歌山脳神経疾患フォーラム	“with コロナ”時代における抗血小板療法について - 消化管出血を防ぐ重要性を考える -	吉村 良	WEB
6	2020年11月	地域医療連携 WebEx シンポジウム	DMAT の活動と地域医療連携 - 災害現場派遣の経験を踏まえて -	吉村 良	WEB
7	2020年11月	DOAC web seminar	脳卒中治療最前線 - 血栓回収療法から抗凝固療法まで	吉村 良	WEB
8	2020年12月	災害医療最前線 2020	災害医療での抗凝固療法への対応～予防から治療までのいろは～	吉村 良	WEB
9	2020年12月	テルモ社内講演会	血管内治療寺子屋セミナー	吉村 良	WEB

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
10	2021年1月	エーザイ社内講演会	脳血管障害とてんかん	吉村 良	WEB
11	2021年1月	てんかん web セミナー	脳血管障害とてんかん	吉村 良	WEB
12	2021年3月	Stroke web seminar in 橋本	脳卒中治療の最近の話題 - 一次脳卒中センター (PSC) の役割について -	吉村 良	WEB
13	2021年3月	Prevent the Catastrophe Web Seminar	“with コロナ”時代における抗血小板療法について - 消化管出血を防ぐ重要性を考える -	吉村 良	WEB

#### 災害派遣

No	派遣期間	災害派遣名	派遣者	派遣都市
1	2020年7月12日 - 7月16日	九州豪雨災害派遣	吉村 良	熊本県芦北町
2	2020年12月16日 - 12月20日	新型コロナウイルス肺炎医療支援	吉村 良	北海道札幌市

# 眼科

## 【科の概要と取り組み】

2020年7月以降、常勤医1名体制で診療にあたっております。

眼科手術は主に白内障手術を行っております。近隣で手術を取り扱っている施設が少ないため、常勤医1名体制ではありますが、近隣の先生方にご協力いただき、周術期は当院で、術後の経過観察については診療所等という連携を推進し、手術件数を維持して待ち期間が長くないよう取り組んでいます。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 37.3名

入院 2.9名

手術件数（2020年度） 計 602件

(内訳)

白内障手術	590件
その他の手術	12件

COVID-19感染症拡大の影響で、2020年5月に一時手術を停止したため、件数がわずかに減少しました。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>きん けいしゅ</small> 金 桂洙 補職名：部長 診療情報部長 医療安全管理部長 感染管理室長 専門領域：眼科一般 白内障	医療安全管理者
氏名： <small>ひろせ じゅんいち</small> 廣瀬 順一 補職名：医長 専門領域：眼科一般 白内障 (2020年6月まで)	日本眼科学会 / 眼科専門医

# 泌尿器科

## 【概要】

これまで行ってきた上部尿路結石に対する細径尿管鏡を用いた経尿道的手術（TUL）、前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺レーザー核出術（HoLEP）や膀胱がんに対する経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR - Bt）、女性泌尿器科疾患に対する手術も安定して行っています。加えて、上部尿路がん（腎盂がんや尿管がん）や腎がんなどの泌尿器科悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術も積極的に実施するようになり、別記の通り一定の症例数を重ね、安定した手術成績を示しております。2017年1月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定を獲得し、限局性前立腺がんに対する腹腔鏡下手術も継続実施しております。2018年1月からは難治性の過活動膀胱に対する仙骨神経刺激療法（SNM）についても施設認定を受けました。2020年度からは、難治性過活動膀胱に対するボツリヌストキシン膀胱壁注入療法も取り入れ症例を重ねつつあります。

これまでどおり、患者さんの生活の質（QOL）を重視しつつ診療に取り組みたいと考えております。

## ●診療内容

次のような泌尿器科疾患を対象としています。

- ① 泌尿器科悪性腫瘍（腎がん、腎盂がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣腫瘍など）
- ② 排尿障害（前立腺肥大症、神経因性膀胱など）
- ③ 尿路結石（膀胱結石、腎結石、尿管結石など）
- ④ 尿路性器感染症（膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎、性感染症など）
- ⑤ 小児泌尿器科（停留精巣、包茎など）
- ⑥ 性機能障害（ED、男性更年期など）
- ⑦ 女性泌尿器科（尿失禁、性器脱など）

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 56.7名

入院 7.7名

手術日は火曜日、木曜日、金曜日の午後です。主に火曜日に全身麻酔手術を予定しております。手術実績に関しては1月から12月のものを掲載いたします。

手術名	2017年	2018年	2019年	2020年
副腎摘除術（鏡視下）	3 (3)	3 (3)	1 (1)	4 (4)
根治的腎摘除術（鏡視下）	2 (2)	1 (1)	9 (9)	3 (3)
単純腎摘除術	0	1	0	0
腎部分切除術	0	1 (1)	1 (1)	4 (4)
腎尿管全摘膀胱部分切除術（鏡視下）	7 (7)	5 (5)	11 (11)	4 (4)
経尿道的尿管碎石術（TUL）	78	72	69	84
腹腔鏡下腎盂形成術	1 (1)	3 (2)	1 (1)	0
膀胱全摘除術（開腹）	2	2	1	1
回腸（結腸）導管造設術	2	1	0	1
経尿道的膀胱腫瘍切除術	50	49	59	42
尿失禁手術（TVT、TOT）	7	9	11	3
高位精巣摘出術	4	3	2	1
経尿道的前立腺レーザー核出術	41	83	73	54
前立腺全摘除術（鏡視下）	9 (7)	6 (6)	13 (12)	15 (14)
膀胱碎石術	7	12	3	7
陰嚢内小手術	9	7	10	8
ボツリヌストキシン膀胱壁注入療法	0	0	0	14
その他手術	5	6	22	34
合計	227	264	286	279

（ ）内は腹腔鏡下手術件数

### 【取り組みや今後の展望、その他一言】

常に患者さんに寄り添い、生活の質をできる限り損なわないできるだけ低侵襲な治療を考えながら診療を進めていきたいと考えております。地域医療に少しでも貢献できるよう努力いたします。

### 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <sup>いながき たけし</sup> 稲垣 武 補職名：筆頭部長 専門領域：泌尿器一般 悪性腫瘍 腹腔鏡手術	日本泌尿器科学会 / 泌尿器科専門医、指導医 日本泌尿器科内視鏡学会 / 泌尿器腹腔鏡技術認定医 医学博士
氏名： <sup>ひらばやし やすを</sup> 平林 康男 補職名：部長 専門領域：泌尿器一般 尿路結石 尿失禁 前立腺肥大症 下部尿路機能	日本泌尿器科学会 / 泌尿器科専門医、指導医 日本性感染症学会 / 日本性感染症学会認定医 医学博士
氏名： <sup>ぼく そんいる</sup> 朴 聖一 専門領域：泌尿器一般	

# 麻酔科

## 【概要】

スタッフは常勤1名と非常勤が週4日各1名です。

麻酔科が担当する麻酔症例は全身麻酔が中心で、硬膜外麻酔、脊椎麻酔も行っています。当院は外科系診療科が多く、症例も一般的な手術は殆ど行っているため、麻酔症例の偏りはありません。

全身麻酔は、レミフェンタニルを併用した吸入麻酔、静脈麻酔で行っており、症例によっては硬膜外麻酔を併用しています。

## 【診療実績】

2020年度の総手術件数は2394症例、そのうち麻酔科が管理した症例は908症例、全身麻酔症例は823症例です。

## 【取り組み・今後の展望】

患者の高齢化、ハイリスク患者の増加、手術の複雑化に伴い、麻酔科の必要性はますます増加しています。また、日本医療機能評価認定や施設認定規準等にも麻酔科は必須項目になってきています。

今後とも、麻酔科の必要性が増し、その地位、待遇の改善が進むと見込まれます。

麻酔科関係の新しい薬剤や機器が日々開発され、麻酔の安全性は飛躍的に向上しています。麻酔の進歩に遅れることなく、それらの新しい薬剤、機器、知識を速やかに取り入れ麻酔の安全性の向上に努めていきます。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>にしうら のりひろ</small> 西浦 徳裕 補職名：部長 専門領域：麻酔科領域全般	日本麻酔科学会 / 麻酔科専門医

# 放射線科

## 【科の概要と取り組み】

スタッフは、2004年10月に当院で放射線科開設以来、一人体制(放射線科専門医)で画像診断、アンギオ撮影、TAE、動注などのIVR、放射線治療などを行っていましたが、2020年4月より大西先生を迎え、2人体制となりました。

画像診断は、X線、CT、MRI、RI、血管造影検査などによって、得られた画像を読影して、病気の診断をします。2人体制になったため、読影量は増加し、CT、MRIの約8割強を読影しています。

血管造影では、診断だけでなく、肺、肝、腎、膀胱、子宮などの臓器に対して、塞栓術(ジェルパート、コイルなど)、抗がん剤の動注なども行っています。

放射線治療は、新病院移転に伴い、2005年1月より稼動し、2006年は70名、その後徐々に治療患者数が増加し、2009年に当院では初めて100件を超え、8年連続で100件を越えていましたが、今年は超えませんでした(放射線治療患者数の計算は1月～12月で計算)。

部位は、頭部、肺、肝、子宮、前立腺など多岐にわたっています。CTシミュレーターのため、照射部位がしぼれ、周囲の照射による副作用を軽減でき、しいては、照射線量を増加させることができます。

放射線治療、アンギオ治療はがん診療連携拠点病院には欠かせない治療です。末期治療、疼痛緩和治療としても放射線治療は必要です。4年前より前立腺がんの治療薬であるゾーフィゴが当院でも使用可能になりました。これは、核医学製剤としては2番目の治療薬であり、骨転移のある患者さんに対して効果が期待出来ます。一ヶ月に一回を6度、6ヶ月かかります。患者さんの疼痛緩和、QOLの意味からも有用な薬剤となることが期待されています。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 10.2名

入院 1名

画像診断 (CT、MRI、RI等)	約 17,000 件
検診の画像診断 (胸部単純、胃透視)	約 2,400 件
アンギオ	12 件
放射線治療	73 件、84 部位

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>つのい かずゆき</small> 角井 一之 補職名：部長 専門領域：放射線科	日本医学放射線学会 / 放射線科専門医 (同上) / 放射線科研修指導医
氏名： <small>おおにし さえこ</small> 大西 佐江子 専門領域：放射線科	

# 歯科口腔外科

## 【概要】

### (1) 科の紹介（特徴）・取り組み等

2019年4月から、常勤医2名（和歌山医科大学・口腔外科学教室）、歯科衛生士3名、歯科技工士1名、火曜日のみ非常勤医+1名（隔週）で診療を行っています。

地域の歯科医師会ならびに医師会と病診連携をとりながら、病院歯科口腔外科としての特徴を最大限に活かして外来診療・入院治療を行えるように取り組んでおります。

なお2013年10月より日本口腔外科学会准研修施設の認定を受けています。

### (2) 診察内容

口腔外科として診療対象は一般の歯科医院では対応困難な埋伏歯や顎口腔領域の炎症、顎骨の骨折や歯の脱臼などの外傷、嚢胞、腫瘍、顎変形症、先天異常、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患と多岐にわたります。また、ウイルス感染症による口内炎や神経性疾患などの口腔内科的な診断・診療も範疇となります。多様な基礎疾患をもつ患者様に対しても、各科と協力しながら身体機能の早期回復を目指して治療に取り組んでおり、睡眠時無呼吸症候群の治療の一環として口腔内装具の作成なども行っています。

また病院歯科として口腔機能の維持・改善を行うことにより早期の経口摂取の開始、誤嚥性肺炎の防止などにつとめ、1日も早い回復を目指した口腔ケアにも積極的に取り組んでいます。近年、オーラルマネージメントの重要性が取り上げられており、当院でも栄養サポートチーム（NST）、呼吸サポートチーム（RST）、摂食嚥下リハビリチーム、緩和ケアサポートチームに参加しております。また糖尿病の教育入院の一環として口腔衛生指導にも取り組んでいます。

なお、地域の歯科医師会との病診連携を明確にしているため、循環器疾患や脳血管障害、糖尿病などの有病者の方の抜歯などは当科で担当し、その後の一般歯科治療は紹介元の歯科医院に逆紹介させていただいています。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 22.0名

入院 3.4名

### 外来初診件数 1,399件

外傷（骨折：19件、歯の外傷8件、軟組織創傷46件）

炎症（膿瘍23件、顎骨炎23件、上顎洞炎23件、インプラント周囲炎7件）

口腔粘膜疾患（口腔乾燥症95件、白板症5件、扁平苔癬10件、ウイルス性疾患6件、

その他の口腔粘膜疾患193件）

嚢胞（歯原性嚢胞69件、非歯原性嚢胞17件、軟組織嚢胞40件）

良性腫瘍および腫瘍類似疾患（非歯原性腫瘍17件、腫瘍類似疾患40件）

歯科心身症51件

顎関節疾患（顎関節症92件、顎関節脱臼7件）

神経性疾患（神経痛1件、神経麻10件、その他の神経疾患6件）

唾液腺疾患（唾液腺炎7件、唾石症5件、唾液腺腫瘍2件）

悪性腫瘍（癌腫12件、その他4件）

歯（P/Perなど209件、Perico/埋伏歯/位置異常384件）

先天異常・発育異常10件

### 入院手術件数141件

歯・歯槽外科手術（智歯抜歯術22件、智歯以外の抜歯術42件、歯根端切除術5件、その他の手術3件）

補綴前外科手術・顎堤形成手術（顎堤形成術1件、骨隆起形成術2件、その他の手術2件）

インプラント植立術1件

消炎手術（膿瘍切開術 4 件、腐骨除去術 5 件）  
 良性腫瘍・嚢胞・腫瘤形成性疾患等の手術（軟組織腫瘍切除術 5 件、軟組織嚢胞摘出術 2 件、  
 顎骨嚢胞摘出・開窓術 17 件）

唾液腺関連手術（唾石摘出術 5 件）  
 口腔上顎洞瘻閉鎖術 1 件  
 顎顔面外傷手術 / 異物除去手術（上顎骨骨折 1 件、下顎骨骨折手術 4 件、関節突起骨折手術 1 件、  
 頬骨・頬骨弓骨折手術 1 件、顔面多発骨折手術 1 件、その他の手術 2 件）  
 癌 / 前癌病変関連手術（舌部分切除術 1 件、頬粘膜・口底切除術 3 件、上顎部分切除術 1 件、  
 下顎辺縁切除術 1 件、選択的頸部郭清術 3 件、その他の手術 3 件）  
 再建外科手術（局所皮弁再建術 1 件、有茎筋弁 1 件）

### 【今後の課題】

高齢化社会による疾病構造の変化とともに有病者率は年々増加傾向にあります。それにあわせ抗凝固・抗血小板療法や免疫抑制剤の使用、ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死のリスクなど、歯科治療に際して注意を要する対象も増加しています。今後は更に安心・安全な医療の提供が求められるようになり、悪性腫瘍の手術や放射線・化学療法における周術期の口腔ケアなど、病院歯科としての口腔外科のニーズはますます高まってきています。また、地域における中核病院の歯科口腔外科として、医科・歯科の病診連携がよりスムーズになるように頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

### 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：田中 章夫 <small>たなか あきお</small> 補職名：部長 専門領域：口腔外科全般	日本口腔外科学会 / 口腔外科専門医 (同上) / 口腔外科指導医 日本小児口腔外科学会 / 小児口腔外科認定医 日本口腔ケア学会 / 口腔ケア認定 4 級 AHA BLS インストラクター
氏名：家田 晋輔 <small>いえだ しんすけ</small> 補職名：副医長 専門領域：口腔外科全般	

# 皮膚科

## 【概要】

皮膚科は2009年より常勤体制となり、現在も常勤医師1名、応援医師数名交代制で主に外来を中心に診療を行っています。周辺に皮膚科専門の開業医の数が少ないため、common skin diseases 中心ですが、原因究明のため血液検査やDLST検査、金属パッチテストなどの貼付試験、皮内反応などを可能な限り行っています。病理組織学的検査により診断精度の上がることを期待できる症例に関しては、積極的に皮膚生検検査や外来で行える範囲での小切除も行っています。

2012年11月より紫外線治療機器が導入となり、尋常性乾癬や菌状息肉症などの皮膚疾患に対して光線療法を行えるようになりました。

また、他科と連携し褥瘡をはじめ入院中の皮膚疾患に対しても積極的にかかわり治療に携わっています。入院加療が必要な場合（熱傷、带状疱疹、薬疹など）は入院による加療も行っています。

## 【診療実績】

1日平均患者数

外来 20.4名

入院 0.9名

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：服部 舞子 補職名：医長 専門領域：皮膚科一般	日本皮膚科学会 / 皮膚科専門医

# 病理診断科

## 【概要】

地域中規模病院の病理診断科です。担当職員は病理常勤医 1 名、非常勤医 1 名、技師 3 名（うち細胞検査士は 2 名）です。生検および手術検体の病理組織診断、細胞診断、および病理解剖を担当しています。

## 【診療実績】

組織件数：2,164 件、ブロック数：7,838 個、プレパラート枚数：7,839 枚

細胞診件数：4,901 件、プレパラート枚数：7,730 枚

免染枚数：2,334 枚、特染枚数：226 枚

迅速件数：31 件、迅速細胞診：5 件、剖検件数：0 件

臨床との症例検討：適時

外科 - 病理症例検討会（毎週金曜日 8 時 30 分より）19 回

CPC 3 回

## CPC 症例

- ・ 2021 年 2 月 12 日  
誤嚥による化学的肺臓炎で急変したと考えられた 90 歳代女性  
主治医 循環器内科 小林先生、研修医 福本先生
- ・ 2021 年 2 月 26 日  
Lewy 小体認知症で急死された 80 歳代の男性  
主治医 総合内科 橋本先生、研修医 廣實先生
- ・ 2021 年 3 月 8 日  
肺炎から ARDS を発症して死亡された 70 歳代の男性  
主治医 総合内科 平山先生、研修医 南先生、塩崎先生

## 研修医受け入れ

2020 年 4、5 月 松本先生、2021 年 1 月 目先生、2021 年 2 月 廣實先生、  
2021 年 3 月 森先生

## 【今後の展望】

- ・ 積極的に臨床・病理カンファレンスを実施する
- ・ 医療安全の立場を踏まえて、病理解剖を積極的に取り組む意識を持つ
- ・ 専門性の高い病理技師、細胞検査士の育成
- ・ 病理検査室の独立と大学病院ならびに周囲関連病院との積極的な病理連携。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>まえくら しゅんじ</small> 前倉 俊治 補職名：副院長 部長 専門領域：病理診断	日本病理学会 / 病理専門医 日本臨床細胞学会 / 細胞診専門医 日本臨床検査医学会 / 臨床検査管理医

# 循環器内科

## 【概要】

2020年度は、退職医師の補充が困難であった時期に科員の家族の健康問題も重なり、24時間365日体制が維持できない時期がありました。この間地域の皆様には多大なご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

2021年4月より、東本医師の赴任により、常勤医師は、星屋副院長（昭和60年卒）、寒川医長（平成17年卒）、梶野副医長（平成19年卒）、匹本医師（平成25年卒）、東本医師（平成30年卒）の5人となり、従来どおりの救急体勢に戻ることができました。

循環器内科では、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、弁膜症、心筋症、心不全、不整脈、高血圧、動脈瘤、閉塞性動脈硬化症等の循環器疾患全般の診断・治療を行っています。これまでも主要な検査及び治療方針は、カンファレンス等を通じて科院全員で検討し、共通の方針のもとに行っています。

特に、5人体制となってから、365日24時間体制で、急性心筋梗塞、不安定狭心症、心不全等に対する救急治療を積極的に行っていく所存です。

## 【診療実績】

2020年度の新入院患者は578人で、そのうち循環器疾患は486人（虚血性心疾患75%、不整脈7%、弁膜症3%、心筋症1%）でした。そのうち急性心筋梗塞は55例で、発症24時間以内の50例に対して緊急冠動脈インターベンション治療（PCI）を行いました。

再灌流療法以外に206件の冠動脈造影を行い、125例にPCIを施行しました。その他、末梢動脈に対する血管形成術（PTA）55件、永久ペースメーカー植え込み術28件でした。

1日平均患者数

外来 44.6名

入院 37.0名

## 非観血的検査

トレッドミル運動負荷試験	90件
心エコー	3,560件
ホルター心電図	202件
心臓核医学（RI）検査	106件

## 観血的検査・治療

総心臓カテーテル検査	256件
冠動脈造影検査	81件
冠動脈インターベンション（PCI）	175件
経皮的血管形成術 PTA	52件
永久ペースメーカー植え込み術 新規	15件
交換	13件

## 【取り組みや今後の展望、その他一言】

当院周辺には循環器専門施設がなく、急性心筋梗塞等の循環器救急疾患の搬送先はほぼ当院に限られます。当科では、24時間体制で循環器救急疾患に対応する方針としていますが、医師5名で24時間体制を持続可能なものとするには地域の医療機関の協力が不可欠であり、そのため連携パスや開業医の先生方との勉強会等を通じ、地域連携の強化に今後より一層取り組んでいきたいと考えています。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：星屋 博信 補職名：副院長 診療部長 部長 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本循環器学会 / 循環器専門医
氏名：小林 克暢 補職名：医長 専門領域：循環器内科 (2020年7月まで)	
氏名：寒川 浩道 補職名：医長 専門領域：総合診療 心血管カテーテル治療 構造的心疾患治療 消化器内視鏡治療 内科感染症	日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医、指導医 日本内科学会 / 認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会 / 心血管インターベンション治療認定医 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本循環器学会 / 循環器専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 臨床研修指導医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 BLS、ACLS プロバイザー IN.PACT DCB (薬剤溶出性バルーン) 実施研修修了 日本脳卒中学会 / 脳梗塞 rt-PA 適正使用講習会修了
氏名：榊野 富造 補職名：医長 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医
氏名：匹本 樹寿 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医

業績  
発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2020年7月	第56回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会	iFR 値と OCT で観察した病変性状と病変長の検討	寒川 浩道		東京都
2	2020年11月	第62回日本消化器病学会大会	当院の消化器癌における心血管イベントの検討	寒川 浩道		神戸市 (WEB 併催)
3	2021年2月	第36回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	大動脈性状の悪い重症大動脈弁狭窄症に対して retroBAV 施行した1例	寒川 浩道		WEB

## 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2021年3月	SpringerLink	Impact of left ventricular ejection fraction and preoperative hemoglobin level on perioperative adverse cardiovascular events in noncardiac surgery	Hiromichi Sougawa	Yasushi Ino, Hironori Kitabata, Takashi Tanimoto, Masahiro Takahata, Kunihiro Shimamura, Yasutsugu Shiono, Tomoyuki Yamaguchi, Akio Kuroi, Shingo Ota, Akira Taruya, Kazushi Takemoto, Atsushi Tanaka, Takashi Kubo, Takeshi Hozumi, Takashi Akasaka
2	2021年3月	専門医を目指す後期研修医、総合診療医、救急・集中治療専門医、そして循環器の道を究めたいすべての方のための考究 循環器診療の奥深さを学ぶ黒のカルテ Chapter10,P188-198	あなたならどうする、すぐに手術？それとも…	寒川 浩道	

# 救急科

## 【概要】

2014年4月より専従常勤医が配置され、救急科の運営がスタートしました。従来は各科が持ち回りで担当していた時間内の救急患者を救急科で受け持ちしています。必要に応じて院内の各科専門医と連携し、引き継ぎや入院診療を円滑に行うようにしています。

当院の位置付けとしては2次救急となっておりますが、実態として当科では1次から3次まで様々な疾患に対応しており、初療の後に必要に応じて高次医療機関への搬送を行っています。また、地域のメディカルコントローラーとして、消防とのホットラインを救急科にて所持しております。

## 【診療実績】（2020年4月～2021年3月）

救急車受入数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
救急者数	156	179	145	196	226	155	188	186	182	206	168	201	182.3

救急科受付患者数

(人)

	平・日	平・夜	休・日	休・夜	合計
患者数	1,953	1,962	1,884	1,132	6,931
うち入院	703	641	632	294	2,270

紹介患者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
紹介患者数	20	21	32	39	33	30	45	33	25	24	27	47	31.3

## 【取り組み・今後の展望・その他一言】

医療圏内救急搬送での応需率は約半数を占めており、橋本市のみならず医療圏内の地域貢献ができていると考えております。新型コロナウイルス感染症の流行のため控えておりますが、流行が落ち着けば、週1回の当市の救急隊がERに常駐する救急ワークステーションを再開いたします。

消防本部と定期的に行っているメディカルコントロール会議も継続的に行い、地域の中核病院としての役割を果たして行きます。今後ともいっそうの体制充実に、救急科一同努めて参ります。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
<small>さかた よしふみ</small> 氏名：坂田 好史 補職名：部長 専門領域：※省略 外科参照	※省略 外科参照
<small>おがわ あつひろ</small> 氏名：小川 敦裕 補職名：副医長 専門領域：救急医学	日本内科学会 / 認定内科医 日本救急医学会 / 救急科専門医 日本集中治療医学会 / 集中治療専門医

# 健診センター

## 【概要】

健診センターは2006年4月からは常勤医1人体制で、週に3日間運営していましたが、2008年4月からは名誉院長と2人体制となり毎日の健診が可能となり、現在は事務員5名とともに健診業務を行っています。

当健診センターでは、人間ドック（一日ドック、二日ドック等）、生活習慣病健診（協会けんぽ等）、がん検診（肺がん、胃がん、大腸がん等）、脳ドック、女性検診（乳がん検診、子宮がん検診等）、その他の健診（各企業の定期健診、雇用時や入学時の健診等）、さらには職員健診も含め、様々な健診業務を、診療各科や診療技術部の協力も得ながら実施しています。

また、2008年度から特定健康診査、特定保健指導が義務付けられ、当健診センターでも当面は特定健康診査のみではありますが実施しています。

なお、2011年7月からは禁煙治療のための禁煙外来が、2週間に1回ではありますが健診センター内に開設されています。

## 【診療実績】

2020年度健診センター実績（2020年4月～2021年3月）

健診受診者総数	3,409名
（内訳）	
人間ドック（一日、二日、生活習慣病健診）	1,259件
特定健康診査（国保、社保）	498件
がん検診（肺、胃、大腸）	1,605件
脳ドック	162件
女性検診（子宮がん、乳がん）	1,123件
その他の健診	802件

2020年度禁煙外来実績（2020年4月～2021年3月）

禁煙外来受診者数	7名
12週間計5回の禁煙治療を終了した者	3名
禁煙に成功した者	3名
途中で治療を中止したが中止時に禁煙していた者	0名
喫煙を止めた者の割合	43%

## 【取り組みや今後の展望、その他一言】

2008年度から特定健康診査が開始されましたが、今後は特定保健指導も行うことで、特に生活習慣病の早期発見、予防に取り組んでいきたいと思っています。

健診センターでは、二次予防である一般的な健康診断のほか、生活習慣の指導、啓蒙等の一次予防も行い、これら予防医学全般を通じて地域住民の健康の保持、増進に貢献出来ればと考えています。

## 医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：瀧谷 裕緒 補職名：部長 専門領域：内科 糖尿病	日本内科学会 / 認定内科医 （同上） / 総合内科専門医 日本糖尿病学会 / 糖尿病専門医 （同上） / 糖尿病研修指導医 臨床研修指導医 日本医師会認定産業医
氏名：青木 洋三 補職名：名誉院長 専門領域：※省略 外科参照	※省略 外科参照



# V 看護部紹介



## V 看護部紹介

看護部

外来

3階西病棟

3階東病棟

4階西病棟

4階東病棟

5階西病棟

5階東病棟

HCU病棟

中央手術室 / 中央材料室

## 【概要】

### ●看護職

看護部長 西 未知子  
副看護部長 井上 敏江

外来	看護師長	廣西	和代
3階西病棟	看護師長	恋中	理恵
3階東病棟	看護師長	西林	和美
4階西病棟	看護師長	神保	昌世
4階東病棟	看護師長	舩野	真樹
5階西病棟	看護師長	東本	桂
5階東病棟	看護師長	狩谷	真紀
中央手術室	看護師長	川北	ひさ
中央材料室	看護師長	川北	ひさ（兼務）
HCU	看護師長	川北	ひさ（兼務）

## 看護職スタッフ総数（令和3年3月31日現在）

助産師 : 15人  
看護師 : 191人  
准看護師 : 6人  
看護補助者 : 37人

## 【理念・目標】

### ●理念・基本方針・目標

#### 看護部理念

私たちは、「患者の権利」を尊重し、安心、安全、安楽な看護を提供します。

#### 看護部基本方針

1. 患者の生命の尊厳と人権を尊重いた看護をおこないます。
2. 急性期病院の看護専門職として、常に自己研鑽を重ね、行進の育成に努めます。
3. 病床機能に応じて、それぞれの職種が専門職性を活かした看護を提供します。
4. 多職種連携に努め、地域完結型看護をめざします。

#### 看護部教育理念

患者満足と安心・安全を基本とし、急性期病院の医療に対応した専門的な看護を提供できる看護職を育成する。

#### 看護部教育方針

- ✦ 病院の理念、看護部の理念に基づいて、質の高い看護を提供できる看護職を育成する。
- ✦ 現任教育・新人教育・看護補助者教育・後進育成・看護研究の5つの柱とし、それぞれの立場と段階に応じた教育と教育的な援助を行う。
- ✦ 看護の専門職人として看護実践能力を高め、看護の質的向上を図ることを支援する。
- ✦ 職位、役割に応じた研修、学会などに参加する機会を提供する。

## 看護部目標

魅力ある職場づくりと選ばれる病院づくりに参画する。

2020年度 スローガン

A

あきらめない

K

考えて

B

バイタリティーで看護

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 情報共有を活かした安全の保障
  - 2) 実践からのリフレクションを通して新たな発見へ
  - 3) 100%の感染対策
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
  - 1) 業務内容を改築して効率よい時間管理
  - 2) 教え合い、声かけ合い、皆でチーム力向上
3. 地域医療機関の信頼と満足の向上
  - 1) 入院から退院後の生活を見据えた退院支援
  - 2) 専門職として誇りをもち、誠実な態度で患者サービス

### 【取り組み】

- ・ コロナ禍の中で「考えられる看護師を育てる」ということを念頭に感染対策に配慮しながら研修を実施し日々の業務の中での指導を行った
- ・ 病院の体制変更が行われ、重症度、医療・看護必要度が上昇するなか、看護体制を整え皆で協力することで、経営に参画できたと考える

### 【今後の課題】

1. 管理職の能力向上
2. 自己研鑽に努める
3. 職場環境改善に取り組む

### 【実績】

別紙参照

2020 年度委員会・会議 参加者リスト

	部 署	氏 名	月 日	時 間	委員会名	場 所
1	外来	前垣内 真由美	4月3日(金)	13:30～16:00	第10回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
2	HCU	田中 君枝	4月14日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
3	HCU	田中 君枝	5月12日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
4	外来	廣西 和代	5月27日(水)	15:00～17:00	伊都地区支部役員会 (5月)	紀北分院
5	外来	前垣内 真由美	6月5日(金)	13:30～16:00	第3回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
6	医療安全	近藤 史子	6月21日(日)	13:00～15:00	令和2年度 和歌山県看護連盟通常総会	勤労福祉会館 プラザホープ 4階
7	看護管理	西 未知子	6月27日(土)	12:30～15:00	令和2年度 和歌山県看護協会通常総会	和歌山県看護研修センター 大ホール
8	看護管理	西 未知子	6月30日(火)	13:30～16:00	令和2年度 第3回理事会・第2回合同運営会議	和歌山県看護研修センター 大ホール
9	外来	廣西 和代	6月30日(火)	14:00～	伊都地区支部役員会 (6月)	橋本市民病院
10	HCU	田中 君枝	7月14日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
11	地域連携	木村 久美子	7月30日(木)	16:00～17:00	令和2年 第1回橋本保健医療圏在宅医療・介護連携推進協議会	橋本市保健福祉センター
12	感染管理	橋田 美加子	8月3日(月)	10:00～16:00	第1回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
13	手術室	川北 ひさ	8月7日(金)	10:00～16:00	第1回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター 研修室1
14	外来	前垣内 真由美	8月7日(金)	13:30～16:00	第4回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
15	入退院	木村 久美子	8月17日(月)	10:00～17:00	第2回 教育委員会	和歌山県看護研修センター 研修室2
16	HCU	田中 君枝	8月18日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
17	3東	田中 早苗	8月20日(木)	10:00～16:00	第2回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター 会議室3
18	看護管理	西 未知子	8月24日(月)	13:30～16:30	令和2年度 第4回理事会	和歌山県看護研修センター 研修室1
19	手術室	川北 ひさ	8月26日(水)	13:30～16:30	看護師特定行為研修区分別科目実習「栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連」の協力	和歌山県立医科大学 高度医療人育成センター2階 スキルスラボ
20	3東	田中 早苗	8月29日(土)	9:30～16:00	第1回 助産師研修会	和歌山県看護研修センター 研修室2
21	感染管理	橋田 美加子	9月3日(木)	9:00～17:00	災害看護研修開催協力員 研修名:「JNA収録DVD研修～災害支援ナースの第一歩～」	和歌山県看護研修センター
22	外来	前垣内 真由美	9月4日(金)	13:30～16:00	第5回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
23	感染管理	橋田 美加子	9月10日(木)	10:00～16:00	第2回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
24	外来	前垣内 真由美	9月13日(日)	13:30～15:00	和歌山県議会議長・和歌山県議会議員 自民党幹事長との懇話会	自由民主党和歌山県支部連合会 3階
25	3東	田中 早苗	9月17日(木)	10:00～16:00	第3回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター 会議室3
26	入退院	木村 久美子	9月18日(金)	10:00～17:00	第3回 教育委員会	和歌山県看護研修センター 研修室1
27	感染管理	橋田 美加子	10月2日(金)	10:00～16:00	第3回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
28	外来	前垣内 真由美	10月2日(金)	13:30～16:00	第6回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会 1階研修室
29	4西	神保 昌世	10月3日(土)	10:00～16:00	第149回 研究会	大阪国際会議場 グランキューブ大阪
30	看護管理	西 未知子	10月5日(月)	14:00～	伊都地区支部役員会 (10月)	橋本市民病院
31	外来	廣西 和代	10月5日(月)	14:00～	伊都地区支部役員会 (10月)	橋本市民病院
32	HCU	田中 君枝	10月13日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
33	3東	田中 早苗	10月15日(木)	10:00～16:00	第4回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
34	外来	前垣内 真由美	10月25日(日)	13:30～15:00	意見交換会 テーマ:「看護協会と看護連盟の連携について」	和歌山県看護協会 大ホール
35	外来	前垣内 真由美	11月6日(金)	13:30～16:00	第7回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会 1階研修室
36	3東	田中 早苗	11月7日(土)	9:00～16:00	助産師職能集会・産科管理者交流会	和歌山県看護研修センター
37	HCU	田中 君枝	11月10日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
38	3東	田中 早苗	11月19日(木)	10:00～16:00	第5回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
39	感染管理	橋田 美加子	11月30日(月)	9:00～17:00	災害看護研修開催協力員 研修名:「災害フォローアップ研修」	和歌山県看護研修センター
40	感染管理	橋田 美加子	12月1日(火)	9:00～17:00	災害看護研修開催協力員 研修名:「災害フォローアップ研修」	紀南 ビッグU
41	看護管理	西 未知子	12月3日(木)	13:30～16:30	令和2年度 第5回理事会	和歌山県看護研修センター

	部 署	氏 名	月 日	時 間	委員会名	場 所
42	外来	前垣内 真由美	12月4日(金)	13:30～16:00	第8回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会 1階研修室
43	3東	田中 早苗	12月5日(土)	13:00～17:30	近畿地区助産師職能合同研修会	和歌山県看護研修センター
44	HCU	田中 君枝	12月8日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
45	看護管理	西 未知子	12月8日(火)	15:00～16:00	伊都地区支部役員会 (12月)	橋本市市民病院
46	外来	廣西 和代	12月8日(火)	15:00～16:00	伊都地区支部役員会 (12月)	橋本市市民病院
47	3東	田中 早苗	12月17日(木)	10:00～16:00	第6回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
48	手術室	川北 ひさ	12月18日(金)	9:30～17:00	第3回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
49	感染管理	栢田 美加子	12月21日(月)	10:00～16:00	第4回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
50	3西	福島 治美	12月21日(月)	10:00～17:00	第6回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
51	HCU	田中 君枝	2021年 1月13日(水)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
52	3東	田中 早苗	1月14日(木)	10:00～16:00	第7回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
53	外来	前垣内 真由美	1月15日(金)	13:30～16:00	第9回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会 1階研修室
54	3西	福島 治美	1月18日(月)	10:00～17:00	第7回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
55	手術室	川北 ひさ	1月22日(金)	13:30～17:00	第4回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
56	外来	前垣内 真由美	2月5日(金)	13:30～16:00	第10回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会 2階研修室2
57	HCU	田中 君枝	2月10日(水)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
58	看護管理	南 真理	2月13日(土)	13:00～15:00	希少疾患を支援するための看護師アドバイザー会議 2021	オンライン会議
59	感染管理	栢田 美加子	2月15日(月)	10:00～16:00	第5回 災害看護対策委員会	和歌山県看護研修センター
60	3西	福島 治美	2月15日(月)	10:00～17:00	第8回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
61	3東	田中 早苗	2月18日(木)	10:00～16:00	第8回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
62	3東	田中 早苗	2月20日(土)	9:00～16:00	第2回 助産師研修会	和歌山県看護研修センター
63	3西	福島 治美	2月20日(土)	9:00～17:00	「人材育成 部下ができれば、身につけたい指導術 ～新人看護師編：成長を促す指導法を身につける～」の協力員	和歌山県看護研修センター
64	手術室	川北 ひさ	2月26日(金)	9:00～17:00	「医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修」開催協力員	和歌山県看護研修センター 大ホール
65	看護管理	南 真理	2月27日(土)	15:00～16:30	Rare disease Day 2021～Academy for Integrated Patient Care Conference	WEB配信により開催
66	外来	前垣内 真由美	3月5日(金)	13:30～16:00	第11回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護協会 1階研修室
67	HCU	田中 君枝	3月10日(水)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
68	3東	田中 早苗	3月11日(木)	10:00～16:00	第9回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
69	3西	福島 治美	3月15日(月)	10:00～17:00	第9回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
70	手術室	川北 ひさ	3月26日(金)	13:30～17:00	第5回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
71	4西	神保 昌世	3月27日(土)	10:00～16:00	第150回 研究会	大阪国際会議場 グランキューブ大阪

2020年度 新人看護師研修（ラダーⅠ）

【院内・院外】

	月 日	時 間	研修内容	参加人数	講 師
1	4月1日～4月3日 4月6日～4月10日	8:30～17:15	新人オリエンテーション	7名	8名
2	5月13日	15:00～17:15	(演習) 静脈採血	6名	4名
3	5月22日	14:30～15:30	(座学) 看護倫理	6名	3名
4	6月5日	15:00～17:15	(演習) 医療機器の取り扱い(シリンジ・輸液ポンプ)	6名	8名
5	6月16日	15:30～17:15	(演習) 点滴ミキシング・清潔操作	6名	8名
6	6月24日	16:00～17:15	(座学) KYT:医療安全	6名	3名
7	7月6日	14:00～15:00	(座学) 確認行為:医療安全	6名	3名
8	7月22日	12:30～15:30	(演習) 看護技術研修(排泄ケア・導尿・オムツ交換)	6名	4名
9	8月7日	13:30～17:15	(演習) 看護技術研修(酸素療法・喀痰吸引法)	6名	4名
10	8月21日	10:00～16:00	【院外研修】 和歌山県看護協会主催 新人を育成する教育 「もう悩まない!深める倫理、使えるコミュニケーションスキル」研修	6名	1名
11	8月26日	16:00～17:15	(座学) 褥瘡管理	6名	2名
12	9月11日	10:00～16:00	【院外研修】 和歌山県看護協会主催 新人を育成する教育 「新人ナースのためのフィジカルアセスメント ～事例から学ぶフィジカルアセスメント～」研修	6名	1名
13	9月23日	14:30～16:00	(座学) 輸血管理	6名	3名
14	10月20日	10:00～16:00	【院外研修】 和歌山県看護協会主催 新人を育成する教育 「新人のための医療安全」研修	6名	1名
15	10月28日	13:30～17:15	【院外研修】 かむろ大師体験研修 (写経)	6名	2名
16	11月4日	14:00～15:30	(座学) 麻薬管理	6名	3名
17	11月25日	14:00～15:30	(座学) フィジカルアセスメント	6名	4名
18	12月9日	15:30～16:30	(座学) 糖尿病の基礎知識	6名	3名
19	12月23日	15:30～17:15	(演習) 急変時看護	6名	4名
20	2021年1月27日	14:30～16:00	(演習) エンゼルケア	6名	4名
21	2021年2月24日	14:30～16:00	(座学) ナラティブ研修	6名	3名

院外研修

2020年度 ラダーⅡ研修

	月 日	研修名	参加人数
1	5月20日・5月27日	メンバーシップ研修	23名
2	6月17日	ケーススタディ	25名
3	7月1日・7月15日	医療安全・KYT	22名
4	9月2日・9月16日	看護倫理	22名
5	9月～11月	部署別ローテーション研修	23名
6	10月7日・10月21日	フィジカルアセスメント	22名
7	12月3日	ケーススタディ発表会	21名

2020年度 ラダーⅢ研修

	月 日	研修名	参加人数
1	6月11日	問題解決技法	9名
2	8月11日	看護研究	8名
3	9月4日	問題解決技法	9名
4	10月5日	緩和ケア	8名
5	12月10日	問題解決技法	9名

2020年度 看護補助者研修

	月 日	研修名	参加職種	参加人数	講 師
1	8月14日	病院機能と組織	ケアワーカー	16名	船野 真樹
2	8月18日		ケアワーカー	18名	
3	9月10日	医療安全・個人情報の扱いについて	ケアワーカー	16名	近藤 史子
4	9月25日		ケアワーカー	16名	
5	10月9日	感染対策	ケアワーカー	22名	栢田 美加子
6	10月16日		ケアワーカー	16名	
7	11月11日	移乗:車イス	ケアワーカー	21名	平家 智子 土井 めぐみ
8	11月17日		ケアワーカー	15名	
9	12月4日	移乗:ストレッチャー	ケアワーカー	21名	土井 めぐみ 平家 智子
10	12月18日		ケアワーカー	19名	
11	2021年1月18日	おむつ交換	ケアワーカー	15名	目賀多 悦子 市村 智子 宮本 靖代
12	2021年1月26日		ケアワーカー	14名	
13	2021年1月29日		ケアワーカー	10名	
14	2021年2月5日	寝衣交換	ケアワーカー	10名	目賀多 悦子 市村 智子 宮本 靖代
15	2021年2月15日		ケアワーカー	14名	
16	2021年2月19日		ケアワーカー	15名	

2020年度 院外研修参加リスト

	月	研修名	主催	人数
1	4月	看護師特定行為研修 ★研修区分【呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連】 【動脈血液ガス分析関連】 4/3（金）～R3.3/29（月）	大阪市立大学医学部附属病院	1
2	7月	地域ケア研修会 7/16（木）	橋本市地域包括支援センター	2
3	8月	20「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修 《オンラインセミナー》 8/1（土）～8/31（月）	一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会 / ヴェクソンインターナショナル株式会社	43
4		新人看護職員実地指導者研修（県受託事業）【20-045】 ①8/17（月）②8/18（火）③9/1（火）④9/2（水）⑤11/13（金）	公益社団法人和歌山県看護協会	1
5		もう悩まない！深める倫理、使えるコミュニケーションスキル【20-003】 8/21（金）	公益社団法人和歌山県看護協会	6
6		2019年度第4期 和歌山県立医科大学看護師特定行為研修実習 8/25（火）～R3.2/18（木）	和歌山県立医科大学付属病院	1
7		【助産師職能委員会】 令和2年度 第1回 助産師研修会 テーマ「新生児フィジカルアセスメント」 8/29（土）	公益社団法人和歌山県看護協会	2
8		和歌山県看護協会・和歌山県看護連盟合同研修 8/30（日）	公益社団法人和歌山県看護協会 / 和歌山県看護連盟	7
9		新人ナースのためのフィジカルアセスメント～事例から学ぶフィジカルアセスメント～【20-004】 9/11（金）	公益社団法人和歌山県看護協会	6
10		令和2年度 保健師・助産師・看護師職能合同研修会 《WEB研修》 9/12（土）	公益社団法人和歌山県看護協会	7
11	9月	身体的拘束の低減・早期解除の工夫と院内デイケアの作り方と運営の実際セミナー 9/27（日）	さわやかナースセミナー事務局	2
12	12月	特定行為研修の実習【血糖コントロールに係る薬剤投与関連】 ①9月28日（月）～10月2日（金）5日間 【栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連】 ②10月5日（月）～10月9日（金）5日間	和歌山県立医科大学付属病院	1
13		糖尿病重症化予防（フットケア）研修【20-027】 10/10（土）・11（日）	公益社団法人和歌山県看護協会	1
14	10月	認知症ケアでBPSDと医療事故は減らせる！認知症の理解で実践する医療安全と対策セミナー 10/18（日）	さわやかナースセミナー事務局	3
15	10月	新人のための医療安全【20-005】 10/20（火）	公益社団法人和歌山県看護協会	6
16	11月	第25回 和歌山県病院協会学術大会 11/15（日）	公益社団法人和歌山県病院協会	10
17		第18回 和歌山県病院大会 11/15（日）	公益社団法人和歌山県病院協会	3
18		看護記録の意義～リスクマネジメントの観点から～【20-026】 11/18（水）	公益社団法人和歌山県看護協会	2
19	11月	楽しく学ぶ循環器疾患とその看護【20-009】 11/25（水）	公益社団法人和歌山県看護協会	1
20	12月	令和2年度 近畿管区広域緊急援助隊合同訓練 12/2（水）	和歌山県警・近畿管区警察局共催	3
21	12月	令和2年度 看護職員認知症対応力向上研修（和歌山県委託事業）【20-055-2】 12/7（月）・8（火）・15（火）3日間	公益社団法人和歌山県看護協会	2
22	12月	令和2年度 災害派遣医療チーム研修 12/23（水）～12/26（土）4日間	厚生労働省医政局地域医療計画課	1
23	12月	令和2年度 認定看護師フォローアップ研修会 R3.1/16（土）	公益社団法人和歌山県病院協会	3
24	R3年 1月	第6回コミュニケーションスキルトレーニング研修 《Web開催（Zoom）》 ・講演：自死が起きた後～遺族とスタッフのケア～ 1/22（金）	近畿大学病院 緩和ケアセンター	2
25		令和2年度 がんのリハビリテーション研修会 in 和歌山 1/30（土）・31（日）2日間	和歌山がんのリハビリテーション研修会実行委員会 / 和歌山県立医科大学附属病院	1
26	2月	2020年度看護必要度ステップアップ研修 《完全オンラインセミナー 2/20（土）～配信》 リーダーナース、主任、 看護師長のための看護必要度を用いた日々の患者マネジメント	一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会 / ヴェクソンインターナショナル（株）	3
27		「令和元年度の和歌山県看護協会認定看護管理者教育課程 セカンドレベル 修了者による看護管理実践報告会」 2/23（火）	公益社団法人和歌山県看護協会	2
28		医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修 《Web》【20-049】 2/26（金）	公益社団法人和歌山県看護協会	1
29	3月	令和2年度 看護師特定行為フォローアップ研修会 3/10（水）	公立大学法人和歌山県立医科大学 看護キャリア開発センター	1
30		令和2年度 医療事故調査制度 支援団体統括者セミナー（日本医療安全調査機構委託事業） 3/27（土）	和歌山県医師会	1
研修参加者合計				125

- 新人看護師の研修
- 長期研修

2020年度 学会発表

	学会名	主催	月日	発表者
1	第22回 日本医療マネジメント学会学術総会 病院ビッグデータ革命～データ活用による「医療の質」「医療・介護連携」の飛躍(Leap)を求めて～	日本医療マネジメント学会	10月6日(火) 10月7日(水)	西 未知子
2	令和2年度 和歌山県看護研究学会 その人らしさを支える看護～ともに考える地域包括ケアの未来～	和歌山県看護研究学会事務局 公益社団法人和歌山県看護協会	令和3年2月6日(土)	中谷・宮本菜・丸・ 溝江・辻・森脇愛・ 瀧本・北村・枝元・ 亀井・中野

2020年度 イベント参加

	イベント名	主催	月日	参加者
1	看護師特定行為研修 第4期生 修了式	公立大学法人和歌山県立医科大学	令和3年3月24日(水) 14:00～15:00	南 真理・ 岡本 麻里

2020年度 講師派遣

	担当科目・単元	主催	月日	総時間数 (回数)	場所	講師名
1	成人看護活動論Ⅳ (脳・神経機能障害のある患者の看護)	和歌山県立高等看護学院 看護学科一部2年	令和2年 (1) 7/7 (火) 半日 (2) 7/13 (月) 半日 (3) 7/21 (火) 半日	10 (4)	和歌山県立高等看護学院	池田 景子
2	成人看護活動論Ⅱ (循環機能障害をもつ人の看護)		令和2年 (1) 7/6 (月) 9:00～12:10 (2) 7/14 (火) 9:00～12:10 (3) 7/20 (月) 9:00～10:30	10 (2)		神谷 好美
3	母性看護活動論Ⅱ (妊娠・分娩・産褥・新生児の異常時の看護)		令和2年10月～11月	10 (2)		東 季映
4	臨床看護実務Ⅱ (災害看護)	和歌山県立高等看護学院 看護学科一部3年	令和2年 10/19日(月) 13:00～16:10	4 (4)	和歌山看護専門学校	天野 健一
5	統合分野 看護の統合と実践Ⅱ(医療安全)	和歌山看護専門学校 担当学年:3年生	令和2年 4/13(月) 4限 6/29(月) 4限 7/6(月) 4限 7/16(木) 2限 7/30(木) 2限 8/3(月) 4限 8/18(火) 4限  ★2限目 ⇒ 11:00～12:30 4限目 ⇒ 15:10～16:40	15時間 (7回)		川北 ひさ

	項目	主催	月日	時間	場所	講師
1	感染対策(COVID-19)について	医療法人南労会 紀和病院	令和2年9月9日(水)	15:00～17:00	医療法人南労会 紀和病院	栢田 美加子
2	「糖尿病重症化予防(フットケア)」	公益社団法人和歌山県看護協会	10月10日(土)	9:00～18:10	和歌山県看護研修センター	金本 純子
			10月11日(日)	9:00～18:10		
3	2020年 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策研修 講師	公益社団法人和歌山県看護協会	10月28日(水)	14:30～16:00	和歌山県看護研修センター	南 真理
4	令和2年度和歌山県看護研究学会 一般演題発表座長派遣依頼	和歌山県福祉保健部	11月18日(水)	10:00～12:00	六地学園	神保 昌世 栢田 美加子
5	2020年 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策研修 講師	和歌山県福祉保健部	11月27日(金)	半日	メディケア橋本	神保 昌世 栢田 美加子
6	「感染予防の基礎を学ぼう! 一患者さんとあなたを守るために」	公益社団法人和歌山県看護協会	12月4日(金)	10:00～16:00	和歌山県看護研修センター	栢田 美加子
7	令和2年度和歌山県看護研究学会 一般演題発表座長派遣依頼	公益社団法人和歌山県看護協会	令和3年2月6日(土)	9:20～16:30	和歌山県看護研修センター 大ホール	神保 昌世
8	2020年 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策研修 講師	和歌山県福祉保健部	令和3年3月17日(水)	14:00～16:00	友愛苑	神保 昌世

2020年度 認定・その他学会資格取得者 / 研修修了一覧

	資格・研修修了	主催	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31-R1年度)	2020年度 (R2年度)
1	認定看護管理者ファーストレベル	公益社団法人 和歌山県看護協会・大阪府看護協会	19名	23名	23名	26名	26名
2	認定看護管理者セカンドレベル	公益社団法人 和歌山県看護協会・奈良県看護協会 / 学校法人 藍野大学 キャリア開発・研究センター	6名	9名	11名	11名	11名
3	認定看護管理者サードレベル	公益社団法人 大阪府看護協会			1名	1名	1名
4	【認定看護師】 感染管理認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	2名	2名	2名	2名
5	【認定看護師】 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
6	【認定看護師】 がん化学療法看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
7	【認定看護師】 皮膚・排泄ケア認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
8	【認定看護師】 緩和ケア認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	2名
9	【認定看護師】 救急看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
10	【認定看護師】 認定看護管理者	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
11	JTASm コース	一般社団法人 日本臨床救急医学会 / 一般社団法人 日本救急看護学会	1名	1名	1名	1名	1名
12	日本臨床救急医学会認定 ISLS コース	和歌山 ISLS 研究会	8名	8名	23名	25名	30名
13	ICLS (Immediate Cardiac Life Support) 二次救命処置コース	一般社団法人 日本救急医学会	2名	18名	23名	23名	23名
14	災害支援ナース登録者	公益社団法人 和歌山県看護協会	6名	6名	7名	7名	7名
15	近畿ブロック DMAT 技能維持研修	厚生労働省		1名	1名	1名	1名
16	JADM (Japanese Association for Disaster Medicine)	日本集団災害医学会	1名	2名	4名	4名	4名
17	医療安全管理者養成研修	公益社団法人 日本看護協会	2名	2名	1名	1名	1名
18	医療安全管理者養成研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	15名	18名	21名	24名	20名
19	医療安全管理者養成研修	一般社団法人 医療の質・安全学会	2名	2名	3名	3名	3名
20	医療安全管理者養成研修 (専門コース)	公益社団法人 全国自治体病院協議会	1名	3名	3名	3名	3名
21	医療安全管理者養成研修 (管理コース・実践コース)	公益社団法人 全国自治体病院協議会		3名	3名	3名	3名
22	医療安全対策に係る研修 (第2回 PSP セミナー)	公益社団法人 日本医療機能評価機構	2名	2名	2名	2名	2名
23	医療安全分科会研修	特定非営利活動法人 日本医療マネジメント学会		1名	1名	1名	1名
24	臨床指導者 (保健師助産師看護師実習指導者講習会)	都道府県知事	22名	23名	21名	21名	19名
25	新人看護職員実習指導者研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	12名	13名	13名	12名	12名
26	看護師特定行為研修	公立大学法人 和歌山県立医科大学 / 特定行為研修管理委員会				1名	3名
27	看護教員養成課程	厚生労働省認定 (大阪府)	2名	1名	1名	1名	1名
28	和歌山県 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム	和歌山県がん診療連携協議会	3名	4名	5名	5名	5名
29	退院支援看護師養成研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	8名	8名	8名	6名	4名
30	退院支援看護師研修	都道府県知事		3名	3名	3名	2名
31	院内臓器移植コーディネーター	都道府県知事	2名	3名	3名	4名	4名
32	和歌山県院内臓器移植コーディネーター養成研修	公益財団法人わかやま移植医療推進協会			1名	1名	1名
33	栄養サポートチーム専門療法士	一般社団法人 日本静脈経腸栄養学会	1名	1名	1名	1名	1名
34	看護管理者研修 「看護管理者のための経営分析セミナー」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	1名	1名	3名	3名	3名
35	看護管理者研修 「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」	公益社団法人 和歌山県看護協会・奈良県看護協会	2名	7名	7名	7名	7名
36	看護管理者研修 看護補助者の活用と成長支援	株式会社ビジネスブレン	5名	6名	6名	6名	6名
37	看護管理研修「看護の評価マネジメント」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	1名	1名	1名	1名	1名
38	看護管理研修「看護における機能連携」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会		1名	1名	1名	1名
39	緩和ケア研修会 (がん診療に携わる医師以外の医療従事者に対する)	都道府県知事	15名	19名	19名	19名	19名
40	緩和ケア研修会 (がん等の診療に携わる医師等に対する)	厚生労働省			5名	10名	9名
41	がん看護専門分野指導者研修	国立研究開発法人 国立がん研究センター	3名	3名	3名	3名	3名
42	がん看護コース (インテンシブ)	7大学連携先端がん教育基盤創造プラン組織運営委員会	3名	3名	3名	3名	3名
43	がんリハビリテーション研修	和歌山がんリハ研修会実行委員会 / 和歌山県立医科大学附属病院	1名	2名	2名	2名	3名
44	糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修会	公益社団法人 和歌山県看護協会	4名	4名	5名	7名	8名
45	日本糖尿病療養指導士	一般社団法人 日本糖尿病療養指導士認定機構	3名	4名	4名	6名	6名
46	和歌山県地域糖尿病療養指導士 (WLCDE)	和歌山地域糖尿病療養指導士認定委員会	10名	10名	10名	10名	11名
47	フットケア指導士認定セミナー (第8回)	一般社団法人 日本フットケア学会 学術委員会	1名	1名	1名	1名	1名
48	認知症ケア専門士認定	一般社団法人 日本認知症ケア学会	1名	2名	2名	2名	2名
49	認知症対応力向上研修	厚生労働省	3名	6名	13名	18名	19名
50	認知症高齢者の看護実践に必要な知識の研修	公益社団法人 日本看護協会	11名	11名	13名	13名	13名
51	JASCS 日本禁煙科学会 禁煙支援士	日本禁煙科学会	3名	4名	4名	4名	4名
52	排尿機能検査士	一般社団法人 日本泌尿器科学会	1名	1名	1名	2名	2名
53	オムツフィッター (3級)	株式会社 はいせつ総合研究所	2名	2名	2名	2名	2名
54	アドバンス助産師	一般社団法人 日本助産評価機構	4名	4名	4名	4名	4名
55	ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics)	ALSO JAPAN	2名	2名	2名	2名	2名
56	高血圧・循環器病予防療養指導士	高血圧・循環器病予防療養指導士認定委員会				1名	1名
57	3学会合同 呼吸療法認定士	3学会合同呼吸療法認定士認定委員会	3名	4名	4名	5名	5名
58	消化器内視鏡技師	一般社団法人 日本消化器内視鏡学会	3名	3名	3名	4名	4名
59	医療リハビリテーションセラピスト養成講習会	特定非営利活動法人 日本医療リハビリテーション協会	1名	1名	1名	1名	1名
60	関西ストーマケア講習会修了	関西ストーマケア講習会	1名	1名	2名	3名	3名
61	CRC 養成研修会修了	一般社団法人 日本病院薬剤師会	1名	1名	1名	1名	1名
62	弾性ストックング・コンダクター講習会	日本静脈学会			3名	3名	3名
63	認定心理士	公益社団法人 日本心理学会	1名	1名	1名	1名	1名
64	周術期管理チーム	公益社団法人 日本麻酔科学会	1名	1名	1名	2名	2名

## 【概要】

患者満足度が向上出来るように、外来看護師は患者の症状や訴えだけでなく、家族構成やキーパーソンなど生活状況を知り、情報収集を行うことで、その人にとって必要な支援を考えています。また、外来診療がスムーズに受けられるように診療クラークの増員、それに伴いクラークの教育に努めています。

スタッフの構成は、看護師長1名・副看護師長2名・主任看護師4名・看護師26名・クラーク23名です。

2020年、新型コロナ肺炎の感染拡大によって、外来診察の流れは大きく変化しています。発熱外来だけでなく、救急搬送される患者や一般診察に来られる患者の状態にも十分注意を払い、患者の不安の軽減や感染対策に取り組んでいます。

## 【外来目標】

1. 医療の質と安全の向上
  - ・毎日笑顔で挨拶し、感謝の気持ちを言葉で伝えることで、コミュニケーションエラーを防ぐ
  - ・報告・連絡・相談のタイミングは優先順位を考慮リアルタイムに行う
  - ・発生した事象に関しての内容を振り返り、原因や対策を考え、外来全体で共有する
  - ・標準予防策の徹底（自分たちの身は自分達で守る!!）
2. 無駄・無理・ムラをなくし働きやすい職場づくり
  - ・個々で時間管理を行い、外来ONEチームで時間外業務を減らす
  - ・整理整頓を行い、物品を大切に扱うことで無駄使いを減らす
  - ・風通しのよいコミュニケーションを図り、互いの業務状況を把握する
3. 地域医療機関の信頼と満足度の向上
  - ・患者の生活を見据えた支援を多職種で行い、継続看護につなげる
  - ・他職種との連携を強化する
  - ・対面でも電話でも、相手に安心感を与える言動・行動を心がける

## 【取り組み等】

### 外来勉強会

5月	感染予防・対策・PPE装着	10月	救急対応での事例検討
6月	接遇	11月	個人情報について
7・8月	看護ケアで考える倫理	1・2月	医療安全（KYT）
9月	看護必要度	3月	感染予防・対策・PPE装着

## 【今後の課題】

- ・感染しない、感染拡大させない、感染予防の徹底
- ・患者に寄り添い、看護専門職としての責任と行動が取れる
- ・医療安全に努める
- ・病棟、地域との継続看護につなげるための情報提供と情報共有
- ・必要な情報をセレクトし、「見える」看護記録の徹底

## 【概要】

消化器外科28床、脳神経外科12床、泌尿器科7床、総合内科4床、呼吸器内科3床による54床の混合病棟です。看護師長、副看護師長、主任看護師2名、看護師18名、ケアワーカー2名、医療ソーシャルワーカー1名、病棟クラーク1名を含む27名で構成し、ペアナーシングと受け持ち制で看護を展開しています。

当病棟で、治療を受ける患者さんは年々高齢化の傾向で、様々な既往歴や重症な患者さんも多く収容しています。そのため、病状に合わせながら安全かつスムーズな離床の促進、異常の早期発見や合併症の予防に努めています。また、受け持ち看護師を中心とし、入院時から在宅状況や転院等について患者さんご家族さんの要望を聞き、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・医療ソーシャルワーカー等の多職種で関わりを持ち、社会復帰や在宅に向けた支援を行っています。

## 【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 積極的なコミュニケーションの実施
    - ・疑問に思ったら、声に出してお互い確認
    - ・お互い指摘し合える間柄、協力し合える関係を作る
  - 2) 危機意識を持ち、安全意識を高める
    - ・細かい気づきで、インシデント0レベル報告件数アップ
    - ・指さし呼称や6Rの確認の継続
  - 3) 適切な手指衛生と感染対策の実施
    - ・PPEの適正使用に努め、無駄をなくす
    - ・適切なタイミングで手指消毒を行い、感染防止に努める
    - ・毎日の環境整備を確実に（整理・整頓・清掃）
2. 無駄、無理、ムラをなくし、働きやすい環境づくり
  - 1) 看護に対する積極的な意見交換
    - ・ケースカンファレンスを通し、患者さんに寄り添える看護の継続を図る
    - ・ケースカンファレンス結果を患者さんへフィードバックする
  - 2) 業務整理を行い仕事にメリハリ
    - ・ハドル、デブリーフィングの機会を活用し、みんなで協力
3. 地域との連携を図る
  - 1) 入院から退院まで、患者・ご家族のサポートを行う
    - ・入院時から退院を見据えた継続看護を提供できるよう、受け持ち看護師の支援強化

## 【取り組み等】

病棟内で定期的に勉強会を開催し、専門性の高い看護を提供できるように努力しています。

6月	ヘルニア手術勉強会	9月	緩和について
7月	ドレーン管理について	11月	胃切除術 薬剤の取り扱い勉強会
8月	胆石手術について	12月	退院支援について

## 【今後の課題】

超高齢化社会に向けて、地域で患者さんが安心して療養できるサポート体制が必要となります。そのため、入院時から患者さんの情報を元に、外来と病棟と連携を図り、地域での生活を安心して送られるようにしていく必要があると考えます。今以上に地域との連携を充実させることに重点を置き、患者さんが安心して退院できるよう取り組みます。

医療の安全を守り、患者さんが安心して療養生活を送ることができ、できるだけ早期に元の生活に戻ることが目標として、多職種と連携を図りながら患者さんに合わせた看護を提供できるように自己研鑽に努めます。

## 【概要】

病棟の紹介（特徴）

産科・婦人科・消化器内科・眼科・皮膚科の40床の混合病棟です。コロナ過の中で各自が感染に注意し取り組みました。産科では、日本助産評価機構より認定を受けた助産師が中心となり、妊娠前から産後の育児まで、助産外来、病棟と継続した支援を行っています。また地域の保健師等と連携して、妊婦・褥婦さんを支援しています。婦人科では手術、化学療法、終末期患者さんの看護を行い、消化器内科では、主に内視鏡手術を受けられる患者が多く、他職種とも連携し患者さんを支援しています。眼科はクリニカルパスを用いて白内障手術を受けられる患者の看護を行っています。

## 【病棟目標】

- 1) 医療の質と安全の向上
  - ・ 3つのきき、聴き・機器・危険マニュアルに従って、必要な事が報告・連絡、相談ができ、皆で情報共有できる。
  - ・ 患者との関わりの中で実践した場面をスタッフ会で発表し看護の質向上を図ることを目的にリフレクションを行う。
  - ・ 手指消毒の徹底（アルコールジェルの使用量を昨年の2倍以上とする）
- 2) 無駄・無理・ムラのなくし、働きやすい環境づくり
  - ・ 業務内で問題となっていることを、皆で話し合い、効率の良い時間管理ができる。
  - ・ 中途採用者の教育の充実を図り、独り立ちのできる助産師を育成する。
- 3) 地域医療機関との信頼と患者満足の上
  - ・ 受け持ち看護師としての自覚を高めて患者・家族に入院から退院まで関わる。
  - ・ 多職種、地域の方と連携を図り、患者家族が、退院後安心して生活できるよう、多職種カンファレンスを定期的実施する。

## 【取り組み・実績】

- ・ 産後の母親のフォローとして、退院時全員にエジンバラチェック表を配付し、外来受診時に確認、必要時に助産師面談を実施、その後に地域の保健師と連携した。
- ・ 特定妊婦・気がかり妊婦として地域の保健師と連携した件数は約30件であった。
- ・ 受け持ち患者のリフレクション会を実施した。自己の看護について振り返る機会となった。
- ・ 適宜勉強会を実施

5月	リフレクションとは・・・	9月	婦人科術後の患者の不安について
6月	若年性癌患者家族への癌告知と予後告知に立ち会って	10月	消化器内科疾患ここだけの話 胆管炎・急性膵炎・内視鏡手術
7月	ウォーキングカンファレンスについて	11月	緩和とは・・・ 疼痛緩和について 看取りでの場面での家族への関わり

- ・ 母性学科3校の学生を受け入れ、母性看護学実習を実施。母性看護学の講師派遣
- ・ 助産師1名が日本看護協会主催の糖尿病認定看護師過程を終了
- ・ 助産師2名が看護部のクリニカルラダーのレベルⅡに認定される。

## 【今後の課題】

- ・ 受け持ち助産師・看護師が、支援が必要な妊婦・褥婦・患者を地域につなげることができる。
- ・ 引き続き受け持ち患者の関わりについてのリフレクションを実施。終末期患者への関わりや緩和ケアについての知識を深める。新人看護師・助産師・中途採用者の病棟内での教育の充実

## 【概要】

4階西病棟は、循環器内科30床、脳神経外科14床、歯科口腔外科4床、代謝内科2床、の混合病棟です。2020年6月より、病床が編成され脳神経外科が加わり、心臓・脳血管疾患患者を24時間体制で受け入れています。歯科口腔外科では、主に手術患者、代謝内科では、糖尿病の教育入院を中心に患者を受け入れています。

病棟スタッフの構成は、看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師19名、看護補助者2名、クラーク1名の26名体制です。PNSと受け持ち制により、看護を展開しています。

医師だけでなく、PT、OT、ST、管理栄養士、MSW、ME等の多職種と連携を図り、安全・安心な看護ケアを実践しています。

## 【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 情報共有を活かした安全の保証  
迅速な報告・連絡・相談を行い、情報を共有する。  
インシデントカンファレンスによる振り返りと具体策を検討
  - 2) 実践からのリフレクションを通して新たな発見へ  
カンファレンスによる意見交換、自己の経験を言語化し振り返りを行う。
  - 3) 100%の感染対策  
アルコールジェル消毒の使用量の目標値達成  
標準予防策、感染経路別（飛沫・接触・空気）感染対策を全員が理解し、実践できる。
- 2 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
  - 1) 業務内容を改築して効率よい時間管理  
各自のスケジュール管理から病棟スケジュール管理を目指す  
PNSにおけるペアでのスケジュール管理の実施
  - 2) 教え合い、声かけ合い、皆でチーム力向上  
積極的に声掛け、相談しやすい環境作り
- 3 地域医療機関の信頼と患者満足の上昇
  - 1) 入院から退院後の生活を見据えた退院支援  
入院時から退院までシームレスな退院支援を継続する。
  - 2) 専門職として誇りを持ち、誠実な態度で患者サービス  
患者の個別性に合わせた関わり

## 【取り組み等】

- ・ブリーフィング、ハドル、デブリーフィングを活用した情報共有、業務調整により、勤務時間内に業務が終了できるよう、全員で取り組んでいます。
- ・医師による「脳梗塞」、看護師による「心筋梗塞」、認定看護師による「化学療法」の部署勉強会を開催、ナーシングスキルの活用により知識の習得に繋がっています。
- ・スムーズな退院支援に繋げるため、入院後早期に看護サマリを入力し、内容の充実を図っています。
- ・看護の質向上、病棟運営の円滑化を図るため、スケジュール運用、感染対策、PNS、内服管理、勉強会の5チームに分かれ活動しています。

## 【概要】

4 階東病棟は整形外科45床 小児科5床の混合病棟です。病棟スタッフの構成は、看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師1名、看護師18名、看護補助者1名の24名体制です。整形外科では24時間体制で外傷により骨折され、主に手術が必要となる患者さんを受け入れています。突然の入院で、生活環境が一変した患者さんをできる限り、安心して手術が受けられるように術前、術後の看護を行っています。

## 【病棟目標】

病棟スローガン K（考え） K（声だし） K（確認を）

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 速やかな報告、連絡、相談
  - 2) 危険予測から、注意喚起できる環境づくり
  - 3) 適切な感染防止対策
2. やりがいと楽しさが感じられる病棟づくり
  - 1) ムダを省き、効率的な時間活用
  - 2) 積極的な行動、発言をしよう
3. 患者から信頼が得られる病棟
  - 1) 受け持ち看護師の責任を果たす
  - 2) 患者の立場となって考え、寄り添う看護を行う

## 【病棟の取り組み】

情報共有と看護師が安全で質の高い看護を提供することを目的とし、以下の取り組みを行いました。

- ・ 5S活動について
- ・ 事例検討（ウォーキングカンファレンスの実施）
- ・ 適宜勉強会を実施

5月	大腿骨骨折について	9月	接遇について
6月	5S活動について	10月	疼痛コントロール
7月	ペアリングについて	12月	BLS
8月	腰椎圧迫骨折	2月	川崎病について

## 【今後の課題】

- ・ 今年度の取り組みをの定着に向け評価と修正を行い、充実を図ります。
- ・ 受け持ち看護師が責任を持って、退院後を見据えた看護を目指します。
- ・ 専門性を高めていけるよう、自己研鑽に努めていきます。
- ・ 接遇面の強化を図る。

## 【概要】

5階西病棟は従来50床の病床運用でしたが、新型コロナウイルス感染症（以後コロナと略す）感染拡大に伴い感染症対策臨時病床編成により、総合内科18床、呼吸器内科4床の計22床運用に変更となりました。発熱などの肺炎症状を伴うコロナが疑われる患者の対応も行い、感染症患者の受け入れにあたり、接触感染対策の徹底を行いました。コロナの勉強会を開催、患者の病態の把握や起こりうる合併症を予測した観察、医師を交えての話し合いを日々持ちました。患者の年齢層の幅が広く、その人の生活習慣をともに振り返り、患者の状態にあった適切な看護の提供、治療だけではなく患者様の心理的、精神面のサポートも行うよう心がけました。6月には、病床は38床になり、呼吸器内科は10床に増え、泌尿器科、代謝内科が加わりましたが、発熱患者の対応は継続しています。

## 【スタッフ配置】

病棟スタッフ構成は、病棟看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師23名、ケアワーカー2名、病棟クラーク1名で構成し、チームナースングと受け持ち制で看護を展開しています。疾患の理解とそれに応じた患者観察には、スタッフ同士の連携と日々のカンファレンスで、個別に応じた看護を提供できるようにしています。

## 【病棟目標・取り組み】

## 1. 医療の質と安全の向上

## 1) 情報共有を活かした安全の保証

「ハドル、デブリーフィング100%実施」

「毎週月曜日：患者カンファレンスの実施とケアの評価」

- ・勤務開始時、業務途中、勤務終了前にスタッフが集まり、患者状態変化の報告を行うことで勤務者全員が患者情報を共有し、患者対応をすることができた。業務の進捗報告では、患者状態の把握と共にスタッフ間の業務調整ができた。また、スタッフが全員集まり、出来ていない時間処置などを提示することでスタッフ同士の助け合いができ、時間管理にも繋がったと考える。

「速やかな報告、連絡、相談ができヒヤリと感じたことは朝礼時に自ら発信」

- ・ハドル・デブリーフィング時の勤務者が全員集合するときに、インシデント内容の伝達ができることは速やかな連絡に繋がった。また、リーダー看護師が中心となり、発生要因・振り返りの意見をまとめ、詳細を確認後全責に報告することができていた。

## 2) 100%感染対策の実施

「感染経路に応じた適切な感染対策が確実に実施できる〈院内感染「0」へ〉

- ・まず感染管理認定看護師に実際に着脱順序の指導を受けた。スタッフがお互い着脱順序のチェックを仕合い、手順表を病室前に掲示したこともあり、スタッフ全員に接触感染対策の防護具着脱順序が周知できた。

「勤務中決められた時間の環境整備の実施」

- ・病棟内の清掃ポイント、環境整備を毎日決められた時間に行った。環境整備チェック表を作成したことで病棟全体の環境整備ができた。感染対策の必要性の指導を感染委員が積極的に行ったことで、患者対応時の手指衛生の5つのタイミングも徹底もできている。感染対策の徹底により、患者からの感染もちろん、スタッフ同士の感染も発生していない。

## 【概要】

5 東病棟は、地域包括ケア病棟として、退院後も、その方に適した療養が受けられるように退院支援を行っています。看護師配置13：1、看護補助者配置25：1で、看護を提供しています。

## 【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
  - ①接遇改善に取り組む
  - ②報告・連絡・相談は必要な時に確実に実施する
  - ③安全環境ラウンドの導入と定着 実施率 100%を目指す
2. 無理・無駄・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
  - ①業務改善し、無駄のない働きやすい環境調整
  - ②チーム制を導入し定着させ、看護師とケアワーカーが協働しチームで入院環境を整える
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の向上
  - ①患者状態・情報を正確に把握することができる
  - ②相手に患者や看護が見える看護サマリーの記載ができる

## 【病棟の取り組み】

1. 患者家族のために何が必要で、どんな事が必要かという視点で観察を行い、気づきを活かしてみんなで支援に繋げる看護ができる様に、情報を発信する。
2. 安全カンファレンスやリハビリカンファレンスで患者の状態を共有し、セラピストの意見を取り入れて、より安全な環境調整を行う。また、思い込みではなく実際にベッドサイドに行き、みんなで状況を共有することで、安全に過ごす事ができるように取り組んでいます。
3. 看護サマリーの内容に、継続看護や、どんな支援が必要なのかなど、患者の生活を視点とした内容にしていくため、継続して指導を行っています。

## 【今後の課題】

自宅退院を希望される患者さんのために、必要な看護や、自宅生活にどんな支援が必要なのかを考え、支援を行えるように、5 東スタッフ一同、心を込めた看護を提供したいと考えています。そのためにも患者・家族の想いや状態の把握を適切に行え、自己学習を継続することが課題です。1人ではなくみんなの力で、協力して看護ができるように改善していきます。

## 【概要】

主に呼吸・循環管理が必要な急性期疾患や救急患者、開腹手術や全身麻酔後の患者等、24時間体制で受け入れを行い、看護を展開している。

## 【看護職員の構成】

看護師長 1名、副看護師長 1名、主任看護師 1名、看護師 13名  
4対1の看護体制により、患者の安全管理を主とした安心・安楽な看護に努めている。

## 【HCU目標】

- 医療の質と安全の向上
  - デブリーフィング実施100%を目標とし、業務の実施確認、結果の報告をおこなう
  - 実施前の確認行為を徹底する。指さし呼称の徹底
  - 感染情報の共有、適切な感染予防策の実施、清掃の徹底と定着を図る
- 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
  - お互いの声かけ、話し合いにより、コミュニケーションを深め、リスクを回避する気づきを声に出し、スタッフ間で共有・検討する
  - 各自、意識的に時間管理を行う。時間的予測を立てて業務を行う
- 地域医療機関の信頼と患者満足の向上
  - 退院支援に必要な情報収集を行い、一般病棟へ繋げるように関わりを実施記録する
  - 多職種カンファレンスの実施、患者の情報を共有し目標を立て看護を行う

## 【取り組み】

パートナーシップを導入しペアで行動することにより、スムーズかつ確実な確認行動の実施、気づきを増やすことによる医療安全につながるよう業務を行っている。また、業務内にカンファレンスを行い、コミュニケーションをとる機会を増やし、業務連携を行っている。また、フィジカルアセスメント能力を身につけ、実践に繋げるよう、定期的に勉強会を開催し、自己研鑽を図っている。

## 【実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均入室期間 (日)	2.8	2.4	2.4	2.6	2.2	2.5	2.6	2.3	3.1	3.0	3.2	2.6
1日平均人数 (人)	3.5	3.7	4.5	5.0	4.5	3.8	5.6	4.4	5.2	5.1	5.2	5.2
稼働率 (%)	58	61	75	83	75	63	93	73	86	85	86	86
看護必要度 (%)	100	100	99.3	99.4	99.3	98.2	97.7	98.5	98.1	99.4	99.3	98.1

## 【今後の課題】

重症患者に対応するための看護実践能力を高めることが必要である。自己研鑽に努めるだけでなく、多職種との連携や、医師との連携を行うことで日々の看護の振り返りと評価を行い、その能力を高めるように努めていきたい。

## 【概要】

手術室は5ルームあり、消化器外科、整形外科、脳神経外科、眼科、産婦人科、心臓血管外科、泌尿器科、歯科口腔外科の手術を行っています。今年度の手術件数は、2,394件（全身麻酔症例935件）でした。手術体制は365日24時間待機体制としており緊急手術にも迅速に対応しています。スタッフは、看護師長1名、主任看護師1名、看護師11名、臨床工学技士3名で構成されています。それぞれの役割を定め、手術室の質を担保するために専門性を発揮し業務を行っています。

手術室では、患者に安全な医療・看護が提供できるようカンファレンス、研修会などを通じ日々研鑽しています。特に今年度は、コロナ禍における資材の不足、出荷調整があり手術の継続が脅かされることもあり、それらに対応できるよう物品管理、患者対応フロー、訓練に取り組みました。

## 【目標】

1. 医療の質と安全の向上
  - 1) 褥瘡(皮膚損傷)、神経障害「0」を目指す
  - 2) 「やりっぱなし」を無くす
  - 3) 100%の感染対策
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場作り
  - 1) 業務改善と時間管理
  - 2) お互い声を掛け合い、活気ある職場づくり
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の上向

## 【部署での取り組み】

- ・リユースリネンを導入し、ゴミ・コスト削減に向けた準備、トライアルの実施
- ・ポケットサイズの災害アクションカードを作成し、大規模地震時のシミュレーション研修の実施
- ・新型コロナウイルス陽性患者の手術室対応フロー作成、対応訓練2回実施
- ・滅菌有効期限変更後の評価（中央材料室）
- ・手術患者用パンフレットの改訂

## 【今後の課題】

新型コロナウイルスによる材料および資材の供給不足、出荷調整が継続しており、いざというときに手術が行えないということにならないよう業務の改善と新しい視点で物品を管理していく必要があります。そのためには、今年度から取り組んでいるリユースリネンの導入に向けて継続して取り組みを行っていきたいと考えています。

# VI 診療技術部紹介



## VI 診療技術部紹介

薬剤部

臨床検査科

放射線科

臨床工学科

リハビリテーション科

栄養管理科

歯科技工室

地域医療部

医療安全管理部

## 【1. 概要】

(主な業務と取り組み)

- (1) 電子カルテ・調剤部門システムを含むマスタ管理業務
- (2) 全入院患者への一包化調剤業務
- (3) 注射剤の個別払い出し調剤業務
- (4) 医薬品安全管理業務
- (5) 麻薬・覚醒剤原料・毒薬・向精神薬・血液製剤等管理業務
- (6) 医薬品情報提供業務
- (7) 中心静脈栄養および抗悪性腫瘍注射薬の混合業務
- (8) 入院・外来患者への薬剤管理指導業務
- (9) 入院患者様の持参薬調査および報告業務
- (10) 各種チーム医療への参画

## 【2. 人員配置】

(スタッフ)

薬剤部長 : 河崎 尚史

主 任 : 小山 恵理、井上 裕子、宮本 賢典、木村 ナオ子、村田 典代

指 導 員 : 北島 正大

薬 剤 師 : 西 千尋、松山 真範、森崎 潤埜、東 万記子 (非常勤)

野沢 健太郎 (非常勤)、平田 耕三 (非常勤)、森脇 竜太 (非常勤)

森中 美和 (非常勤)、伏見 麻衣子 (非常勤)、北村 侑基 (非常勤)

柚木 彩実 (非常勤)

助 手 : 上中 美紗、櫻木 花織、矢原 典子、西田 祐子、織田 和隆

沖田 敏弘、酒井 久恵、池田 美智子

薬 剤 師……………計18名 (常勤10名、非常勤8名)

助 手……………5名

## 【実績】

### 1. 令和2年度 薬剤管理指導統計

(単位：人、回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総指導人数	119	141	214	187	151	189	222	170	301	317	287	296	2,594
服薬指導数	145	195	290	216	176	231	271	170	388	434	412	397	3,325
ハイリスク指導	55	73	99	84	48	89	98	67	140	179	169	156	1,257
通常指導	82	118	181	118	120	131	158	91	209	230	214	205	1,857
麻薬指導	4	3	8	5	0	1	2	1	6	2	2	7	41
退院指導	70	54	111	101	97	124	170	95	181	151	149	157	1,460
外来がん指導3	6	32	42	38	24	36	30	22	25	20	15	19	309

### 2. 令和2年度 TDM件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
VCM	12	9	9	12	7	5	7	20	14	12	14	10	131
TEIC	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	6
GM	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

### 3. 令和2年度 無菌製剤調整件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
TPN	10	19	3	20	33	41	48	31	17	8	31	44	305
抗癌剤(入院)	9	18	17	2	6	11	14	14	6	10	10	8	125
抗癌剤(外来)	104	99	104	105	89	95	118	93	94	86	94	112	1,193

#### 【今後の課題】

- ① 適切な薬物治療を提供するため、病棟薬剤業務を実施する体制を整える。
- ② チーム医療に積極的に参加しNST・糖尿病・がん・感染・緩和・腎臓・医薬品情報等の認定薬剤師制度や専門薬剤師制度などの取得をバックアップする。
- ③ 医薬品安全管理の観点から医師・看護師・他のコメディカルや患者に適切な情報提供を行い、各診療ガイドライン等に基づき医薬品の適正使用に貢献できる業務を展開する。
- ④ 腎機能低下時・肝機能低下時・高齢者など減量が必要な患者に対しては、ポリファーマシーの観点に注目しながら適切な処方提案を実施する。
- ⑤ 薬品購入に際して購入方法の見直しを含め、医薬品採用品目の適正化を図り、院内採用薬で代用可能な薬剤の処方提案を推進する。

### 業績

#### 発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年3月	第17回和歌山県病院薬剤師会学術集会	橋本市民病院における多職種ポリファーマシー対策チームの活動報告	北島 正大		WEB開催

#### 参加した学会・研修会等

年月	学会・研究会名	開催都市
2021年3月	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2021	WEB開催
2021年2月	第91回腫瘍センター勉強会(放射線部門担当)	和医大
2021年1月	第42回日本病院薬剤師会近畿学術大会	WEB開催
2021年1月	令和2年度きくのがん薬物療法チーム研修会	和医大
2021年1月	第41回緩和医療研究会	WEB開催
2020年11月	第25回和歌山県病院協会学術大会	和歌山市
2020年9月	第68回日本化学療法学会学術集会	神戸市

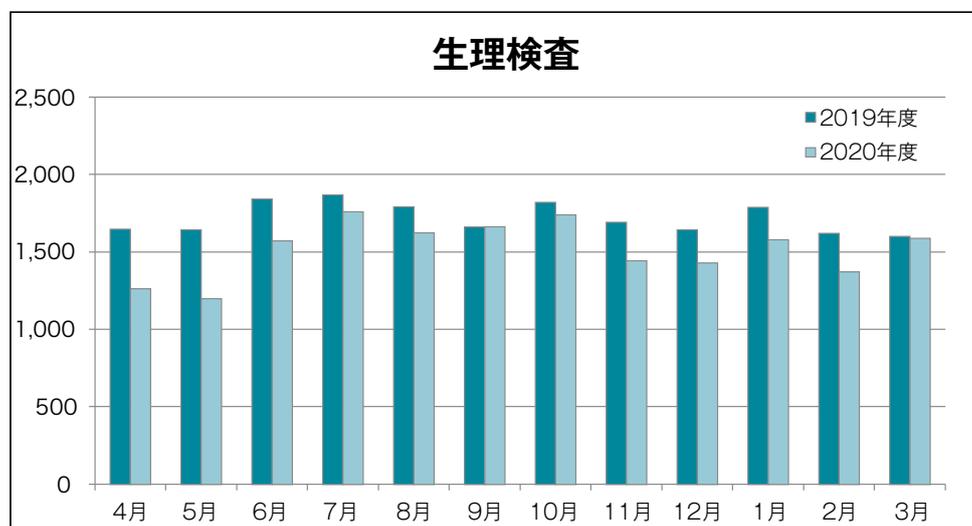
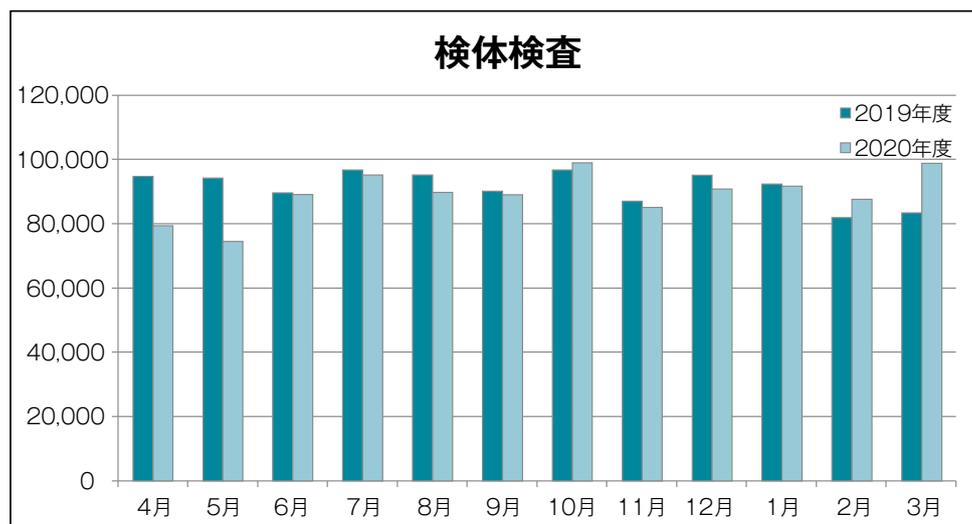
## 【1. 概要】

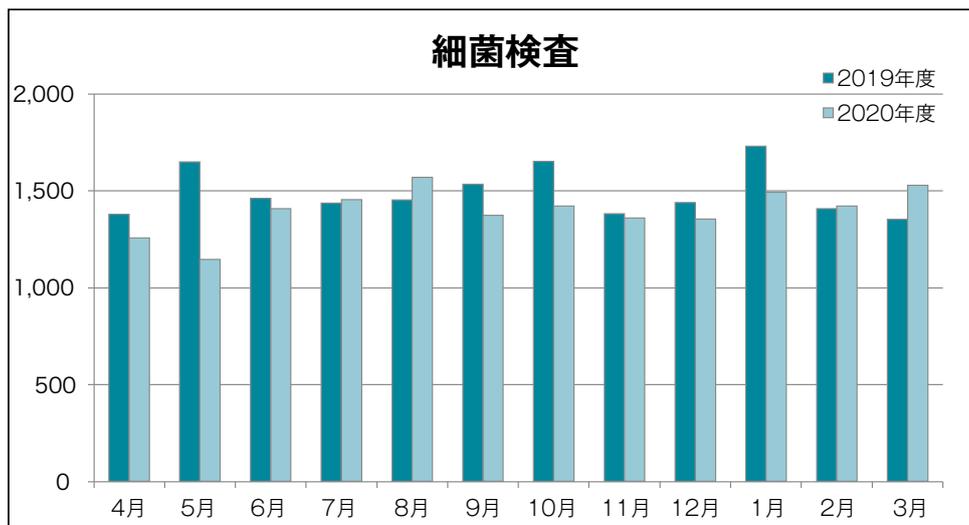
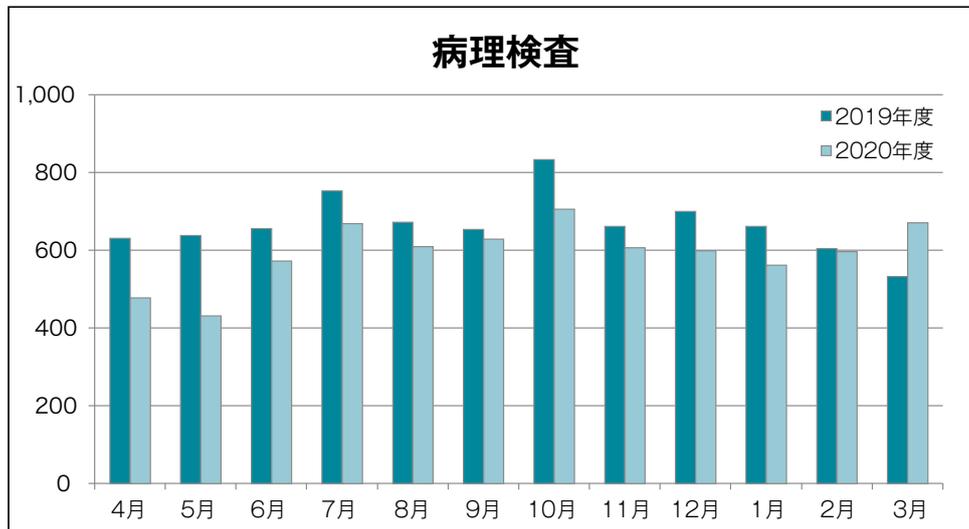
臨床検査科は「検体検査部門」「生理検査部門」「病理検査部門」「細菌検査部門」「中央採血室」で構成されています。スタッフ個人を診療部門に向けた役割で置き換えると、『チーム医療に参画し直接関わる臨床検査技師』『組織運営の中で各種委員会に属する臨床検査技師』『科内各部門で医師や看護師からの相談や質問に応える臨床検査技師』『本業である検査情報の提供を実践する臨床検査技師』となります。臨床検査科ではそれぞれの役割を認識してレベルアップを図り、且つ科内・科外とも連携できる組織を構築し、目標を達成できるよう努力しています。

## 【2. 人員配置】

○検体検査部門	5名
○生理検査部門	5名
○病理検査部門	3名
○超音波検査室	1名
○細菌検査部門（委託）	3名
○中央採血室看護師	3名
○採血室および生理検査受付事務	2名

## 【3. 実績】





## 業績 講演会

No	発表月	会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2020年12月	令和2年度 和歌山県院内臓器移植コーディネーター養成研修会	脳死下臓器提供事例を経験してー脳波検査における問題点を乗り越えてー	秋田 豊和		Web 研修

## 座長・パネリスト等

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2020年11月	第64回日本輸血・細胞治療学会近畿支部総会	(座長) 一般演題③輸血管理体制 4 演題	秋田 豊和		奈良県

技師長：泉本 達治

日本放射線技師会 会員  
日本放射線技師会主催 生涯教育課程修了  
日本放射線技師会認定 臨床実習指導認定技師

副技師長：藤本 佳文

日本放射線技師会 会員  
日本消化器がん検診学会 会員  
NPO法人 日本消化器がん検診精度管理評価機構 会員  
胃がんX線検診読影部門 B資格検定取得  
胃がんX線検診技術部門 B資格検定取得  
日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師  
日本医師会医療安全推進者養成講座修了

主任：新田 伸一

日本放射線技師会 会員  
日本放射線腫瘍学会 準会員  
日本放射線技師会主催 生涯教育課程修了

主任：三木田 正夫

日本放射線技師会 会員  
日本放射線技師会主催 生涯教育課程修了  
塩化ラジウム注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習修了

主任：小坂 将弘

日本放射線技師会 会員 ， 日本放射線技術学会 会員  
日本磁気共鳴学会 会員 ， 日本心臓CT研究会 会員  
放射線機器管理士 ， 医用画像情報管理士  
X線CT認定技師 ， 救急撮影認定技師  
日本診療放射線技師会 アドバンス診療放射線技師

主任：森本 拓也

日本放射線技師会 会員  
第1種放射線取扱主任者

主任：宮田 政明

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

主任：武田 有紀

日本放射線技師会 会員  
第1種放射線取扱主任者  
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

主任：西村 一真

日本放射線技師会 会員  
日本放射線技術学会 会員  
放射線管理士

主任：森本 勝士

日本放射線技術学会 会員  
日本血管撮影インターベンション専門診療放射線技師  
日本磁気共鳴専門技術者

技師：小坂 恵子

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

他：受付助手1名

## 『放射線科 理念』

- ・よりよい画像情報を提供します
- ・安心して、安全に検査を受けてもらえるよう心がけます
- ・待ち時間の短縮など、サービスの向上に努めます

## 『放射線科 行動指針』

- ・はっきり わかりやすく話す
- ・相手の気持ち 立場に立って行動する
- ・不安を取り除き、緊張をほぐしてあげる

## 『2020年度 放射線科 目標設定』

- 1 「放射線検査における 患者の信頼と満足の向上 および 患者サービスの向上に向けての総合的取り組み」
  - ・検査に対する医療の質（より良い画像情報・適切な画像情報の提供）と安全性を高めるための知識や技術のさらなる取得
  - ・安心を提供するため、適切な検査説明を行えるための個人の能力の向上に向けての取り組みや、様々なツールを使用し、患者の安全確保のための取り組み等総合的なことを言う
- 2 「チームワーク・協調性の強化から、より良い職場環境づくり」
  - ・協調性の充実等を図り、良質な組織作りを行う
  - ・組織である以上協調性は絶対不可欠要素で有り、そのための良質な組織人としての人間形成を行う

高齢化社会の加速化、また食事環境の変化率によって、骨粗鬆症による骨折事例が増加しており、予防医学の視点からも骨塩定量検査の有用性が見直されています。この点に着目し、院内での骨塩定量検査推進の取り組みを行っています。

超急性期脳梗塞患者の血管内治療を行うため、脳血管治療センターを中心に、救急外来看護師と共に研修会や訓練を行い、「Code Stroke」を行っています。

放射線科は、技師11名中2名が女性技師で、年々需要が高まるマンモグラフィーやマンモMRI撮影に対して、女性技師が対応することにより 検査・検診への抵抗を可能な限り取り除くよう努めています。

また、各検査に於いても 高度な専門性が求められる傾向にあり、各種研修会等への参加および専門資格の取得など、積極的な取り組みを行っています。

## 【実績】

### 2020年度 放射線科実績（検査数）

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般撮影	1,914	1,861	2,338	2,451	2,297	2,353	2,545	2,287	2,384	2,618	2,371	2,651
C T	1,213	1,169	1,497	1,513	1,408	1,408	1,423	1,291	1,396	1,414	1,324	1,513
M R I	340	333	435	477	413	408	463	393	394	367	389	480
T V	87	105	120	131	151	132	156	146	132	94	110	116
Angio	64	50	59	69	42	54	64	43	47	40	55	51
マンモ	28	34	66	80	115	102	126	119	91	70	105	31
歯科撮影	86	55	73	83	77	83	92	77	73	86	78	97
骨塩	0	0	56	47	57	63	63	53	48	30	27	44
ポータブル	322	263	242	285	273	249	336	267	318	298	229	357
核医学検査	27	13	28	29	19	25	18	19	28	30	26	33
放射線治療	212	146	249	167	103	114	144	159	326	169	152	274

## 【今後の課題】

新病院へ移転後十数年が経過し、当時は最新機器であった撮影機器も老朽化の兆しが見えてきました。

2017年度はMRI（フィリップス社製 1.5T）と治療計画装置（Pinnacle）を、2018年度はアンギオ装置（Canon社製）、2019年度はX線TV装置（Canon社製）の更新が行われました。今年度は骨塩定量装置（TOYO MEDIC）が更新されました。来年度はFPD（flat panel display）を導入予定です。

骨塩測定装置の更新によりTBS（trabecular bone score）による骨質評価が可能となり、以前よりも精度の高い画像の提供が出来るようになりました。

またチーム医療として、造影剤を使用した検査に関する危機意識の向上や、MRI室に入室の際の注意事項等に関する研修会や啓発を継続的に行い、積極的に他部門との情報の共有化・充実化に向けて取り組んでいきたいと考えています。

そして引き続き、骨塩定量検査推進の取り組みと、超急性期脳梗塞患者における血管内治療の体制を強化していきます。

今年度はコロナウイルス蔓延防止の為、研修会や学会等が延期又は中止となりました。

しかしWEB開催等、身近な環境で自己学習を行える環境が整いつつあります。技師各々が興味のあるモダリティの技術や情報を家庭や病院内で学習し、業務に活かせるよう啓発を行います

## 1、概要

2005年度臨床工学科新設

2015年度4月より業務拡大の1つとして、内視鏡業務開始

2016年度4月より手術室業務開始

それに伴いスタッフ増員し、ME業務4名、手術室業務3名（専従）体制で業務を実施

## 【理念】

ME機器を安全かつ効率よく使用できる環境を整える

チーム医療に参加し、医療の質を上げる

## 【スタッフ】

ME業務	小嶋 宏之	手術室業務（専従）	宮本 征士
	田嶋 勇介		松本 拓巳
	岩谷 亮佑		皿谷 悠之助
	西 真吾		

## 【業務内容】

## （カテ室業務）

心臓カテーテル検査およびP C Iにおけるポリグラフ及び周辺機器の操作、使用する医療材料の取り扱い。

## （手術室業務）

各科手術機器の操作。

専従技士による手術介助業務（直接・間接）

注 手術室業務実績は下表【実績】には件数は入っていません

## （血液浄化業務）

病棟における持続血液濾過透析をはじめとする各種血液浄化法の実施。

## （人工呼吸器管理業務）

院内で使用する人工呼吸器の保守及び点検業務。

## （医療機器管理業務）

人工呼吸器（13台）、輸液ポンプ（136台）、シリンジポンプ（78台）、低圧持続吸引器（14台）などの機器を効率よく使用できるよう中央管理を行う。院内の医療機器の管理台帳を作成し各ME機器の保守点検及び修理業務の管理。

## （ペースメーカー外来）

毎月ペースメーカー外来日を設け、定期的にペースメーカーチェックを行う。

## （在宅呼吸療法）

在宅での呼吸療法で使用する機器の手配、使用説明およびその指導、管理。

## （内視鏡業務）

内視鏡室での検査・治療の補助及び機器の洗浄・管理を行う。

小腸カプセル内視鏡検査の準備・装着・回収・解析記録の処理を行う。

## 2、実績

2020年度臨床工学科実績

(数字は件数)

		2019年度	2020年度	
臨床業務	カテ室業務	P C I	244	157
		心カテ	174	107
		その他	590	448
	内視鏡業務※	内視鏡	4,563	3,688
		カプセル	8	8
	病棟業務	C H D F + H D	45	31
		その他	89	121
ペースメーカーチェック		382	328	
呼出件数		100	65	
修理・点検業務	修理業務	95	193	
	点検業務	238	1,325	
合計		7,978	6,471	

## 3、今後の展望と課題

今後、ますます医療が発達しそれに伴い新しい医療機器を使用する治療が増えてきます。それらの機器を安心・安全に使用できるよう、研鑽に努めていきたいと思ひます。また、ME機器の更新についても積極的に関わっていきたく思ひます。

## 【概要】

リハビリテーション科は、基本的動作能力の回復等を目的とする理学療法や、応用的動作能力、社会的適応能力の回復等を目的とした作業療法、言語聴覚能力や摂食嚥下機能の回復等を目的とした言語聴覚療法等の治療法より構成され、いずれも実用的な日常生活における諸活動の実現を目的として行われます。それぞれ理学療法士（PT）23名、作業療法士（OT）4名、言語聴覚士（ST）4名が携わっており、その役割は入院後や発症早期からの急性期リハビリテーションを担い、ベッドサイドからの介入により早期離床、廃用症候群の予防を行い、日常生活動作の早期再獲得をめざすことです。リハビリ対象疾患は、高齢化や複数の疾患障害を持つ方も多く、運動器疾患や脳血管疾患に加え、循環器疾患や内科・外科の内部障害、がん患者へのリハビリテーションなどです。

また地域の回復期リハビリ医療施設あるいは介護保険下の療養施設や老人保健施設と連携して、適切な転院を模索することで役割を明確にした効率的なリハビリ医療を行っています。一部運動器疾患を中心に退院後も必要に応じて外来での継続的なリハビリも提供しています。現在、和歌山県立医科大学リハビリテーション科より週一回医師を招請し臨床においてアドバイスをいただいています。

<施設基準>	<有資格者>
・運動器リハビリテーション（I）	・3学会合同呼吸療法認定士：4名
・脳血管疾患等リハビリテーション（I）	・がんのリハビリテーション研修修了者：14名
・呼吸器リハビリテーション（I）	・地域包括ケア推進リーダー：3名
・がん患者リハビリテーション	・介護予防推進リーダー：3名
・心大血管疾患リハビリテーション（I）	・和歌山県糖尿病療養指導士：2名
・廃用症候群リハビリテーション（I）	・リンパ浮腫療法士：1名
	・医療安全管理者：1名

## 【スタッフ紹介】（2020年4月）

理学療法士23名			作業療法士4名	言語聴覚士4名
・梶木 重裕	・左海 登子	・後呂 達哉	・水野 恵子	・坂井 俊文
・浅倉 洋司	・兼井 奈保	・尾家 千尋	・金岡 歩	・片山 季也
・吉岡 徹	・小原 準矢	・則岡 優佑	・汐崎 敦子	・木村 奈央実
・松本 隆幸	・井向 博信	・中谷 竜也	・佐藤 将人	・岩橋 幸奈
・内田 利加	・濱田 知也	・橋角 亮佑		
・松田 恒輝	・櫻井 諒	・大江 光司		
・菅野 徳央	・佐本 善紀	・中西 翔太		
・阪部 陸	・松島 宏治			

## 【科の取り組み】

### ・理学療法部門

病気やケガ等により身体に障害を来した患者さんの基本的動作能力（寝返り・起き上がり・座る・立つ・歩く）の維持・回復を主な目的としての運動療法（関節可動域運動・筋力増強運動・基本動作練習等）に加

え、日常生活に必要な日常生活動作練習を行うことによりADL・QOL向上を目的に寝たきり予防、家庭復帰、社会復帰をめざしています。

リハビリ実施患者数 (件)

疾患別	2020年度	2019年度
運動器疾患	14,187	12,010
脳血管疾患等	5,622	7,994
廃用症候群	9,658	8,602
呼吸器疾患	3,385	4,652
心大血管疾患	3,364	3,383
がん疾患	2,446	1,908
合計	38,662	38,549

※増減率 + 0.2%

疾患別リハ実施単位数 (単位)

疾患別	2020年度	2019年度
運動器疾患	24,249	20,099
脳血管疾患等	8,210	12,325
廃用症候群	12,392	10,841
呼吸器疾患	4,095	5,866
心大血管疾患	4,777	4,696
がん疾患	3,652	2,692
合計	57,375	56,519

※増減率 + 1.5%

#### ・作業療法部門

上肢や手指の運動機能回復、着替え・トイレといったような日常生活動作練習、家事・職業など生活関連動作練習、認知・注意・記憶力などの低下といった高次脳機能障害に対するアプローチを行っています。また、手の装具の製作や自助具の紹介・製作、福祉用具や家屋改造の相談なども行っています。

リハビリ実施患者数 (件)

疾患別	2020年度	2019年度
運動器疾患	3,746	4,283
脳血管疾患等	3,354	4,768
廃用症候群	573	309
呼吸器疾患	93	22
心大血管疾患	12	47
がん疾患	181	42
合計	7,959	9,471

※増減率 - 15.9%

疾患別リハ実施単位数 (単位)

疾患別	2020年度	2019年度
運動器疾患	5,119	5,210
脳血管疾患等	5,287	7,943
廃用症候群	850	515
呼吸器疾患	142	24
心大血管疾患	12	92
がん疾患	247	46
合計	11,657	13,830

※増減率 - 15.7%

#### ・言語聴覚療法部門

脳卒中後遺症により話す、聴く、書く等が困難となる失語症、麻痺で正しく発音ができない構音障害に対しコミュニケーション能力向上、記憶力や判断力の低下などの高次脳機能障害を対象とします。また、飲み込むことが困難となる嚥下障害に対しても口から食べることを目標として評価・訓練・指導を行います。近年増加の一途をたどる摂食嚥下障害に対するニーズが高く、各診療科から依頼の多い分野です。

リハビリ実施患者数 (件)

疾患別	2020年度	2019年度
脳血管疾患等	3,341	4,814
呼吸器疾患	1,033	0
がん疾患	235	79
摂食機能療法	3,520	4,662
合計	8,129	9,555

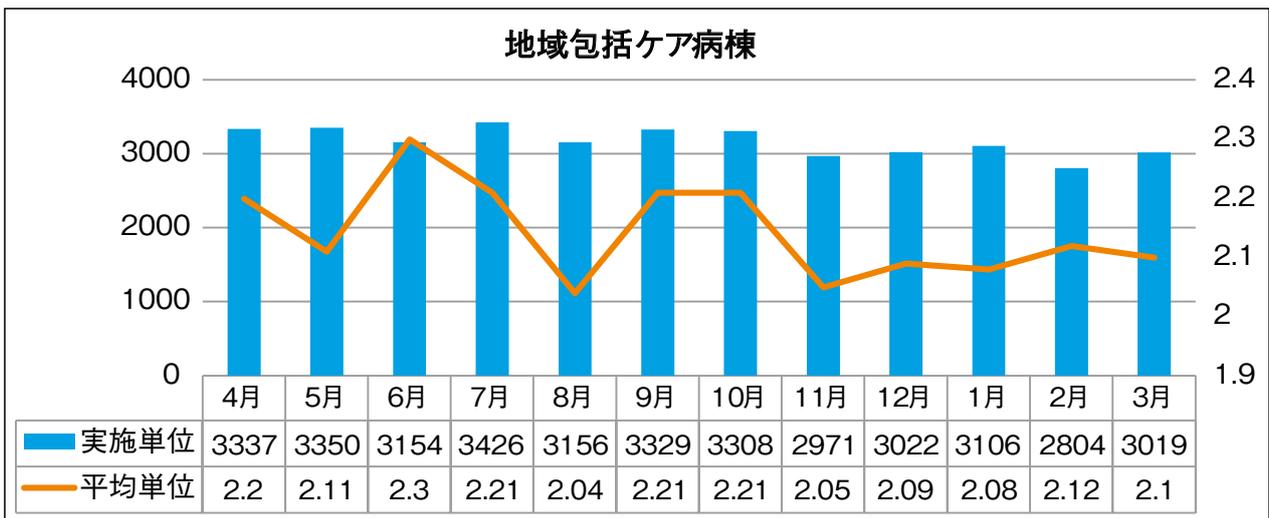
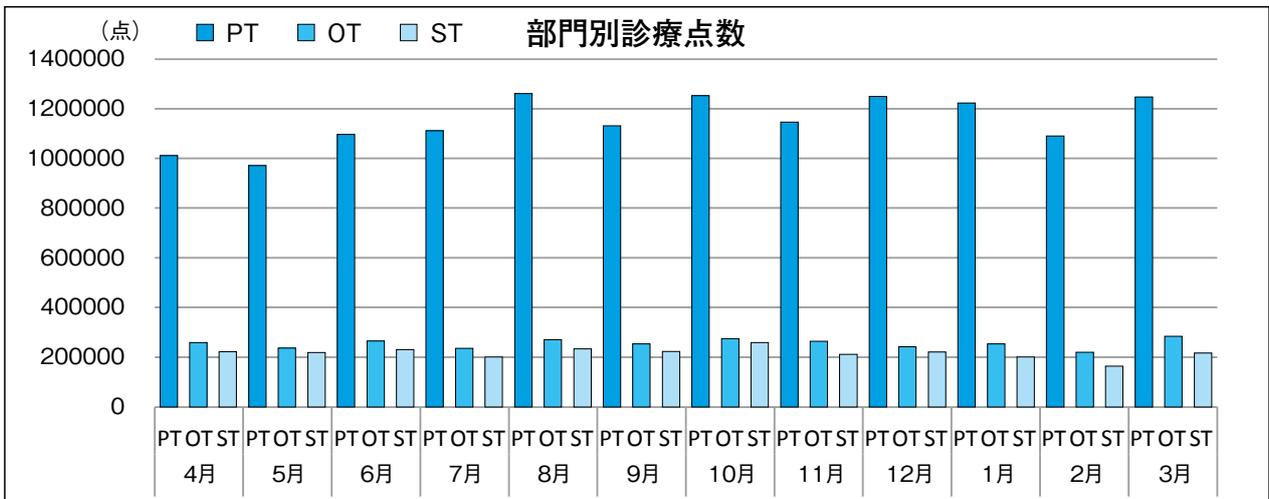
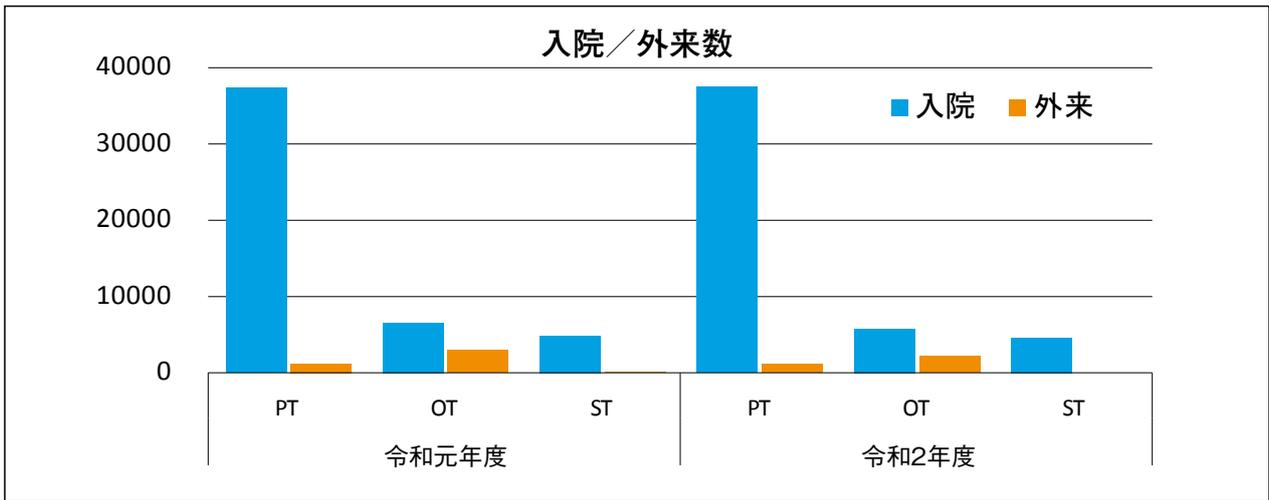
※増減率 - 14.9%

疾患別リハ実施単位数 (単位)

疾患別	2020年度	2019年度
脳血管疾患等	5,308	7,716
呼吸器疾患	1,461	0
がん疾患	318	100
摂食機能療法	3,520	4,662
合計	10,607	12,478

※増減率 - 14.9%

【診療実績】



当院の地域包括ケア病棟では、急性期治療を終えた方を中心に在宅復帰をめざしています。

担当療法士が機能訓練、日常生活動作訓練、生活関連動作訓練、屋外訓練などの個別リハビリを行い、患者さんが安心して在宅復帰できるように一人一人の目標に合わせて支援しています。

地域包括ケア病床入院中の患者に対する月平均のリハ実施患者数は48.9名／50床中、月平均の総実施単位数は3165.1単位、患者一人1日当たりの平均実施単位数は2.14単位でした。

【今後の課題】

早期離床を図り身体機能の回復や廃用症候群の予防、またADL改善のためにより早く継続的にリハビリ

テーションを行うことが推奨されており365日リハビリテーションを実施しています。そのためには専門職として院内外の研修会や学会等へ参加し、知識や技術の向上に努める必要があります。各自が課題を見つけ明確な目標を立てて取り組み、レベルアップを目指して研鑽を積む必要があり、高い専門性を獲得し患者さんへ良質なリハビリテーションを提供することをめざしています。

## 業績

### 発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年3月	第48回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会	食事行為に困難性を抱える自閉症スペクトラム患者への作業療法：単一事例研究	佐藤 将人	三上 幸夫, 田島 文博	和歌山市
2	2021年3月	第48回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会	脳卒中急性期片麻痺患者における肩甲骨の可動性の促進が姿勢制御系に与える影響	佐藤 将人	垣下 浩二	和歌山市
3	2021年3月	第48回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会	地域市民病院における循環器疾患のリハビリテーション診療開設3年半の取り組み	松島 宏治	松田 恒輝, 左海 登子, 中谷 竜也	和歌山市
4	2021年2月	令和2年度紀北局症例検討会	右大腿骨顆部骨折術後の理学療法に難渋した一症例	中西 翔大		橋本市

### 論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2020年4月	生態心理学研究：第12巻 第1号 17-21頁	成人片麻痺者におけるボールと風船の治療的応用	佐藤 将人	南 誠一

## 【概要】

栄養管理科は管理栄養士3名体制で、主な業務は外来および入院患者の栄養管理です。その中で最も中心となるのは栄養食事指導業務であり、外来個人栄養食事指導、入院個人栄養食事指導を行っています。糖尿病ワーキングでは糖尿病教室、院内、院外でのイベント活動や栄養食事指導、NSTでは回診、カンファレンスの参加や定例勉強会等の活動にも力を注いでいます。各診療科カンファレンスにも参加し栄養療法を提案しています。病院管理栄養士は専門性を高め、個々の患者の栄養管理、栄養補給法を提案する活動に変化しつつあります。

嚥下ワーキング活動においては、食べやすい食事形態の要望も多く、当院の嚥下食の現状と課題について「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013」に基づき、重曹や酵素を導入した調理方法や献立の改良を行い嚥下食の充実に向け整備を行ってきました。2020年度は糖尿病嚥下食の検討と取り組みを行い稼働しております。食欲不振食は、化学療法、高齢者の食欲不振時の食事としてさらに改良し、がん領域として新たに外来がん化学療法の質向上のための総合的な取り組みについて検討しました。給食部門は1999年に直営から給食会社へ全面委託となり、入院患者の食数管理、献立作成、食材発注、在庫管理、調理、盛り付け、配膳、下膳、洗浄は給食会社が行っています。

## ＜理念＞

- ◇ 患者様の病態に応じて適切な食事を提供し、その治癒あるいは回復の手助けをする
- ◇ 治療食であっても個人の嗜好と生活習慣を考慮した食事を提供する
- ◇ 衛生的で、安全・安心な食事を提供する
- ◇ 栄養指導を行い、食事・栄養管理できるように行動の変容に導く
- ◇ 栄養管理を行い、患者様のQOLを高める手助けをする

## ＜行動指針＞

- ◇ いつも笑顔でまごころをこめた対応
- ◇ 「ありがとう」という感謝の気持ちを持って行動
- ◇ 「すみません」という謙虚な気持ちを持って行動

## ＜スタッフ＞

副技師長 藤本 佐和子

主任 高橋 佐智

管理栄養士 下垣内 愛奈

(給食会社 シダックスフードサービス株式会社) 27名

(栄養士5名・調理師10名・調理員11名・事務員1名)

## 【実績】

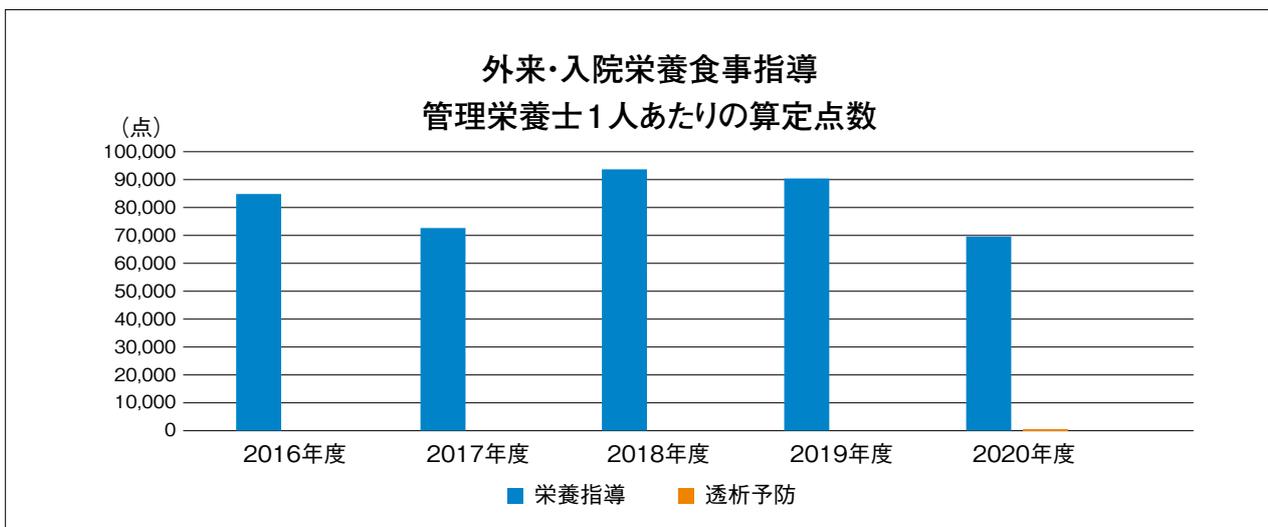
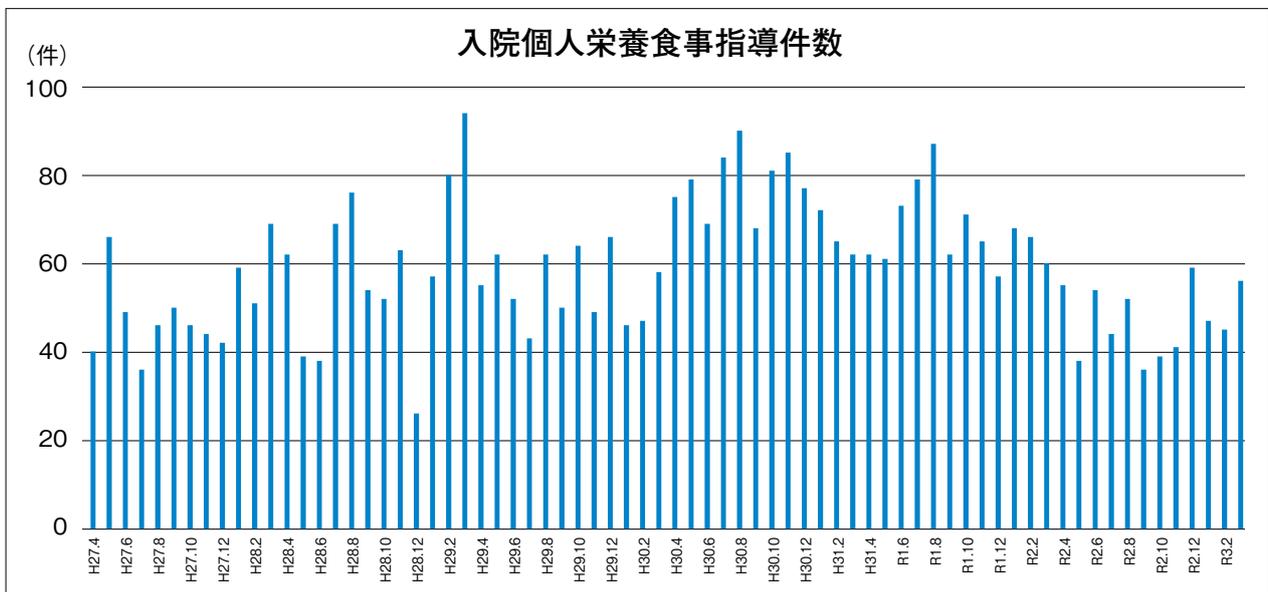
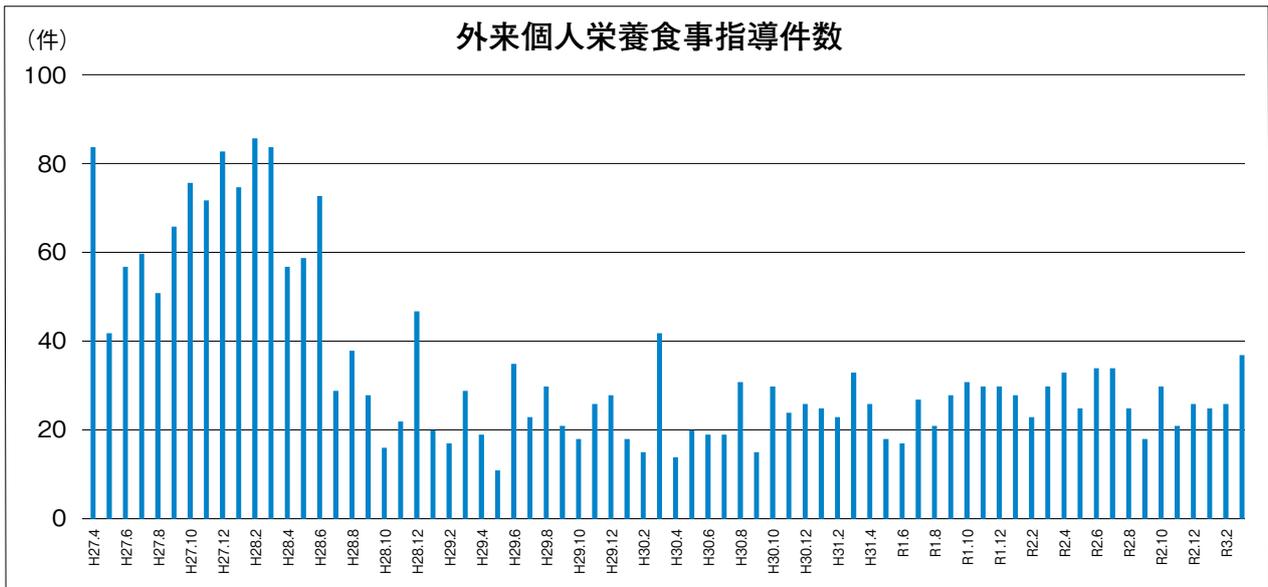
2020年度給食提供実施件数および栄養指導件数

(件)

食種		月												年度平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一般食	常食	5,760	6,098	7,341	7,386	8,046	7,186	7,549	7,030	7,287	7,451	7,155	8,048	7,195
	軟食等	5,671	5,773	5,640	5,182	5,745	5,878	7,043	6,351	6,992	7,808	7,310	7,906	6,442
特別食	加算	6,519	5,222	5,248	5,489	6,269	5,368	5,576	6,463	6,416	6,489	5,319	5,572	5,829
	非加算	384	383	438	436	427	539	576	524	623	319	226	422	441
計		18,334	17,476	18,667	18,493	20,487	18,971	20,744	20,368	21,318	22,067	20,010	21,948	19,907
患者外食	職員食	467	427	456	437	364	371	416	396	445	430	405	485	425
その他	託児所	168	145	171	155	159	147	160	133	139	112	121	162	148
計		635	572	627	592	523	518	576	529	584	542	526	647	573
栄養個人指導	外来集団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院集団	0	0	5	4	4	6	2	4	3	0	1	0	2
	外来個人	33	25	34	34	25	18	30	21	26	25	26	37	28
	入院個人	55	38	54	44	52	36	39	41	59	47	45	56	47
計		88	63	93	82	81	60	71	66	88	72	72	93	77

糖尿病性腎症重症化予防	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2020年度 外来・入院栄養食事指導実施件数



**【栄養管理委員会】**  
**<栄養管理委員会>**

2020年10月15日

- \*産婦人科の術後食に関すること
- \*糖尿病嚥下食追加に向けて
- \*個別対応食追加に向けて
- \*ヘパス（肝不全用栄養剤）取り扱いについて
- \*外来がん化学療法の質向上のための総合的な取り組みについて
- \*嗜好調査予定

2021年2月18日

- \*糖尿病嚥下食稼働に向けて（コード3，コード4）
- \*院内食事箋規約一部改訂
- \*2020年度嗜好調査結果報告

**【食事についての紹介】**

行事食は毎月1～2回行われ、暦行事にちなんだ料理・普通食～治療食（特別食）の行事食を提供しています。オリジナルメッセージカードも添えて提供しています。

**【行事食の紹介】**

- 1月1日～3日 正月料理（雑煮・黒豆・田作り・数の子・紅白なます・赤飯・鯛）
- 1月7日 七草粥
- 2月3日 節分（巻き寿司・鯛・節分豆）
- 3月3日 ひな祭り
- 4月4日 お花見弁当
- 5月5日 子供の日
- 6月 入梅
- 7月7日 七夕
- 8月15日 夏祭り
- 9月15日 敬老の日
- 10月 秋祭り
- 11月 開院記念日
- 12月 冬至、クリスマス、大晦日

**【食種】**

院内食事箋規約より、普通食（A～D）、軟菜食（3分粥、5分粥、7分粥、全粥、軟飯）、流動食（流A、流B、流2）食欲不振食（なごみ食）陣痛食、産褥食、嚥下食、経管栄養食、術前食、各術後食（術A、術B、術C、術E）、糖尿病食、糖尿病嚥下食、脂質異常症食、腎臓食、ネフローゼ食、透析食、心臓食（A、心BⅠ、心BⅡ、心C）、肝臓食（A～C）、膵臓食（3分粥～米飯）、胆嚢炎・胆石食（流動～米飯）、潰瘍食（1分粥～米飯）、腸炎食（3分粥～全粥）、貧血食、低残渣食、低ヨード食、大腸検査食、小児食（A～D）、離乳食（A～D）、小児腸炎食（A～D）、小児腎臓食（A-A～D、B-A～D、C-A～D）小児ネフローゼ食（A-A～D、B-A～D）があり、合計200種類以上の食種となる。この食種に加え、多様な個人対応（アレルギー除去食含む）も行っています。

**【今後の課題】**

安全・安心で且つ患者様に喜んでいただける食事作りと、各専門性を活かした栄養管理と栄養食事指導の拡充を図り、地域に貢献できるよう発信していきたいと考えております。

**業績**  
**発表**

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2021年1月	橋本 薬業連携協議会	がん化学療法の栄養管理 がん患者さんの食事の工夫 ～院内の取り組みと栄養食事指導～	藤本 佐和子		橋本市 WEB 研修

**論文・雑誌掲載**

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2019年11月	全国自治体病院協議会雑誌第59巻第7号	当院栄養管理科の取り組み	藤本 佐和子	

## 【概要】

歯科技工室は、歯科口腔外科外来に設置構成された歯科専門技術職です。

### <理念>

- 1) 専門職として患者様に対応する。
- 2) 他職種とのコミュニケーションづくりをする。
- 3) 患者様が来院しやすい病院づくりをする。

### <スタッフ>

歯科技工士 下坂洋二  
 歯科衛生士 北河寛子（会計年度任用職員）  
 福井恵子（会計年度任用職員）

#### (1) 技工部門

歯科医師の指示の下、他科から依頼のさまざまな技工物や睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置、手術後の顎欠損患者様の顎補綴、止血用のシーネ、顎関節治療用のスプリント、歯ぎしり防止用ナイトガード等を迅速に作製し、入院患者様の生活の質向上に努めています。

#### (2) 診療部門

歯科衛生士は、歯科診療補助業務の他、外来患者様と入院患者様に専門的口腔ケアなどを行います。周術期口腔機能管理では、医科と連携し、歯科医師と共に口腔管理を行います。また、嚥下機能が低下している他科の入院患者様などを歯科医師と共に往診し、病棟看護師の協力の下、専門的口腔ケアを行います。チーム医療では、NSTチーム、緩和ケアチームに積極的に参加しています。

## 【実績】

### 2020年度 周術期口腔ケア患者人数 (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	5	5	5	7	6	11	10	4	10	12	12	98

### 2020年度 往診口腔ケア・外来口腔ケア・周術期口腔ケア (延べ件数) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
往診口腔ケア	20	16	14	30	20	19	36	52	37	47	40	34	365
外来口腔ケア	14	3	19	23	20	22	32	14	24	15	30	55	271
周術期 (往診)	10	5	4	6	2	8	3	6	6	7	5	9	71
周術期 (外来)	34	25	24	21	22	27	28	37	18	31	29	34	330

## 【今後の課題】

周術期では、術前・術後の口腔機能管理を行うことにより、術後肺炎などの合併症予防ができることが期待されています。診療部門では、通常外来診療と並行して、歯科医師と共に周術期口腔機能管理を行っているため、術後の口腔ケア介入のタイミングを検討し取り組んでいく必要があると考えています。

## 【1. 概要】

地域医療部では前方支援を地域医療連携室、後方支援を入退院支援室とし、地域における中核病院として地域医療機関及び関係機関と連携を深め、患者様に対してより質の高い医療を提供できるよう活動しています。

2020年度も地域の医療機関からの診療・検査の予約受付や転院受入れを行うとともに、医師・看護師・その他のコメディカル等と連携して、急性期治療後の在宅復帰・転院の退院調整などの支援を患者様・ご家族に対して実施しました。

## 【2. 人員配置】

組織名	補職名	氏名 (職種)	備考		
地域医療部	部長	星屋 博信 (副院長兼務)			
	副部長	西 未知子 (看護部長兼務) 兼平 龍一 (地域医療連携室長兼務)	2021年2月まで 2021年3月から		
地域医療連携室	室長	兼平 龍一 (副地域医療部長兼務)			
	室長補佐	池田 知将 (事務員)			
	主幹	山本 茂晴 (事務員)			
		金本 純子 (看護師) ※糖尿病看護認定看護師			
		染原 佳代子 (看護師)			
		中本 優紀 (事務員)			
		澤本 真由美 (事務員)			
		西山 真由 (事務員)			
		福井 美奈子 (事務員)			
		上田 喜代美 (事務員)			
		山本 愛 (事務員)			
		入退院支援室	室長	木村 久美子 (退院支援看護師)	
		主任	横芝 真紀 (退院支援看護師) ※緩和ケア認定看護師		
主任	泉本 大祐 (社会福祉士)				
主任	松本 美紗 (社会福祉士)	2020年12月まで			
主任	橋爪 祥人 (社会福祉士)	2020年8月から			
	上中居 幹太 (社会福祉士)				
	吉鶴 伸太朗 (社会福祉士・精神保健福祉士)				
	土居 美佳 (事務員)				
	田中 佐知 (事務員)				

## 【3. 実績】

### 【地域医療連携室】

前方支援業務では連携業務の推進強化のため、渉外活動を促進し、伊都医師会及び五條市医師会を中心に「連携登録医」を締結のうえ、外来に連携登録医ポスターを配置、院内・院外ホームページでの連携登録医を検索できるようにして「かかりつけ医」を推奨しており、2020年度で橋本市民病院連携登録医数は133診療所となりました。

地域医療連携室の窓口で専属の看護師を配置することで地域の医療機関からご紹介いただいた患者様の速やかな受入れをはじめ、受診予約や結果連絡等に関する業務を行うとともに、土曜日予約や平日の19時までの受診予約も行っています。

#### (1) 紹介率・逆紹介率

	紹介率	逆紹介率
2016年度	22.6%	35.2%
2017年度	24.8%	43.6%
2018年度	27.8%	46.0%
2019年度	29.1%	47.1%
2020年度	32.9%	50.0%

(2) 渉外活動の状況

近隣施設、医療機関との医療連携の強化を図る目的で定期的に訪問している。

	伊都郡・橋本市	五條市	その他	合計
2018年度	292件	97件	3件	392件
2019年度	338件	42件	18件	398件
2020年度	116件	7件	1件	124件

(3) 「橋本市民病院連携登録医制度」の運用状況

連携登録医契約状況 133診療所（2021年3月31日現在）

- 〈医科〉伊都医師会登録医数 70診療所
  - 五條市医師会登録医数 22診療所
  - 他地域医師会登録医数 1診療所
  - 〈歯科〉伊都歯科医師会登録数 40診療所
- （詳細は巻末連携登録医を参照ください。）

(4) 地域医療機関向け広報誌の発行

- ①「2020年度橋本市民病院診療科紹介パンフレット」 7月発行
- ②「橋本市民病院診療科だより」 リウマチ・膠原病科

(5) 診療の予約業務等

地域医療機関からの診療依頼に対して適切な診療科への予約取得を行うとともに、診療経過・検査結果・入院経過などの報告支援や、当日緊急受診の要請・入院要請に対して、迅速かつ適切な受診調整、受入れ確認を行った。また、画像診断用の診療情報提供書及び栄養食事指導予約申込み用の診療情報提供書の様式等を一部変更し運用を見直すことで、医療機関相互の診療情報提供依頼について利用し易い改善に努めました。

(6) 研修会等開催

新型コロナ禍の影響により、地域の医療機関の皆様を対象とした研修会等の開催は中止となりました。

【入退院支援室】

入退院支援室では、病床の効率的な運用を図るとともに、患者様の入院から退院まで円滑に安心して医療を受けられるよう、一人ひとりの状況を身体的、社会的、精神的背景からしっかりと把握し、入院中の一貫した支援を行っています。

また、医療ソーシャルワーク業務を中心に各種相談援助業務に取り組みました。がん相談支援センターでは、がんに関する情報の発信や外来通院時からの療養支援、がん情報コーナーを設置するとともに、橋本市民病院がん患者サロン「サロン・ド・サクラ」の毎月開催（毎月第3水曜日）を行いました。

がん相談や緩和ケアチームの活動にも携わり、がん医療に係る相談援助業務等にも積極的に取り組みました。

【今後の課題】

退院前カンファレンスの実施を確実にし、在宅医、訪問看護、ケアマネージャー、介護施設等と連携を密にして退院支援・調整の質の向上を図る。

また、紹介率・逆紹介率の向上を目的として、地域医療機関とのより良い医療連携の構築を目指す。

医療・介護・福祉行政が一体となり、地域住民のケアをスムーズに行える体制が今後も含めた課題である。

新型コロナ禍の中、ICTを活用した各種研修会等を開催する。

## 業績 発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2020年8月	第23回日本地域看護学会学術集会	「糖尿病性腎症重症化予防プログラムの保健指導の効果と課題－A市における行政・かかりつけ医・病院の連携による取り組み－」	金本 純子		大阪市
2	2020年11月	第25回和歌山県病院協会学術大会	「紹介患者数増加に向けた地域医療戦略とその成果」	兼平 龍一		和歌山市

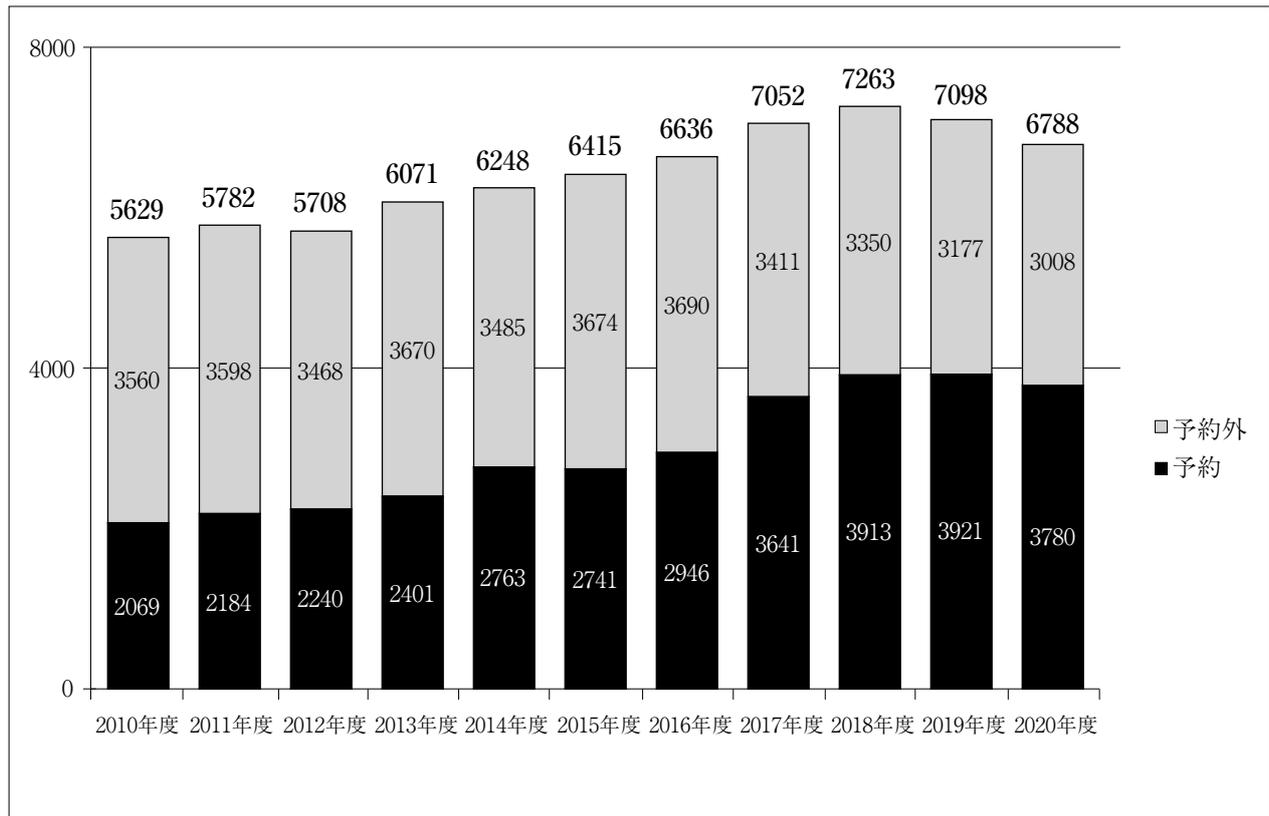
## 講演

No	発表月	会名	演題名	講演者	開催都市
1	2020年8月	武田薬品 WEB セミナー	コロナ渦における糖尿病療養指導	金本 純子	和歌山市
2	2020年10月	地域ケア研修会	病院の仕組みについて	金本 純子	橋本市

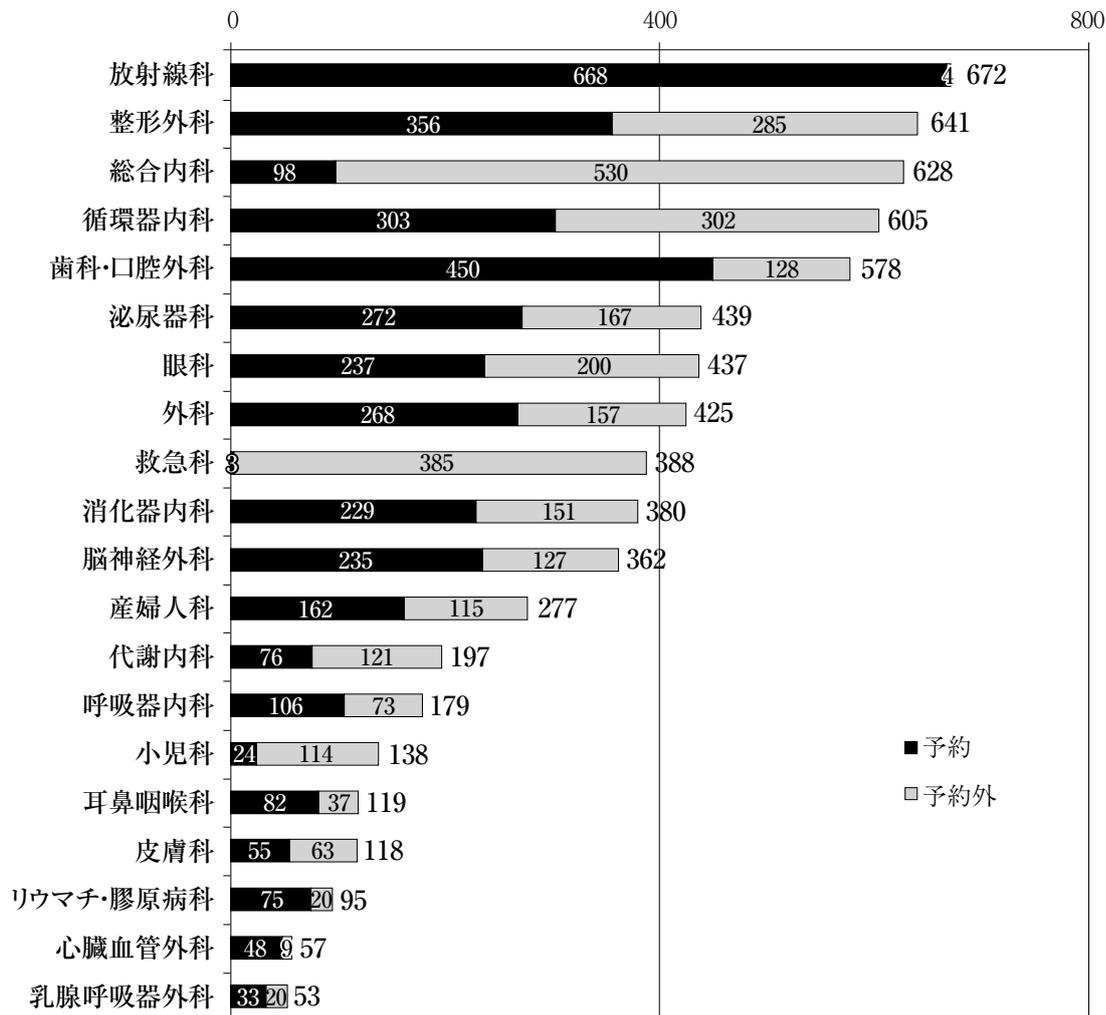
## 2020年度 地域医療連携室 事務業務件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
電話対応	1,746	1,564	2,035	1,916	1,697	1,658	1,865	1,923	1,979	1,870	1,962	2,240	1,871.3
FAX 対応	2,062	1,814	2,263	2,840	2,454	2,443	2,879	2,667	2,765	2,724	2,297	2,683	2,490.9
受診報告書	52	33	44	42	58	66	70	48	73	62	68	97	59.4
入院報告書	116	82	111	114	114	133	157	125	148	127	129	146	125.2
退院報告書	113	59	122	100	117	116	138	132	130	107	124	141	116.6
死亡報告書	8	3	2	7	4	6	8	11	3	2	9	4	5.6
未受診報告書	15	18	13	10	17	7	11	13	11	10	3	6	11.2
紹介予約取得	162	157	288	280	253	303	356	269	294	237	284	376	271.6
逆紹介予約取得	46	47	81	67	53	68	52	58	49	42	58	57	56.5
画像診断結果送付	45	21	74	64	54	78	76	48	47	52	70	67	58.0
経過報告書送付	362	324	417	498	436	469	509	426	406	361	411	508	427.3

紹介患者数 2020年度推移

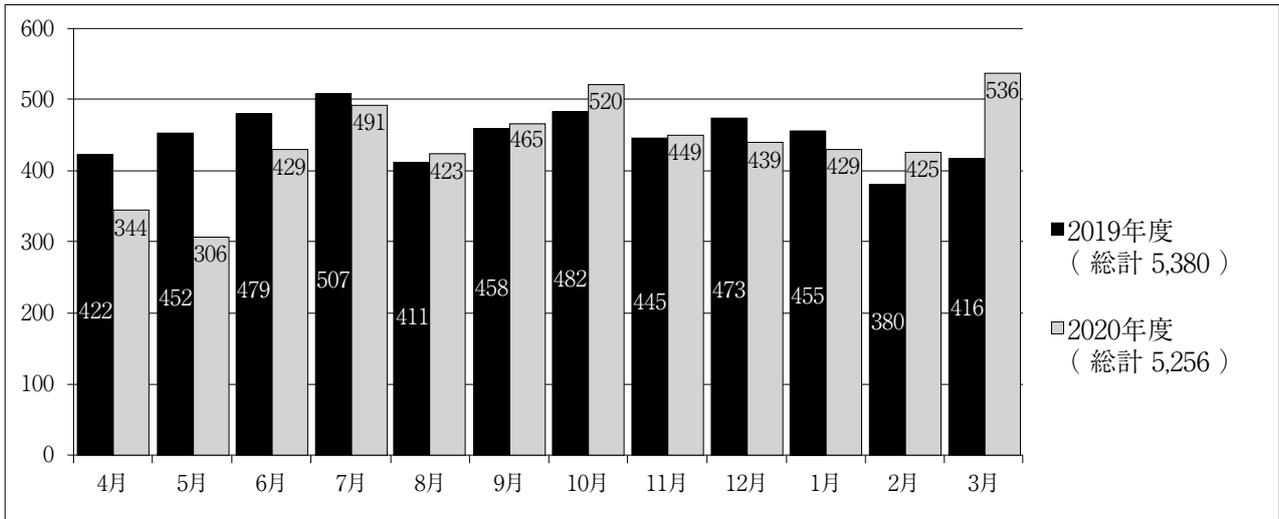


2020年度 診療科別 紹介患者数

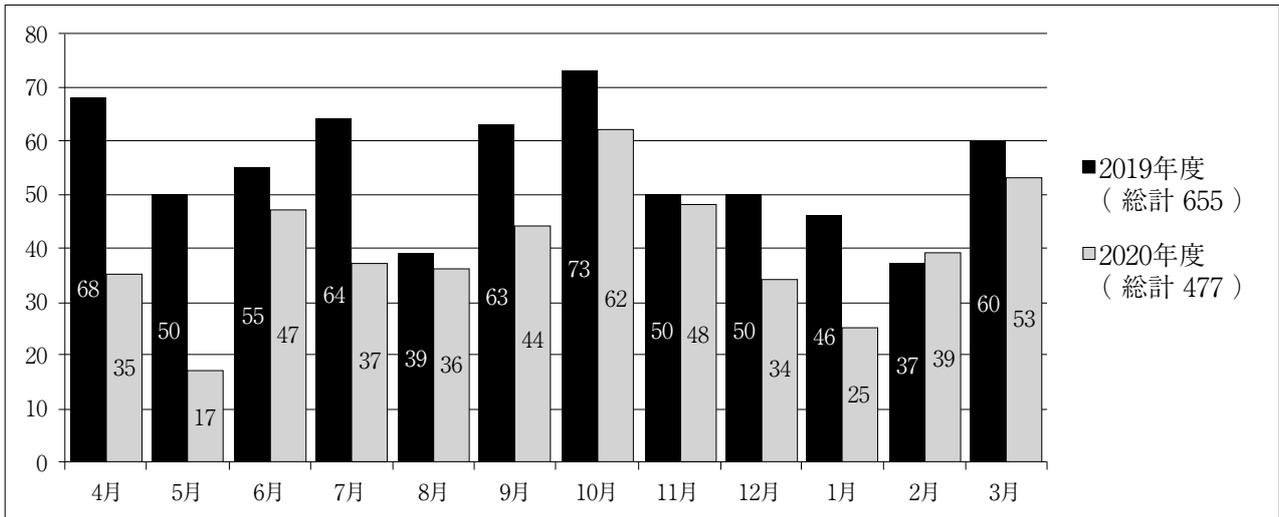


地域別 紹介患者数

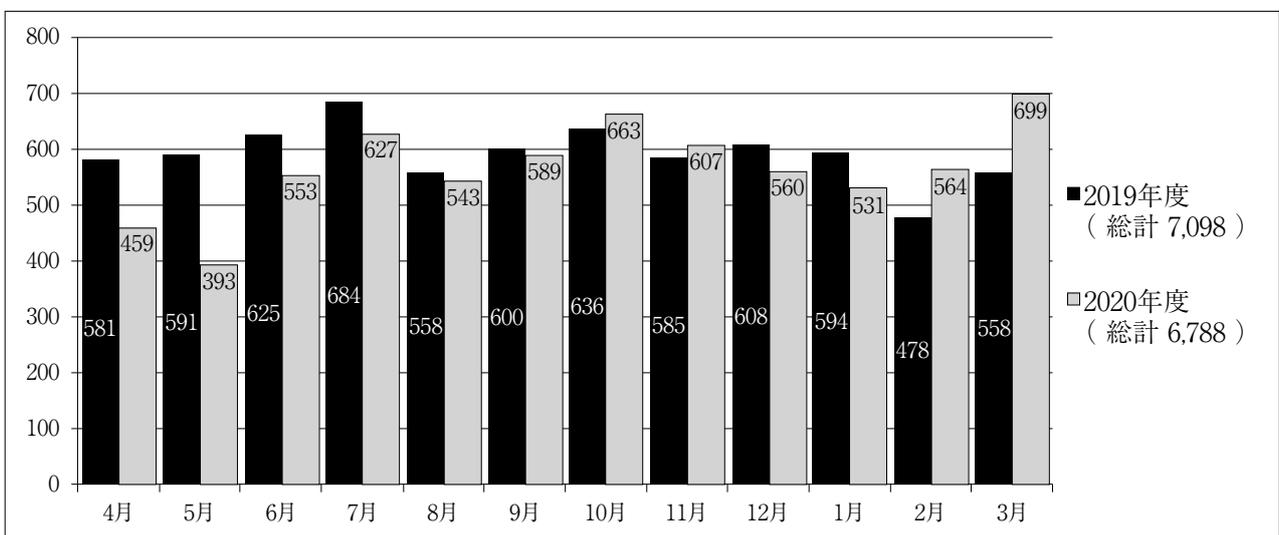
➤ 伊都橋本地域医療機関からの紹介患者数



➤ 五條市医療機関からの紹介患者数

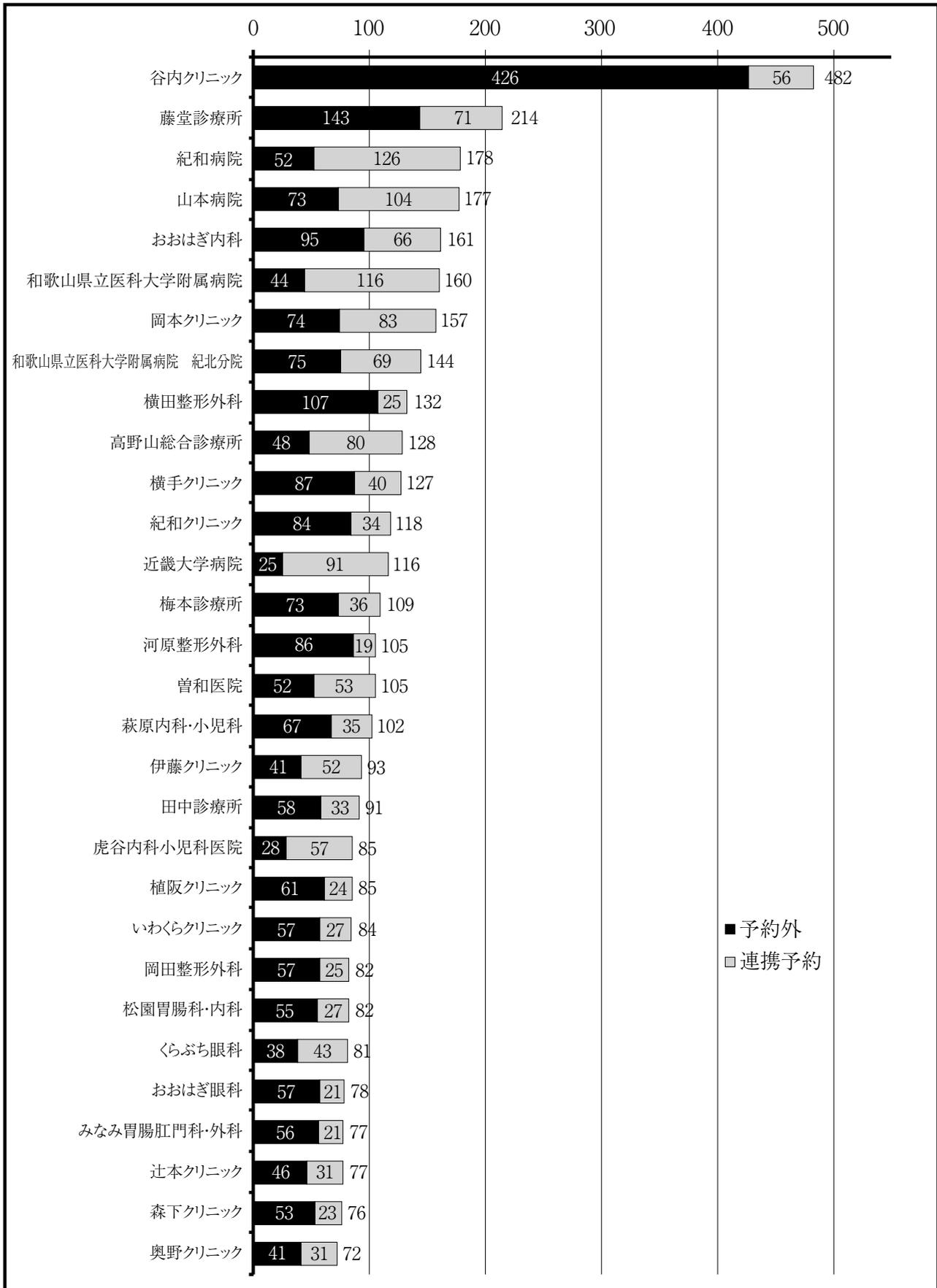


➤ 全地域医療機関からの紹介患者数

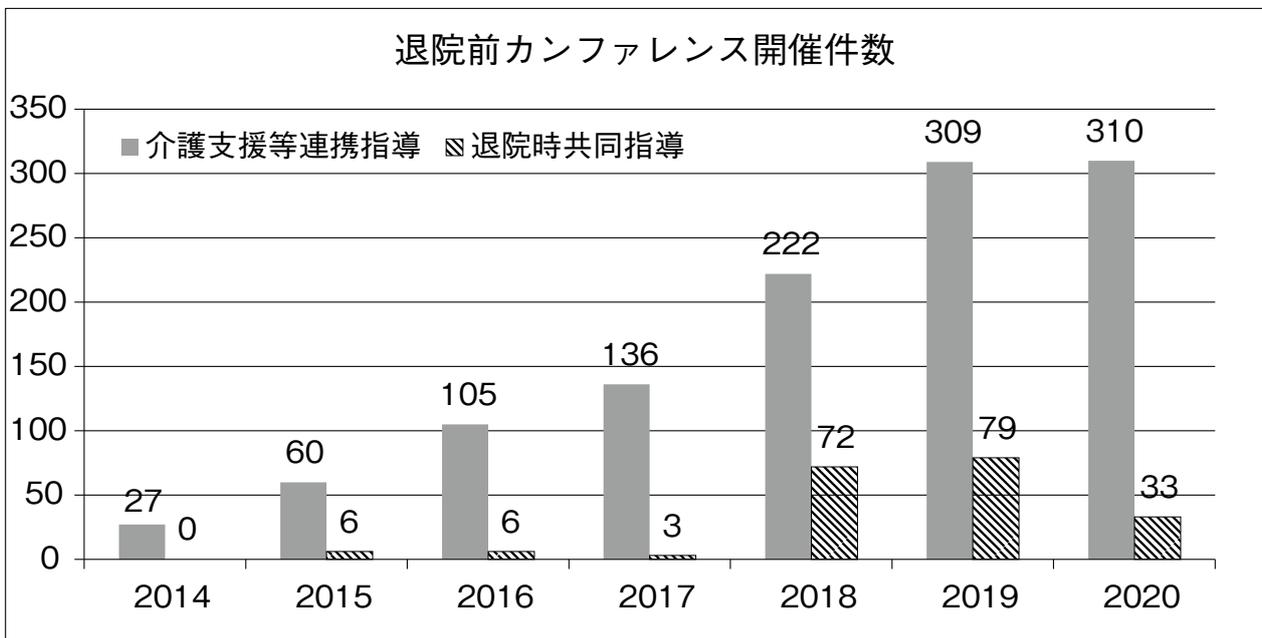
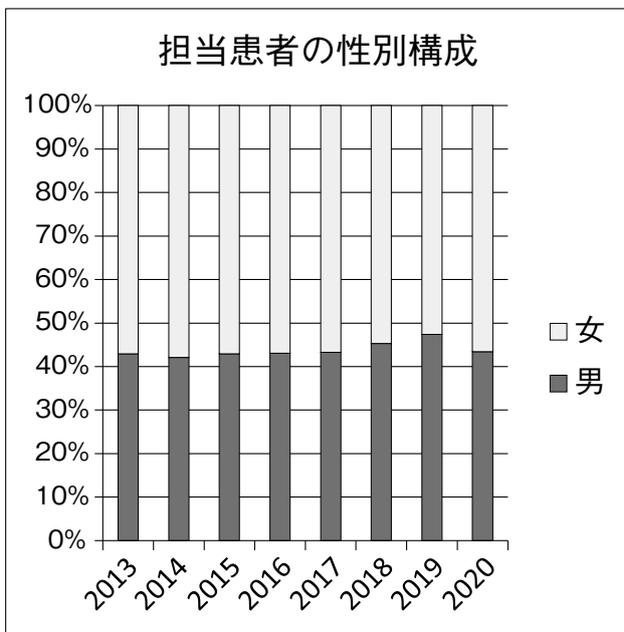
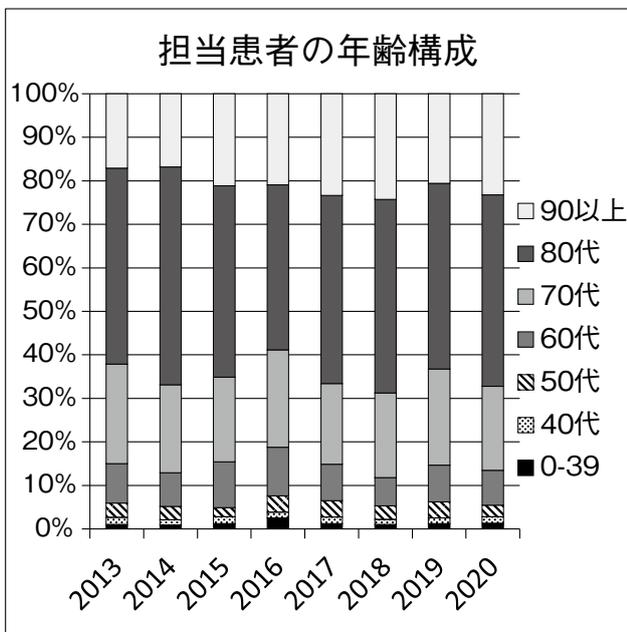
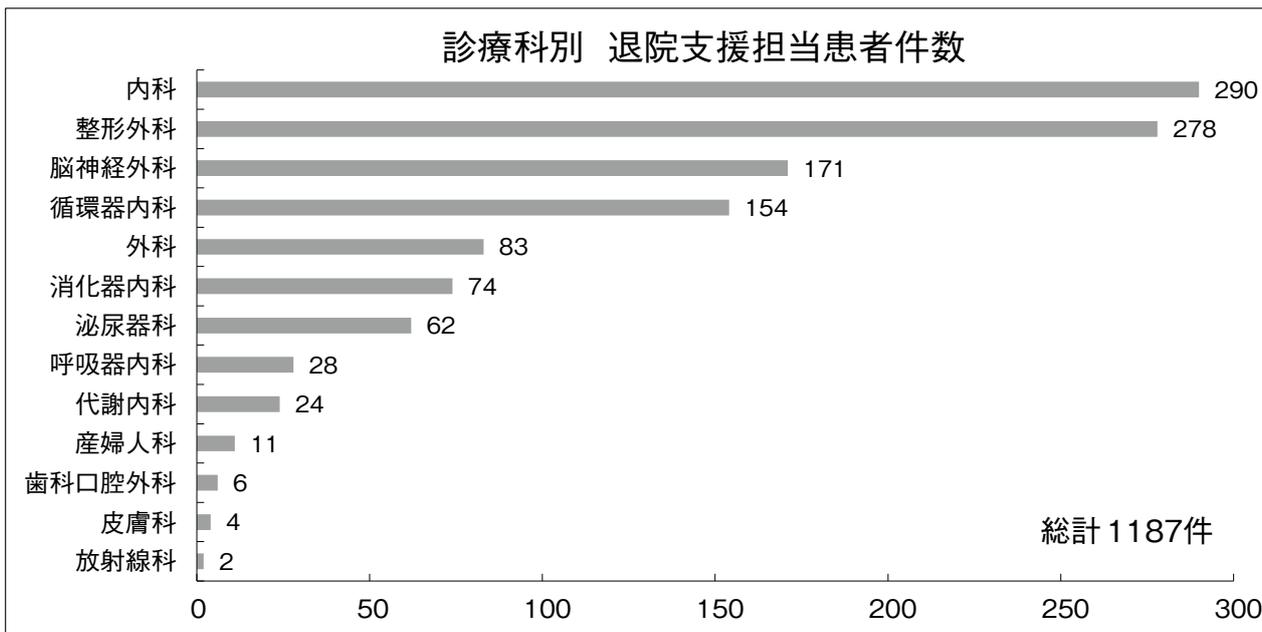


◀ 地域医療連携統計 ▶

医療機関等 紹介患者数（2020年度TOP30）

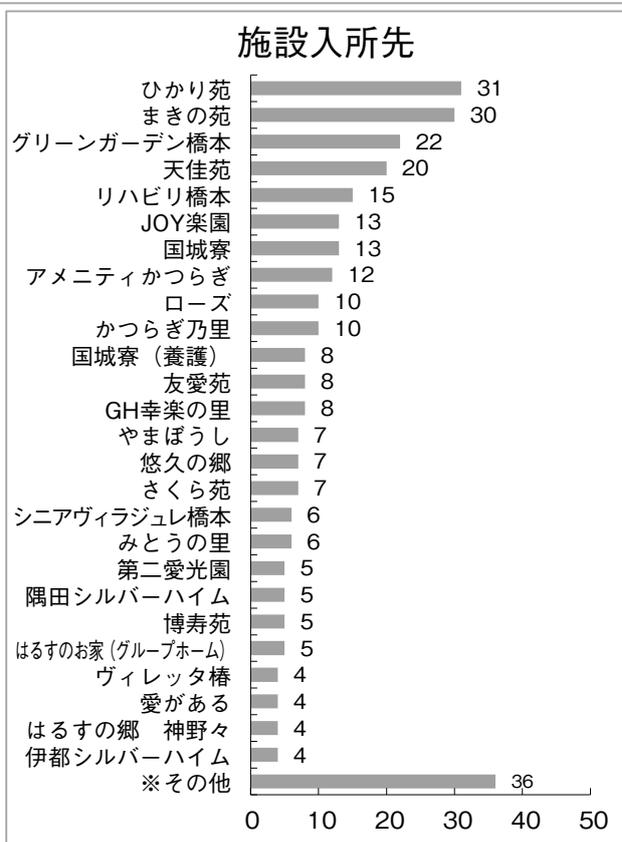
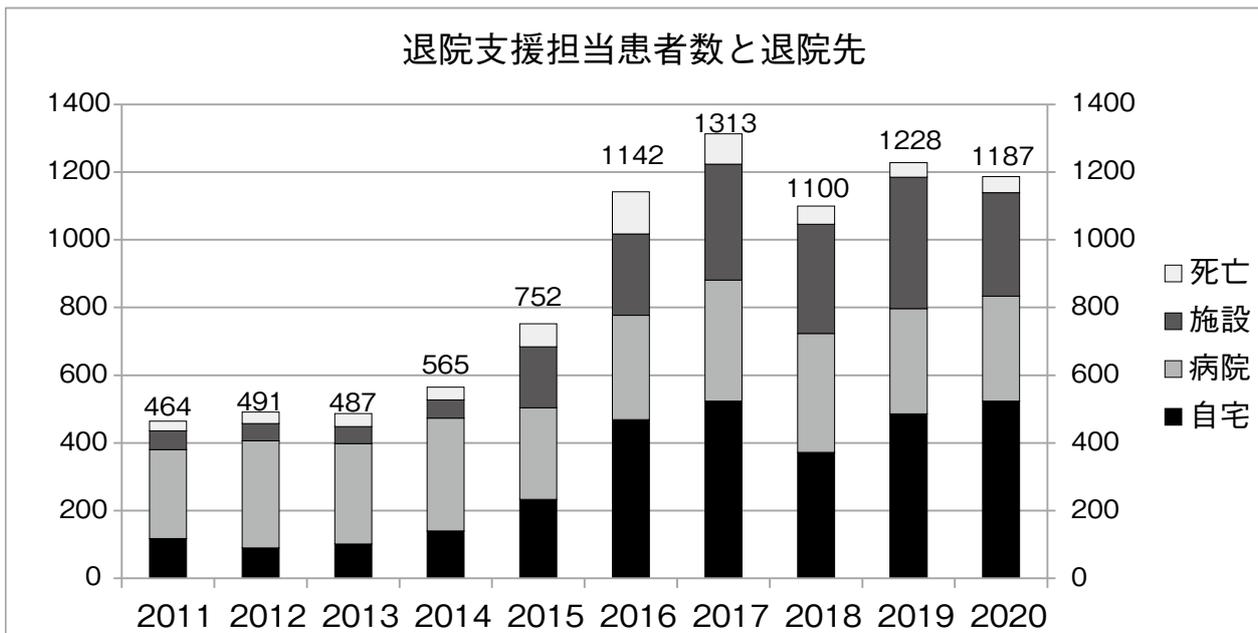


◀ 退院支援統計 ▶



VI 診療技術部紹介

◀ 退院支援統計 ▶



※ その他の転院先に含まれる医療機関

南和病院  
滝谷病院  
阪和第一泉北病院  
青山第二病院  
大阪南医療センター

いぶきの病院  
角谷整形外科病院  
富田病院  
ベルランド総合病院  
国立循環器病センター

阪大病院  
鶴見緑地病院  
老寿サナトリウム  
和泉丘病院  
誠佑記念病院 など

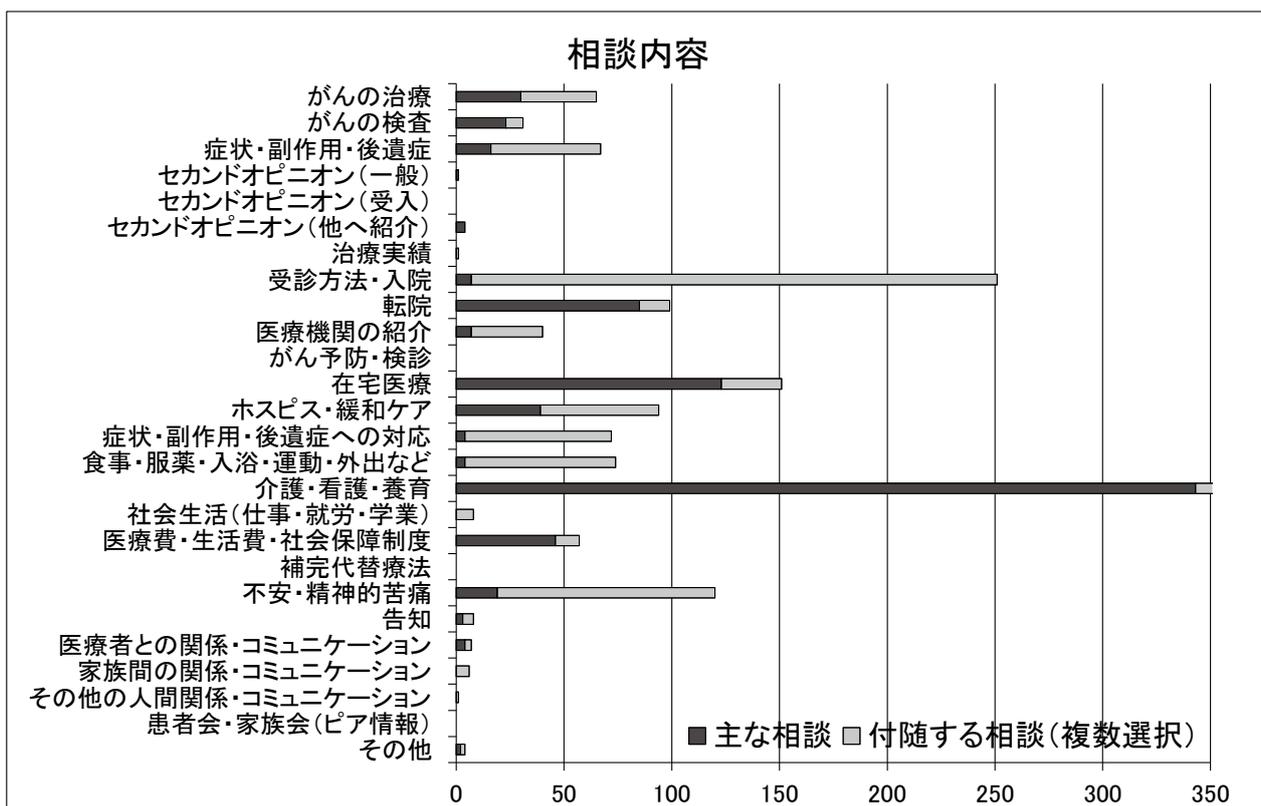
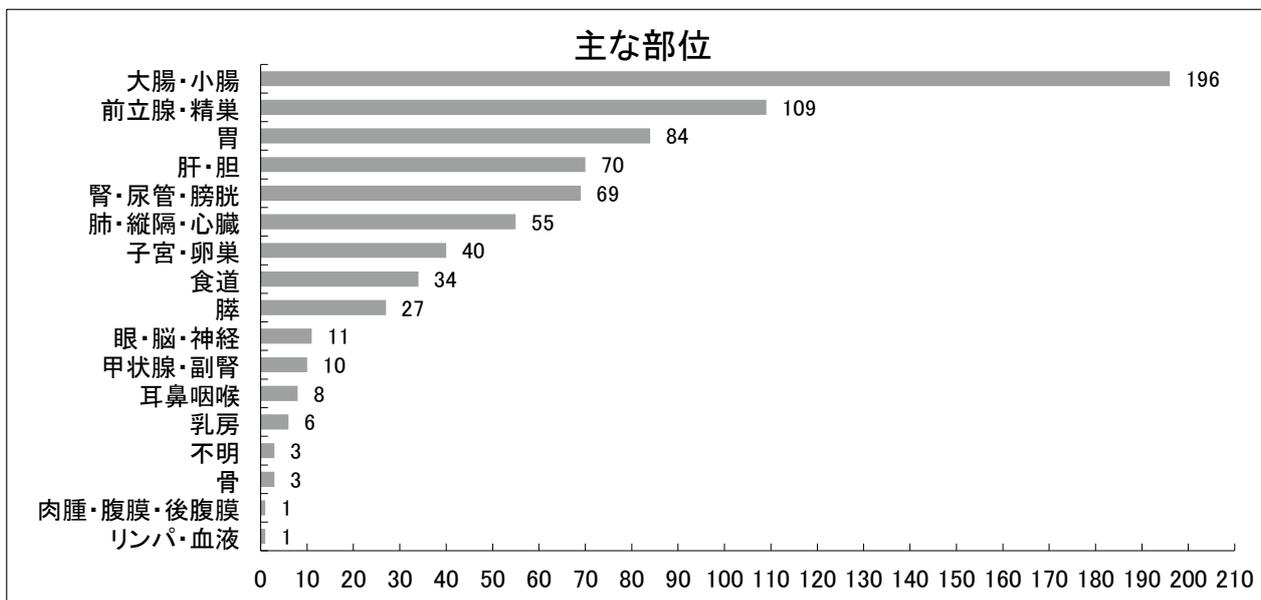
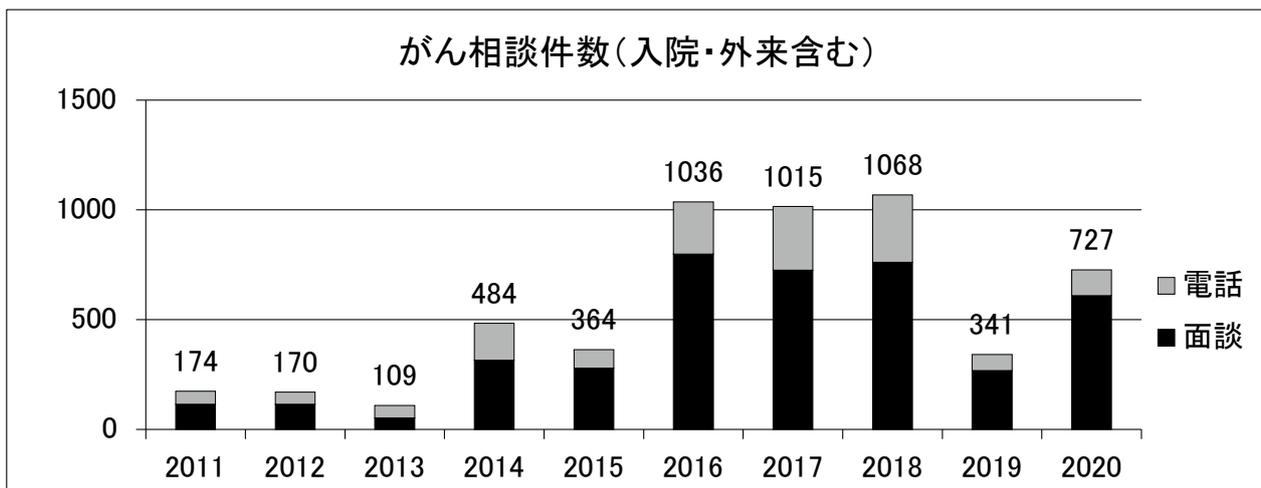
※ その他の施設入所先に含まれる施設

ルポゼまきの  
ライフガーデン御幸  
祥水苑  
つくしの宿  
愛光園

ネオファミリー高野口  
ハートランド五條  
友喜苑  
ごもうのいえ  
あさひ

グループホーム祥水苑  
フィオレ河内長野  
ケアハウスまきの苑  
ルポまきの  
メディケアはしもと など

《 がん相談統計 》



VI 診療技術部紹介

## 【概要】

医療安全管理と感染管理活動は、院内活動だけでなく、地域の医師会及び歯科医師会・薬剤師会や近隣病院、保健・福祉施設、行政機関との情報交換や連携の強化に努めています。医療安全、感染管理のそれぞれの立場から、院内外の多職種との協働・連携を推進し、役割を遂行しています。

## 【スタッフ紹介】

・医療安全管理部部长	金 桂洙	(眼科部長)
・医療安全管理副部长	橋本 忠幸	(総合内科副医長)
・医療機器安全管理責任者	小嶋 宏之	(臨床工学科技師長)
・医薬品安全管理責任者	河崎 尚史	(薬剤部長)
・医療安全管理者(専従)	近藤 史子	(医療安全管理室長)
・感染管理認定看護師(専従)	栞田 美加子	(感染管理認定看護師・副師長)
・医療安全管理室主幹	山口 博志	(医療安全管理室兼感染管理室)
・感染管理事務	中谷 仁美	

## 【実績】

### 医療安全管理室

- ・医療安全カンファレンス(週1回)
- ・医療安全対策委員会(月1回)
- ・セーフティマネジメント委員会(月1回)
- ・患者サポートカンファレンス(週1回)
- ・医療安全研修会開催(年2回【10月・3月】)別でWEB研修実施
- ・自治病医療安全管理対策研修会参加(web研修)
- ・院内医療安全ラウンド(28回【14部署2クール】)
- ・シミュレーション研修(内科勉強会)
- ・医療事故事例検討会
- ・新規採用研修、ラダー研修(ラダーⅡ受講者)、補助者研修など
- ・経腸栄養コネクタ説明会(3回)
- ・モニターアラーム説明会(12回)
- ・麻薬管理説明会

### 感染管理室

- ・感染制御会議(週1回)
- ・院内感染管理ラウンド実施(週2回)
- ・抗菌薬適正使用支援チーム会議(週1回)
- ・ICTワーキング(月1回)
- ・感染研修会(年2回:資料研修)
- ・抗菌薬適正使用支援研修会(年2回:資料研修)
- ・新規採用者、補助者研修(適宜)
- ・新型コロナ感染症関連説明会(3回)
- ・新型コロナ感染症感染対策会議(適宜)
- ・地域感染症研修会(年4回)
- ・伊都橋本地区病院感染症連絡会(年4回)
- ・サーベイランス:全入院患者(月1回)
- ・サーベイランス:SSI(年2回)
- ・症状サーベイランス(毎日)
- ・定点把握感染症発生報告(週1回)

# VII 事務局紹介



## Ⅶ 事務局紹介

総務課

医事課

診療情報課

## 【概要】

総務課は、庶務係、経理係、用度係の3係で構成しています。庶務係は、職員の人事、給与、労務、服務や福利厚生などの庶務業務を主な業務。

経理係は、病院事業に関する総合計画の策定及び推進、病院事業の経営健全化の推進、予算の調整と執行管理を主な業務。

用度係は、施設の整備や維持管理、薬品、診療材料物品などの購入・調達、医療機器の新規購入及び更新などの用度業務を主な業務としています。

令和2年度は、新型コロナウイルスの蔓延により入院・外来患者の減少など厳しい経営状態で、本来の業務以外の様々な業務が発生し、新型コロナ陽性患者との接触も多い中、だれ1人感染することなく高い意識で自制できております。

## 【課題】

- ・高額医療機器の更新や、新築後17年となることから建物及び設備等の更新・修繕が増加に対し費用の確保と迅速対応。
- ・新型コロナ感染拡大により複雑化している補助金等の正確な請求。
- ・多様化し、人の入れ替わりの激しい病院運営に対し、迅速に人の確保をおこなう。
- ・過去の慣習だけで運営しているさまざまな事案についてのマニュアル化。
- ・企画経営担当を中心に、収益改善のための継続的な取組み。原価計算の活用。

## 【2021年度目標】

- ・人事給与制度を見直しと働き方改革を推進する。
- ・人事考課制度の構築。
- ・過去の慣習だけで運営しているさまざまな事案についてマニュアル化を進める。
- ・新型コロナ感染拡大に対する物品購入等々迅速な対応。
- ・新型コロナウイルスの蔓延により本来の業務以外の様々な業務が発生し、新型コロナ陽性患者との接触も多い中、1人の感染者も出さないように注意を払い、病院運営を支える。

## 【スタッフ紹介】

総務課長・・・・・・・・・・上垣 芳樹  
 総務課長代理・・・・・・・・高木 誠（2020年7月から）  
 総務課長補佐兼経理係長・・・・藤本 昇三  
 総務課長補佐・・・・・・・・山内 壯一  
 総務課庶務係長・・・・・・・・香川 貴俊  
 総務課用度係長・・・・・・・・鈴木 昇太

## 【概要】

医事課の主な業務は保険請求であり、医師の指示の下、ライセンスを持った全ての職員が行う医療行為をお金に変換し、窓口でご負担いただく分と保険請求する分の計算を行う業務です。また、保険請求に必要な近畿厚生局への届け出業務、窓口未収金の管理業務、各種患者数・医業収益等の医療データの作成・管理等々を行っております。また、未収金の回収業務、患者さんからのご相談・お問い合わせの対応も行っております。

医事課には、医師事務作業補助者も在籍しております。現在、厚生労働省は医師の働き方改革を推進しており、令和2年度診療報酬改定でも重点課題とされ、医師事務作業補助者は欠かせない存在となっております。医師事務作業補助者は、医師が行う医療行為以外の事務的な業務の補助、すなわち、診断書の作成・データの入力代行等の業務を行い医師の負担軽減に努めております。

院内での諸所の課題改善に努めながら、医事課では収益を上げることができるよう努力してまいりました。2020年度は、診療報酬改定も実施され、新型コロナウイルス感染症が広がる中、それに伴う臨時的な取扱いとして、感染症対策にかかる評価が加わり情報収集にも注意をはらってまいりました。今後も、医事課として可能な限り経営改善に繋がる取り組みに努めてまいります。

また橋本市民病院を利用される患者さんに、より快適にご利用いただけるよう、職員の接遇改善にも力を注ぎ、いつも笑顔で業務に当たれるよう心掛けてまいります。

## 【目標】

1. 知識の向上に研磨し、診療報酬請求業務を正確に行う。
2. 常に患者さんの立場になって考え、奉仕する心で行動する。
3. 患者満足度の向上。
4. 救急搬送時等の受付や会計について、迅速な対応を行う。
5. 業務知識・スキルの向上。
6. 未収金を極力少なくすること。

## 【課題】

医業収益の分析を行い、新たな収益増加を検討すると共に、診療報酬を基本としたベットコントロールの提案、病院全体への保険請求制度の理解を広げる取り組みが必要と考えます。

## 【スタッフ紹介】

医事課課長・・・野口 朋弘

医事課主幹・・・高木 誠（2020年6月まで）

堀 芳彰

医事課課長補佐・・・浅田 浩嘉

医事課職員・・・他 5名

医師事務作業補助者・6名

## 【概要】

診療情報課は、診療情報管理係、システム係で業務を行っております。

診療情報管理係は、患者管理医療データの作成・報告・提出業務、また、紹介状・手術記録等紙ベースでの運用を行っているデータの取り込み、カルテデータの取り出しを行っております。

医療データと言えども多岐にわたっており、主には退院患者の病名コーディング、身体状況、入院経路、退院後の動向等々1人1人の細かい患者データをまとめた様式関係、診療内容をデータ化したE Fファイル等厚労省から提出を義務付けられたデータを初め、がん拠点病院として提出を義務付けられた癌登録を行い、データを作成・報告し、キャンサーボード等がん診療に関する様々な会議・勉強会を開催し、基準が高度化したがん拠点病院の認定が維持できるよう努めております。

また、作成データから見えてくるD P Cコーディング・請求漏れ等も医事課と連携しながら、検討・助言を行い収益UPの手助けも行っております。

システム係は、電子カルテの管理を主な業務とし、病院内の通信ネットワーク、院内電話の管理までシステム全般に保守・管理を行っております。

天災（雷）等でのシステム停止など課題が多い中、令和元年度は電子カルテ導入後7年が経過しハードの保守が終了します。令和2年度からは第3保守の企業と契約の上、令和4年2月の新電子カルテシステムの稼働に向けて準備を行っております。

診療情報課は、システム内の個人情報保護の核で有り、に個人情報漏洩事故が起こらないよう努めております。

## 【実績】

・提出データ数	様式1等	5,400	件／年
	E Fファイル	111,100	件／年
	がん登録	500	件／年

## 【目標】

1. がん拠点病院の維持
2. より正確な患者データの作成し、期日までに提出すること【D P C係数の維持】
3. 個人情報の漏洩が起こらないようにすること
4. 天災（雷）・老朽化等でのシステム停止などに迅速に対応すること
5. 2022年2月の新電子カルテシステムの稼働に向けて準備

## 【課題】

新電子カルテの稼働までトラブルを最小限抑え運用していけるか。

## 【スタッフ紹介】

診療情報課課長・・・上垣 芳樹  
 診療情報課課長補佐・・・名村 隆（診療情報管理士・がん登録実務中級者）  
 診療情報課係長・・・井上 正輔（診療情報管理士・がん登録実務初級者） 他2名  
 システム係長・・・飯田 淳

# VIII 委員會介紹

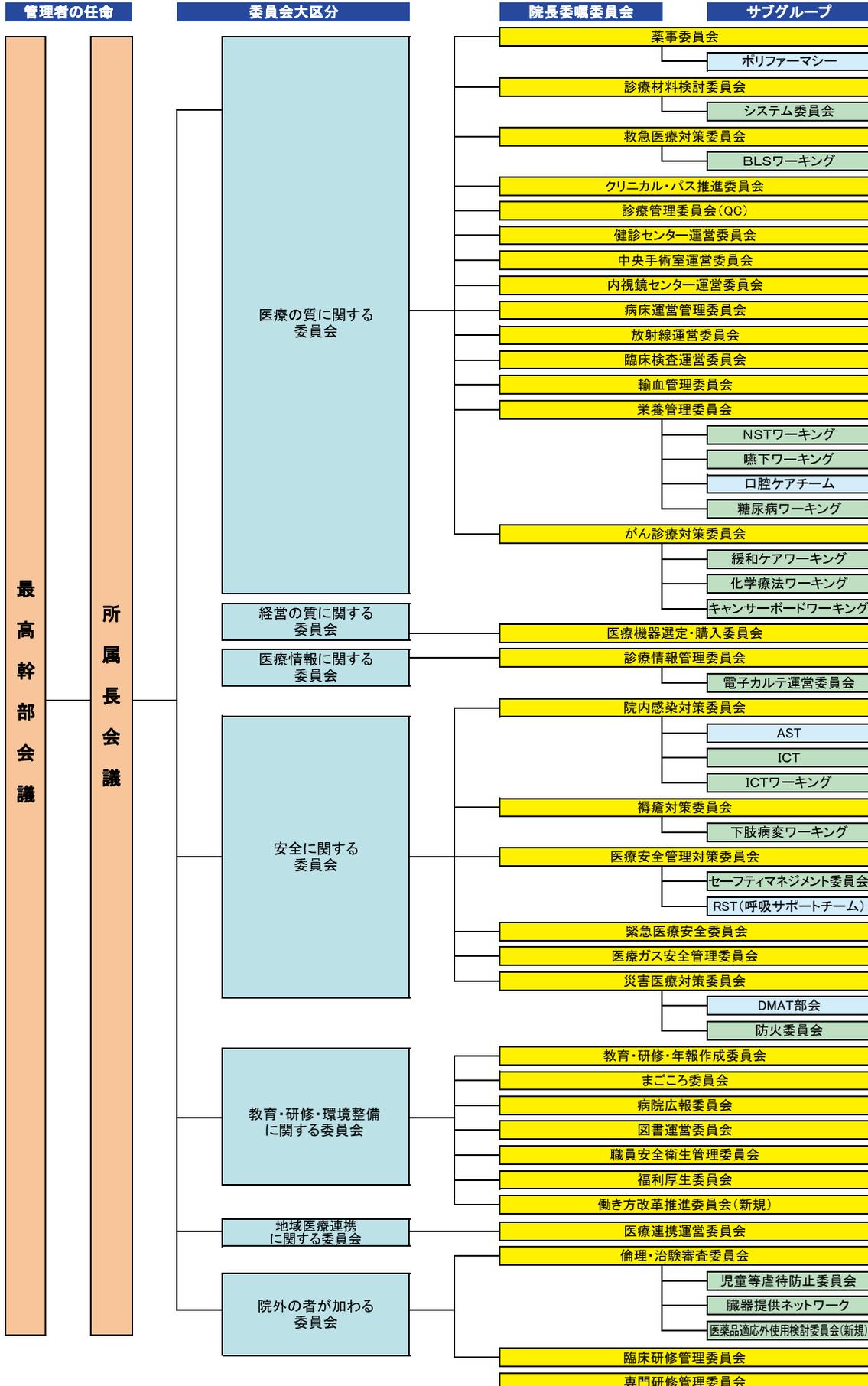


## Ⅷ 委員会紹介

薬事委員会  
診療材料検討委員会  
診療材料システム委員会  
救急医療対策委員会  
クリニカル・パス推進委員会  
診療管理（QC）委員会  
健診センター運営委員会  
中央手術室運営委員会  
内視鏡センター運営委員会  
病床運営管理委員会  
放射線運営委員会  
臨床検査運営委員会  
輸血管理委員会  
栄養管理委員会  
NST ワーキング  
嚥下ワーキング  
糖尿病ワーキング  
がん診療対策委員会  
緩和ケアワーキング  
化学療法ワーキング  
がんセンターボードワーキング  
医療機器選定・購入委員会  
診療情報管理委員会  
電子カルテ運営委員会  
院内感染対策委員会  
AST  
ICT  
ICT ワーキング  
褥瘡対策委員会  
下肢病変ワーキング  
医療安全管理対策委員会  
医療ガス安全管理委員会  
災害医療対策委員会  
DMAT 部会  
防火委員会  
教育・研修・年報作成委員会  
まごころ委員会  
病院広報委員会  
図書運営委員会  
職員安全衛生管理委員会  
福利厚生委員会  
医療連携運営委員会  
倫理・治験審査委員会  
臓器提供ワーキング  
臨床研修管理委員会  
専門研修管理委員会

# 委員会組織図

## 院内各種委員会一覧



## 【目的】

医薬品の新規採用、医薬品の不良在庫防止、その他における薬剤関連業務の合理化に資する事項を検討することで、病院経営の効率化を図っています。

## 【開催状況】

原則3ヶ月に1回開催しています。

2020年度は6月、10月、3月の計2回、書類審査のみで実施しました。

## 【取り組み（実績）】

令和元年度に病院規模に対して適正な品目数とされる1200品目を達成出来たため、年間使用量が少ない薬剤や複数規格が採用されている薬剤、薬効が類似している薬剤は臨時採用薬剤として必要時に購入することで常時在庫を持たない運用への変更を継続し、必要な新規新規薬剤を採用後も院内採用薬剤の品目数が増えないことを目標として、不良在庫の防止に努めました。

2020年度は18品目の採用を中止としました。

院内臨時採用薬剤から院内採用薬剤に変更となった薬剤は10品目です。

新規、採用薬剤は院内採用4品目、院外採用18品目です。

今年度は新規薬剤を採用、使用量が多い薬剤を院内採用薬剤への変更後も院内採用薬剤の品目数の増加を防止することができました。

今後は、現取り組みを継続しつつ、抗がん剤や高額薬剤のバイオシミラーへの変更を検討し、薬剤の購入金額の抑制に努めます。

# 診療材料検討委員会

## 【目的】

委員会は、各部署からの要望あるいは材料コスト等を考慮し、適正な診療材料の採用や変更をおこなうことを目的としています。

## 【開催状況】

今年度はコロナウイルス感染対策のため開催を自粛しています。

## 【取り組み】

委員会では、下記の事項についての取り組みを行っています。

- ① 医療材料等新規購入の採用に関する事項
- ② 既採用医療材料等の削除に関する事項
  - ・ 発売中止・製造中止になった品目
  - ・ 同種医療材料等の採用により不要となった材料もしくは不要となる見込みの材料
- ③ 医療材料等の適正な使用及び管理に関する事項

## 【今後の課題】

今後の課題としては、下記3点であり今後改善していく必要があります。

- ① 委員会にて議論されずに現場または他委員会で既に採用させられている材料が多く、当委員会で採用決定してから使用する等のルール化をする必要がある。
- ② 職員間においてもコスト意識の差が顕著であり、材料の過剰使用や期限切れ材料の発生などコスト意識の徹底を図る必要がある。
- ③ 同じ用途の材料を何種類も購入している材料があり、採用材料をスリム化し、採用材料のコストメリットを出しやすく工夫し、材料の標準化する必要がある。

## システム委員会

委員長 川北 ひさ

### 【目的】

委員会は、橋本市民病院における医療材料諸管理の適正化、標準化、並びに定数の適正化を目的としています。

### 【開催状況】

委員会は原則偶数月に開催しています。2020年度は6月と12月の計2回開催しました。

### 【取り組み】

委員会では、下記の事項についての取り組みを行っています。

- ①材料・物品の定数設定に関する事項
- ②長期連休前の物品・材料供給スケジュールの周知に関する事項
- ③診療材料検討委員会にて採用となった材料の取扱いに関する事項

また、都度請求している物品についてはコスト意識もあるが、定数配置されている物品についてはコスト意識が低い使用量が増える傾向があります。定数配置されている物品についてもコスト意識を高めていく必要があります。

## 救急医療対策委員会

委員長 小川 敦裕

### 【目的】

救急医療の充実を目的とし、院内及び地域の救急体制について検討を行います。メディカルコントローラー機能検討、消防との連携、受け入れの検証、外来救急体制等幅広く議論を行っています。また、症例検討会も委員会主導で開催しています。

### 【開催状況】

2020年度開催回数2回（5/26 11/17）

本委員会は、基本的には2ヶ月に1回程度開催しています。運用等即座に検討が必要な場合はその都度開催しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症対応のため、定期開催を実施していません。

### 【取り組み】

- (1) 院内救急医療体制の整備
- (2) 地域救急医療体制の確立
- (3) 救急救命士の研修
- (4) 救急に関する研修会
- (5) その他

### 【今後の課題】

救急科の専従医が配置されてからは、メディカルコントローラー会議の開催、救急ワークステーションの設置など、消防との連携について充実できております。同様に医療圏の救急受入件数も増加しております。今後は、受け入れ事例での細やかなフィードバックを行い、スムーズな救急の受け入れ体制を構築していくことを目標とします。

## 【目的】

医療の質の向上のため、院内クリニカルパスの使用推進を行い、適用率の向上を目的としています。

## 【開催状況】

原則として、毎月第4水曜日に開催しています。

## 【取り組み】

2004年に電子カルテが導入されてからは、電子パスの増加に向けて取り組んでいます。パスを使用することによって、医療の標準化、負担軽減や質の向上に寄与すると考えています。

しかしながら、未だに紙パスが存在するのも事実であり、現在、電子化を進めています。今年度も症例数の多い疾患からパス化するため医師にお願いし、システム係と協力してパスの電子化を進めてきました。

今後もさらにパス適用率の向上に取り組むと考えています。現在、パスの精査が出来ていないため、適用率を向上させることはもちろんのこと、医療の標準化と、DPC制度に沿った効率化とを目指して取り組みたいと考えています。

### パスの例（一部抜粋）

眼科	白内障	整形外科	人工骨頭挿入術
代謝内科	糖尿病教育入院	整形外科	転子部骨折
外科	単径ヘルニア	整形外科	人工膝関節置換術
外科	大腸ポリペク	乳線呼吸器外科	肺部分切除術
外科	腹腔鏡下胆嚢摘出術	乳線呼吸器外科	肺葉切除術
産婦人科	子宮全摘出術（腹式・膣式）	乳線呼吸器外科	乳癌手術
産婦人科	帝王切開術	乳線呼吸器外科	乳房再建術
泌尿器科	TUL・TURBT	乳線呼吸器外科	気管支鏡検査
泌尿器科	前立腺生検	呼吸器内科	気管支鏡検査
循環器内科	心カテ	呼吸器内科	睡眠時無呼吸検査

等

# 診療管理委員会（QC）

委員長 星屋 博信

## 【目的】

外来・病棟部門の業務及び業務連携を円滑にすること、ならびに患者に対する医療の質の向上について検討することを目的としています。

## 【開催状況】

2020年度開催回数 7回（6/26、7/31、8/28、9/25、10/23、11/27、1/25）

## 【取り組み】

毎月の委員会では、主にQC手法の知識を周知・共有するための演習や、QCサークル活動に対してのレビューやアドバイス等を行っています。

職種関係なく全職員を対象にQCサークルへの参加を促し、問題を解決に導くために必要なものの見方・考え方を身につけ、業務改善活動の一環として自己啓発と相互啓発を行い、QCサークル発表大会で全職員に報告し、今後の業務改善に生かしていけるように努めています。

## 健診センター運営委員会

委員長 瀧谷 裕緒

### 【目的】

橋本市民病院健診センターにおける方針管理、運用、各部門の調整を目的としています。健診部門においては、他部署との健診調整が重要であり、計画的な運用のためには密に連携をとっていく必要性が高く、健診センター長を中心に運用方針を決定しています。また、市役所など他機関との調整・連携も行っています。

### 【開催状況】

適時開催しています。

### 【取り組み】

健診全体の協議を行っています。

- ・ 検査部門、画像部門との調整
- ・ 多種にわたる健診種別の調整
- ・ 職員健診への取り組み
- ・ 健診啓発への取り組み
- ・ 収益性の拡大

## 中央手術室運営委員会

委員長 西浦 徳裕

### 【目的】

中央手術室運営委員会の目的は、中央手術室の適切な管理と運営に関する検討を行うことを目的としています。

### 【開催状況】

密になることを回避するため、今年度の開催は必要時にメール、文書にて回覧とし、会議開催は1回でした。

### 【取り組み】

2020年度は、COVID19の感染対策としての取り組みが主であり、以下について取り組みを行いました。

- ・ 挿管を伴う全身麻酔時の対応フローの作成
- ・ COVID19陽性者の帝王切開術の対応フローの作成
- ・ 不織布製品の不足に伴い、手術ガウン、覆布類のリユース製品の導入、ゴミの削減

今後も患者さんに安全な手術が提供できるよう、医師、手術室に関わるスタッフ全てが協力し、効率的な手術運営を図るための委員会を開催していきたいと考えています。

### 【手術件数実績】

2016年度	2,487件
2017年度	2,508件
2018年度	2,507件
2019年度	2,436件
2020年度	2,394件

## 内視鏡センター運営委員会

委員長 吉田 悟

### 【目的】

当院内視鏡室の適正な管理と運営を検討することを目的としています。

### 【開催状況】

当委員会は、委員長が必要と認めたときに招集し開催します。

### 【検討内容】

2019年4月18日

- ・内視鏡施行医の担当スケジュールについて
- ・健診 EGD 枠の増設について
- ・内視鏡スタッフの意見・要望

2020年1月28日

- ・造影 CT と CS 検査の同日施行について
- ・内視鏡検査数報告
- ・酢酸を用いた EGD 検査について
- ・内視鏡室で使用する医療材料の検討及びコストについて
- ・カプセル内視鏡検査実施について
- ・CS 前処置の在宅での下剤内服について
- ・内視鏡スタッフの時間外勤務について

2020年3月30日

- ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する当院での内視鏡診療について

今後は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する当院での内視鏡診療について、通常の内視鏡診療をどのように再開させていくかや、JED（Japan Endoscopy Database）Project 対応内視鏡所見入力システムへの移行について検討していきます。

## 病床運営管理委員会

委員長 星屋 博信

### 【目的】

当委員会は、病床の適切な管理と効率的な運営に関する検討を行い、高度急性期の HCU、急性期の一般病棟、回復期の地域包括ケア病棟を患者の病状に応じて適切な選択すること等を目的としています。

### 【取り組み】

- 地域医療構想策定ガイドラインによる最低病床数稼働の遵守
- HCU、地域包括ケア病棟の要件の遵守とチェックを行う
- 各データによる入院患者、病床状況管理
- 各診療科の割り当て病床数の決定
- 各病棟内の診療科と病床の決定
- 病床の有効利用に関する事項

今後とも適正かつ効率的な病床（300床）フル稼働を行うために「環境」や「業務」の情報収集を行い、病院事業の健全経営が図られるよう病床利用率の向上を目指します。

## 【目的】

放射線領域に於ける患者様および従事者の安全に関する検討ならびに放射線の安全取扱等に関する事項全般について審議を行います。

## 【開催】

開催なし

## 【取り組み】

患者安全を最優先とし、放射線検査の有意利用を推進しています。

- ・放射線検査の円滑な実施および検査室の有効利用を促進します。
- ・放射線の安全利用に対する取り組みを進めています。
- ・経年による劣化・老朽化の進む機器の点検強化を行います。
- ・的確なオーダーおよびそれに対する最適な検査の実施に取り組みます。
- ・検査室の状況を確認し、環境整備・感染防止を推進します。

など

## 【目的】

橋本市民病院における臨床検査の適正な管理及び合理的な運営を図ることを目的としています。

## 【開催状況】

メール回覧 1回 (3/4)

## 【取り組み】

委員会では下記のような臨床検査についての話し合いが行われています。

- ・定期的な臨床検査の精度管理に関すること
- ・臨床検査の適正化に関すること
- ・その他、必要な事項に関すること

## 【主な決定、報告事項】

1. 外部精度管理調査結果
  - ・令和2年度日臨技サーベイ：98.6点 (TGでC評価、便潜血D評価)
  - ・令和2年度日本医師会サーベイ：99.2点 (C,D評価無し)
2. 日臨技精度保証施設認証を更新し、認定証を⑥番受付に掲示しました。
3. 新規臨床検査実施要望申請：代謝内科からの要望により「25 (OH) ビタミン D」「GHRP-2 負荷試験」を電子カルテへ掲載しました。
4. COVID-19 の院内 PCR 検査を9月29日より開始しました。  
検査対象は妊娠38週目の妊婦および全身麻酔手術予定患者です。
5. ALP、LDHについてIFCC試薬を採用しました。
6. 生化学、血液検査の基準値に共用基準範囲を採用しました。
7. 院内実施項目のIRI (インスリン) を僅少項目のため2021年1月13日より外注化としました。
8. 4月より検査委託契約をLSIメディエンスとFMSおよびランチ契約5年間で更新しました。
9. 血沈測定器を更新しました。それに伴い11月30日より採取容器を変更しました。
10. 採血室システムを更新し、採血台および情報端末が一新しました。
11. スパイロ検査の感染予防対策をN-95マスク+フェイスシールドに変更しました。
12. スパイロ検査の自粛要請を行いました。  
臨床検査科のスタッフがCOVID-19濃厚接触者になったことと、呼吸器学会からのガイドラインにより不要不急のスパイロ検査を中止としました。また全身麻酔下手術予定患者についてはPCR検査実施後にスパイロ検査を行うこととしました。
13. パニック値報告対象項目としてCRP:30mg/dL以上を追加しました。(医療安全対策委員会より)

## 【設置目的】

輸血委員会は安全で適正な輸血の在り方をサーベイランスするために設置されています。輸血療法の適応、血液製剤の選択と適正使用、輸血マニュアルの整備、血液製剤の保管・管理と使用状況調査、事故・副作用・合併症の把握と対策、輸血関連情報の伝達、院内採血・自己血採血などのマニュアルの整備などを話し合い、検討しています。

## 【開催状況】

- ・年間6回(5/26・8/3・9/30・12/3・2/1・3/15)
- ・臨時議案がある場合は委員長が別途招集します。

## 【取り組み】

### 1 血液製剤使用に関する統計報告

検査科で血液製剤を一元管理し、使用状況と廃棄率、6単位以上依頼のあった事例の輸血実績などを報告します。(表1. 2020年度血液製剤の動向)

### 2 事故・副作用・合併症の把握

副作用事例があった場合、その状況や治療に関して調査します。

### 3 輸血に関する情報の伝達

血液センターや厚労省からの輸血関連情報の伝達を行います。

今後の活動としましては、過度な血液製剤依頼や発注ミスのないようにし、廃棄率を下げる重要性を検討します。また、手術時のT & Sなど、医師に適正な輸血依頼を行ってもらうように、今一度アナウンスします。

表1. 2020年度血液製剤の動向

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
赤血球製剤使用単位数	140	108	248	180	246	188	238	204	184	160	198	236	2,330
赤血球製剤入庫数	158	126	264	182	270	188	244	222	170	162	214	236	2,436
赤血球製剤廃棄数	26	18	10	8	14	10	6	4	2	4	6	4	112
赤血球製剤廃棄率	16.5%	14.3%	3.8%	4.4%	5.2%	5.3%	2.5%	1.8%	1.2%	2.5%	2.8%	1.7%	4.6%
FFP使用数	24	56	110	72	70	74	48	26	38	54	34	4	610
FFP入庫単位数	24	56	132	56	50	74	44	30	48	50	32	8	604
FFP廃棄単位数	6	4	6	0	0	2	6	2	4	10	0	4	44
FFP廃棄率	25.0%	7.1%	4.5%	0.0%	0.0%	2.7%	13.6%	6.7%	8.3%	20.0%	0.0%	50.0%	7.3%
血小板製剤使用数	70	100	250	160	40	210	80	40	20	60	90	60	1,180
血小板製剤入庫数	70	100	250	160	40	210	80	40	20	60	90	60	1,180
血小板製剤廃棄数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血小板製剤廃棄率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	単価	廃棄金額											
MAP 1単位	9,066	1,015,392											
FFP 1単位	9,161	403,084											
PC 10単位	81,744	0											
	廃棄合計	1,418,476											

## 【目的】

栄養管理委員会の目的は患者給食および栄養管理の質向上に資するため、栄養管理、栄養改善に関する事項の検討を目的としています。

## 【開催状況】

委員会は委員長が必要と認めた際に招集し開催しています。

第1回 2020年10月15日

第2回 2021年2月18日

## 【取り組み】

- \*産婦人科の術後食に関すること
- \*糖尿病嚥下食追加、稼働に向けて（コード3、コード4）
- \*個別対応食追加に向けて
- \*ヘパス（肝不全用栄養剤）取り扱いについて
- \*外来がん化学療法の質向上のための総合的な取り組みについて
- \*院内食事箋規約一部改訂
- \*嗜好調査予定・結果報告

## NST ワーキング

委員長 前田 恒宏

### 【設置目的】

患者の栄養状態や QOL 向上のため、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など他職種連携し、栄養管理・栄養改善について検討することを目的としています。

### 【開催状況】

毎週木曜日 15 時 00 分～ 回診およびカンファレンスを実施

### 【取り組み】

- \* 栄養管理の必要性の判定および栄養評価の施行
- \* 適切な栄養管理が行われているかのチェック
- \* 各症例に適した栄養管理方法の提案
- \* 栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見
- \* 栄養管理上のコンサルテーションへの対応
- \* 早期退院や社会復帰の促進と QOL の向上
- \* 栄養治療ガイドラインに則った新しい知見の修得と啓蒙

### 【2020 年度 N S T 症例件数】

- \* 新規介入患者数 66 件（前年度からの継続患者は含まず）
- \* 介入延べ件数 273 件
- \* 依頼件数 51 件（医師：34 件、看護師：8 件、コメディカル：9 件、MNA からの抽出：2 件）



## 嚥下ワーキング

委員長 大饗 義仁

### 【目的】

嚥下障害に対する共通認識を持ち、スムーズに退院できることを目指しています。

### 【開催状況】

毎週火曜日に開催しています。（17 時～）

### 【取り組み】

2015 年度から嚥下ワーキングを立ち上げて活動しています。主な構成メンバーは、大饗医師を中心に言語聴覚士・看護師・管理栄養士です。

- ・ 看護師による「改訂水飲みテスト」嚥下障害患者を抽出。
- ・ 入院中の絶食患者・経腸栄養患者を抽出し嚥下リハの早期介入。
- ・ 食事量減少患者抽出と嚥下リハの介入、NST との連携。
- ・ 嚥下食の調整・試食会。

## 【目的】

外来及び入院患者の糖尿病療養生活を多職種連携し支援します。  
院内・院外問わず、地域住民の方々に糖尿病への理解と関心を深めて頂けるように啓蒙活動を行います。  
糖尿病治療にあたり療養支援に関する知識の共有とスキルアップを図ります。

## 【開催状況】

毎月第3火曜日 17時00分～開催

## 【取り組み】

- ・糖尿病教育入院を受け入れています。糖尿病に関する知識の習得を目指し、患者や患者家族に各専門スタッフが療養指導を行います。
- ・他の診療科に入院中の糖尿病患者や高血糖患者を抽出し、チームで情報共有を図ります。必要な患者については個々に応じた療養支援を行います。

### \* 院内研修：「糖尿病治療の注射薬について」

日時：2020年7月22日 17時30分～

協力：イーライリリー社

参加者：新人8名 経験者33名

### \* FM はしもと出演

日時：2020年11月10日（火）18時30分～18時45分

場所：FM はしもと収録スタジオ

内容：糖尿病の予防の必要性、合併症について、ブルーライトアップについて

### \* ブルーライトアップ

日時：2020年11月14日（土）18時00分～22時00分

場所：橋本市民病院6階レストラン

### \* ニュースレター発行

日時：2020年11月12日～2020年12月28日

場所：外来Bブロック、採血室受付で配布

内容：コロナ時代の糖尿病患者の療養行動についての特集

糖尿病デーの周知のためブルーライトアップの写真掲載

糖尿病の病態説明、感染症対策やシックデイについて、糖尿病食、室内での運動、

社会資源の活用について紹介

### \* インスリン等注射針の廃棄方法変更

日時：2021年1月4日～

内容：使用済み注射針の捨て方変更についてのパンフレットを配布。

患者は針をペットボトルや蓋付き缶・ビンなどに入れて持参。

代謝内科外来診察室の中に針回収BOXを設置し、患者自身で破棄する。

採血室での注射針回収を中止、Bブロック以外の外来ブロックではトレイで受け取るように変更。

## 《ニュースレター表紙》

橋本市民病院  
糖尿病ワーキング  
ニュースレター2020



特集

### コロナ時代の糖尿病との付き合い方

11月14日は世界糖尿病デーです。

「世界糖尿病デー」のキャンペーンには、国連のイメージとどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインに用いたブルーサークルが用いられます。

この取り組みは2006年12月20日に国連総会において世界各地で糖尿病の予防、治療、療養について世界の人々に周知し、世界の人々に自らの体調を見直すきっかけとなるようにという思いから採択されました。

当院でも2018年より、11月14日には6階レストランをブルーライトアップし、糖尿病発症予防の啓発にとりこんでいます。

本年も2020年11月14日（土） 17時から ブルーライトアップを実施いたします。お近くに来られた際は、ご覧ください。



## 《FM はしもと 収録風景》



## 【目的】

委員会は、がん診療連携拠点病院としてその役割を果たし、機能強化にかかる事業を推進することを目的としています。

## 【開催状況】（2020年度実績）

- ・委員会は、年1回開催しています。
- ・毎年開催しておりました緩和ケア研修会、化学療法セミナー、放射線治療勉強会等は、新型コロナウイルスの感染拡大から、2020年度は開催しておりません。2021年度以降、Zoom等のICTを活用し、感染対策を実施しながら、開催していく予定です。

## 【取り組み】

地域がん診療連携拠点病院を担うため、以下の事を念頭に置き各種研修会・勉強会などを企画・開催し職員にがん拠点病院としての自覚と専門知識の向上に努めています。

- (1) 手術や放射線、化学療法などを効果的に組み合わせた専門的ながん医療を提供する
- (2) 治療の初期段階から、不安や痛みなどを和らげる緩和ケアを実施する
- (3) 診療所や一般病院に診療支援を行い、在宅医療と連携する
- (4) 『がん相談支援センター』を設置して、患者、医療関係者などからの相談を受け付ける

今後は、がん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の構築の為に、より多くの研修会・勉強会の機会を増やし、職員の育成に取り組むと考えています。

# 緩和ケアワーキング

## 【目的】

当院における緩和ケアの充実を図ることを目的としています。

## 【開催状況】

原則として、毎月第4火曜日に開催しています。

2020年度開催回数 8回（6/24、7/29、8/25、9/29、10/28、1/27、2/16、3/23）

## 【取り組み】

当ワーキングは毎月第4火曜日に開催し、医師・薬剤師・看護師・MSW・作業療法士など多職種により構成されています。当ワーキングでは、緩和ケアに関する組織や運営に必要な事項を決定することを主としています。当ワーキングの中のメンバーから構成された緩和ケアチームが、毎週カンファレンスと病棟ラウンドを行い、緩和ケア対象患者について対策・対応を検討しています。

精神科のない当院では、精神的サポートとしてなかいクリニックの中井先生に月2回来て頂き、精神的ケアの必要な患者を診療し、カンファレンスで助言を頂いています。

緩和ケアワーキング・緩和ケアチームでは、主に以下のことについて話し合っています。

- ・がん性疼痛の緩和（痛みのアセスメント・医療用麻薬の適正使用・用量調整）
- ・疼痛以外の症状の緩和（消化器症状・倦怠感・せん妄など）
- ・告知・再発・終末期の患者の精神的サポート
- ・患者家族の支援、急変時の対応、最期の療養場所の選択

入院患者に限らず、国の進めている『がんと診断されたときから緩和ケア』をスローガンに身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアを目指して取り組んでいます。

## 化学療法ワーキング

委員長 坂田 好史

### 【目的】

がん化学療法に関わる諸問題の討議や治療計画（レジメン）を科学的根拠に基づき審査し、組織学的に統括、管理し安全に化学療法を行うことを目的としています。

### 【開催状況】

原則、毎月第4木曜日に開催（今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した月もあり）  
2020年度開催回数8回（4/23、6/12、7/30、8/27、9/24、10/22、2/25、3/25）

### 【取り組み】

- ・レジメン審査および管理
- ・がん化学療法施行に伴う安全管理、副作用対策等の情報共有
- ・がん化学療法により発症するB型肝炎ガイドラインを遵守し全抗がん薬におけるスクリーニング検査の徹底
- ・外来化学療法の運営
- ・消化器外科において薬剤師外来の運用を継続しがん化学療法の質向上に努める
- ・免疫チェックポイント阻害薬使用により発症する免疫関連有害事象（irAE）に対する院内統一スクリーニング検査の統一

### 【化学療法件数】

総数：1,407件

（入院：194件 外来：1,213件）※ホルモン剤、ビスホスホネート製剤は除く

外来化学療法加算：7,318,000円

## カンサーボードワーキング

委員長 稲垣 武

### 【目的】

がん患者さんの病態に応じたより適切ながん医療の提供ができるよう、また、地域がん診療連携拠点病院として院内におけるがん治療の把握と共有を図ることを目的としています。

### 【開催状況】

月1回以上開催。臨時検討症例あれば随時開催。

### 【取り組み】

当院ではカンサーボードを毎月定期的で開催しており、問題点を多く抱えた悪性腫瘍や希少がんや多重がんに対し様々な治療法（手術、抗がん剤治療、放射線治療など）を検討するため、各科の医師や画像診断医、病理診断医、看護師、薬剤師、社会福祉士など多くの職種により、意見交換を行い患者さんにとって最良の治療を提供することを目指して行っています。

重複がんや原発不明がん、稀ながん腫など診断や治療に難渋する症例があった場合に、速やかに関係する担当者を招集しカンサーボードを開催できるように、症例が発生した際の開催依頼先（招集担当部署）を明確にするなどしています。

## 医療機器選定・購入委員会

委員長 嶋田 浩介

### 【目的】

委員会は、橋本市民病院の医療機器等の新規導入または更新に際し、業務効率及び患者サービス向上にふさわしい機器を整備することを目的としています。

### 【開催状況】

不定期開催となっている。2020年度は1月に2回開催しました。

### 【取り組み】

委員会では、医師の要望、病院としての収益、患者サービス向上等、多角的な視点から翌年度に購入する医療機器の選定を実施しています。また、限られた予算内でいかに効率よく医療機器を購入・更新出来るかを協議し、綿密な計画を策定しています。

高額医療機器の更新の平準化は引き続き行っていく必要があります。多くの少額機器が未更新状況であり新規購入機器購入の予算を圧迫しています。今後は、電子カルテの更新が控えているため、より一層適切な機器選定に努めます。

## 診療情報管理委員会

委員長 金 桂洙

### 【目的】

診療情報の適切な記録と管理及び、医療情報システムの運営、開発についての諸問題を検討し、診療情報の適切な管理と業務の効率化を図ることを目的としています。

### 【開催状況】

隔月の第3水曜日に開催しています。

2020年度開催回数 7回（4/16、6/18、8/19、10/21、12/16、1/21（臨時開催）、2/17）

### 【取り組み】

委員会では、診療記録を含むすべての診療情報の管理や保管、運用に関するさまざまなことを検討しています。また、診療情報＝個人情報であることから、院内での取り扱いについて厳重な管理にも注力しています。その一環として、診療録の閲覧履歴の監視を定期的に行い、不正閲覧防止に努めています。

その他に、退院サマリーの記載率や詳細不明傷病名の使用率などの管理や、適切なコーディングに関する症例の傷病名検討などを行っています。

電子カルテシステムを導入していることから、小委員会である電子カルテ運営委員会と連携し、診療情報管理業務の質向上と効率化を図っています。

## 【目的】

橋本市民病院での電子カルテの適切な運営・管理・改善に係わる事項を審議することを目的としています。

## 【開催状況】

毎月第一火曜日に開催しています。

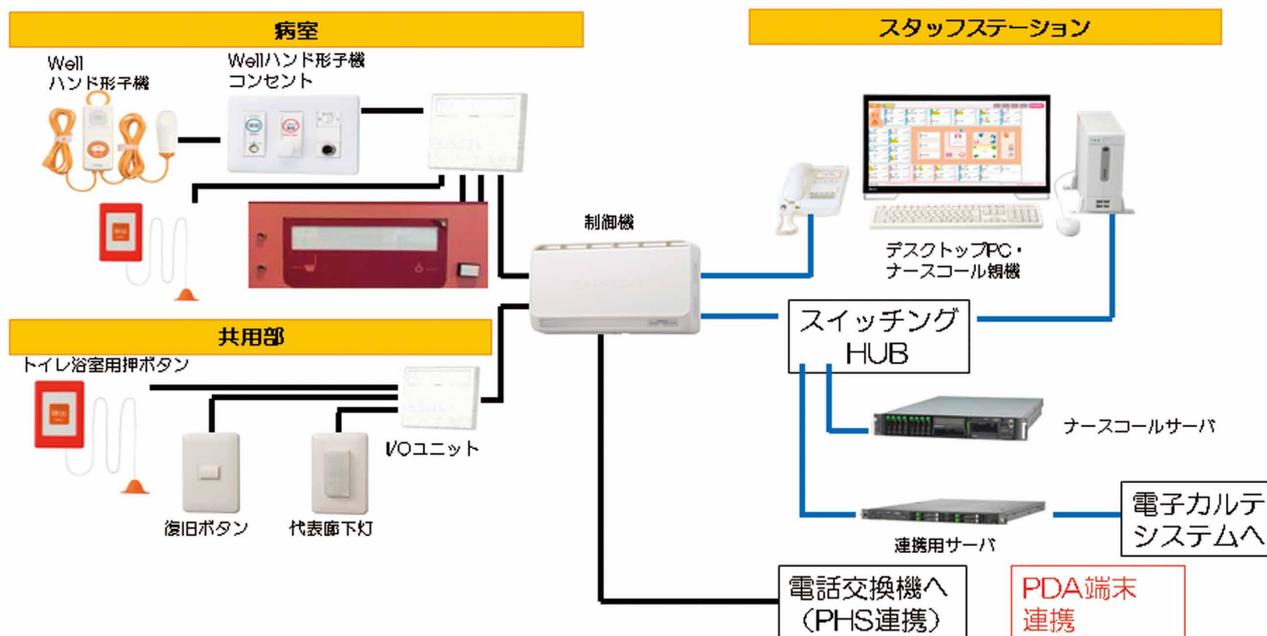
## 【取り組み】

委員会では、電子カルテシステムだけでなく院内で運用している全ての病院情報システムの安定稼働を目指して、障害対応だけでなく、業務改善になるシステム改造の要望などを検討し、より安全で効率の良いシステム運営を目指し取り組んでいます。

2021年度は電子カルテ更新の予定となっております。病院情報システムの導入を安全に行い、導入時には、不要なデータの整理や運用の見直しを行うよう取り組みます。

## 【ナースコールシステムの更新】

2020年度は、来年度に電子カルテシステムの更新を予定しているため、例年の機能強化は実施しませんでした。平成16年に導入したナースコールが老朽化し、保守ができなくなったため、付随するシステムを一式更新しました。更新後は、PHSに患者氏名まで表示されるようになっただけでなく、PDAとも連動が出来るようになり、利便性および安全性が格段に向上しました。



## 【目的】

院内感染予防と拡大防止を積極的に推進し、院内感染管理の万全を期するとともに、院内感染が発生した際にはその対策を樹立させ、ICT と連携して周知徹底することを目的としています。

## 【開催状況】

毎月第3水曜日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、資料閲覧会議へと変更、新型コロナウイルス感染症に関する決定事項は COVID-19 対策本部にて検討、決定となっています。

## 【取り組み】

- ・定期的な研修会の開催を行っています。
- ・ICT 活動を支援し、ICT からの報告（耐性菌等の監視対象菌報告、特定感染症報告、抗菌薬使用状況、その他感染対策に関する事項について院内感染対策で検討しています
- ・院内感染の発生状況について、継続したサーベイランスを実施し、院内感染の低減を図っています。
- ・感染防止対策加算、地域連携感染防止対策加算に伴う共同カンファレンス開催、相互ラウンド評価や感染症連絡協議会などの ICT 活動を支持しています。
- ・院内感染の発生状況に応じた対策を樹立し、周知徹底しています。
- ・院内アウトブレイクの、連絡体制の確立に努めています。
- ・感染管理に関する地域連携に努めています。

## 【今後の課題】

- ・AST による抗菌薬の使用適正化の支援
- ・院内感染対策マニュアルの見直し・改訂
- ・ICT と連携した院内清掃手順の見直し
- ・地域連携の強化

## 【目的】

院内感染対策委員会での決定事項に沿って、感染症患者への適時介入や診断の支援、抗菌薬適正使用を現場で支援する組織である。また抗菌薬適正使用に向けたサーベイランスや教育・啓発を行うことを目的とする。

## 【開催状況】

毎週水曜日に開催

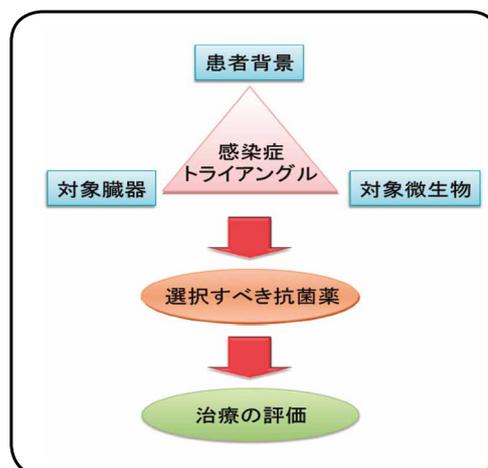
## 【取り組み】

右記感染症トライアングルを基に、患者の全体像を捉えながら、適切な抗菌薬使用について協議を行っている

- ・ 抗菌薬の使用原則
- ・ 抗菌薬の適正使用を推進
- ・ 抗菌薬適正使用支援
- ・ 感染症治療コンサルテーション
- ・ 研修会開催(年2回)
- ・ 血液培養フォロー

## 【今後の課題】

- ・ AST 介入後の評価
- ・ 根拠に基づいた抗菌薬使用支援の啓発活動
- ・ 抗菌薬適正使用の充実
- ・ 分かりやすい情報発信
- ・ マニュアル作り



**【目的】**

院内感染対策委員会の下部組織であり、感染対策を現場で推進する実働組織であり、院内感染状況を把握・介入・評価を行い、感染対策の改善と感染率の低減に努めることを目的とする。

**【開催状況】**

毎週火曜日に開催

**【取り組み】**

- ・サーベイランスの実施・感染管理ベストプラクティス導入
- ・有効な感染対策の推進
- ・感染管理教育の実施
- ・コンサルテーション
- ・抗菌薬の適正使用を推進
- ・アウトブレイク時の対応を実施
- ・職業感染対策の実施
- ・他医療機関との地域連携  
(感染防止対策加算、地域連携感染防止対策加算に伴う共同カンファレンス開催、相互ラウンド評価や感染症連絡協議会などの ICT 活動、地域での感染対策研修会開催)
- ・地域貢献（地域周辺施設、地域住民への情報提供）

**【今後の課題】**

- ・院内感染対策実施の推進
- ・感染管理における地域連携の拡大
- ・職業感染対策の充実
- ・現場における感染管理能力の向上

## 【目的】

ICTW は、院内感染対策委員会での決定事項に沿って、ICT の指示により、感染対策を実践現場で実施・指導する実働組織である。

また、ICT と共にサーベイランスを実施し、感染対策改善と感染率の低減に努めることを目的とする。

## 【開催状況】

毎月第1木曜日に開催

\*年1回 ICT と合同会議開催

## 【取り組み】

- ・サーベイランス・感染管理ベストプラクティスの実施
- ・有効な感染対策の推進
- ・感染管理教育の実施

月	内 容
4 月	・2020 年度 ICTW 年間計画の調整
5 月	・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い休止
6 月	・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い休止
7 月	・新型コロナウイルス感染症の状況について共有
8 月	・手指衛生サーベイランスについて
9 月	・手指衛生実施状況の直接観察ラウンド
10 月	・病棟ラウンド実施
11 月	・所属における問題点・課題の共有
12 月	・手洗いキャンペーン振り返り ・各所属における手指衛生実施回数決定 ・手指衛生ラウンド
1 月	・手指衛生実施回数目標達成に向けた取り組み報告
2 月	・新型コロナウイルス感染症について情報共有 ・環境 / 手指衛生ラウンド
3 月	・令和元年度各部署での活動の評価 ・次年度の ICTW 活動計画案立案 ・病棟ラウンド

## 【今後の課題】

- ・ICT と共に院内感染対策を推進する。  
手指衛生遵守の向上  
防護具適正使用の推進  
各部署の感染対策に関する課題の明確化  
自らが中心となり活動できる組織作り

## 【目的】

入院患者の褥瘡予防と改善を図り、安心・安全な医療を提供するため改善・対策を検討する。

## 【開催状況】

2ヶ月～3ヶ月に1回 第一水曜日 17時～（定例～）

## 【取り組み】

- 皮膚科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、感染管理認定看護師、管理栄養士、褥瘡対策委員、病棟看護師等で毎週1回（水曜日）に褥瘡回診を実施し現場指導を行う。
- 看護部の褥瘡委員会の開催
- 毎月院内の褥瘡保有率ならびに褥瘡推定発生率を確認し、所属長に報告する。
- 褥瘡への知識向上のため、勉強会の開催

昨年度はラダーⅠ（新人研修）部署毎に褥瘡の基本について勉強会を開催した

褥瘡発生は増加傾向のため、褥瘡予防対策を現場のスタッフ1人1人が実施できるようにしていくことが今後の課題です

## 2020年度 院内褥瘡、スキンテア件数

令和2年度	院内件数	発生	持込	平均年齢
褥瘡	208件	144件	64件	77歳
スキンテア	53件	45件	8件	20歳

## 褥瘡推定発生率、有病率（H27年～30年）

H30年度	推定発生率	0.8%	有病率	3.0%
R1年度	推定発生率	1.5%	有病率	3.4%
R2年度	推定発生率	1.6%	有病率	3.2%

## 医療安全管理対策委員会

委員長 金 桂洸

### 【目的】

医療安全管理対策委員会の目的は、病院における医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立することを目的としています。

### 【開催状況】

委員会は月1回定期的に開催しています。(第4月曜日 16:30～)  
また必要に応じて臨時にも開催しています。

### 【取り組み】

委員会では、医療安全管理対策に関するさまざまな事項についての話し合いを行っています。

- ・医療安全管理対策の検討及び研究に関する事項
- ・医療事故の分析及び再発防止の検討に関する事項
- ・医療安全管理対策のための職員に対する指示に関する事項
- ・医療事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関する事項
- ・医療紛争の処理に関する事項
- ・その他医療安全管理対策に関する事項

### 【今後の課題】

セーフティマネジメント部会と連携をとり問題点改善のため5グループ(薬剤、ライン管理、転倒転落、書類、食事)に分かれ取り組みを行い、転倒転落のチェックシートテスト運用や、ライン管理では硬膜外麻酔チューブの運用方法の見直し、食事ではFAX運用の見直しや対応方法の周知をおこない改善活動につなげた。本年も引き続き問題点の抽出や改善に取り組んでいく。

医療安全ラウンドを定期開催し、現場の問題点の抽出し改善対策の検討を行う。

2020年度の医療安全研修会はコロナ禍の中ウェブを活用して動画研修を行うことにより100%の参加率が達成された。来年度も同様に様々な取り組みを行い参加率100%を目指してきます。

## 医療ガス安全管理委員会

委員長 西浦 徳裕

### 【目的】

委員会は、橋本市民病院における医療ガス(診療の要に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素等をいう)設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的としています。

### 【開催状況】

年2回

### 【取り組み】

委員会では、監督責任者、実施責任者の選定を行うとともに、医療ガス点検等の報告を受け、それについて検討しています。

### 【今後の課題】

委員会では、監督責任者、実施責任者の選定を行うとともに、医療ガス点検等の報告を受け、それについて検討しています。

また、使用済みアウトレットの装着数が減少していますが、未だに装着しているのが確認されています。使用済みアウトレットの取り外しを院内に再度周知し、使用済みアウトレットの装着数ゼロを目指します。

今後とも医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保に努めていきます。

## 【目的】

災害医療対策委員会の下部に位置し、院内 DMAT の情報共有及び技能維持が目的です。平時において、DMAT メンバーは病院の組織上横断的に配置されているため、院内においてはこの部会が唯一の正式な病院組織となっております。

## 【開催状況】

2020 年度開催状況（7/16 8/13 10/15 11/12 1/14 12/17 2/4 3/11）  
毎月開催を予定しております。

## 【取り組み】

- (1) 研修・訓練情報の共有
- (2) 最新知見の共有
- (3) 物品の管理
- (4) 研修の実施
- (5) その他

新型コロナウイルス感染症の流行により、災害対応も刻々変化しており、最新の情報を共有することが求められております。DMAT の考え方も、厚生労働省から新型コロナウイルス対応への出動要請など、災害に限らず有事の医療資源としての役割も出てきております。どのような場合にでも対応できるよう、平時での準備を怠らないよう努めております。

## 【目的】

日常の防火対策及び訓練について検討することを目的としています。

## 【開催状況】

委員会は年 2 回 各防火訓練前に開催しています。  
本年度の訓練は以下の通り行いました。

日 程	開催場所	参加人数	備 考
2020 年 11 月 25 日	地下 1 階厨房	15 人	
2021 年 3 月 12 日	地下 1 階バスロータリー付近	15 人	

## 【取り組み】

- 防火訓練実施の事前準備として
- ① 訓練シナリオの作成
  - ② 関係者との協議、調整

2020 年度の訓練は部署を限定し、訓練の動きについて事前に説明したため、スムーズに進行しました。

## 教育・研修・年報作成委員会

委員長 林 未統

### 【目的】

医療安全管理体制の確立及び、職員の技術・知識等の向上のため、研修会等の開催を企画・管理し、職員の資質向上を図るとともに、病院年報の作成を目的としています。

### 【開催状況】

2020年度開催回数 2回（7/22、9/25）

### 【取り組み】

委員会では、橋本市民病院の医療安全管理の為、各委員会主催の研修会・勉強会の把握し、必要に応じて研修会の企画なども行い、職員の資質向上に取り組んでいます。

今年度の実施状況として、新型コロナウイルス感染症の影響により集団研修が実施できなかったため、医療安全研修のみ、Web研修にて実施いたしました。医療安全研修では、当院医療安全管理部金桂洙部長による「確認行動について」と信州大学清水郁夫教授による「医療教育と医療安全について」を視聴し、医療従事者として必要な知識の習得や資質向上を図りました。

年報については、橋本市民病院の紹介や取り組みなどを掲載し、地域の医療機関関係者の方に橋本市民病院を知って頂くことを念頭におき作成しています。

2021年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により集団研修が開催できないと考えられます。医療従事者として技術・知識等の資質向上のためには、研修会の充実化を図ることが重要ですが、集団研修に拘らず、Web研修を活用し、研修内容をクイズ方式にして回答させることにより、習熟度を図るなど、多様化させていくことも必要であると考えています。

年報については、中身を充実させるとともに、レイアウトの見直しや電子化での発行等、市民病院の取り組みをよりわかりやすくより多くの方に知っていただく事が今後の課題であると考えています。

## まごころ委員会

委員長 木岡 雅彦

### 【目的】

まごころ委員会の目的は、橋本市民病院におけるコミュニケーションの強化をはかり、患者サービスの向上を目指すことを目的としています。

### 【開催状況】

今年度は、新型コロナウイルス感染対策のため自粛しています。

### 【取り組み】

委員会では、院内接遇及び、患者サービスに関するさまざまな事項について話し合いを行っています。

- ・ 職員の接遇に対する意識の強化に関する事項
- ・ 患者サービスの向上に関する事項
- ・ 職員間の円滑な関係の保持に関する事項

定期的に院内ラウンドを行い、職員の接遇の問題点の見直しも行っていきます。定期的に行うことで、職員に『常に見られている』という意識が生まれ、出来ているつもりでも出来ていないところがないか、再確認をする良い機会となっています。

現状では院内ラウンドの結果などの周知が十分にできていません。今まで以上にわかりやすく職員に発信することで、よかった点を伸ばすとともに、問題点を早急に改善できるよう、活用していきたいと考えています。

## 【目的】

橋本市民病院の事業活動を正確かつ迅速に職員に周知させるとともに、市民に対する広報・広聴活動を行うことを目的としている。

## 【開催状況】

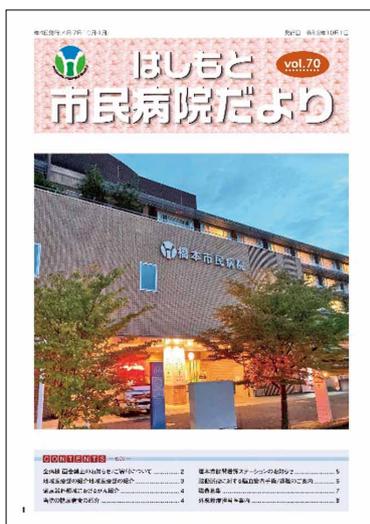
年4回開催（病院だより発行毎 4月、7月、10月、1月末開催）

## 【取り組み】

- ・年4回（4月、7月、10月、1月）病院だよりを発行し、市民に対し病院の事業活動や情報発信を行っている
- ・病院ホームページの在り方について、ホームページのアクセス数等を調査、協議し、魅力あるホームページを構築している

今後とも、限られたページの中で必要な情報を発信するとともに、市民に興味を持ってもらえる情報を掲載することを継続的に行う必要がある。また、病院ホームページにおいては、最新の動向・情報、市民が関心のあることを常に掲示出来るよう関係部署との連携を密に行う必要がある

2020年度はしもと市民病院だより掲載内容





## 【設置目的】

労働安全衛生法第18条の規定により次の事項を調査審議し、職員の意見を収集することを目的としています。

- (1) 労働者の健康障害を防止するための基本となるべき対策にすること
- (2) 労働者の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策に関すること
- (3) 労働災害の原因及び再発防止対策で、衛生に係るものに関すること
- (4) 前3号に掲げるもののほか、労働者の健康障害の防止及び健康の保持増進に関する重要事項

## 【開催状況】

2020年度開催回数 11回

(4/22、5/27、7/22、8/26、9/23、10/28、11/25、12/23、1/27、2/24、3/24)

## 【取り組み】

- ・ 定定期健康診断について（和歌山県民総合医療健診センターに健診業務を依頼）  
子宮がん健診は希望者に対して院内で実施  
2次検診受診対象者への産業医による面談の実施
- ・ 職員への麻疹・風疹・水痘・ムンプス、HBs抗原・抗体検査の実施  
（院内感染対策委員会との連携）
- ・ 結核感染予防対策の実施  
（院内感染対策委員会との連携）
- ・ 針刺し事故予防対策の実施  
（院内感染対策委員会、医療安全管理対策委員会との連携）
- ・ 年次有給休暇の取得促進について
- ・ ストレスチェック制度実施に伴う協議について
- ・ 時間外勤務時間数の削減について
- ・ 「働き方改革」における院内実施に向けての協議について
- ・ 院内ご意見箱の設置について
- ・ ハラスメント及びメンタルヘルス対策について

## 福利厚生委員会

委員長 大饗 義仁

### 【目的】

福利厚生委員会の目的は、院内職員相互の親睦と福利厚生を増進を図ります。

### 【開催状況】

委員会は、委員長が必要と認めた時に招集し開催します。

### 【取り組み】

- ・院内における職員間の親睦を図る活動を行います。
- ・院内職員の福利厚生を増進を図る活動を行います。

例年は、職員運動会・レクリエーション（日帰り旅行等）・送別会を開催するが、2020年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為すべて中止となり、職員にとっては我慢の年となりました。

今後は、感染症の状況を見ながらではありますが、たくさんの職員が参加できる企画に取り組んでいきたいと考えています。

## 働き方改革推進委員会

委員長 古川 健一

### 【目的】

2019年6月に働き方改革関連法が成立し、2024年4月から勤務医の時間外労働時間の上限が制限されます。当院においても医師を中心とした働き方改革を進めていくにあたり、「医師の働き方改革ワーキングチーム」と「多職種による働き方改革ワーキングチーム」の2チームを立ち上げ、それぞれのワーキングチームの視点から働き方改革に取り組んでいくことを目的としています。

### 【開催状況】

2020年度開催回数

委員会 2回（4/23、6/18）

医師の働き方ワーキングチーム 4回（6/30、7/21、2/18、3/18）

多職種による働き方改革ワーキングチーム 0回

### 【取り組み】

- ・主に下記項目について協議
  - 1 勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施
  - 2 前日の就業時間と翌日の始業開始の一定時間の休息時間の確保（勤務間インターバル）
  - 3 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮
  - 4 宿直翌日の業務内容に対する配慮
  - 5 交代勤務制・複数主治医制の実施
  - 6 短時間正規雇用医師の活用
- ・年次有給休暇取得の促進について
- ・医師労働時間短縮計画（案）の策定について

## 【目的】

病病・病診連携推進、保健・介護・福祉機関との連携協力体制の強化、これらに対する院内・院外への啓蒙活動を図ることを目的としています。

## 【開催状況】

医師会との病診連携委員会に合わせ、隔月に開催しています。  
2020年度は3回開催しました。

## 【取り組み】

### ・医師会との連携

病診連携委員会で取り上げられた当院に関する課題について、改善策を検討しました。紹介・逆紹介がスムーズに行えなかった例、救急対応についての要望など、提供いただいた問題事例について、病院としての対応を協議しました。また、当院各診療科の概要や、病院としての新たな取り組みについて情報提供し、紹介してもらいやすい関係作りに努めました。

### ・前方連携について

開業医への渉外活動を強化し、個々のニーズ把握に努め、改善点を抽出して対応を検討しました。診療科ごとの勉強会や懇親会を開催し、顔の見える連携の強化に取り組みました。

### ・連携登録医制度について

地域の医療機関との連携強化のため、93件（伊都医師会70件、五條市医師会22件、その他地域1件）の医療機関及び新たに伊都歯科医師会（40件）に参加していただきました。

### ・後方支援について

入退院支援加算等の算定について協議しました。介護支援連携等指導料、退院時共同指導料の算定について協議しました。算定件数を適正に維持するための方法を検討し、算定件数の確保に努めました。

今後の課題としては、医師会や個々の医療機関との連携を密にとり、患者紹介がよりスムーズに運ぶように努め、渉外活動で医療機関のニーズ把握に努め、きめ細やかな対応を目指します。

他、ネットワーク会議をより有意義なものにするための協議を行います。

## 【目的】

倫理・治験審査委員会は下記の目的を以って組織しています。

- ・倫理・治験審査委員会の目的は、臨床倫理的課題（医療行為の妥当性、終末期医療、脳死判定、宗教に関する問題など）に対する病院の方針を審議し明確にする。定期的な臨床検査の精度管理に関すること
- ・臨床倫理的課題に対する病院の方針を職員に周知する
- ・病院長が治療及び研究について実施の可否を決定するための諮問機関として審議するため
- ・橋本市民病院治験取扱規程（平成18年橋本市病管規程10号）第2条第1項の規定により、橋本市民病院において治験を行うことの適否、その他の治験に関する調査審議を行うため

## 【開催状況】

2020年度開催回数 6回（4/15、6/9、7/15、9/18、10/21、1/20）

## 【取り組み】

臨床倫理的課題や治療及び研究の実施可否についての審議

2020年度の実施内容としては、

1. 地域市民病院における心臓リハビリテーション開設後、3年間の取り組み
  2. 当院における地域包括ケア病棟の実態調査
  3. 当院における地域包括ケア病棟の実態調査  
—運動器リハビリテーション算定患者の内訳より検討—
  4. 当院における地域包括ケア病棟の多職種カンファレンスの取り組み  
～アンケートを用いた現状と今後の課題～
  5. 成人片麻痺者における肩甲骨の可動性がリーチングの姿勢制御に与える影響
  6. 動画における風疹ワクチン受診推奨の効果についての研究
  7. ファビピラビル等の抗ウイルス薬が投与された COVID-19 患者の背景因子と治療効果の検討
  8. COVID-19 に関するレジストリ研究
  9. 適応外の医薬品・医療機器の使用（ファビピラビル（アビガン錠®200mg））
  10. 適応外の医薬品・医療機器の使用（オルベスコ®50/100/200 $\mu$ gインヘラー 56/112吸入用）
  11. 去勢抵抗性前立腺癌に対する Abiraterone と Enzalutamide に関する無作為割り付け試験
  12. 新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいた COVID19 ワクチンの開発と評価系の構築
  13. ファビピラビル等の抗ウイルス薬が投与された COVID-19 患者の背景因子と治療効果の検討
  14. 心筋血流予備量比（FFR）で虚血境界領域を示す病変に対する経皮的冠動脈インターベンション（PCI）と至適薬物治療の無作為比較介入研究
  15. 日本での遷延性および慢性咳嗽患者における診療実態に関する多施設共同前向き観察研究
  16. 胆嚢摘出術後に診断された偶発胆嚢癌症例の検討
  17. 新型コロナウイルス感染症への対応経験を持つ看護師の精神的負荷に関する縦断的質問紙調査
  18. 小児頻回再発型ネフローゼ症候群患者を対象とした、2年間のシクロスポリン内服後にミゾリピン内服開始による頻回再発予防効果を検討する試験（多施設共同試験）
  19. 和歌山県下における SARS-CoV-2 感染実態調査を目的とした抗 SARS-CoV-2 抗体保有率調査
  20. 紹介患者増加に向けた地域連携戦略とその成果
  21. 誤嚥性肺炎に対する多職種チームによる学習効果に関する研究
  22. 救急医療機関におけるアナフィラキシー患者の実態調査
  23. 本邦における月経異常診断の実態調査
- の計 23 件が審議されました。



## 【目的】

委員会は、橋本市民病院とその協力病院における初期臨床研修に係わるすべての事項について審議します。

## 【開催状況】

委員長が必要と認めたときに招集し開催します。

2020年度開催状況 第1回臨床研修管理委員会（2020年10月28日）

第2回臨床研修管理委員会（2021年3月17日）

## 【取り組み】

臨床研修プログラムの検討、確認等、医師卒後研修に関するすべての事項を検討しています。

2012年度より再度基幹型臨床研修病院の指定となり、2012年度1名、平成25年度2名、2014年度2名、2015年度1名、2016年度4名、2017年度6名、2018年度は7名、2019年度8名・2020年度8名の臨床研修医が研修を実施しました。

2014年度から和歌山研修ネットワークがスタートし、和歌山県下9箇所の基幹型臨床研修病院が互いに協力型病院として臨床研修医の受け入れを行っています。2020年度については、3病院24名の研修医を受け入れました。また当院からは8名の研修医全員が6病院で研修を行いました。

2015年度には臨床研修医及び医学生のための臨床研修医室が設置、2016年度からは研修医枠が4枠に増枠され、卒後臨床研修センターが設置されました。卒後臨床研修センターでは研修内容の管理及び充実のため毎月第1水曜日に研修センター会議を実施しています。

今後とも基幹型臨床研修病院として、魅力ある研修プログラム、研修内容の充実を図り、臨床研修医の確保に努めます。研修スケジュールや研修内容の充実をより一層図るとともに、後期研修に繋げていく為にも和歌山県立医科大学附属病院等の和歌山研修ネットワークの臨床研修医の積極的に受け入れ、充実した研修体制を目指します。

研修医募集に関しては、新型コロナウイルスの影響で説明会が中止、感染症の状況をみながらの見学会を開催、自粛も踏まえ、研修医募集が危惧される状況ではありますが、病院独自でWEB説明会を開催するなど、医学生から選ばれる病院を目指して活動を行っていきたいと思います。

## 【研修医の修了認定について】

2020年度研修修了予定の4名については、研修についての問題点等がなく、当委員会において2年間での研修修了が認定されました。

## 【研修医の募集活動】

・病院説明会

① 2020年6月6日（土）病院独自オンライン説明会

② 2020年12月10日（木）レジナビ合同Web説明会

## 【見学・実習受け入れ実績】

・2018年度実績・・・19名（平成30年度卒9名、令和元年度卒9名、令和2年度卒1名）

・2019年度実績・・・18名（令和元年度卒5名、令和2年度卒10名、令和3年度卒2名）

・2020年度実績・・・12名（令和2年度卒1名、令和3年度卒10名、令和3年度卒1名）

## 【初期臨床研修医採用実績】

年度	当院枠	マッチング登録		2次募集登録		採用数
2016年度	4名	4名	2名	2名	2名	4名
2017年度	4名	6名	3名	2名	1名	4名
2018年度	4名	8名	4名	-	-	4名
2019年度	4名	5名	4名	1名	1名	4名
2020年度	4名	10名	4名	-	-	4名

### 【今後の課題】

基幹型臨床研修病院として、魅力ある研修プログラム、研修内容の充実を図り、臨床研修医の確保に努めます。研修スケジュールや研修内容の充実をより一層図るとともに、後期研修に繋げていく為にも和歌山県立医科大学附属病院等の和歌山研修ネットワークの臨床研修医の積極的に受け入れ、充実した研修体制を目指します。

しかし、新型コロナウイルスの影響で説明会が中止、病院見学会も自粛となり、研修医募集が危惧される状況となっています。病院独自でWEB説明会の開催等で研修医募集の対応が必要とされています。



(臨床研修医宣誓式)



(臨床研修修了式)



(令和2年度研修医)

## 【目的】

当委員会は、橋本市民病院における新専門医制度に係わるすべての事項について審議を目的としています。

## 【開催状況】

委員長が必要と認めたときに招集し開催します。

2020年度は10月28日に開催し、3年目から5年目の医師9名の研修状況を確認しました。

## 【取り組み】

専門研修連携施設として、専門研修基幹施設が定めた専門研修プログラムに基づいて専攻医に専門研修を提供するための体制づくりを検討していきます。

また、当院では専門研修連携施設として指定を受けています。2018年度より開始された制度の運用等の状況を見ながら、適切な研修体制が整えられるよう検討していきます。

# Ⅸ 連携登録医名簿



# 橋本市民病院連携登録医療機関リスト (133医療機関)

## 橋本市民病院連携登録医(医科 93医療機関)

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
橋本北部	1	おおはぎ眼科	大萩 康子		眼科
	2	おおはぎ内科	大萩 晋也	○	内科 胃腸科 呼吸器科 リハビリテーション科 小児科
	3	医療法人 橋本孝佑会 奥野クリニック	奥野 孝	○	脳神経外科 外科 内科 神経内科 放射線科 整形外科 リハビリテーション科
	4	きみが丘クリニック	康 龍男	○	内科 アレルギー科 血液内科 小児科 皮膚科
	5	しらすぎ台クリニック 山内耳鼻咽喉科	山内 一真		耳鼻咽喉科 アレルギー科
	6	医療法人 曾和医院	曾和 正	○	内科 小児科 消化器科 循環器科 アレルギー科
	7	田倉皮膚科クリニック	田倉 学		皮膚科 内科
	8	藤堂診療所	藤堂 泰三		内科 皮膚科 外科 理学療法
	9	ナサコ内科	名迫 由美子		内科 漢方治療
	10	ひぶせ耳鼻咽喉科	火伏 宏美		耳鼻咽喉科
	11	みなみ胃腸肛門科・外科	南 浩二	○	胃腸科 肛門科 外科 内科 皮膚科 放射線科
	12	めがね先生の上田こどもクリニック	上田 悟史		小児科
	13	医療法人 緑横会 横田整形外科	横田 英史	○	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科 放射線科
	14	吉川こどもクリニック	吉川 明男		小児科
70	いわくらクリニック	岩倉 伸次	○	内科 消化器内科 肛門外科	
橋本東部	15	いこまレディースクリニック	生駒 久男		産婦人科 心療内科 内科
	16	稲垣医院	稲垣 侑		皮膚科 泌尿器科 外科
	17	医療法人 博周会 梅本診療所	梅本 博昭	○	内科 消化器内科 外科 整形外科
	18	医療法人 岡田整形外科	岡田 正道		整形外科 リハビリテーション科 放射線科
	19	医療法人 仁清会 岡本クリニック	岡本 一仁	○	麻酔科(ペインクリニック) 内科
	20	医療法人 久和会 奥村マタニティクリニック	奥村 嘉英		産婦人科 内科 小児科
	21	医療法人 久和会 奥村レディースクリニック	向林 学		婦人科
	22	くらぶち眼科	倉淵 信哉		眼科
	23	小西内科医院	小西 紀彦	○	内科
	24	小林医院	小林 克祐		内科 循環器 東洋医学
	25	医療法人 わかば会 田中診療所	田中 耕治	○	内科 糖尿病 漢方
	26	医療法人 谷内クリニック	谷内 まゆみ / 谷内 俊文		内科(総合・消化器・循環器・呼吸器) アレルギー科 小児科 リハビリテーション科
	27	医療法人 涼悠会 トメモリ眼科・形成外科	留守 良太 / 留守 祥子		眼科 形成外科 美容整形
	28	豊澤医院	豊澤 浩	○	内科 小児科
	29	医療法人 佑々会 林耳鼻咽喉科	林 泰弘 / 林 佳世		耳鼻咽喉科 アレルギー科
	30	火伏医院	火伏 總子	○	内科
	31	平林醫院	平林 國男		泌尿器 外科 内科
	32	松園胃腸科・内科	松園 泰彦		消化器内科 内科 胃腸科 放射線科
	33	医療法人 南クリニック胃腸肛門科	南 光昭	○	内科 外科 肛門外科 皮膚科 消化器内科
	34	森本胃腸肛門科	森本 悟一	○	胃腸科 肛門科 外科 内科

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
橋本西部	35	伊藤クリニック	伊藤 洋	○	外科 内科 消化器内科 / 外科 呼吸器内科 整形外科 脳神経外科 泌尿器 循環器内科
	36	植阪クリニック	植阪 和修	○	胃腸内科 外科 内科 肛門外科
	37	医療法人 狩谷産婦人科	狩谷 功		婦人科 内科
	38	医療法人 河原整形外科	河原 史郎		整形外科
	39	栗山クリニック	栗山 司	○	外科 内科 胃腸科 整形外科 脳神経外科 リハビリテーション科
	40	医療法人 青藍会 小林医院	小林 豊和	○	内科 小児科 循環器 放射線科
	41	医療法人 セセラギ会 小林診療所	田中 英治	○	内科 循環器内科
	42	阪上医院	阪上 良行		内科
	43	たきわき皮膚科クリニック	瀧脇 弘嗣		皮膚科
	44	医療法人 辻本クリニック	辻本 俊和	○	循環器内科 消化器内科 内科 小児科 脳神経外科 整形外科 禁煙外来
	45	虎谷内科小児科医院	虎谷 彰久	○	内科 小児科 消化器科 循環器
	46	医療法人 康紀会 なかいクリニック	中井 康人	○	心療内科 精神科 内科 神経科
	47	ハギノ眼科クリニック	萩野 雅洋		眼科
	48	前田内科	前田 泰生	○	内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 小児科 アレルギー科 神経内科
	49	松岡医院	松浦 良光	○	整形外科 外科 内科
50	医療法人 森下会 森下クリニック	森下 昌亮	○	内科 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 リハビリテーション科 放射線科	
かつらぎ町	51	上田内科	上田 和夫		内科
	52	上田消化器・内科クリニック	上田 和樹	○	内科 消化器内科
	53	上田神経科クリニック	上田 英樹		老年精神科
	54	木秀クリニック	横手 秀行		内科 整形外科 脳神経外科 神経内科
	55	医療法人 仁人会 北林医院	北林 佳憲		整形外科 外科
	56	黒岩クリニック	黒岩 丈清	○	内科 胃腸科 循環器科 呼吸器科 放射線科 理学療法科 内視鏡科
	57	阪中外科	阪中 孝三	○	内科 外科 整形外科
	58	たかの耳鼻咽喉科	高野 郁晴	○	耳鼻咽喉科
	59	医療法人 永野医院	永野 公一	○	内科 消化器 循環器 呼吸器
	60	馬場眼科	馬場 幸男	○	眼科
	61	医療法人 九曜會 前田医院	前田 至規	○	内科 小児科
	62	医療法人 恒裕会 吉田クリニック	吉田 裕	○	内科 産婦人科
	63	医療法人 幸生会 米田小児科医院	米田 勝紀		小児科 アレルギー科
九度山町	64	医療法人 萩会 萩原内科・小児科	萩原 正史	○	内科 小児科
	65	医療法人 淳雄会 保脇整形外科医院	保脇 淳之	○	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
	66	医療法人 英裕会 横手クリニック	横手 英義 / 横手 裕子	○	脳神経外科 整形外科 外科 リハビリテーション科 循環器内科 胃腸内科 呼吸内科
高野町	67	花谷医院	花谷 誠也	○	内科
	68	富貴診療所	田中 利平	○	内科
	69	高野町立高野山総合診療所	廣内 幸雄		総合診療
岩出市	133	レディースクリニック和	帽子 英二		婦人科 産婦人科

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
五條市	71	足立医院	足立 聡	○	内科 小児科 婦人科
	72	医療法人 岩井内科・皮膚科	岩井 務 / 岩井 佐代子	○	内科 循環器科 リハビリテーション科 皮膚科
	73	右馬医院	右馬 文彦		内科
	74	医療法人 南和会 大川橋診療所	小延 知暉	○	内科 外科 小児科 放射線科 整形外科 消化器内科 肛門科 リハビリテーション科
	75	鎌田医院	鎌田 修		内科
	76	医療法人 鎌田医院 賀名生診療所	鎌田 勝三郎	○	内科 放射線科
	77	医療法人 鎌田医院 田園診療所	鎌田 勝三郎	○	内科 婦人科
	78	医療法人 社団厚生会 後藤医院	後藤 寛	○	内科 小児科 放射線科 産婦人科
	79	医療法人 阪口眼科	阪口 昌子	○	眼科
	80	寒川医院	寒川 英明	○	内科 外科
	81	医療法人 素心会 杉崎医院	杉崎 俊照	○	内科 外科 消化器科 乳腺科 肛門科 リハビリテーション科
	82	竹本医院	竹本 成一	○	内科
	83	医療法人 桜翔会 田畑医院	田畑 尚一	○	泌尿器科 内科 人工透析科
	84	辻田クリニック	辻田 重信		内科 消化器科 放射線科
	85	医療法人 中垣整形外科	中垣 公男		整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
	86	中谷内科医院	中谷 吉宏	○	内科
	87	中西クリニック	中西 淳	○	泌尿器科 皮膚科 内科 リハビリテーション科
	88	ひらい内科クリニック	平井 妙代子		内科 呼吸器科 アレルギー科
	89	前防医院	前防 則彦	○	内科
	90	横野医院	横野 久春 / 横野 加代子	○	内科 消化器科 眼科
	91	医療法人 水本整形外科	水本 茂		整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
	92	医療法人 山田医院	山田 宏治	○	内科

橋本市民病院連携登録医(歯科 40医療機関)

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	標榜
橋本北部	93	岩上歯科	岩上 正嗣	歯科
	94	おかもと歯科クリニック	岡本 光裕	歯科
	95	加藤歯科医院	加藤 大太郎	歯科
	96	ひまわり歯科医院	花岡 政文	歯科
	97	ひろせ歯科クリニック	広瀬 俊也	歯科
	98	堀切歯科診療所	堀切 卓	歯科
	99	森歯科医院	森 公伸	歯科
	100	森田歯科医院	森田 滋子	歯科
	101	いわかみ歯科医院	岩上 訓男	歯科
	102	おかだ歯科クリニック	岡田 隆秀	歯科
	103	落合デンタルオフィス	落合 茂弘	歯科
	104	海堀歯科医院 (古佐田)	海堀 昭彦	歯科
	105	こじま歯科医院	小嶋 一史	歯科
	106	後藤歯科	後藤 彰基	歯科
	107	隅田歯科医院	隅田 素能子	歯科
高野口町	108	つちだ歯科医院	土田 雅久	歯科
	109	とよざわ歯科クリニック	豊澤 悟	歯科
	110	ほりはた歯科医院	堀畑 幸則	歯科
	111	三木歯科医院	三木 修三	歯科
	112	村上歯科医院	村上 浩孝	歯科
	113	海堀歯科医院 (学文路)	海堀 昭登志	歯科
かつらぎ町	114	下田歯科クリニック	下田 隆志	歯科
	115	はたの歯科クリニック	畑野 修一	歯科
	116	石川歯科医院	石川 哲也	歯科
	117	喜多歯科医院	喜多 義郎	歯科
	118	辻歯科医院	辻 正信	歯科
	119	辻本歯科クリニック	辻本 和弥	歯科
	120	守内歯科医院	守内 一誠	歯科
	121	吉川歯科医院	吉川 武志	歯科
	122	うちた歯科	内田 憲二	歯科
	123	恩地歯科医院	恩地 良幸	歯科
高野町	124	木村歯科医院	木村 幸弘	歯科
	125	楠井歯科医院	楠井 貴介	歯科
	126	阪中歯科	阪中 孝之	歯科
	127	たえなか歯科クリニック	妙中 泰之	歯科
	128	田村歯科クリニック	田村 修志	歯科
	129	医療法人歯優会 中島歯科医院	中島 毅	歯科
	130	中平歯科医院	中平 良基	歯科
	131	ゆあさ歯科医院	湯浅 祥司	歯科
132	わしみね歯科医院	鷲峰 賢昭	歯科	

(2020年3月31日現在)

## 橋本市民病院 教育・研修・年報作成委員会

委員長	診療部	整形外科筆頭部長	林 未統
副委員長		病院長	駿田 直俊
委員	診療部	脳神経外科部長	大饗 義仁
委員	診療部	歯科口腔外科部長	田中 章夫
委員	看護部	3階東病棟師長	西林 和美
委員	看護部	5階東病棟師長	狩谷 真紀
委員	診療技術部	薬剤部主任	小山 惠理
委員	診療技術部	放射線科副技師長	三木田 正夫
委員	診療技術部	臨床検査科指導員	山崎 いずみ
委員	診療技術部	リハビリテーション科主任	菅野 徳央
委員	診療技術部	栄養管理科技師長	藤本 佐和子
委員	地域医療部	地域医療連携室室長補佐	山内 壮一
委員	事務局	総務課課長	藤本 昇三
委員	事務局	総務課庶務係主任	武田 朋容
委員	事務局	医事課	片山 倫誠
委員 (年報編集担当)	事務局	診療情報課係長	井上 正輔

橋本市民病院 2020年度 病院年報

発行・編集 : 橋本市民病院

〒648-0005 和歌山県橋本市小峰台2-8-1

電話(0736)37-1200 Fax(0736)37-1880

ホームページ <http://www.hashimoto-hsp.jp>

発行年月 : 2021年11月

